

市川市

子どもの生活状況に関する実態調査報告書

令和5年3月

市 川 市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	2
6	調査結果の表示方法	3
7	貧困に関する説明	3
8	調査項目一覧	4
	小学生用調査	4
	中学生用調査	6
	保護者用調査	8
	庁内関係機関ヒアリング調査	11
	外部支援機関ヒアリング調査	12
II	アンケート調査結果	14
II-1	小・中学生調査	14
II-2	保護者調査票（生活困窮世帯と一般層の比較）	66
	○K6について	134
	○記述回答まとめ	170
III	資源量調査結果	207
III-1	庁内関係機関ヒアリング	207
III-2	外部支援機関ヒアリング	217
IV	調査票	233
	小学生調査票	234
	中学生調査票	246
	保護者調査票	258
	庁内関係機関ヒアリング調査票	272
	庁内関係機関ヒアリング調査票（支援者向け）	278
	外部支援機関ヒアリング調査票	283
	外部支援機関ヒアリング調査票（支援者向け）	291

I 調査の概要

1 調査の目的

子育て世帯等への施策に役立てることを目的として、小学5年生、中学2年生の子どもとその保護者を対象に、生活状況や子どもの様子、学校生活等についてのアンケート調査を実施しました。

また、子どもや家庭に対する必要な支援の検討を目的として、支援機関等を対象に貧困状況にある子どもや家庭の現状・課題についてのアンケート調査を実施しました。

2 調査対象

①子どもの生活状況に関する実態調査

小学生用調査：小学5年生（学校単位で抽出）

中学生用調査：中学2年生（学校単位で抽出）

保護者用調査：上記対象となった子どもがいる親

②資源量調査

母子父子自立支援員、家庭相談員、公立保育園、公立幼稚園、放課後保育クラブ、放課後子ども教室、ライフカウンセラー、こども食堂、学習支援団体、母子生活支援施設 等

3 調査期間

①子どもの生活状況に関する実態調査

令和4年11月4日～令和4年12月2日

②資源量調査

令和5年1月

4 調査方法

①子どもの生活状況に関する実態調査

小学生・中学生・保護者用調査：学校配付・学校回収方式

②資源量調査

インターネットフォームによる回答

5 回収状況

①子どもの生活状況に関する実態調査

	調査対象者数	有効回答数	有効回答率
小学生用調査	1,280	1,208	94.4%
中学生用調査	1,498	1,325	88.5%
保護者用調査	2,778	2,445	88.0%

②資源量調査

依頼業種	配布数	有効回答数	有効回答率
24業種	179通	91	50.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを網かけしています。（無回答を除く）
- ・特徴がみられる部分については、で囲みコメントしています。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

7 貧困に関する説明

貧困の代表的な定義には、所得額が、人間が生きるために必要な最低限の生活水準を維持するのに満たない状態を示す「絶対的貧困」と、所得額が一定の国や地域における平均的な生活水準に満たない状態を示す「相対的貧困」という2つの種類があります。

子どもの貧困の状況を把握するために、本調査では相対的貧困率を用います。OECD（経済協力開発機構）では、「世帯の所得を世帯人数で調整して算出した等価可処分所得（1人当たりの所得）が、貧困線（等価可処分所得の中央値の2分の1）に満たない」割合を、相対的貧困率としています。

本調査においては、世帯年収についての質問の回答より等価可処分所得を算出し、その所得が厚生労働省「国民生活基礎調査」から算出される基準（世帯所得の中央値を平均世帯人数の平方根で除した値の50%未満＝127万円）に満たない世帯を「生活困窮世帯」とし、127万円～254万円未満の世帯を「周辺層」、254万円以上の世帯を「一般層」とし、3段階に分類しました。

生活困窮世帯	周辺層	一般層
127万円未満	127万円～254万円未満	254万円以上

8 調査項目一覧

小学生用調査

問	設問文
問 1	あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)
問 2	あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。 ※勉強には学校の宿題もふくみます。(あてはまるものすべてに○)
問 3	あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(a, b それぞれについてあてはまるもの1つに○)
問 4	あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)
問 5	あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)
問 6	前の質問で「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)
問 7	あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)
問 8	前の質問で「中学」～「その他」と答えた場合、その理由を教えてください。 (あてはまるものすべてに○)
問 9	ふだんからあなたがしている家庭や家族のお世話についてお聞きします。
- A	あなたは家族のお世話を日常的にしていますか。(あてはまるもの1つに○)
- B	あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)
- C	どれくらいお世話をしていますか。(あてはまるもの1つに○)
- D	ふだん(月曜日から金曜日)に、1日のお世話はどのくらい行っていますか。(あてはまるもの1つに○)
問 10	あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)
問 11	前の質問で「参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)
問 12	あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

問 13	あなたはおうちの大人のひと、次のようなことをどのくらいしていますか (a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 14	あなたは、給食を除いて、以下の食べ物をふだんのくらい食べますか (a~f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 15	あなたは、ふだん(月曜日~金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(あてはまるもの1つに○)
問 16	あなたは、ふだん(月曜日~金曜日)、ほぼ同じ時間に起きていますか。(あてはまるもの1つに○)
問 17	あなたは、ふだん(月曜日~金曜日)、ほぼ同じ時間に食事をしていますか。(あてはまるもの1つに○)
問 18	あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(あてはまるものすべてに○)
問 19	全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で教えてください。(あてはまるもの1つに○)
問 20	以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。(a~o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 21	あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前(2020年2月以前)と比べて、どのように変わったと思いますか。(a~g それぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 22	あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。(あてはまるものすべてに○)
問 23	あなたは、次の a~d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a~d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 24	前の質問で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

中学生用調査

問	設問文
問 1	あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの 1 つに○)
問 2	あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。 ※勉強には学校の宿題もふくみます。(あてはまるものすべてに○)
問 3	あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(a, b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)
問 4	あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの 1 つに○)
問 5	あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの 1 つに○)
問 6	前の質問で「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの 1 つに○)
問 7	あなたは、塾や習い事に通っていますか。(あてはまるもの 1 つに○)「行きたいと思うが通っていない」と回答した場合、その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)
問 8	あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの 1 つに○)
問 9	前の質問で「高校」～「その他」と答えた場合、その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)
問 10	普段からあなたがしている家庭や家族のお世話についてお聞きします。
- A	あなたは家族のお世話を日常的にしていますか。(あてはまるもの 1 つに○)
- B	あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)
- C	どれくらいお世話をしていますか。(あてはまるもの 1 つに○)
- D	ふだん(月曜日から金曜日)に、1日のお世話はどのくらい行っていますか。(あてはまるもの 1 つに○)
問 11	あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(あてはまるもの 1 つに○)
問 12	前の質問で「参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

問 13	あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 14	あなたはうちの大人の人と、次のようなことをどのくらいしていますか (a, bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 15	あなたは、給食を除いて、以下の食べ物をふだんどのくらい食べますか (a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 16	あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。(あてはまるもの1つに○)
問 17	あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に起きていますか。(あてはまるもの1つに○)
問 18	あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に食事をしていますか。(あてはまるもの1つに○)
問 19	あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(あてはまるものすべてに○)
問 20	全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で教えてください。(あてはまるもの1つに○)
問 21	以下のそれぞれの質問について、「あてはまらない」「まああてはまる」「あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて教えてください。(a～oそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 22	あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前(2020年2月以前)と比べて、どのように変わったと思いますか。(a～gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 23	あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。(あてはまるものすべてに○)
問 24	あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 25	前の質問で、1つでも「利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(あてはまるものすべてに○)

保護者用調査

問	設問文
問 1	お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。(あてはまるもの1つに○)
問 2	お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a～hそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 3	お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。(令和4年4月1日時点) (母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」と記入)
問 4	お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。(あてはまるものすべてに○)
問 5	お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(あてはまるもの1つに○)
問 6	前問で「離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)
問 7	ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)
問 8	お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。(a, bそれぞれについて、あてはまるものひとつに○)
問 9	お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(a, bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 10	前の質問で「働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(a, bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 11	お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)
問 12	お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの(期間が長いもの)をお答えください。(あてはまるもの1つに○)
問 13	あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。(a～dそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

問 14	あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 15	お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(あてはまるものひとつに○)
問 16	前問で「中学」～「その他」と答えた場合、その理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)
問 17	あなたは次に挙げる事柄で頼れる人はいますか。(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○) また、「頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(あてはまるものすべてに○)
問 18	あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)
問 19	世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○) ※2021年の年間収入についてお答えください。
問 20	あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)
問 21	あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまるもの1つに○)
問 22	あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(あてはまるものすべてに○)
問 23	次の a)～f) の質問について、この1か月間のあなたの気持ちについてお伺いします。(a～f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 24	全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない) から「10」(十分に満足している) の数字で教えてください。(あてはまるもの1つに○)
問 25	あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前(2020年2月以前)から比べて、どのように変わりましたか。(a～f それぞれについて、あてはまるもの1つに○)
問 26	以下の、子育て支援に関する事業について知っていますか。(a～c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

問 27	<p>あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(a～eそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)</p> <p>また、「利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)</p>
問 28	<p>あなたが現在必要としていることで、重要だと思う支援等はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)</p>
問 29	<p>あなたが必要な支援を受けるために重要だと思うことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)</p>
問 30	<p>あなたは、子育てに関する情報をどこから手に入れますか。(あてはまるものすべてに○)</p>
問 31	<p>毎日の生活で困っていること、相談したいことなど自由にお書き下さい。</p>

庁内関係機関調査

問	設問文
問 1	あなたの所属先を教えてください。
問 2	あなたの職種を教えてください。
問 3	貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況は何だと思えますか。(〇は3つまで)
問 4	貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況の要因や背景は何だと思えますか。(〇は3つまで)
問 5	貧困状況にある子どもが多く陥る困難な状況として、考えられるものは何ですか。(〇は3つまで)
問 6	貧困状況にある子どもはどのような項目において問題を抱えていることが多いと思えますか。(〇は3つまで)
問 7	貧困状況にある子どもに対する学習支援として、どのような仕組みや支援が必要だと思えますか。(〇は3つまで)
問 8	支援の対象は子どもですか、保護者ですか。(〇は1つ)
問 9	あなた(あなたの所属機関)が行っている支援内容を教えてください。
問 10	日頃、支援を行っているなかで、足りていないと思うところを教えてください。(代表的なもの1つ)
問 11	あなたは、普段、貧困状況にある子どもの支援をする際に他の部署・機関・団体とどのくらい連携することがありますか。(〇は1つ)
問 12	連携することが多い部署・機関・団体をお答えください。(〇はいくつでも)
問 13	連携して支援をするうえで、課題となることは何ですか。(〇はいくつでも)
問 14	貧困状況にある子どもや親を支援する際に、工夫していることや心がけていることがあれば、自由に記述してください。
問 15	これまでのご経験の中で、貧困の状況にある子どもが改善に向かったケースがあれば、自由に記述してください。
問 16	コロナ以前と、現在で、貧困の状況にある子どもや親の生活状況は変化していますか。また、変化してきているのであれば、どのような変化ですか。
問 17	今後必要な支援施策について、具体的なものがあれば、自由に記述してください。

外部支援機関調査

問	設問文
問 1	所属している機関・団体・施設名を教えてください。
問 2	回答者の職種を教えてください。
問 3	支援している子どもの人数を教えてください。（こどもが貧困状況にあるかどうかは問いません）
問 4	主な活動地域をお聞かせください。
問 5	貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況は何だと思えますか（〇は3つまで）
問 6	貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況の要因や背景は何だと思えますか。（〇は3つまで）
問 7	貧困状況にある子どもが多く陥る困難な状況として、考えられるものは何ですか。（〇は3つまで）
問 8	貧困状況にある子どもはどのような項目において問題を抱えていることが多いと思えますか。（〇は3つまで）
問 9	貧困状況にある子どもに対する学校外での学習支援として、どのような仕組みや支援が必要だと思えますか。（〇は3つまで）
問 10	あなたは、貧困状況にある子どもや親に対し、どれくらいの頻度でどのような支援を行っていますか。
問 11	問 10 の他、貧困状況にある子どもや親に対し行っている支援の内容・頻度をお聞かせください。
問 12	あなたは、普段、貧困状況にある子どもの支援をする際に他の部署・機関・団体とどのくらい連携（連絡、情報のやり取り等）をすることがありますか。（〇は1つ）
問 13	連携することが多い部署・機関・団体をお答えください。（〇はいくつでも）
問 14	連携して支援をするうえで、課題となることは何ですか。（〇はいくつでも）
問 15	貧困状況にある家庭への支援にあたって、どのような点が困難だと感じていますか。（〇はいくつでも）
問 16	貧困状況にある子どもや親を支援する際に、工夫していることや心がけていることがあれば、自由に記述してください。
問 17	これまでのご経験の中で、貧困の状況にある子どもが改善に向かったケースがあれば、自由に記述してください。

問 18	コロナ以前と、現在で、貧困の状況にある子どもや親の生活状況は変化していますか。また、変化してきているのであれば、どのような変化ですか。
問 19	貧困状況にある子どもや親に対する支援について、今後、市川市に必要な施策は何だと思えますか。(〇はいくつでも)
問 20	前の質問において回答した支援施策について、具体的なものがあれば、自由に記述してください。

Ⅱ アンケート調査結果

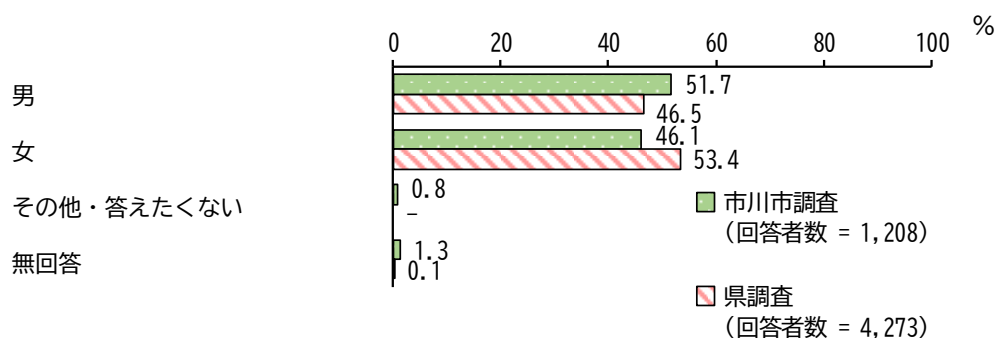
Ⅱ-1 小・中学生調査

問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

「男」の割合が小学生では51.7%、中学生では47.1%となっています。「女」の割合は小学生では46.1%となっており、中学生では49.7%となっています。

中学生調査を全国・県調査と比べると、大きな差はみられません。

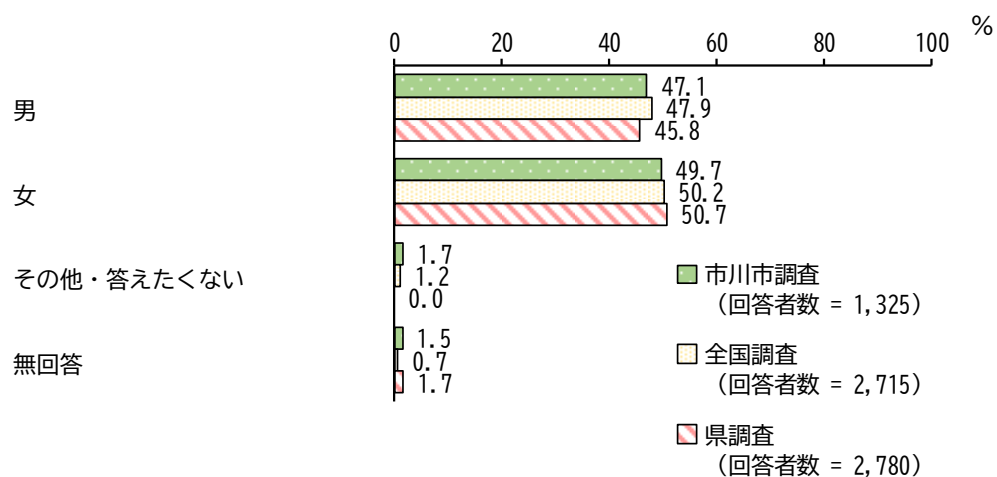
【小学生調査】



* 県調査には「その他・答えたくない」がありませんでした。

※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

【中学生調査】

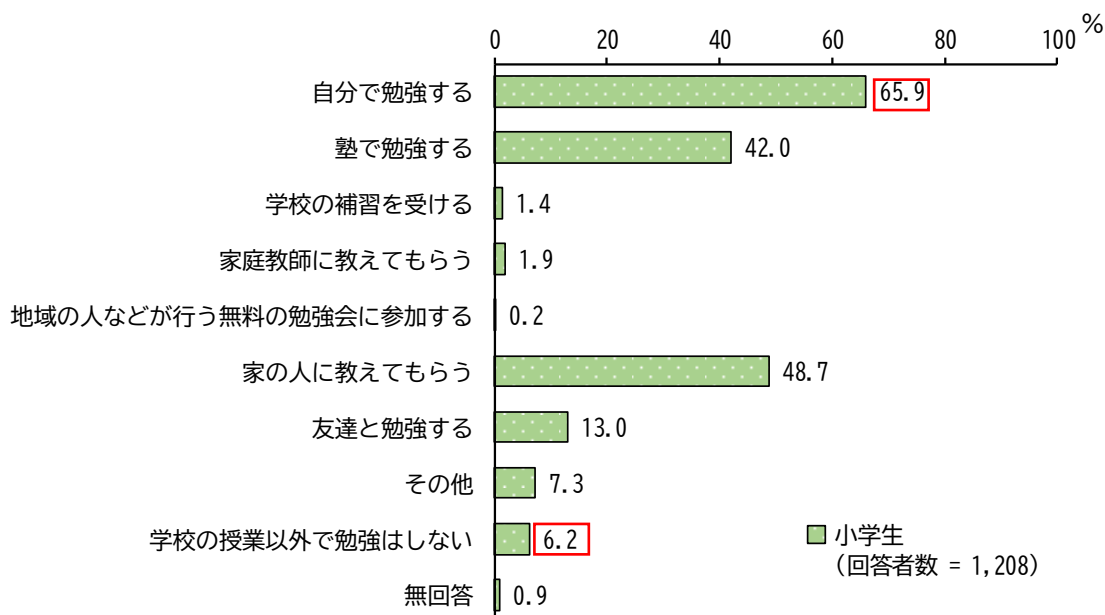


問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

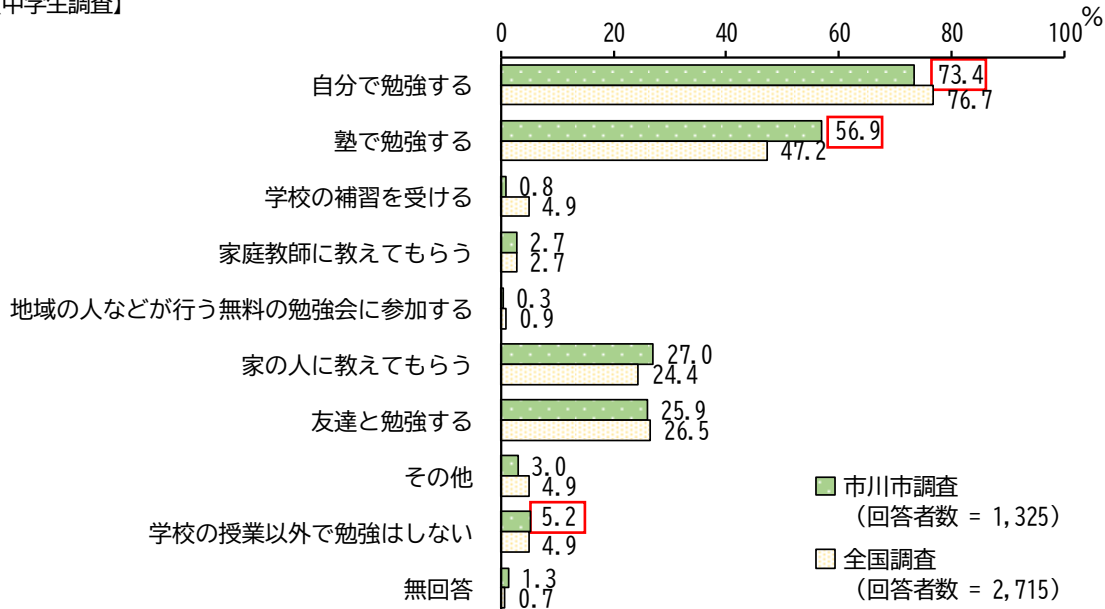
「自分で勉強する」の割合が、小学生では65.9%、中学生では73.4%と最も高くなっているものの、「学校の授業以外で勉強はしない」の割合が、小学生で6.2%、中学生で5.2%と一定の割合みられます。

中学生調査を全国調査と比べると、「塾で勉強する」の割合が高くなっています。

【小学生調査】



【中学生調査】



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

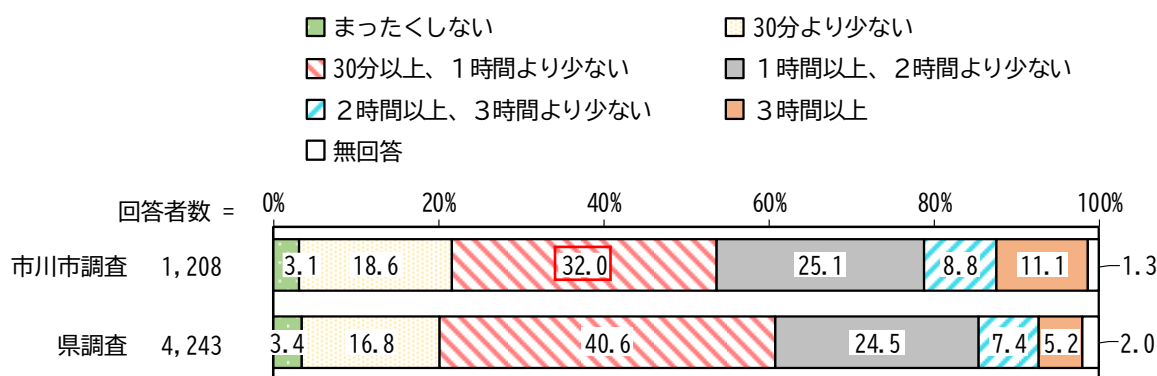
問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。(a, bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

学校がある日(月～金曜日)の勉強時間について、「30分以上、1時間より少ない」の割合が小学生では32.0%と最も高く、「30分以上、1時間より少ない」、「1時間以上、2時間より少ない」の割合が中学生では26.6%と最も高くなっています。

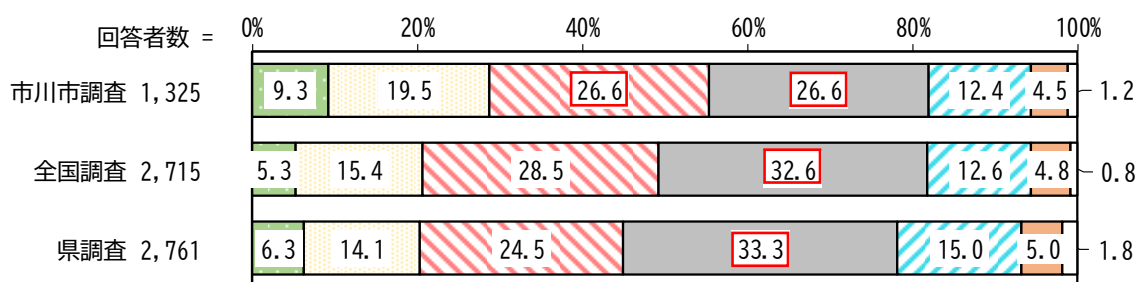
全国調査・県調査と比べ、小学生では「30分以上、1時間より少ない」の割合が、中学生では「1時間以上、2時間より少ない」の割合が低く、勉強時間が短くなっています。

a) 学校がある日(月～金曜日)

【小学生調査】



【中学生調査】



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

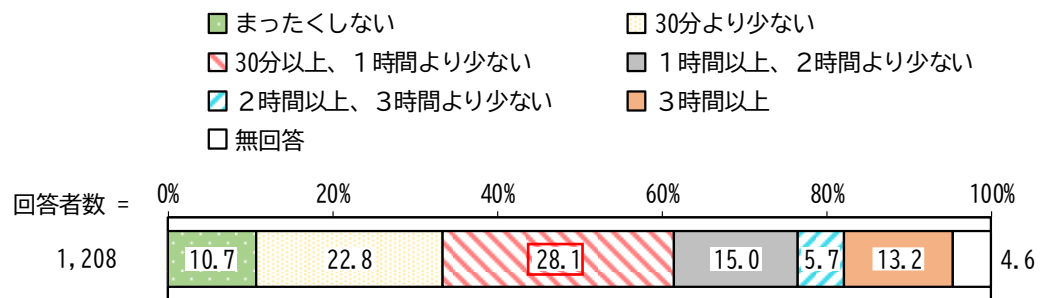
※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

b) 学校がない日（土・日曜日・祝日）

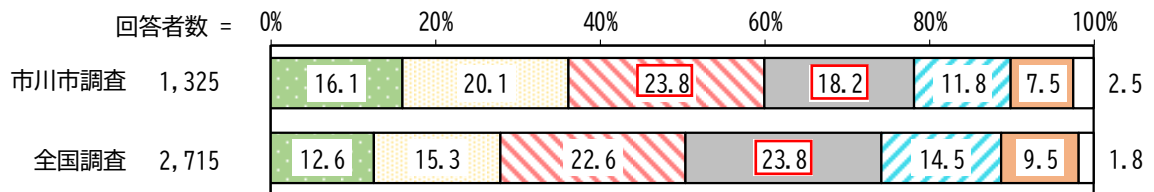
学校がない日（土・日曜日・祝日）の勉強時間について、「30分以上、1時間より少ない」の割合が、小学生では28.1%、中学生では23.8%と最も高くなっています。

中学生調査を全国調査と比べ、「1時間以上、2時間より少ない」の割合が低く、全国調査に比べ勉強時間が短くなっています。

【小学生調査】



【中学生調査】



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

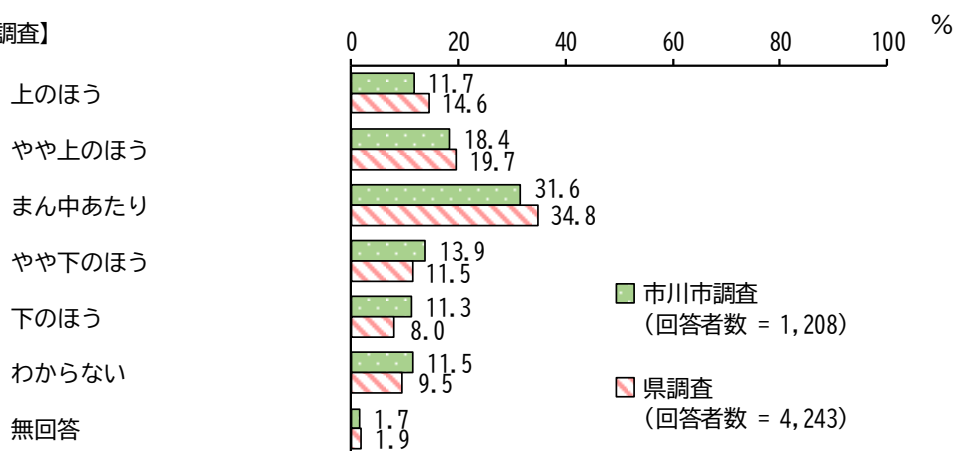
**問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。
(あてはまるもの1つに○)**

「まん中あたり」の割合が、小学生では31.6%と最も高く、中学生では26.6%と最も高くなっています。次いで小学生では「やや上のほう」の割合が18.4%、「やや下のほう」の割合が13.9%となっています。

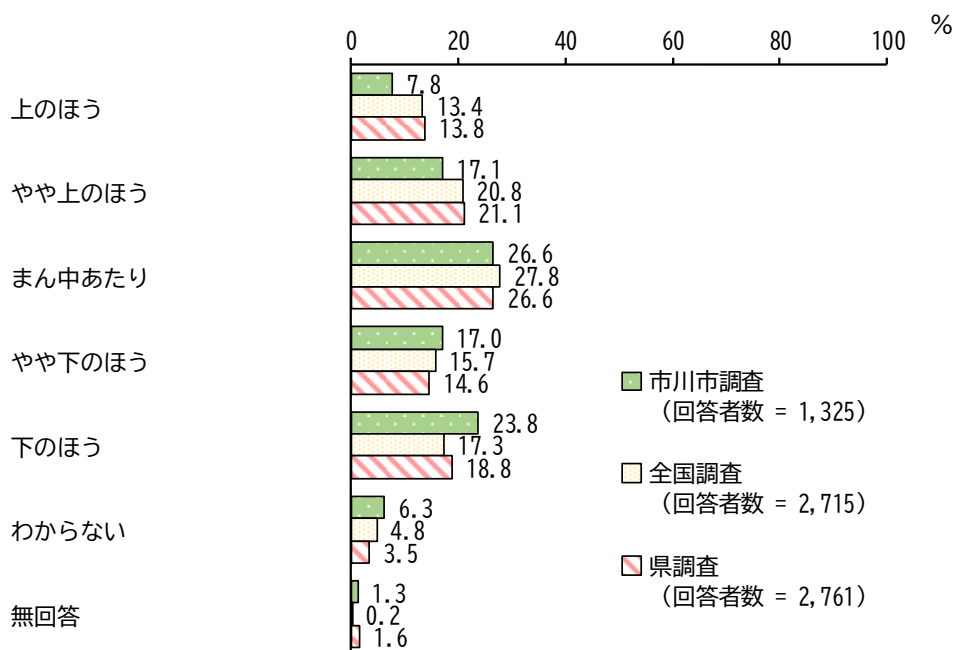
中学生では「下のほう」の割合が23.8%、「やや上のほう」の割合が17.1%となっています。

中学生調査を全国・県調査と比べ、「下のほう」の割合が多くなっています。一方、「上のほう」の割合が低くなっています。

【小学生調査】



【中学生調査】



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

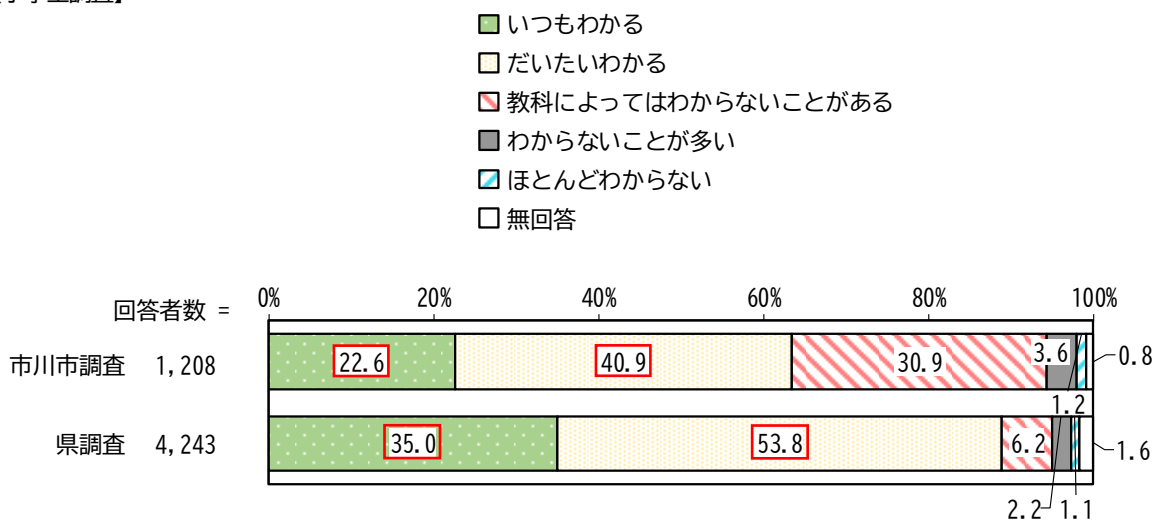
※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

**問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。
(あてはまるもの1つに○)**

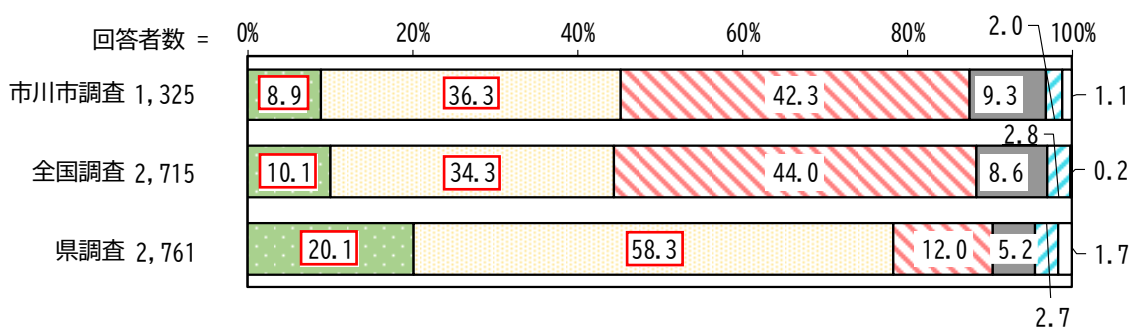
学校の授業がわからないことがあるかについて、「いつもわかる」と「だいたいわかる」をあわせた“わかる”の割合が、小学生では63.5%、中学生では45.2%となっています。

小学生調査を県調査と比較すると、県に比べ“わかる”の割合が低くなっています。また、中学生調査を全国調査・県調査と比較すると、全国調査と大きな変化はみられない一方で、県調査に比べ“わかる”の割合が低くなっています。

【小学生調査】



【中学生調査】



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

* 県調査では、「教科によってはわからないことがある」は、「あまりわからない」となっています。

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。
 いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。
 (あてはまるもの1つに○)

小学生では、「5年生になってから」の割合が39.7%と最も高く、次いで「4年生のころ」の割合が34.3%、「3年生のころ」の割合が15.1%となっています。

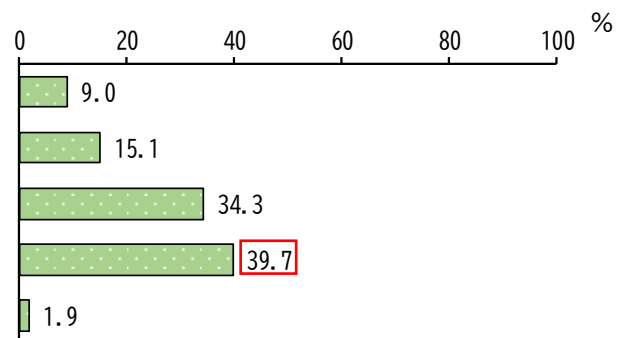
中学生では、「中学1年生のころ」の割合が45.3%と最も高く、次いで「中学2年生になってから」の割合が22.6%、「小学5・6年生のころ」の割合が19.0%となっています。

中学生調査を全国調査と比べると、「中学1年生のころ」の割合が減少しています。

【小学生調査】

回答者数 = 431

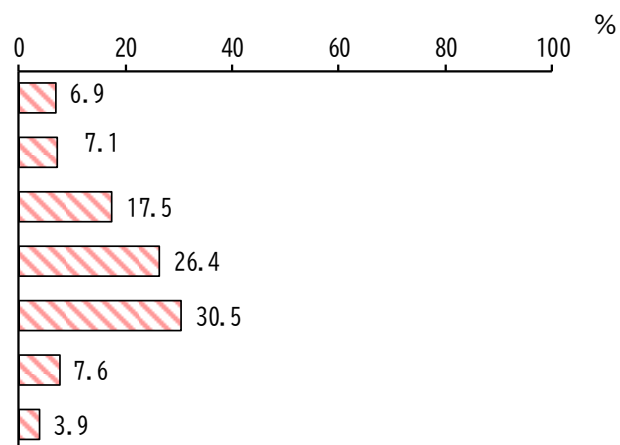
1・2年生のころ
 3年生のころ
 4年生のころ
 5年生になってから
 無回答



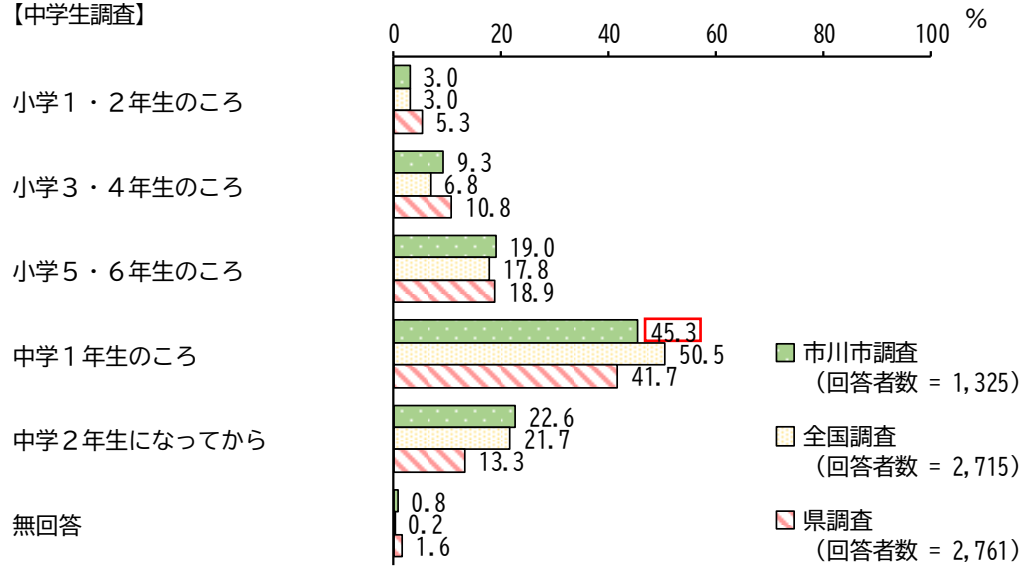
【県小学生調査】 ※選択肢が異なるため参考

回答者数 = 406

小学1年生のころ
 小学2年生のころ
 小学3年生のころ
 小学4年生のころ
 小学5年生のころ
 わからない
 無回答



【中学生調査】



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

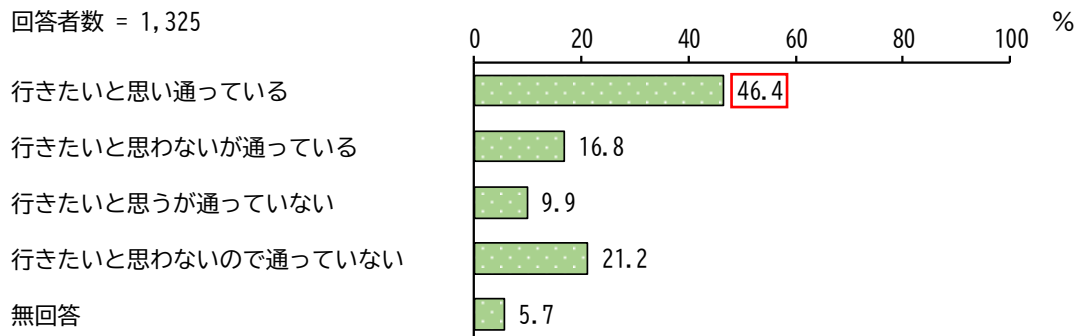
※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

問7 あなたは、塾や習い事に通っていますか。(あてはまるもの1つに○)
「3 行きたいと思うが通っていない」と回答した場合、その理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

中学生では、「行きたいと思い通っている」の割合が46.4%と最も高く、次いで「行きたいと思わないので通っていない」の割合が21.2%、「行きたいと思わないが通っている」の割合が16.8%となっています。

【中学生調査】

回答者数 = 1,325

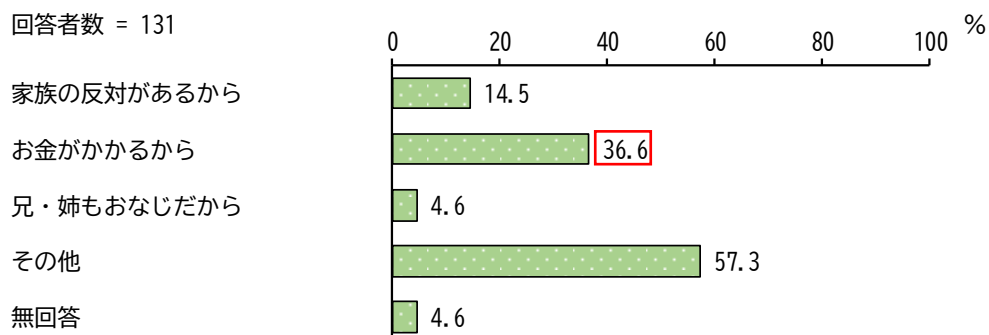


行きたいと思うが通っていない理由

中学生では、「お金がかかるから」の割合が36.6%と最も高く、次いで「家族の反対があるから」の割合が14.5%となっています。

【中学生調査】

回答者数 = 131

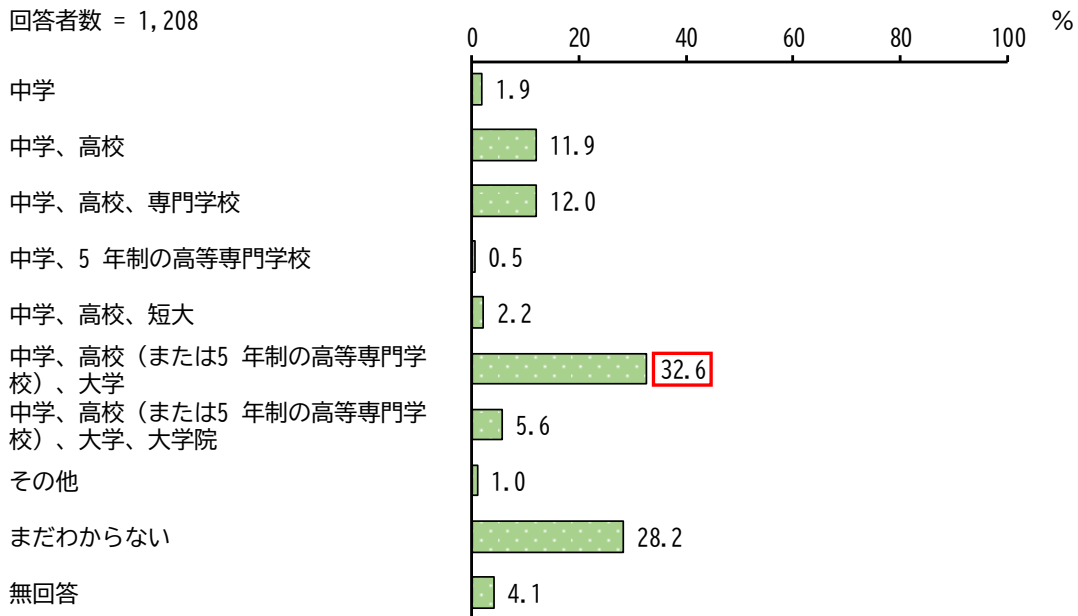


問8 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

将来、どの学校に進学したいかについて、小学生では「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」の割合が32.6%、中学生では「高校」の割合が36.7%と最も高くなっており、小学生では大学までの進学を希望しているものの、中学生では大学より高校までの進学希望が高い割合となっています。

【小学生調査】

回答者数 = 1,208

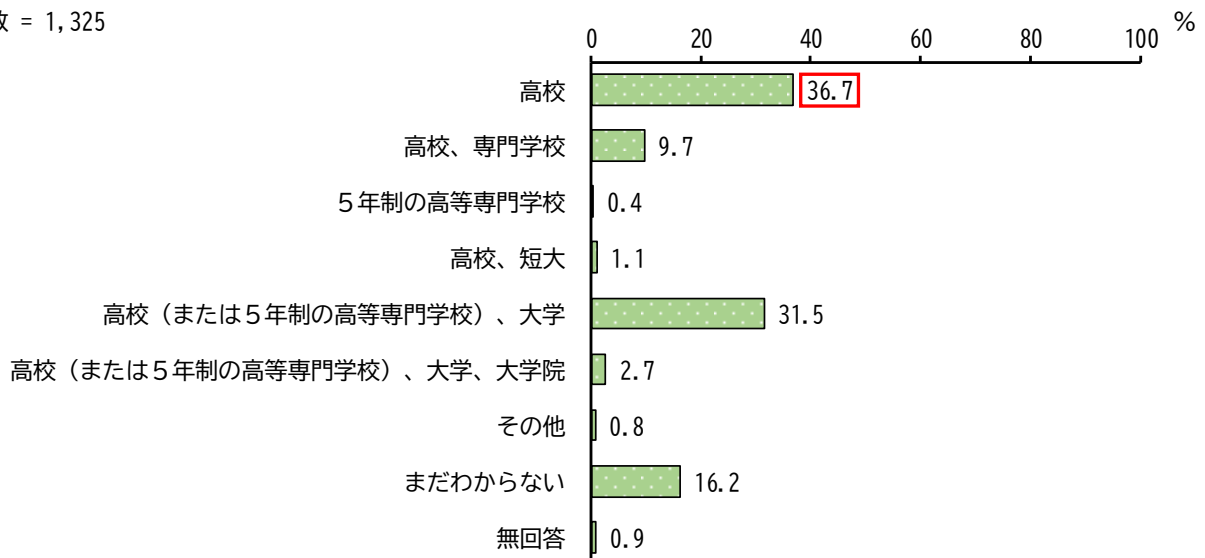


○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・ 中学、高校、大学
- ・ あんまり決めてない

【中学生調査】

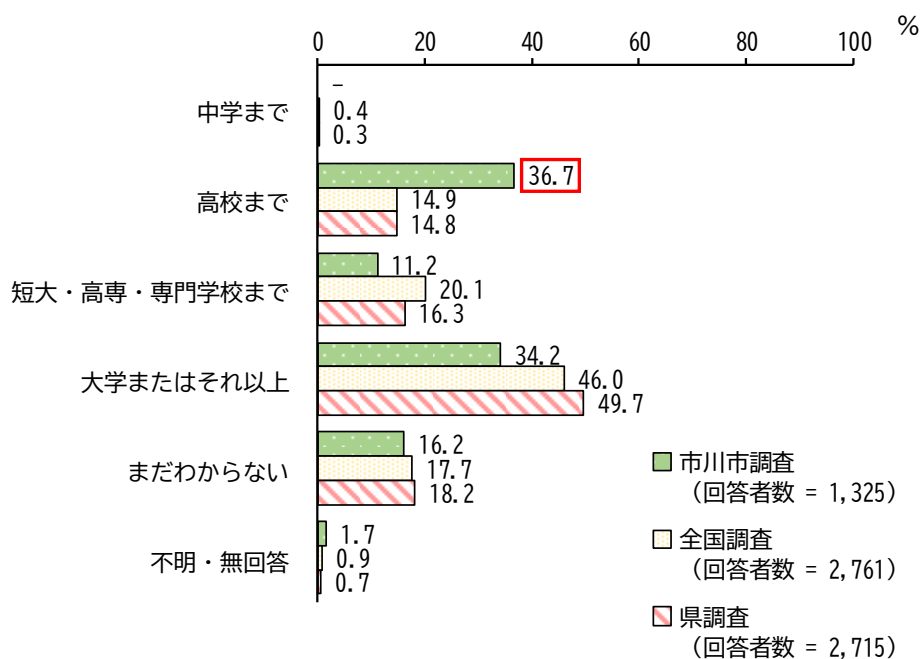
回答者数 = 1,325



○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・ 韓国の学校
- ・ 通信制高校
- ・ まだはっきり決めてないけど、ITとか天気についての自分の得意について専門の学校に行きたい など

【中学生調査の比較】※選択肢が異なるため参考



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

* 市川市調査では、「中学まで」の選択肢はありません。また、「その他」、「無回答」の割合を「不明・無回答」に入れています。

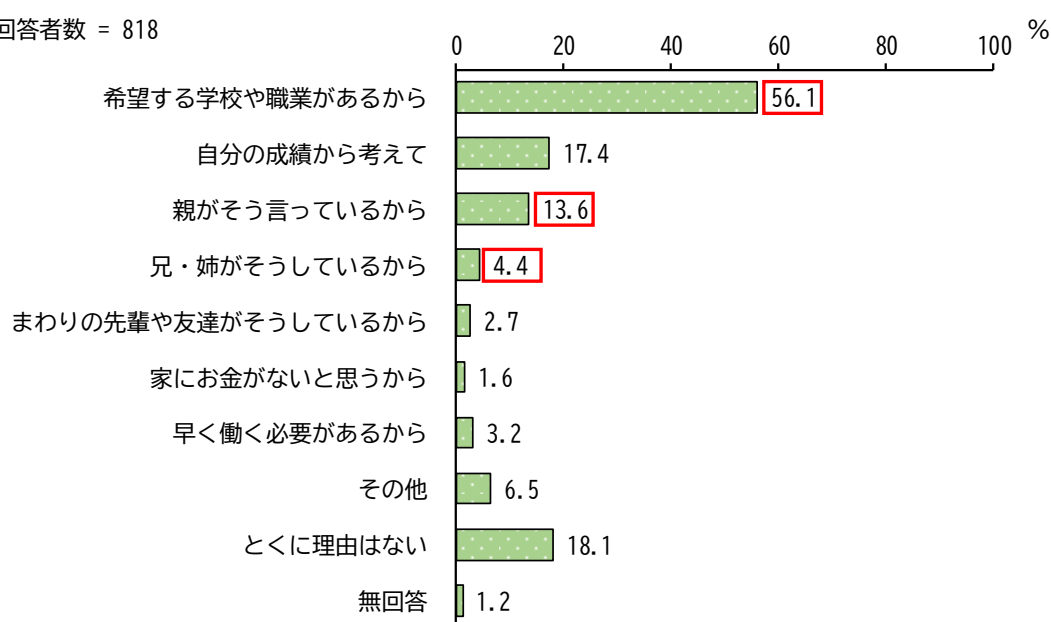
問9 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

将来進学を希望する人の、進学したい理由については、「希望する学校や職業があるから」の割合が、小学生では56.1%、中学生では49.2%と最も高くなっている一方で、中学生では「親がそう言っているから」、「兄・姉がそうしているから」の割合が小学生に比べ増加しています。

中学生調査を全国調査と比べると、「希望する学校や職業があるから」の割合が低く、「自分の成績から考えて」の割合が高くなっています。

【小学生調査】

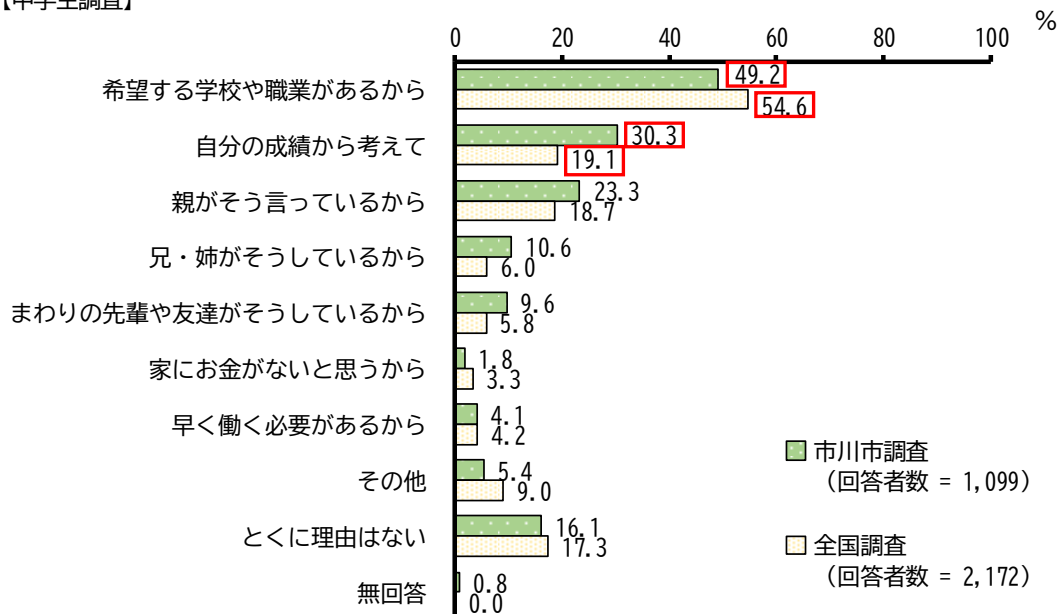
回答者数 = 818



○主なその他意見 (原文のまま記載)

- ・学びたいから
- ・自分や家族がたくさんのお金が必要になったとき、不安だから。
- ・友達をたくさんつくりたいから など

【中学生調査】



○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・やりたいことがあるから
- ・親が行っていたから
- ・就職に有利だから

※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【まとめ】

- ・授業以外での勉強時間が全国調査に比べて短く、また授業の理解度も県調査に比べ低くなっていることから、学習習慣の定着と、理解度の向上に向けた取組を進める必要があります。
- ・学校の授業がわからないことがあるかについては、小学生中学生ともに「だいたいわかる」の割合が県調査に比べ低くなっています。授業についていけないことがないように支援をしていく必要があります。
- ・将来の進学希望については、中学生で、全国調査に比べ大学またはそれ以上の進学希望が低くなっており、希望理由についても「親がそう言っている」、「兄・姉がそうしている」割合が全国より高いことから、家庭の経済的な安定を図るための取組や、進学についての経済的な支援制度の充実・周知等、子どもたちが幅広い選択肢を持つことができるような環境を整えていく必要があります。
- ・子どもの学習について、塾に通わせることができない家庭に向けた、学習支援が必要です。

問 10 ふだんからあなたがしている家庭や家族のお世話についてお聞きします。ここで「お世話」とは、本来大人がするとされている家事や家族の世話などをすることです。

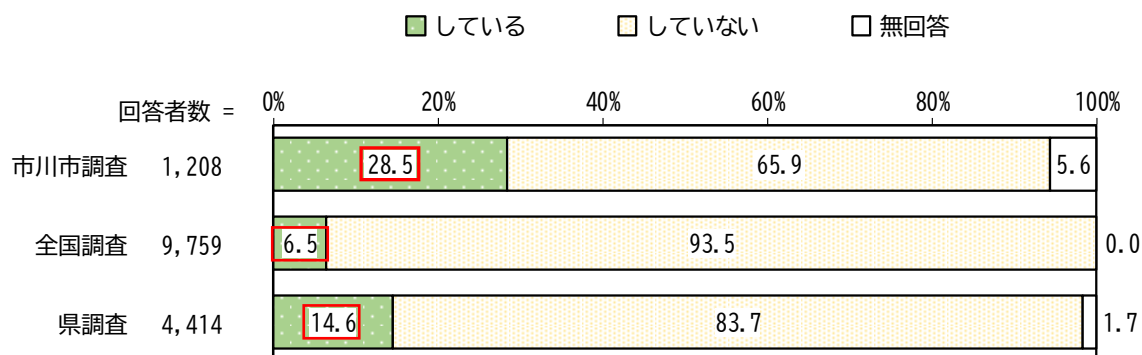
A あなたは家族のお世話を日常的にしていますか。(あてはまるもの1つに○)

家族のお世話を日常的にしているかについて、「している」の割合が、小学生では28.5%、中学生では22.0%となっています。

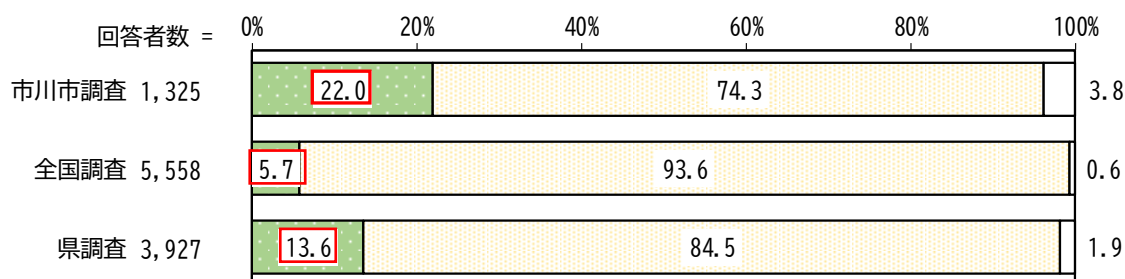
全国調査・県調査と比較すると、小学生、中学生ともに、「している」の割合が高くなっています。

家族のお世話を日常的にしているか

【小学生調査】



【中学生調査】



※全国調査：ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書（小学生：令和4年3月、中学生：令和3年3月）

※県調査：ヤングケアラーの実態調査とその支援に関する調査研究報告書（令和5年3月）

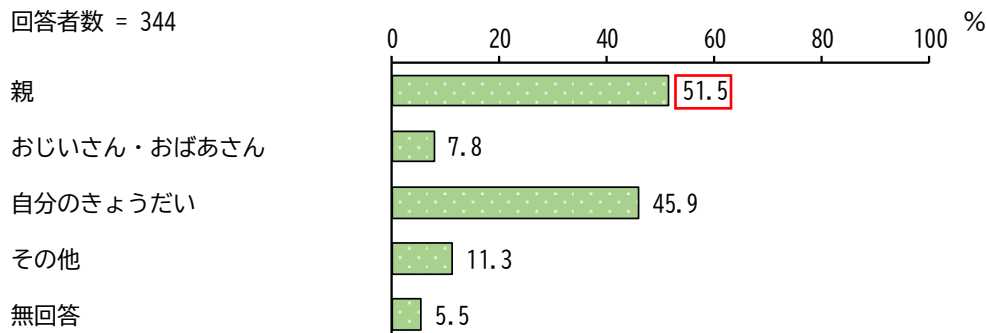
お世話を必要としている人（あてはまるものすべてに○）

「親」の割合が小学生では51.5%と最も高く、中学生でも57.7%と最も高くなっています。次いで「自分のきょうだい」の割合が小学生では45.9%、中学生では41.2%となっています。

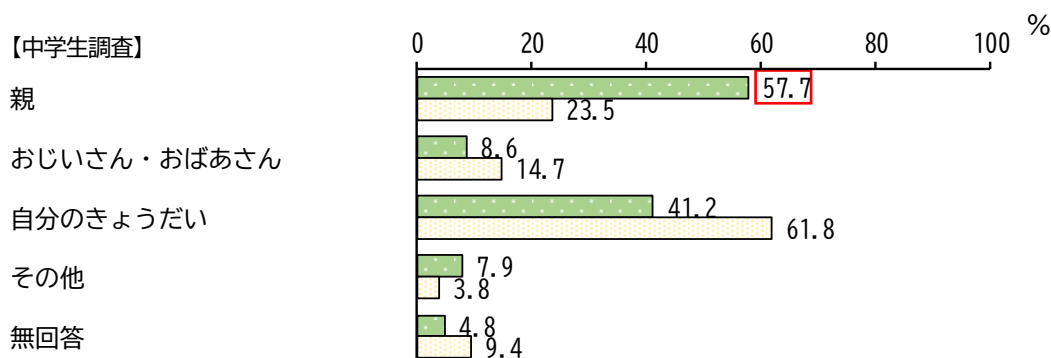
中学生調査を全国調査と比べ、「親」の割合が高くなっています。また、「自分のきょうだい」の割合が低くなっています。

【小学生調査】

回答者数 = 344



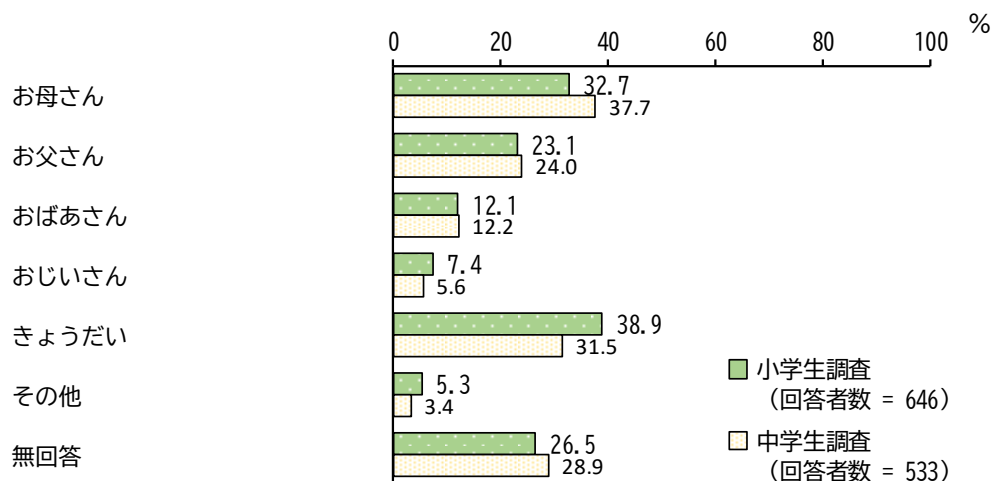
【中学生調査】



○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・いとこ
- ・ペット（犬、猫等） など

【県調査】 ※選択肢が異なるため参考

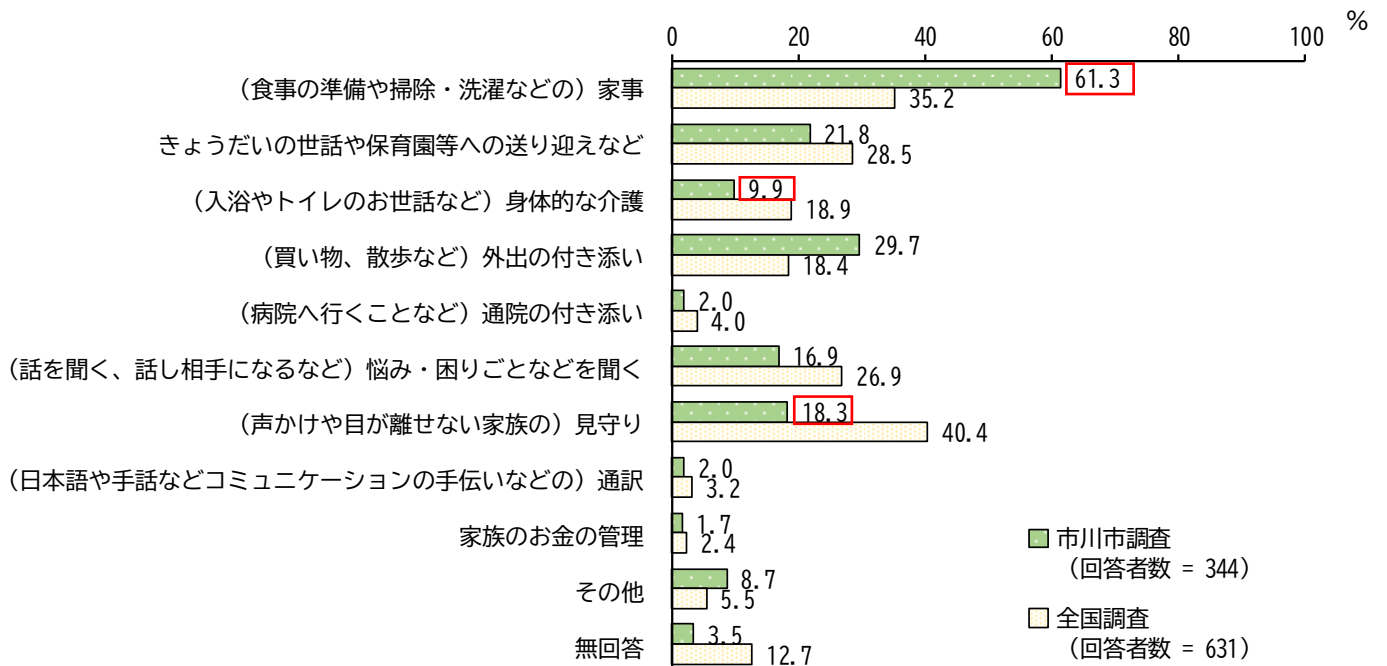


※県調査：ヤングケアラーの実態調査とその支援に関する調査研究（令和5年3月）

B あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

お世話の内容は、小学生、中学生ともに、「(食事の準備や掃除・洗濯などの)家事」の割合が最も高く、次いで「(買い物、散歩など)外出の付き添い」の割合が高くなっています。「(声かけや目が離せない家族の)見守り」や「(入浴やトイレのお世話などに)身体的な介護」についても、小学生、中学生ともに、1割から2割近くとなっており、家族の介護・介助をしている現状がうかがえます。

【小学生調査】

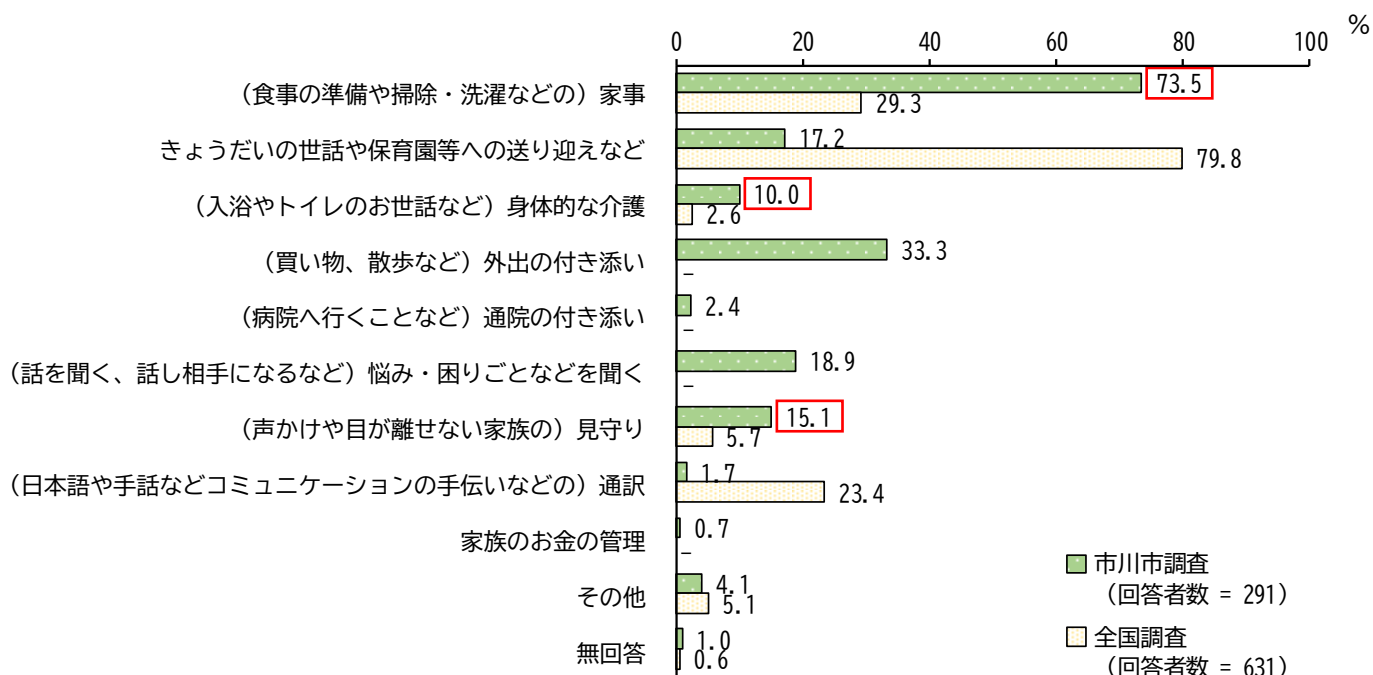


○主なその他意見 (原文のまま記載)

- ・風呂そうじ
- ・ごみすて
- ・歩くときのささえ など

※全国調査：ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書 (小学生：令和4年3月、中学生：令和3年3月)

【中学生調査】



○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・お風呂の掃除 ・マッサージ ・お皿洗い ・洗濯物をたたむ など

※全国調査：ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書（小学生：令和4年3月、中学生：令和3年3月）

* 全国調査では、「(食事の準備や掃除・洗濯などの) 家事」は「障がいや病気のある家族に代わり、家事（買い物、料理、洗濯、掃除など）をしている」、「きょうだいの世話や保育所等への送り迎えなど」は「家族の代わりに、幼いきょうだいの世話をしている」、「(入浴やトイレのお世話など) 身体的な介護」は「障がいや病気のある家族の入浴やトイレの介助をしている」、「(声かけや目が離せない家族の) 見守り」は「目を離せない家族の見守りや声掛けをしている」、「(日本語や手話などコミュニケーションの手伝いなどの) 通訳」は「家族の通訳をしている」となっています。

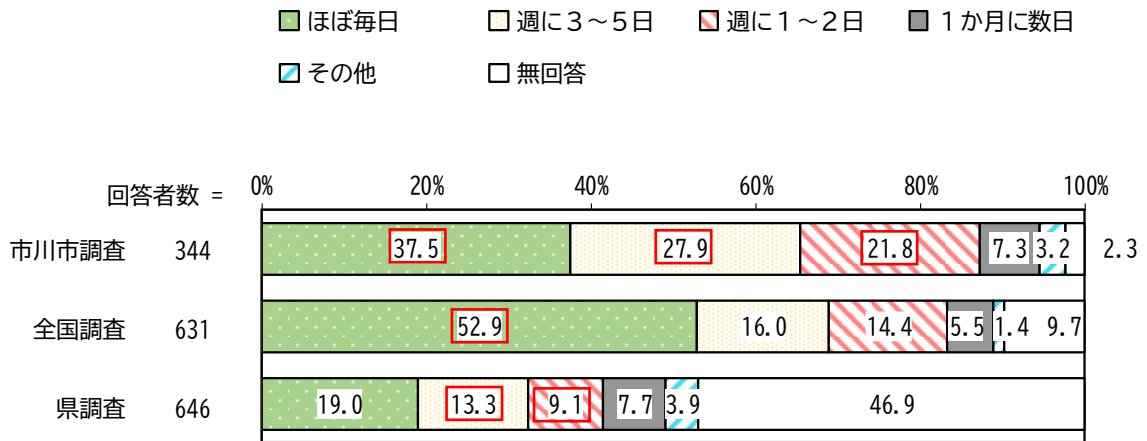
* 全国調査では、「(買い物、散歩など) 外出の付き添い」「(病院へ行くことなど) 通院の付き添い」「(話を聞く、話し相手になるなど) 悩み・困りごとなどを聞く」「家族のお金の管理」の選択肢はありません。

C どれくらいお世話をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

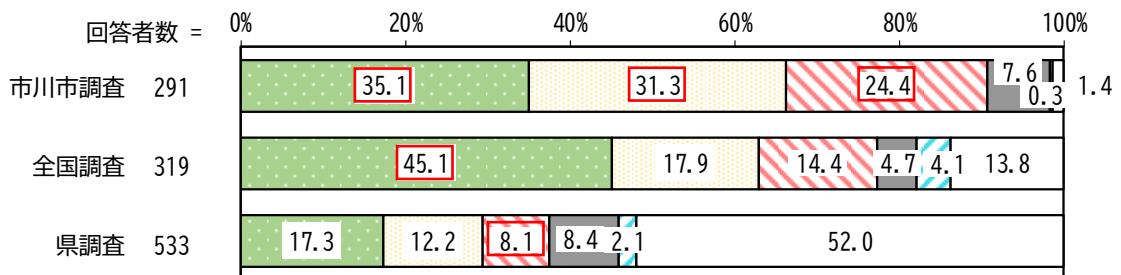
小学生、中学生ともに、「ほぼ毎日」の割合が3割を超え、費やす時間も、小学生、中学生ともに、「1時間以上」の割合で2割を超えています。

全国調査と比較すると、小学生、中学生ともに、「週に3～5日」「週に1～2日」の割合が高くなっています。また、「ほぼ毎日」の割合が低くなっています。

【小学生調査】



【中学生調査】



○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・ 3か月に1回
- ・ 1年に3回
- など

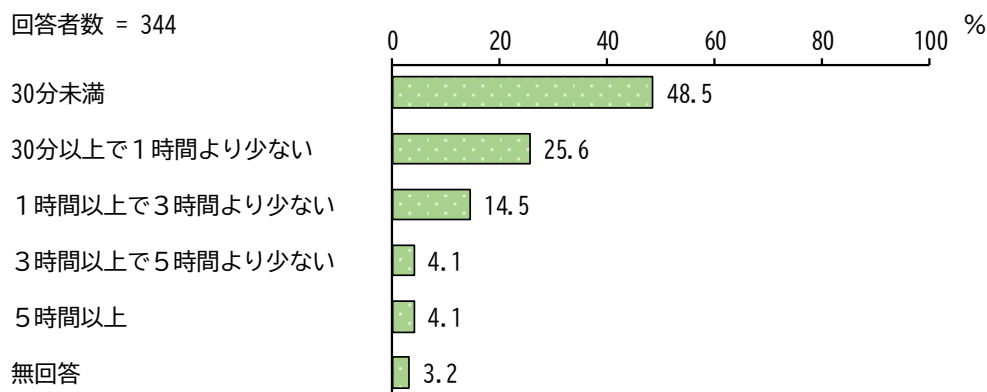
※全国調査：ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書（小学生：令和4年3月、中学生：令和3年3月）

D ふだん（月曜日から金曜日）に、1日のお世話はどのくらい行っていますか。

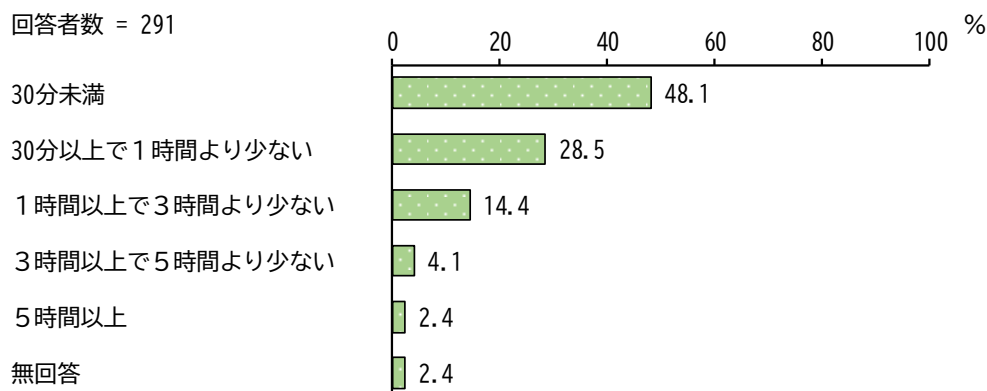
（あてはまるもの1つに○）

「30分未満」の割合が、小学生では48.5%と最も高く、中学生でも48.1%と最も高くなっています。次いで「30分以上で1時間より少ない」の割合が、小学生では25.6%、中学生では28.5%、「1時間以上で3時間より少ない」の割合が小学生では14.5%、中学生では14.4%となっています。

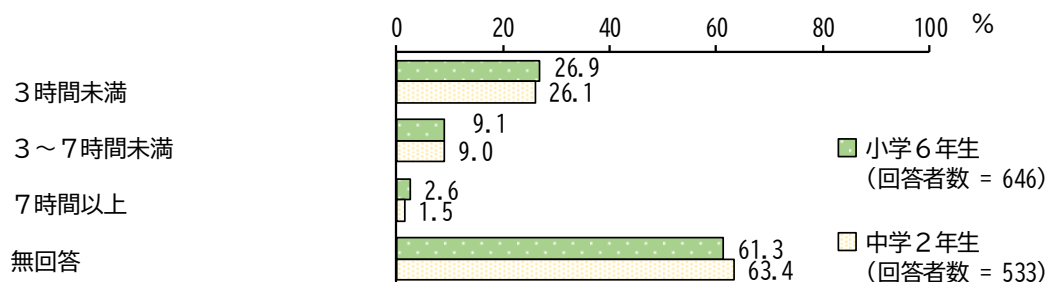
【小学生調査】



【中学生調査】



【県調査】 ※選択肢が異なるため参考



※県調査：ヤングケアラーの実態調査とその支援に関する調査研究（令和5年3月）

【まとめ】

- ・日常的にお世話をしている子どもの中で、家族の介護・介助をしている現状がみられ、親の経済状態や就労状況、世帯の状況により、日々の生活において子どもへの負担が課せられることが考えられます。このような複合的な問題に対して、経済的支援を実施するとともに、必要な世帯へ支援の利用を促すことが必要です。
- ・また、複合的な問題に対応していくためにも、各課の連携を強めていくことが必要です。

問 11 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

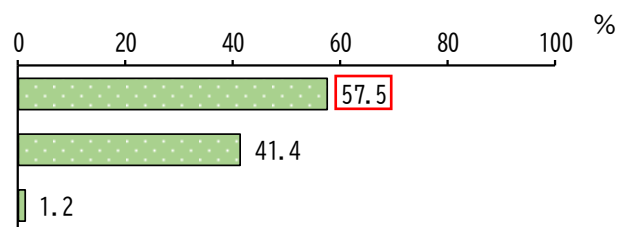
「参加している」の割合が、小学生では 57.5%、中学生では 84.1%となっています。「参加していない」の割合が小学生では 41.4%、中学生では 15.5%となっています。

中学生調査を全国調査と比べると、大きな差はみられません。

【小学生調査】

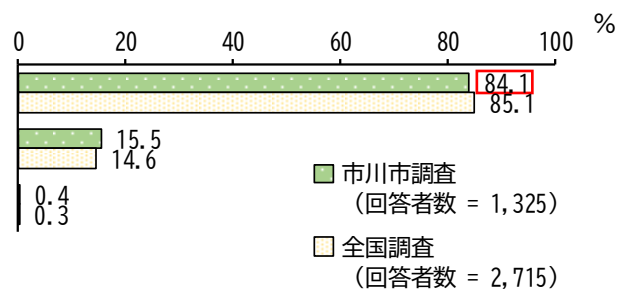
回答者数 = 1,208

参加している
参加していない
無回答



【中学生調査】

参加している
参加していない
無回答



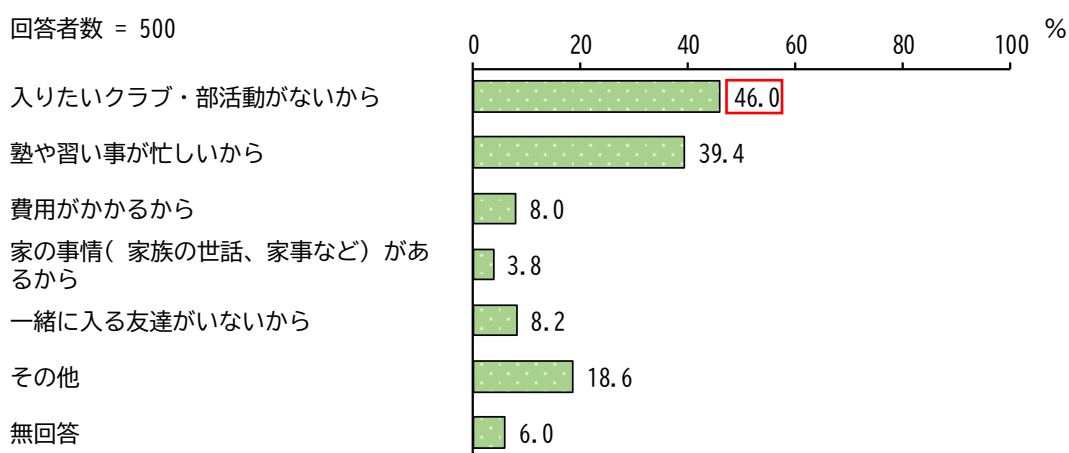
※全国調査：ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書（小学生：令和4年3月、中学生：令和3年3月）

問 12 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

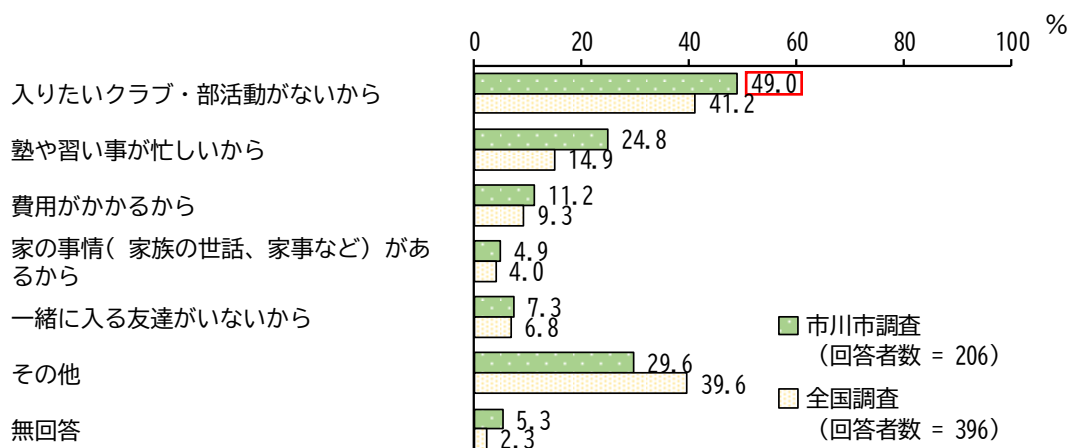
「入りたいクラブ・部活動がないから」の割合が、小学生では 46.0%と最も高く、中学生でも 49.0%と最も高くなっています。次いで「塾や習い事が忙しいから」の割合が、小学生では 39.4%、中学生では 24.8%となっています。

中学生調査を全国調査と比べると、「入りたいクラブ・部活動がないから」「塾や習い事が忙しいから」の割合が高くなっています。

【小学生調査】



【中学生調査】



○主なその他意見 (原文のまま記載)

- ・入りがたいから
- ・運動がきらいだから
- ・一人の時間が大切だから
- など

※全国調査：ヤングケアラーの実態に関する調査研究報告書 (小学生：令和 4 年 3 月、中学生：令和 3 年 3 月)

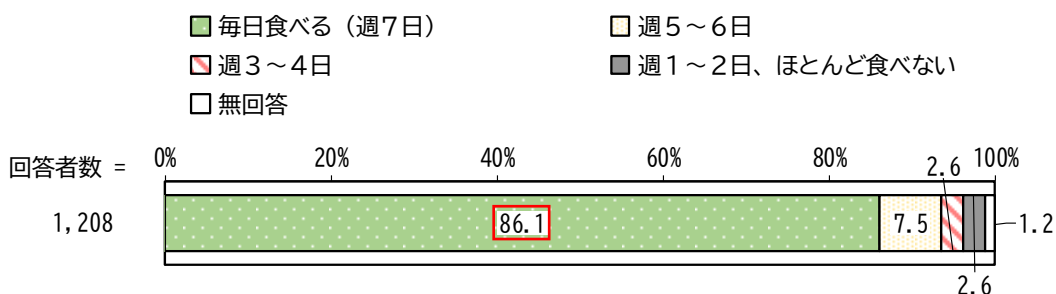
問 13 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。(a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

食事のとり方で、朝食について、「毎日食べる（週7日）」の割合が、小学生で86.1%、中学生で77.2%と最も高くなっているものの、中学生では、3割弱の欠食者がいる状況となっています。

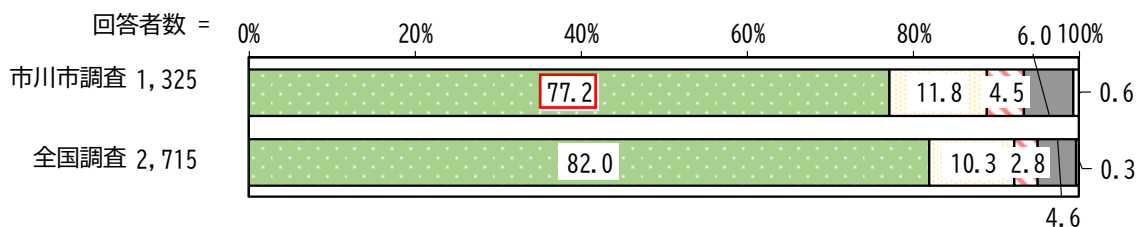
中学生調査を全国調査と比べると、全国調査に比べ「毎日食べる（週7日）」の割合がわずかですが低くなっています。

a) 朝食

【小学生調査】

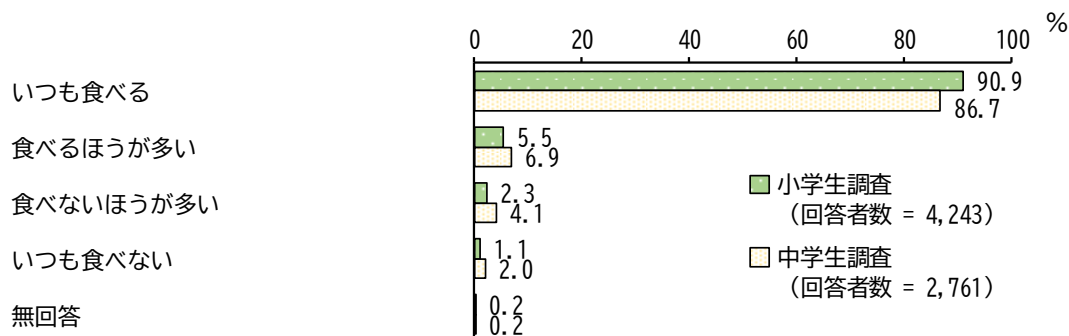


【中学生調査】



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【県調査】 ※選択肢が異なるため参考



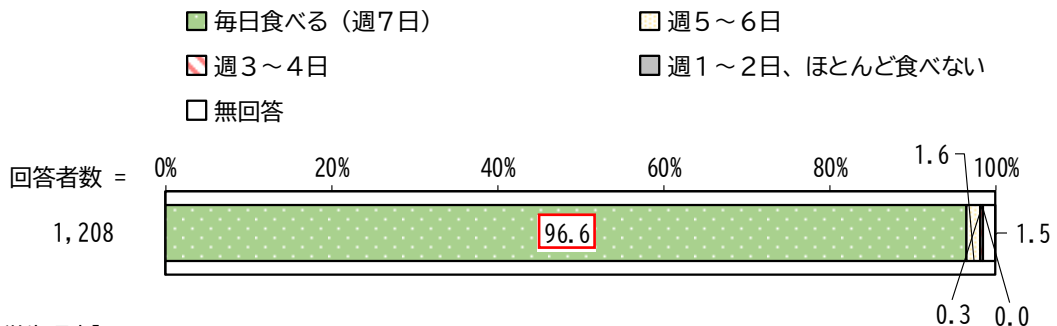
※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

b) 夕食

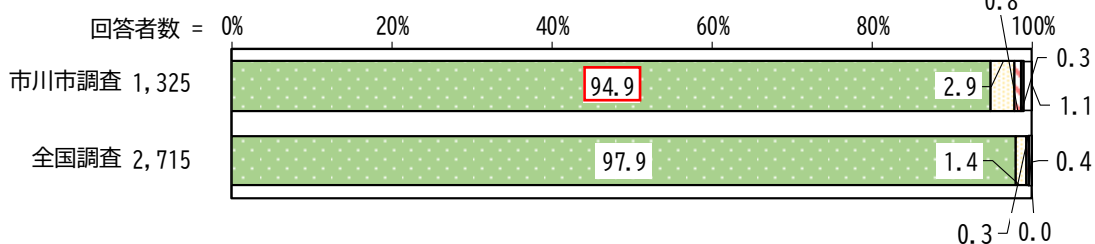
「毎日食べる（週7日）」の割合が、小学生では96.6%と最も高く、中学生でも94.9%と最も高くなっています。

中学生調査を全国調査と比べ、大きな差はみられません。

【小学生調査】

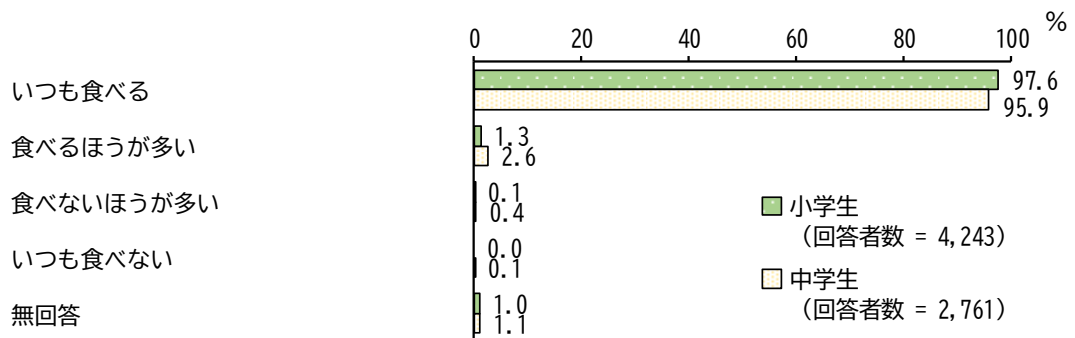


【中学生調査】



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【県調査】 ※選択肢が異なるため参考



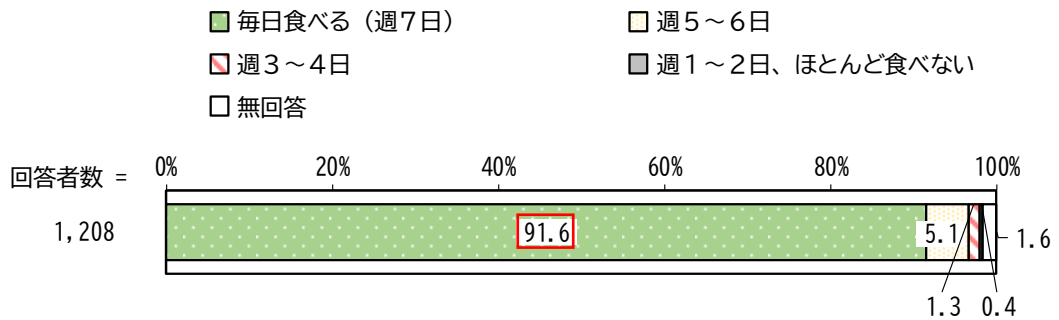
※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食

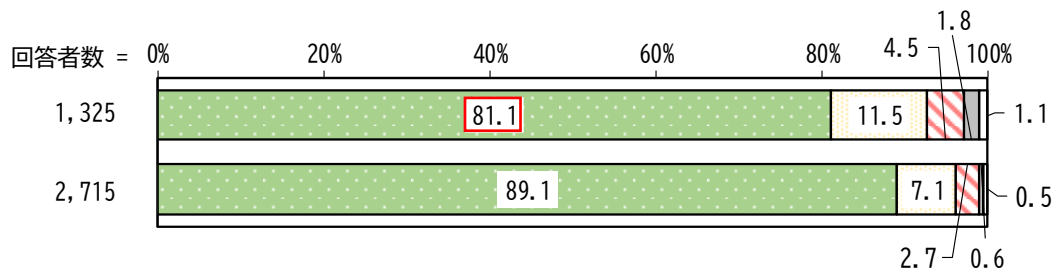
「毎日食べる（週7日）」の割合が、小学生では91.6%と最も高く、中学生でも81.1%と最も高くなっています。

中学生調査を全国調査と比べ、「毎日食べる（週7日）」の割合が低くなっています。

【小学生調査】



【中学生調査】

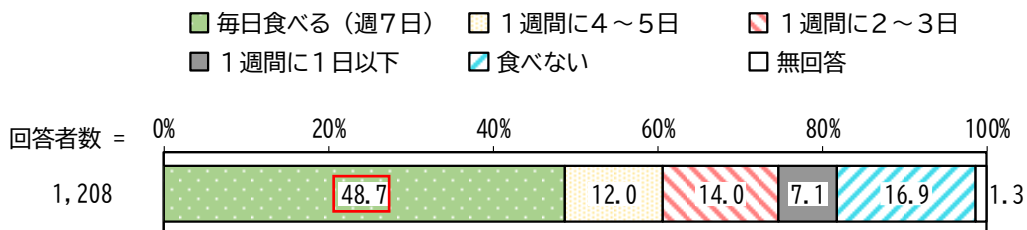


問 14 あなたはおうちの大人の人と、次のようなことをどのくらいしていますか（a, bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

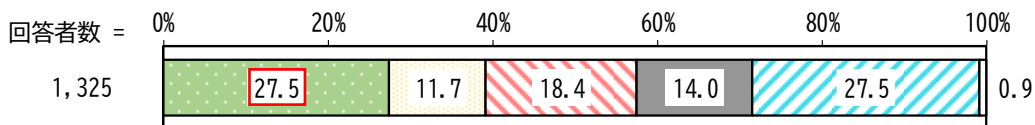
一緒に朝食を食べることについては、「毎日食べる（週7日）」の割合が、小学生で48.7%、中学生で27.5%となっています。

a) 一緒に朝食を食べること

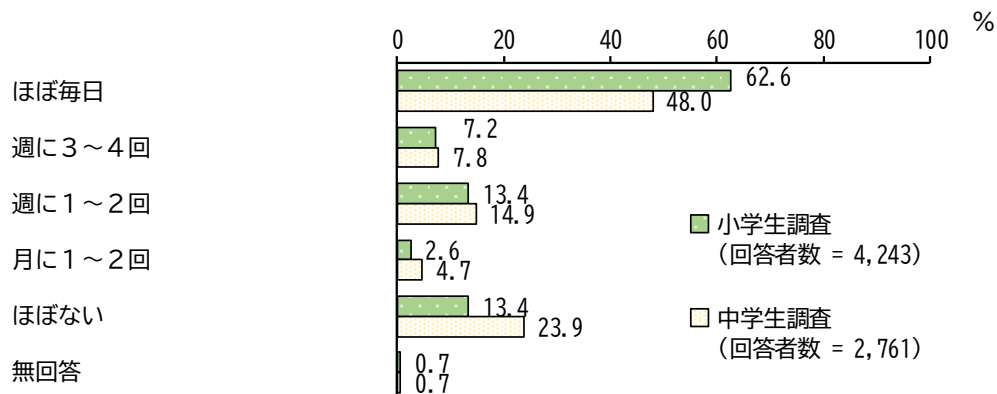
【小学生調査】



【中学生調査】



【県調査】 ※選択肢が異なるため参考

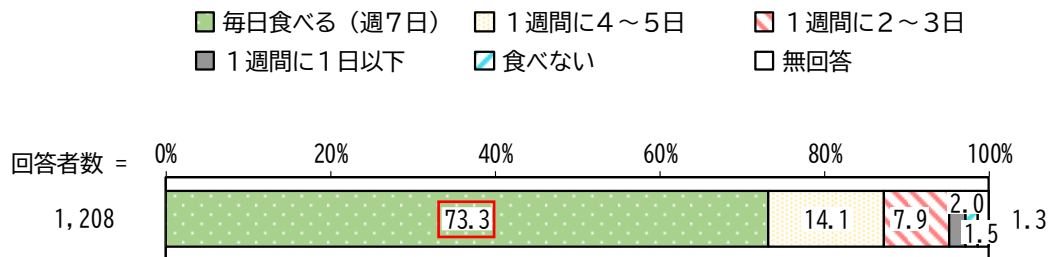


※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

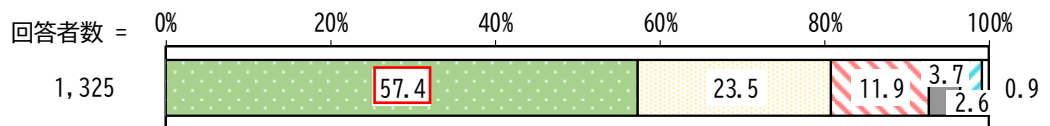
b) 一緒に夕食を食べること

「毎日食べる（週7日）」の割合が、小学生で73.3%、中学生で57.4%となっています。朝食に比べ、夕食における家族と共食ができていない割合が高い状況ではあるものの、中学生は、夕食においても、4割強が毎日共食できていない状況です。

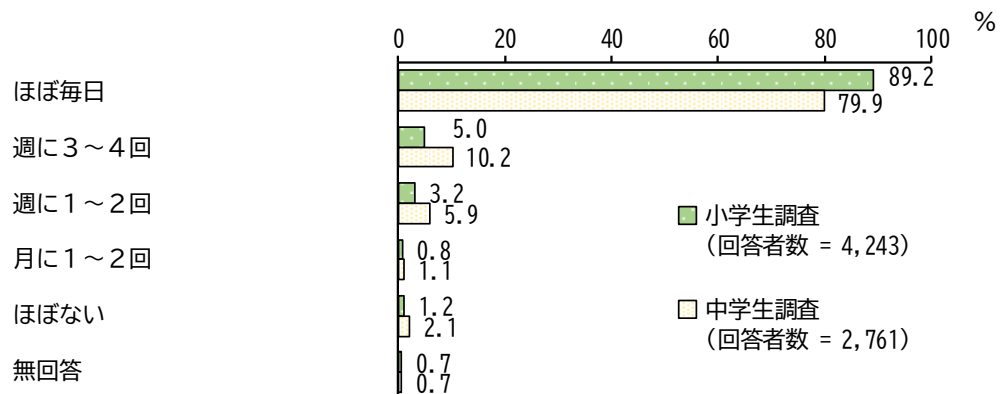
【小学生調査】



【中学生調査】



【県調査】 ※選択肢が異なるため参考



※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

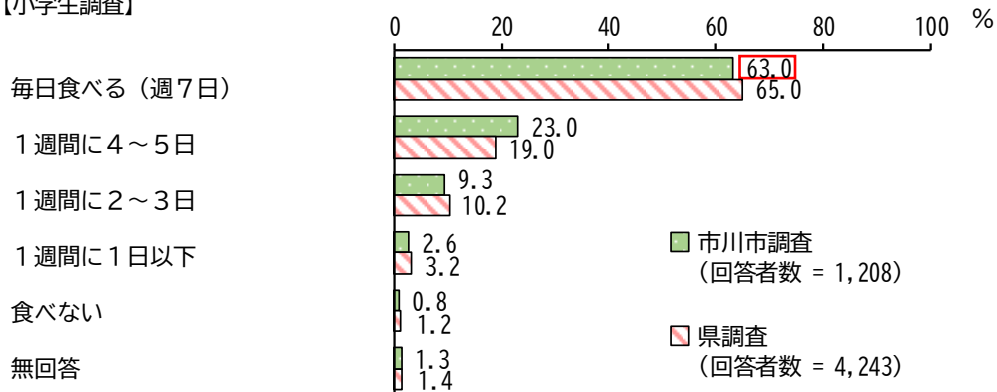
問 15 あなたは、給食を除いて、以下の食べ物をふだんどのくらい食べますか
 (a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 野菜

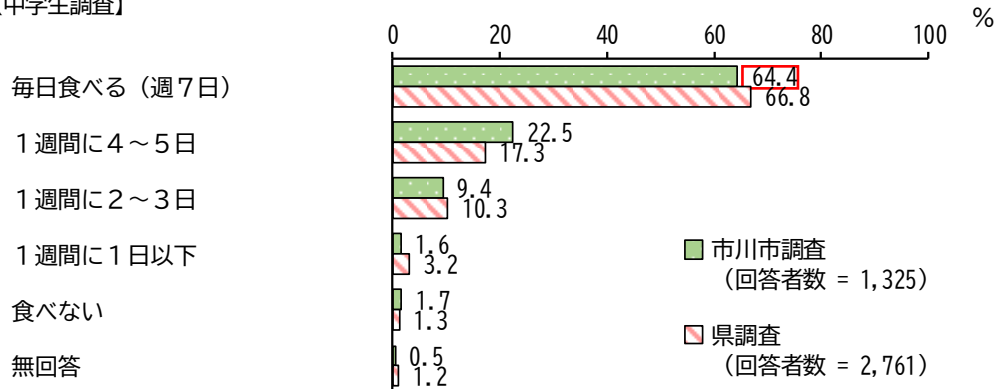
「毎日食べる(週7日)」の割合が、小学生では63.0%と最も高く、中学生でも64.4%と最も高くなっています。次いで「1週間に4～5日」の割合が、小学生では23.0%、中学生では22.5%となっています。

中学生調査を県調査と比べると、「1週間に4～5日」の割合が高くなっています。

【小学生調査】



【中学生調査】



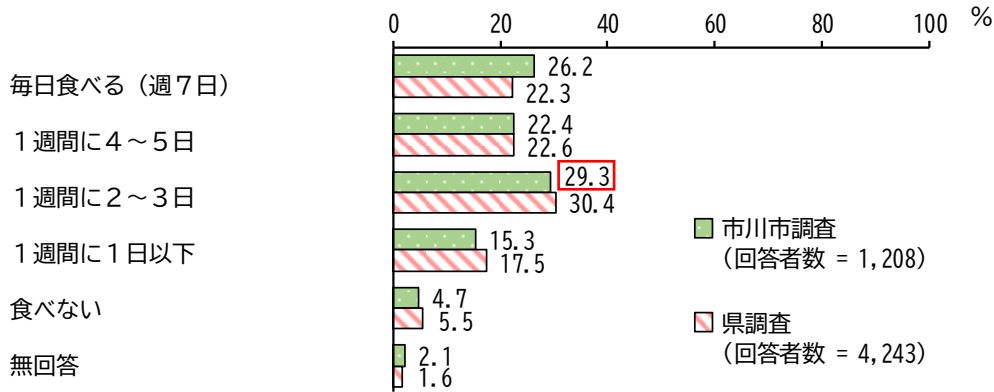
※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

b) くだもの

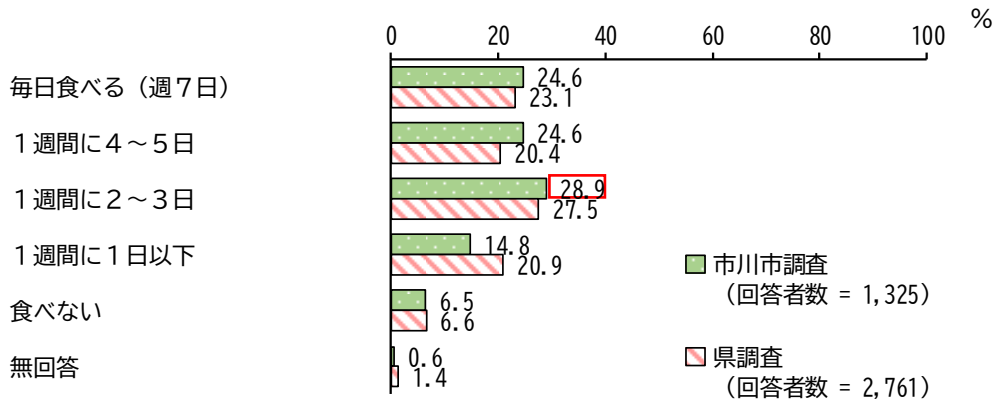
「1週間に2～3日」の割合が、小学生では29.3%と最も高く、中学生でも28.9%と最も高くなっています。次いで「毎日食べる（週7日）」の割合が小学生では26.2%、中学生では24.6%となっています。

中学生調査を県調査と比べると、「1週間に1日以下」の割合が低くなっています。

【小学生調査】



【中学生調査】



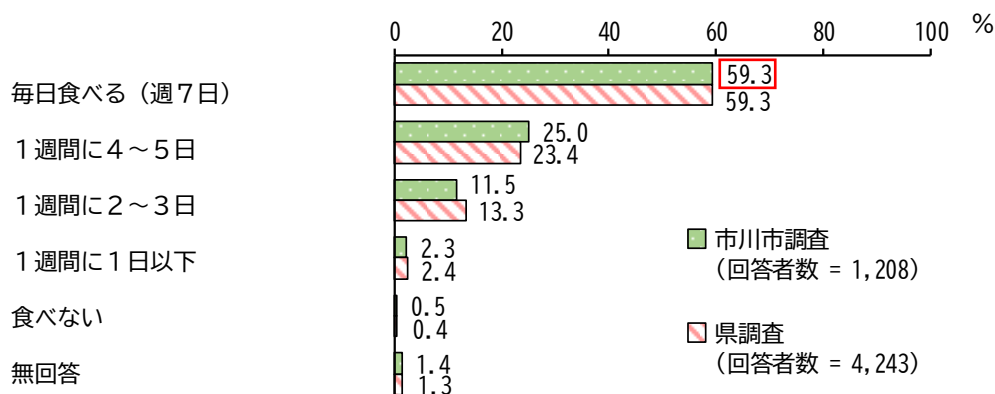
※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

c) 肉か魚

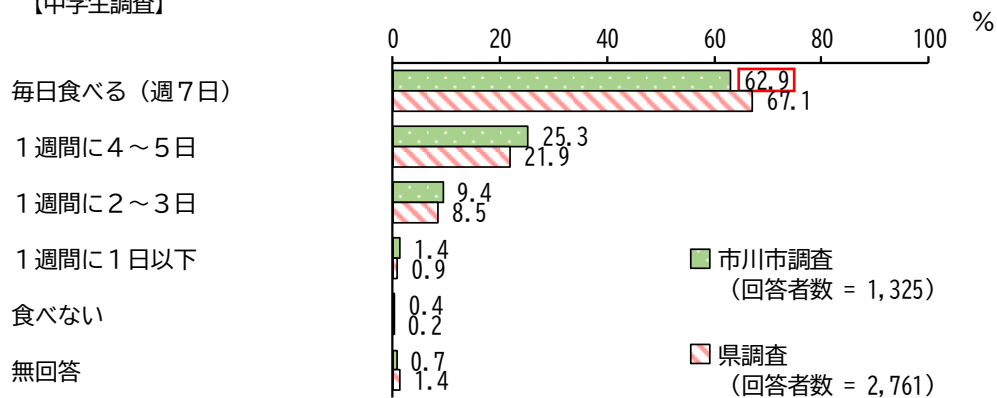
「毎日食べる（週7日）」の割合が、小学生では59.3%と最も高く、中学生でも62.9%と最も高くなっています。次いで「1週間に4～5日」の割合が、小学生では25.0%、中学生では25.3%となっています。

中学生調査を県調査と比べると、大きな差はみられません。

【小学生調査】



【中学生調査】



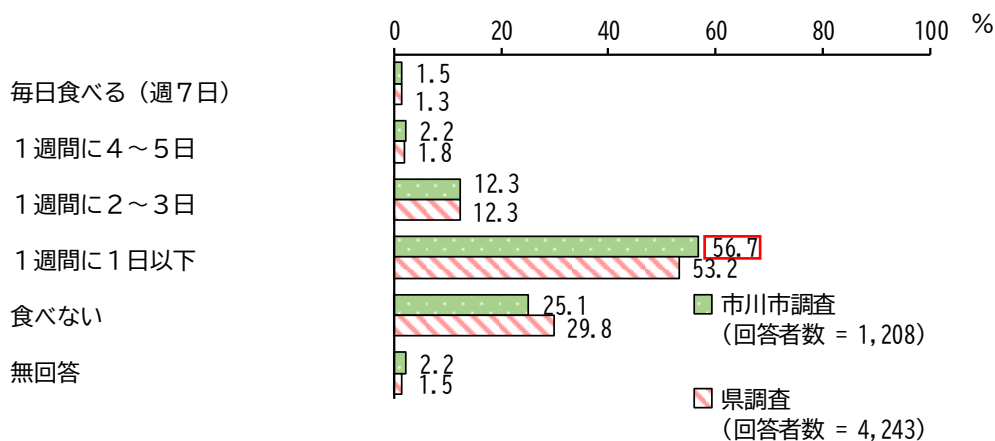
※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

d) カップめん・インスタントめん

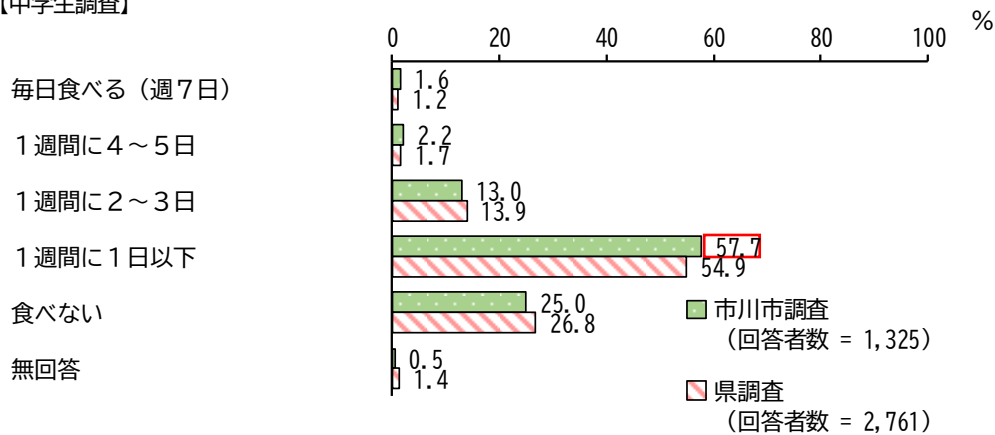
「1週間に1日以下」の割合が、小学生では56.7%と最も高く、中学生でも57.7%と最も高くなっています。「食べない」の割合が小学生では25.1%、中学生では25.0%となっています。

中学生調査を県調査と比べると、大きな差はみられません。

【小学生調査】



【中学生調査】



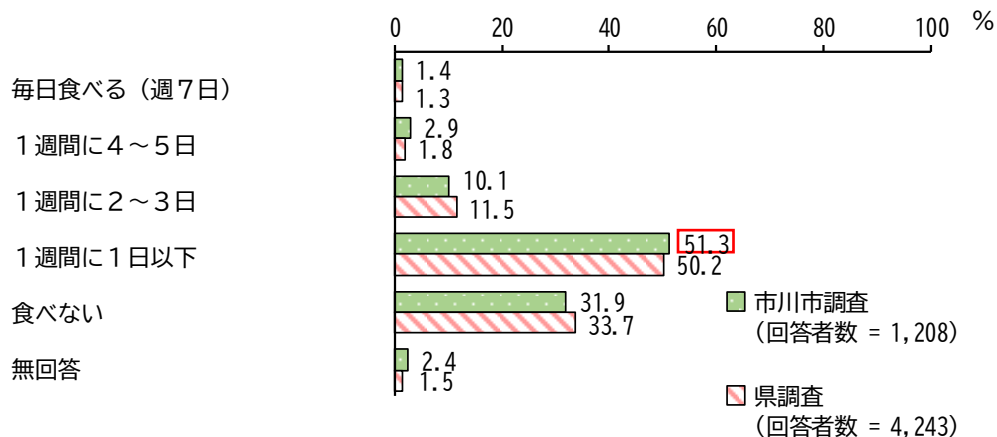
※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

e) コンビニのおにぎり・お弁当

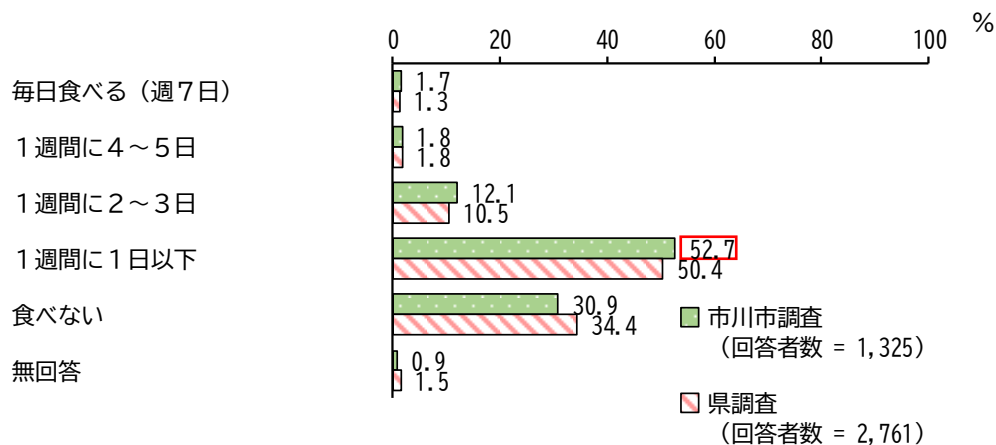
「1週間に1日以下」の割合が、小学生では51.3%と最も高く、中学生でも52.7%と最も高くなっています。次いで「食べない」の割合が小学生では31.9%、中学生では30.9%となっています。

中学生調査を県調査と比べると、大きな差はみられません。

【小学生調査】



【中学生調査】



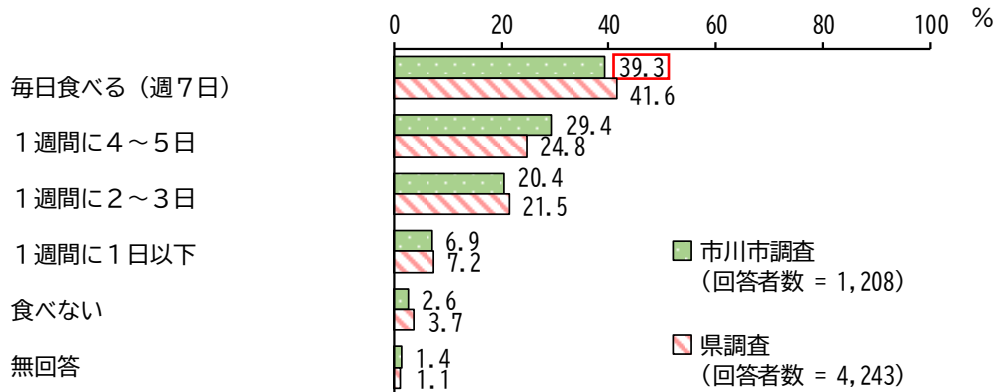
※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

f) お菓子

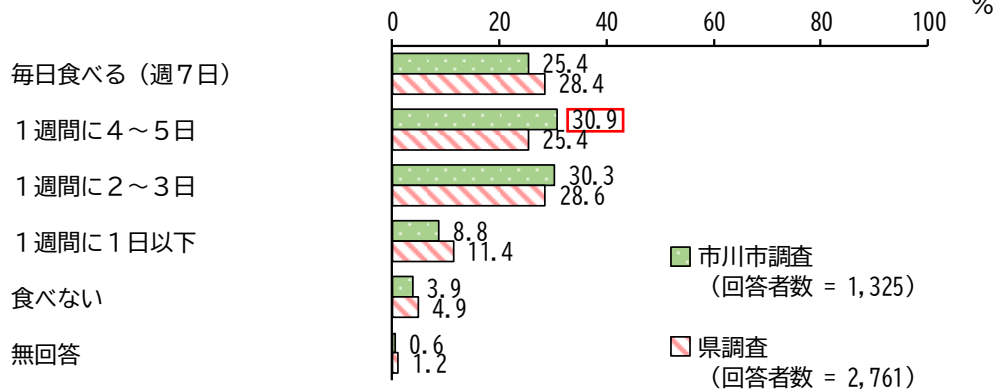
「毎日食べる（週7日）」の割合が、小学生では39.3%と最も高くなっています。「1週間に4～5日」の割合が、中学生では30.9%と最も高くなっています。

中学生調査を県調査と比べると、大きな差はみられません。

【小学生調査】



【中学生調査】



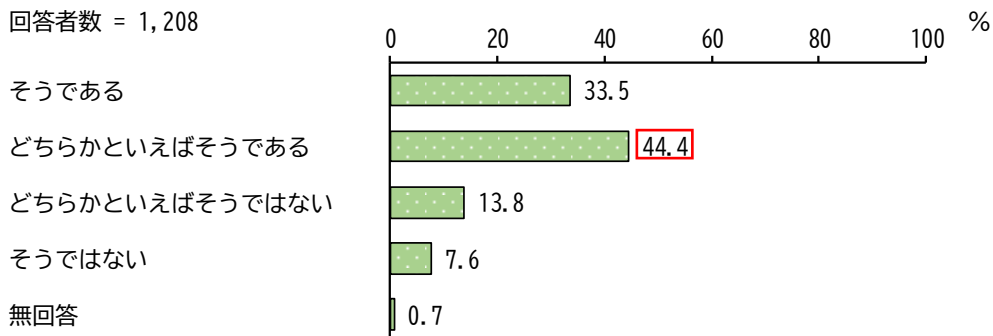
※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

問 16 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。
(あてはまるもの1つに○)

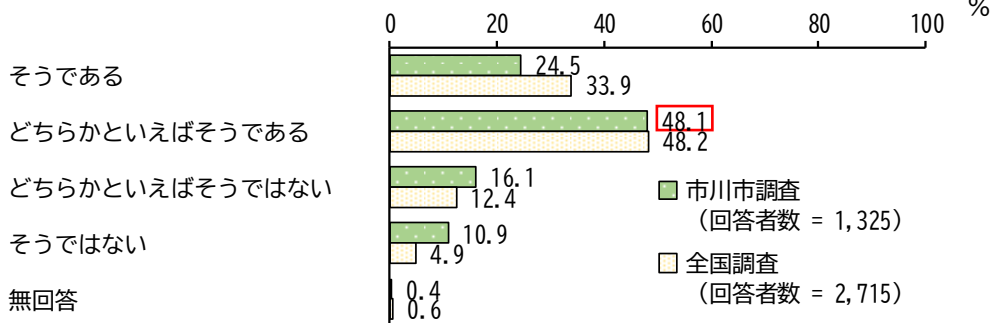
「どちらかといえばそうである」の割合が、小学生では44.4%と最も高く、中学生では48.1%と最も高くなっています。次いで「そうである」の割合が、小学生では33.5%、中学生では24.5%となっています。「どちらかといえばそうではない」の割合が小学生で13.8%となっています。

【小学生調査】

回答者数 = 1,208



【中学生調査】



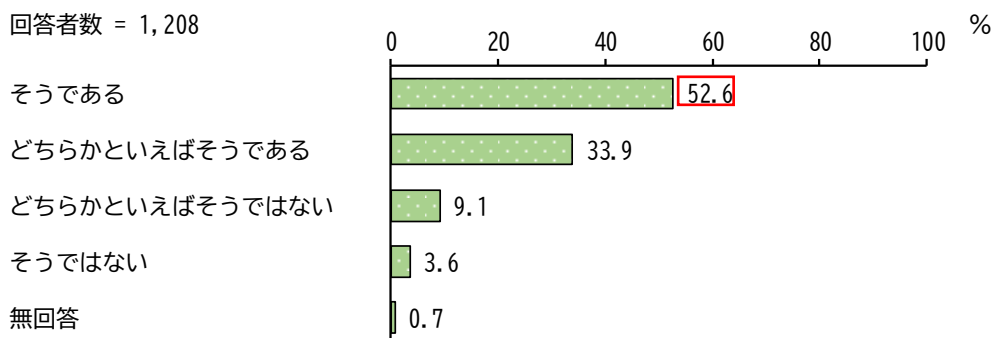
※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

問 17 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に起きていますか。
(あてはまるもの1つに○)

「そうである」の割合が、小学生では 52.6%と最も高く、中学生でも 46.9%と最も高くなっています。次いで「どちらかといえばそうである」の割合が、小学生では 33.9%、中学生では 39.8%となっています。

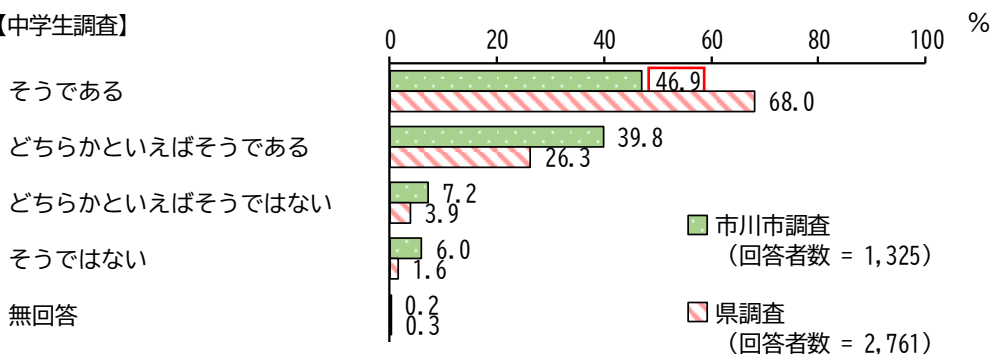
【小学生調査】

回答者数 = 1,208



【中学生調査】

回答者数 = 1,325

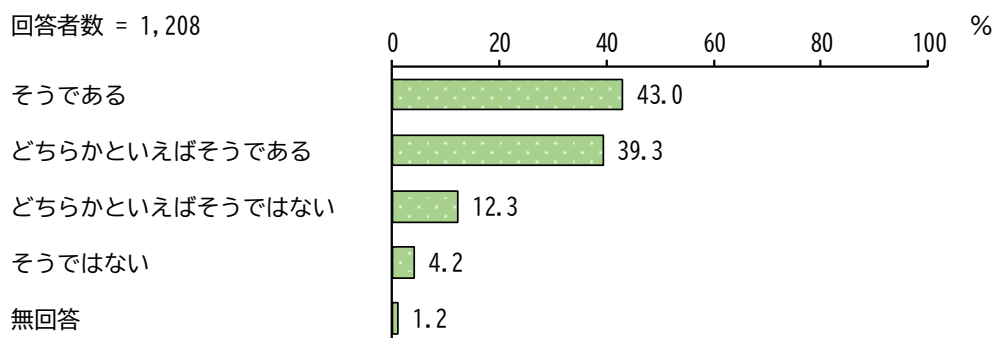


※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

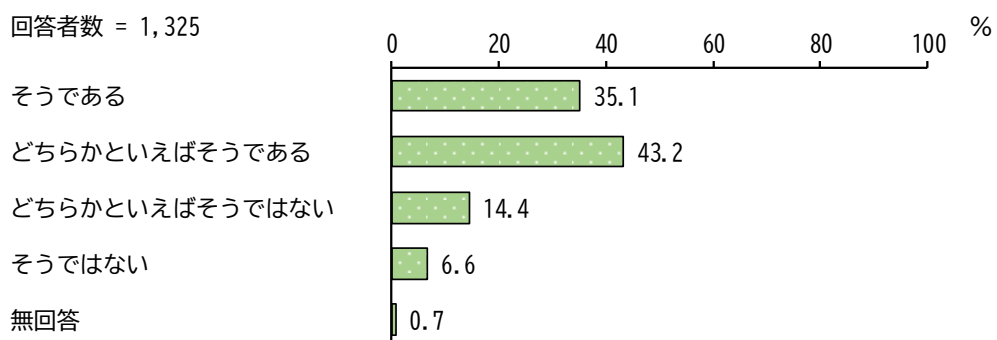
問 18 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に食事をしてますか。(あてはまるもの1つに○)

「そうである」の割合が、小学生では 43.0%と最も高く、中学生では 35.1%となっています。「どちらかといえばそうである」の割合は、小学生では 39.3%と2番目に高く、中学生では 43.2%と最も高くなっています。

【小学生調査】



【中学生調査】



【まとめ】

- ・朝食の欠食率は、学年が上がるにつれ高く、全国調査と比べても、中学生で毎日朝食を食べている割合は低くなっています。また、誰かと一緒に食べる共食の状況も、学年が上がるにつれ低くなっています。生活習慣の乱れや栄養の偏りに繋がることが考えられるため、すべての子育て家庭が安定した生活を送れるよう、親子の健康の維持・増進を図る必要があります。
- ・夏休みや冬休みなどの期間の昼食の欠食率も同様に、学年が上がるにつれて高くなっています。
- ・「平日同じ時間に起きているか」については、県調査と比べて、「そうである」の割合が低く、起きる時間が定まっていない子供が多いことが分かります。
- ・どのような環境の家庭においても、規則正しい生活習慣を身につけられるように支援していくことが必要です。
- ・給食以外で普段食べているものについては、概ね県調査と同等の結果となっています。
- ・同じ時間に寝起きすることに関しては、学年が上がるにつれて、同じ時間に寝起きすると答える割合が低くなっており、健康に影響が出てくることが考えられます。

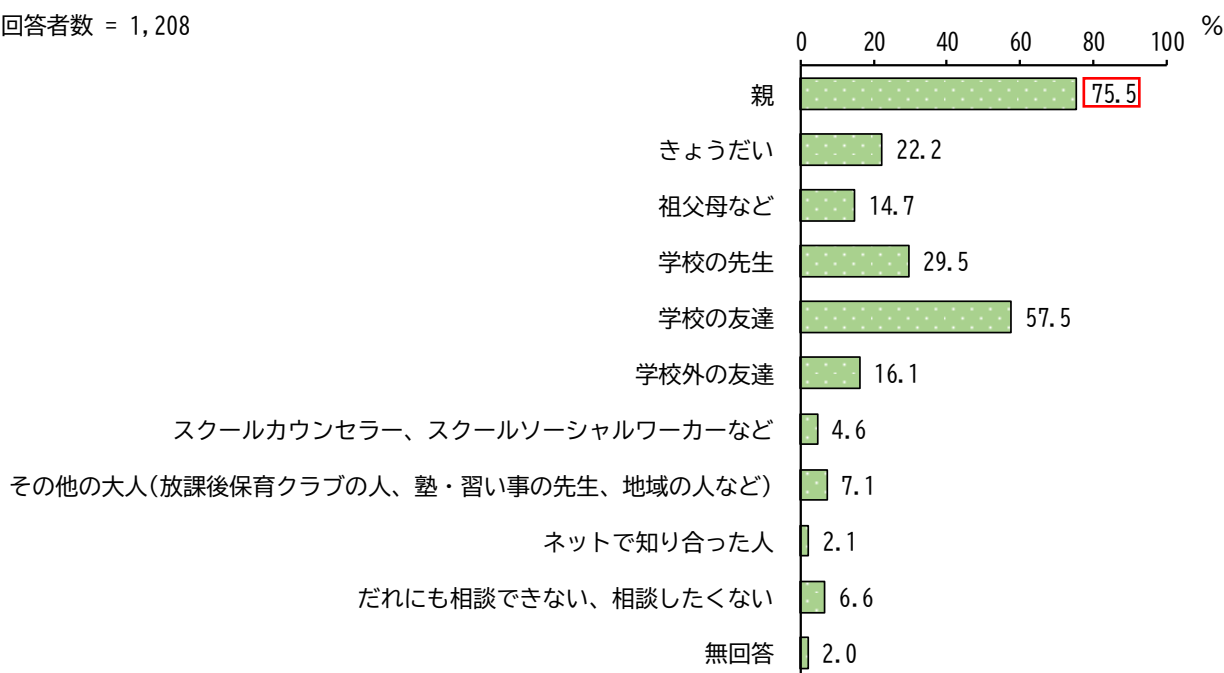
問 19 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると
思う人はだれですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

「親」の割合が、小学生では75.5%と最も高く、中学生では64.5%となっています。
「学校の友達」の割合は、小学生では57.5%と2番目に高く、中学生では67.0%と最も
高くなっています。

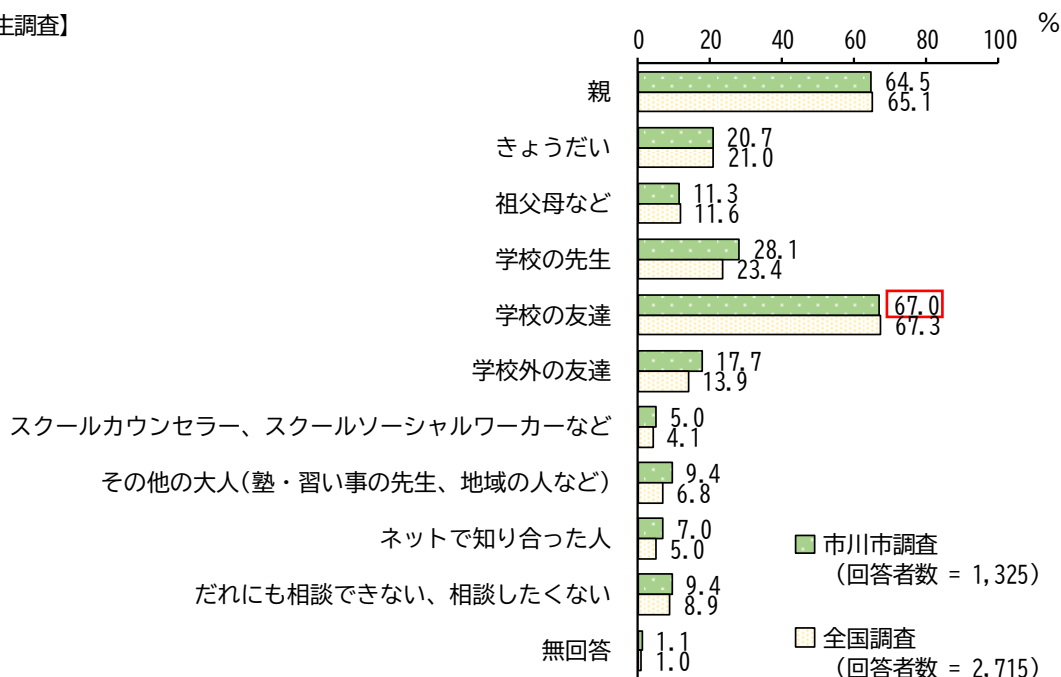
中学生調査を全国調査と比べ、大きな差はみられません。

【小学生調査】

回答者数 = 1,208



【中学生調査】



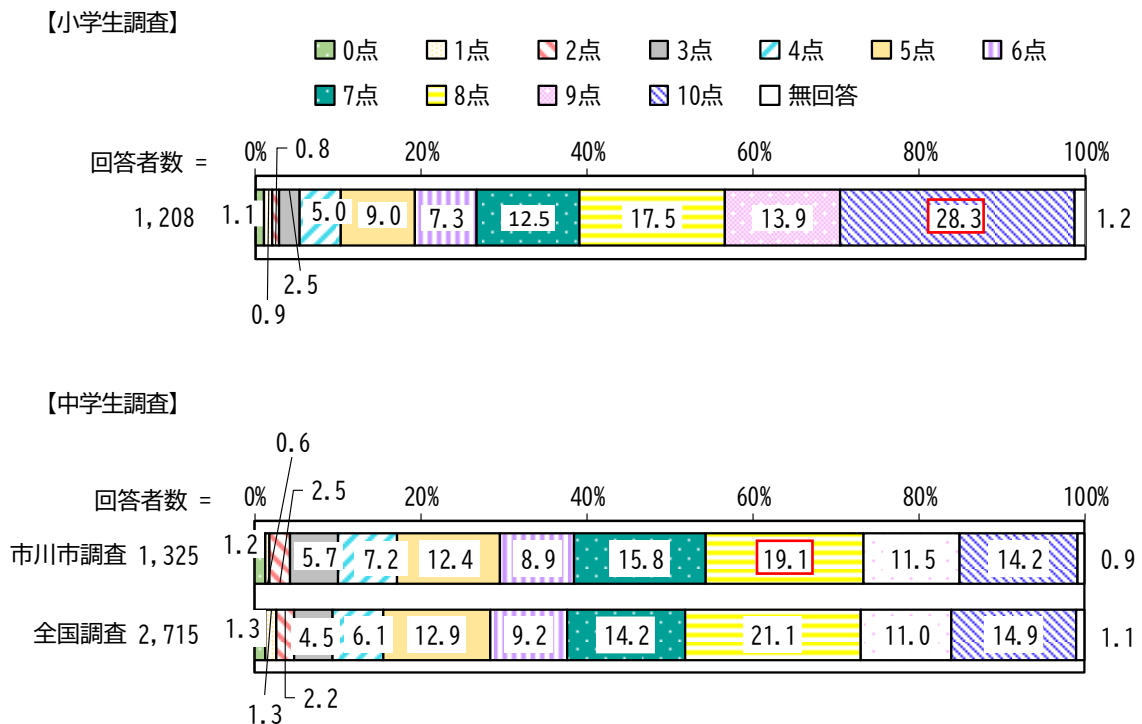
※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

問 20 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。
「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字
で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

小学生では、「10」の割合が 28.3%と最も高く、次いで「8」の割合が 17.5%、「9」の割合が 13.9%となっています。

中学生では、「8」の割合が 19.1%と最も高く、次いで「7」の割合が 15.8%、「10」の割合が 14.2%となっています。

中学生調査を全国調査と比べ、「7点」「9点」の割合がわずかに高くなっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

問 21 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。(a~o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

子どもの心理的な状態

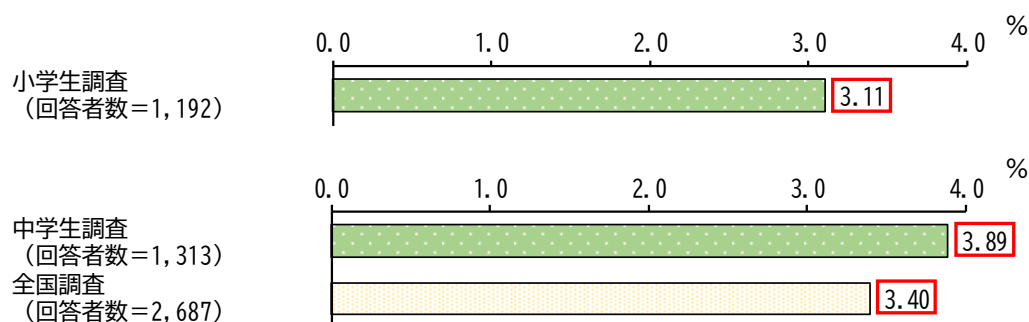
「子どもの心理的な状態」に関して、本調査では「強さと困難さアンケート (SDQ : Strengths and Difficulties Questionnaire)」の調査項目のうち、「情緒 (不安や抑うつなど)」の問題、「仲間関係」の問題、「向社会性」を把握するための項目を設定しました。

(1) 情緒の問題

問 21 の以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。(SA)

- b. 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。
- e. 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。
- h. 私は、落ち込んでしずんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。
- j. 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。
- o. 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。

子どもの心理的な状態について、5つの項目の結果を足し合わせて、スコアを算出した(0~10点)。「情緒の問題」(得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)に関しては、小学生で3.11点、中学生で3.89点となっており、全国調査を上回っています。



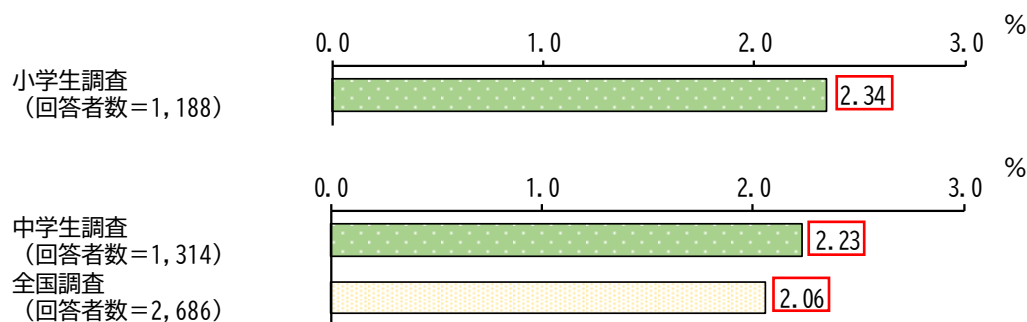
※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書 (令和3年12月)

(2) 仲間関係の問題

問 21. 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。(SA)

- d. 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。
- g. 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。
- i. 私は、同じくらいの年齢の子どもからは、だいたいは好かれている。
- l. 私は、他の子どもから、いじめられたり、からかわれたりする。
- n. 私は、他の子どもたちより、大人という方がうまくいく。

「仲間関係の問題」(得点が高いほど、問題性が高いと考えられる)に関しては、小学生で 2.34 点、中学生で 2.23 点となっており、全国調査を上回っています。



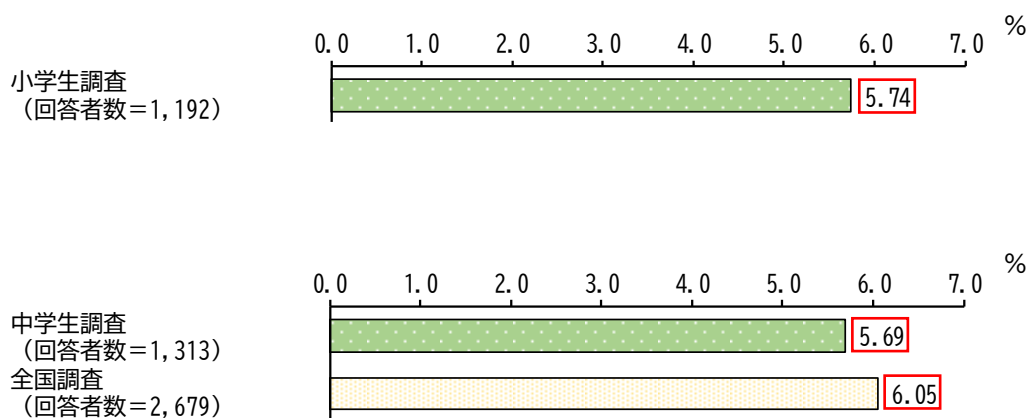
※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

(3) 向社会性

問 21. 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。(SA)

- a. 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。
- c. 私は、他の子どもたちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。
- f. 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。
- k. 私は、年下の子どもたちに対してやさしくしている。
- m. 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・子どもたちなど）。

「向社会性」(得点が低いほど、問題性が高いと考えられる)に関して、小学生では 5.74 点、中学生では 5.69 点となっており、全国調査を下回っています。



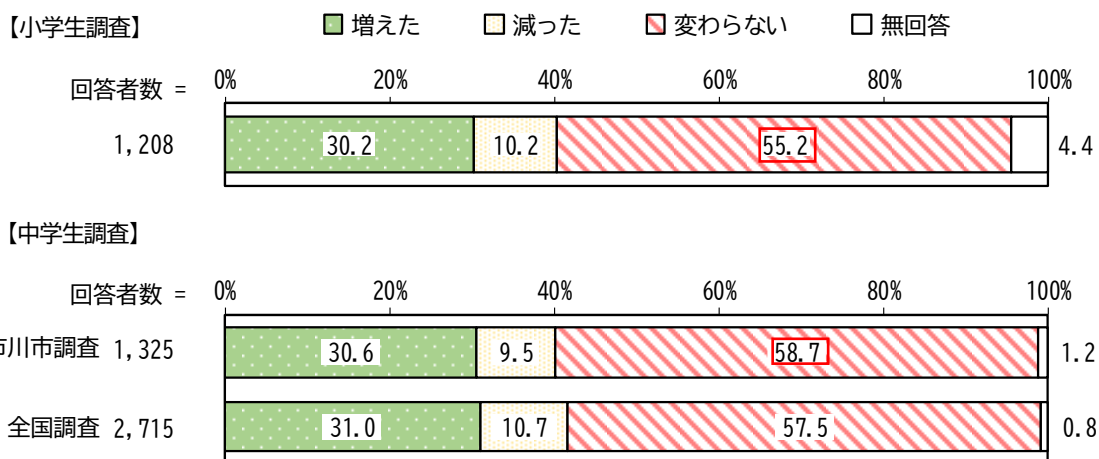
※全国調査：令和 3 年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和 3 年 12 月）

問 22 あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。（a～gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 学校の授業以外で勉強する時間

「変わらない」の割合が、小学生では55.2%と最も高く、中学生でも58.7%と最も高くなっています。次いで「増えた」の割合が小学生では30.2%、中学生では30.6%となっています。

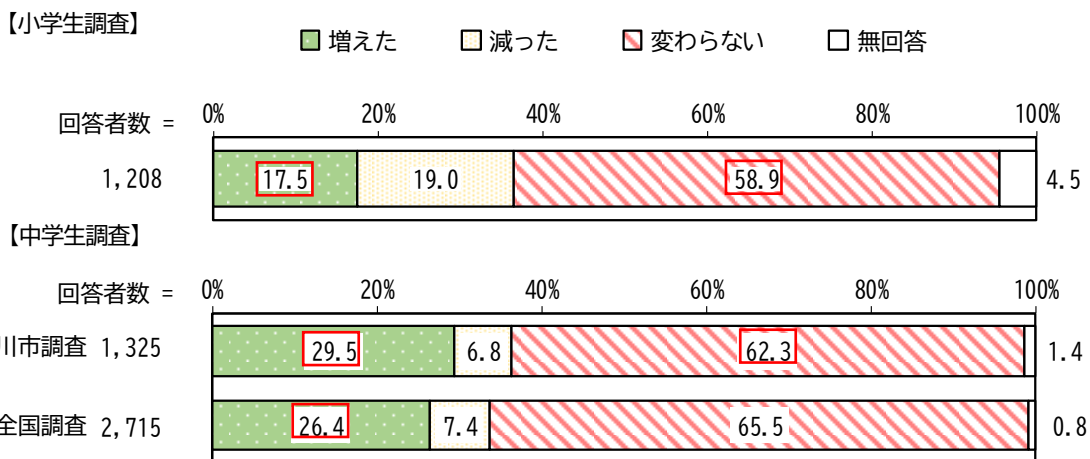
中学生調査を全国調査と比べると、大きな差はみられません。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

b) 学校の授業がわからないと感じること

現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、どのように変わったと思うかについて、「学校の授業がわからないと感じること」が、小学生では、「変わらない」の割合が58.9%と最も高いものの、「増えた」の割合が17.5%となっています。中学生でも、「変わらない」の割合が62.3%と最も高く、次いで「増えた」の割合が29.5%となっています。

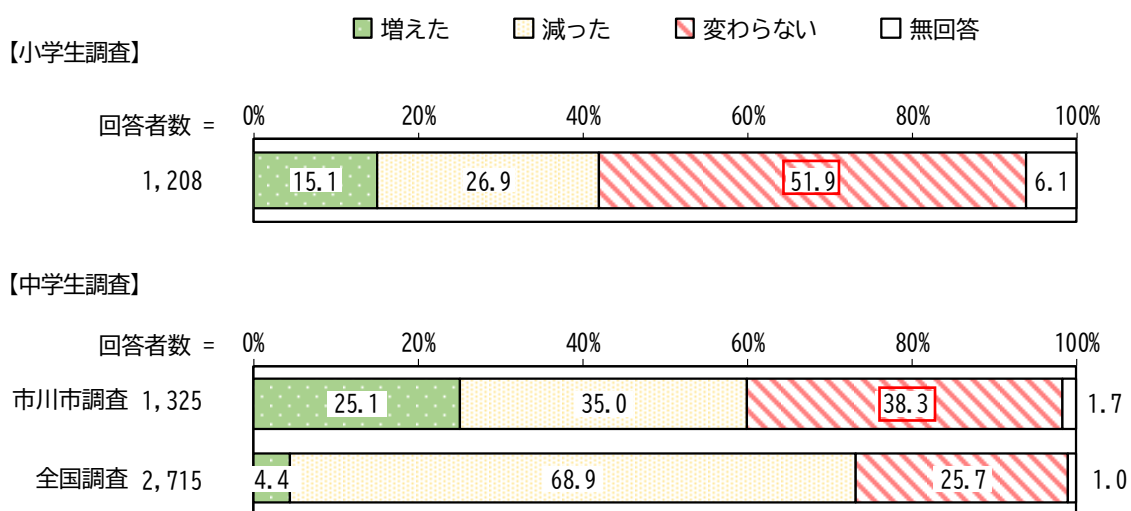


※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数

「変わらない」の割合が、小学生では 51.9%と最も高く、中学生でも 38.3%と最も高くなっています。次いで「減った」の割合が、小学生では 26.9%、中学生では 35.0%となっています。「増えた」の割合が、小学生では 15.1%、中学生では 25.1%となっています。

中学生調査を全国調査と比べ、「増えた」「変わらない」の割合が高くなっています。一方、「減った」の割合が低くなっています。

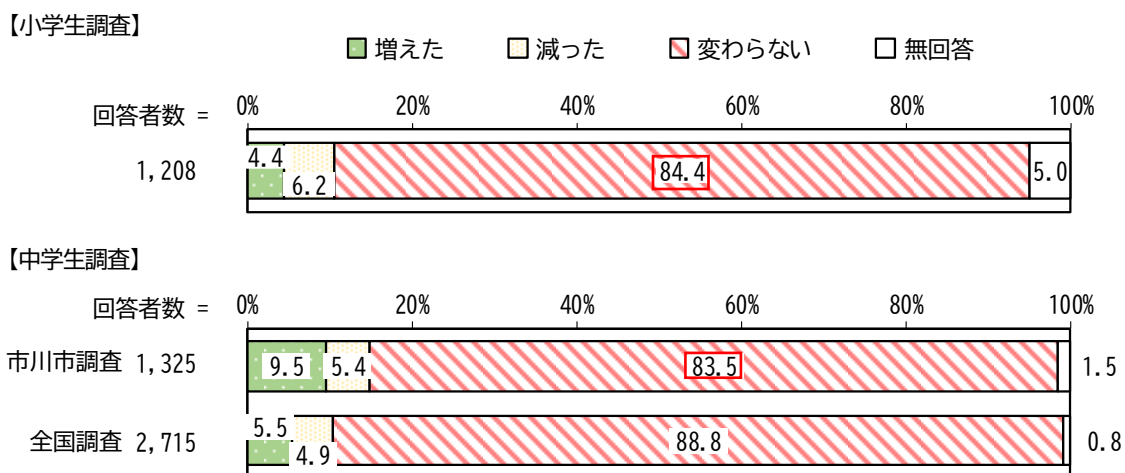


※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

d) 食事を抜く回数

「変わらない」の割合が、小学生では 84.4%と最も高く、中学生でも 83.5%と最も高くなっています。

中学生調査を全国調査と比べ、「変わらない」の割合が低くなっています。



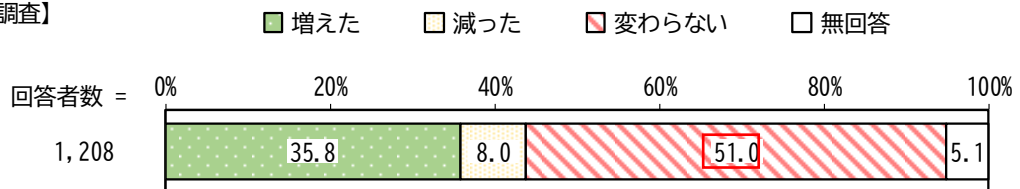
※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

e) 夜遅くまで起きている回数

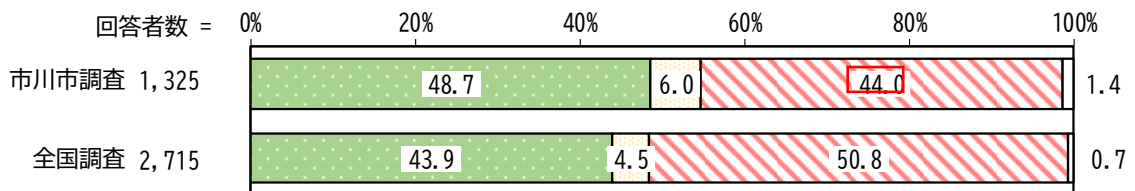
「変わらない」の割合が、小学生では 51.0%と最も高く、中学生では 44.0%となっています。「増えた」の割合は、小学生では 35.8%と 2 番目に高く、中学生では 48.7%と最も高くとなっています。

中学生調査を全国調査と比べ、「変わらない」の割合が低くなっています。

【小学生調査】



【中学生調査】



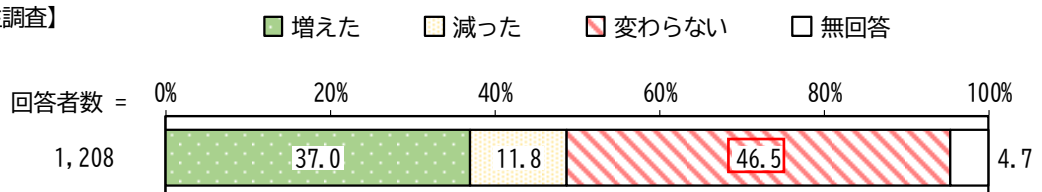
※全国調査：令和 3 年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和 3 年 12 月）

f) 親以外の大人や友達と話をすること

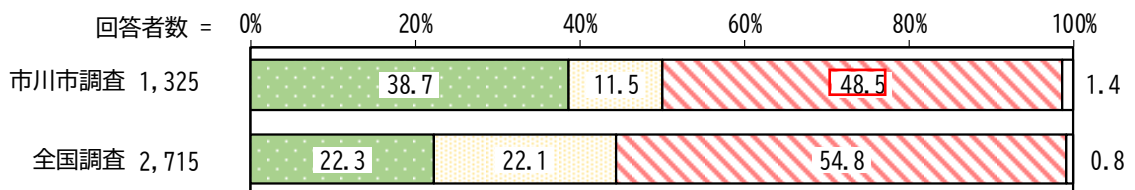
「変わらない」の割合が、小学生では 46.5%と最も高く、中学生でも 48.5%と最も高くなっています。次いで「増えた」の割合が小学生では 37.0%、中学生では 38.7%となっています。

中学生調査を全国調査と比べ、「増えた」の割合が高くなっています。一方、「減った」「変わらない」の割合が低くなっています。

【小学生調査】



【中学生調査】

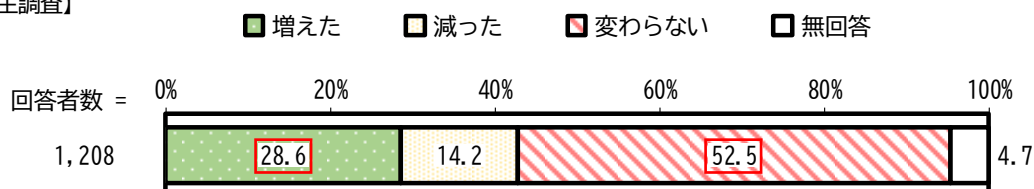


※全国調査：令和 3 年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和 3 年 12 月）

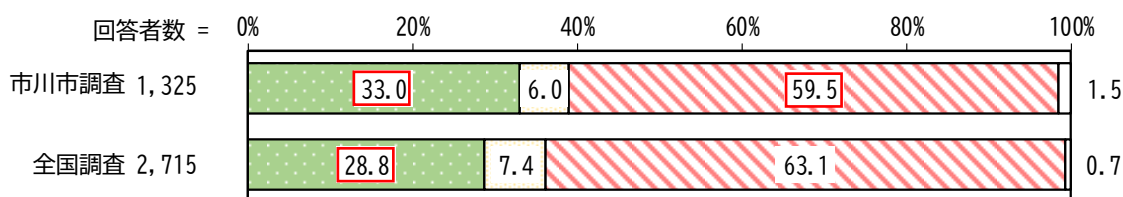
g) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

「イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと」が、小学生では、「変わらない」の割合が 52.5%と最も高いものの、次いで「増えた」の割合が 28.6%となっています。中学生でも、「変わらない」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「増えた」の割合が 33.0%となっています。

【小学生調査】



【中学生調査】



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【まとめ】

- ・相談できる相手は学年があがるにつれて「親」から「学校の友達」にシフトするため、学校内で交友関係を築けるよう、学校側の配慮が必要と考えます。
- ・「生活満足度」は、学年があがるにつれて低下しており、子どもの心理的な状態については不安や抑うつなどの傾向が高くなっています。子どもたちへ対する心理的なサポートが必要となっています。
- ・また、家庭の環境や経済的な状況にかかわらず、すべての子どもが夢と希望をもち、等しく健やかに成長していけるよう、地域や社会全体で支援していくことが必要です。
- ・「新型コロナウイルスの影響により授業がわからないと感じる」に関しては、全国調査に比べ、中学生で高くなっており、授業のオンライン化などが影響していると考えられます。
- ・授業のやり方や質問をしやすいような環境づくりが必要となっています。
- ・地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数は、全国調査に比べ、「増えた」の割合が高くなっており、新型コロナウイルスの影響が薄れてきていることが考えられます。
- ・食事を抜く回数は概ね全国調査と変わらない結果となっています。
- ・地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数が増えたことにより、宿題や自分の時間を過ごす時間が後ろにずれ、夜遅くまで起きている回数が若干増えていると考えられます。
- ・イライラや不安を感じたり、気分が沈むことが「増えた」の割合は学年があがるにつれて増加しています。「生活満足度」と同様に子どもたちへの配慮が必要です。

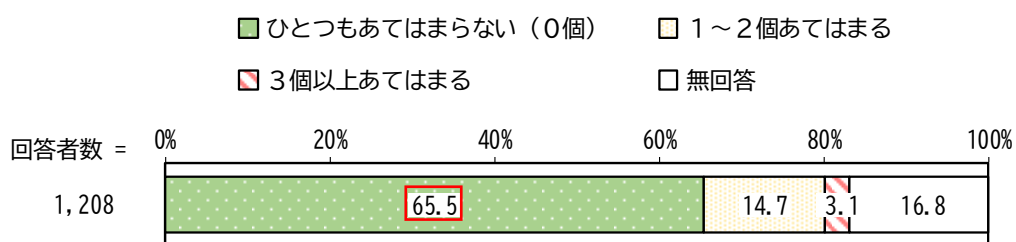
問 23 あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- 2 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- 3 家族のだれからも愛されていない、大切にされていない、支えてもらっていないと感じることがある
- 4 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- 5 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- 6 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- 7 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- 8 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる

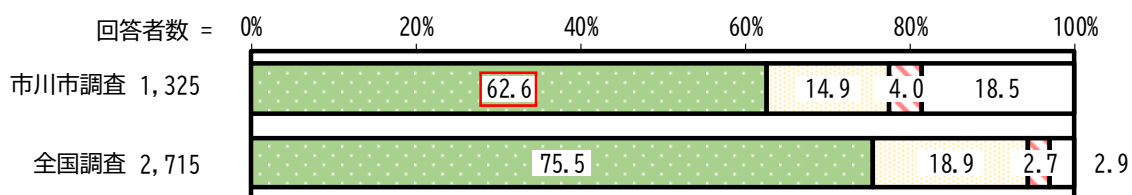
「逆境体験」について、「ひとつもあてはまらない(0個)」の割合が、小学生では65.5%と最も高く、中学生でも62.6%と最も高くなっています。

中学生調査を全国調査と比べると、「ひとつもあてはまらない(0個)」の割合が低くなっています。

【小学生調査】



【中学生調査】



【まとめ】

- ・本市では、全国調査と比べて「1～2個あてはまる」「3個以上あてはまる」を合わせた割合が低く、「逆境体験」の回数が少ないことが分かった。

問 24 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。（a～d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○）

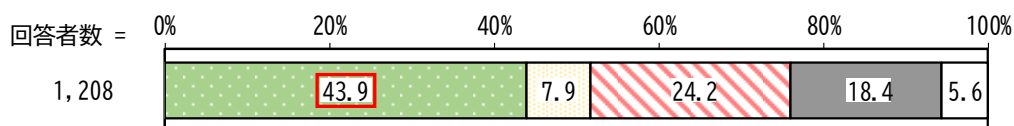
a) (自分や友人の家以外で) 平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (放課後保育クラブ、放課後子ども教室、こども館など)

「利用したことがある」の割合が、小学生では 43.9% と最も高く、中学生でも 40.8% と最も高くなっています。「利用したことはない 今後も利用したいと思わない」の割合が、小学生では 24.2%、中学生では 21.9% となっています。「利用したことはない 今後利用したいかどうか分からない」の割合が、小学生では 18.4%、中学生では 19.7% となっています。

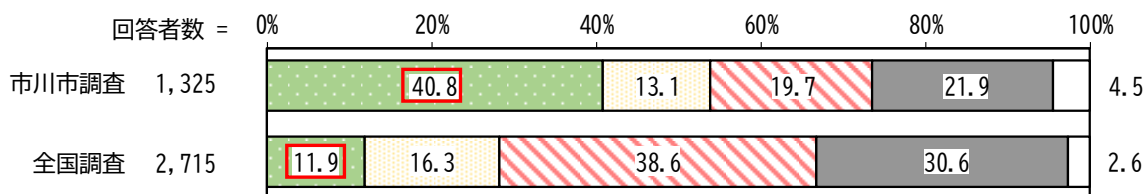
中学生調査を全国調査と比べると、「利用したことがある」の割合が高くなっています。一方、「利用したことはない 今後も利用したいと思わない」「利用したことはない 今後利用したいかどうか分からない」の割合が低くなっています。

【小学生調査】

- 利用したことがある
- 利用したことはない あれば利用したいと思う
- 利用したことはない 今後も利用したいと思わない
- 利用したことはない 今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



【中学生調査】

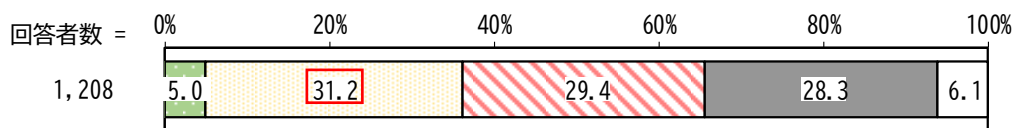


b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料か安く食べることができる場所 (子ども食堂など)

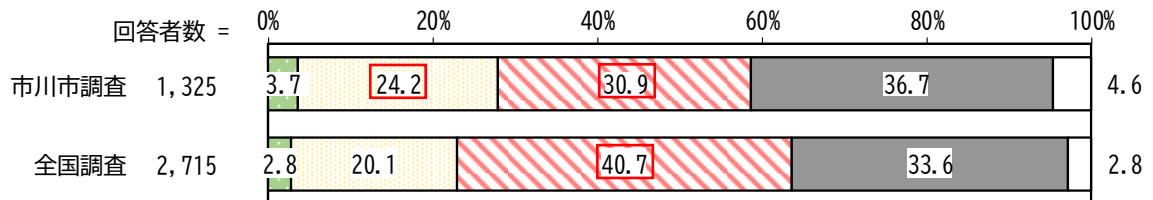
「利用したことはない あれば利用したいと思う」の割合が、小学生では 31.2%と最も高く、中学生では 24.2%となっています。次いで「利用したことはない 今後も利用したいと思わない」の割合が、小学生では 29.4%、中学生では 30.9%と最も高くなっています。

中学生調査を全国調査と比べると、「利用したことはない 今後も利用したいと思わない」の割合が低くなっています。

- 利用したことがある
- 利用したことはない あれば利用したいと思う
- 利用したことはない 今後も利用したいと思わない
- 利用したことはない 今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



【中学生調査】



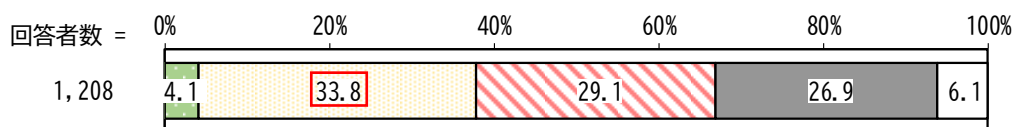
c) 勉強を無料でみてる場所

「利用したことはない あれば利用したいと思う」の割合が、小学生では 33.8%と最も高く、中学生でも 35.2%と最も高くなっています。「利用したことはない 今後も利用したいと思わない」の割合が、小学生では 29.1%、中学生では 27.6%「利用したことはない 今後利用したいかどうか分からない」の割合が 26.9%となっています。

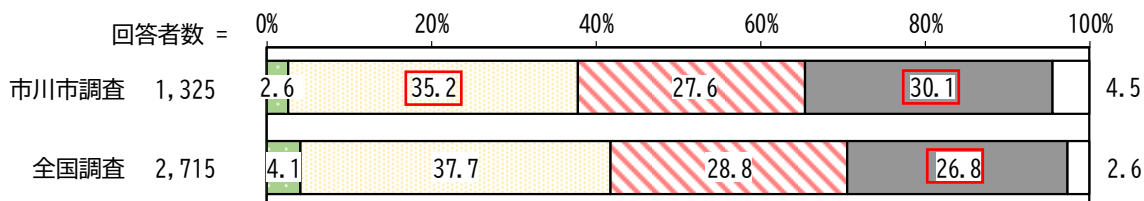
中学生調査を全国調査と比べると、「利用したことはない 今後利用したいかどうか分からない」の割合が高くなっています。

【小学生調査】

- 利用したことがある
- 利用したことはない あれば利用したいと思う
- 利用したことはない 今後も利用したいと思わない
- 利用したことはない 今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



【中学生調査】



d) (家や学校以外で) 何でも相談できる場所 (こども館や電話・ネットの相談を含む。)

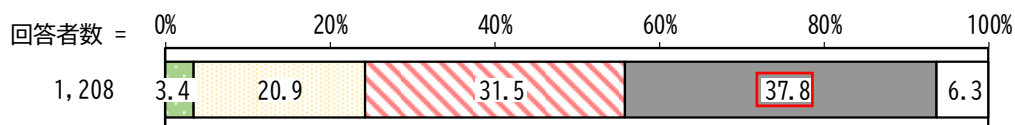
小学生では、「利用したことはない 今後利用したいかどうか分からない」の割合が37.8%と最も高く、次いで「利用したことはない 今後も利用したいと思わない」の割合が31.5%、「利用したことはない あれば利用したいと思う」の割合が20.9%となっています。

中学生では、「利用したことはない 今後利用したいかどうか分からない」の割合が41.7%と最も高く、次いで「利用したことはない 今後も利用したいと思わない」の割合が32.7%、「利用したことはない あれば利用したいと思う」の割合が17.8%となっています。

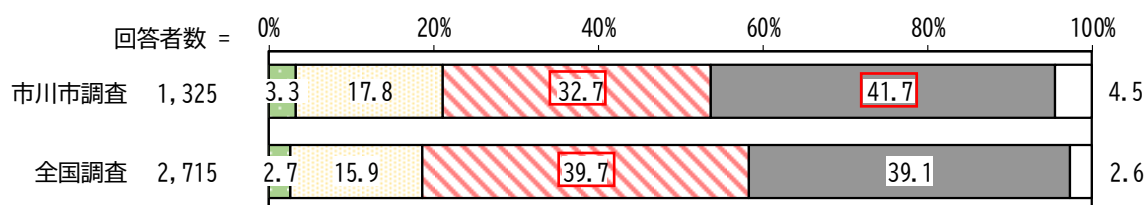
中学生調査を全国調査と比べると、「利用したことはない 今後も利用したいと思わない」の割合が低くなっています。

【小学生調査】

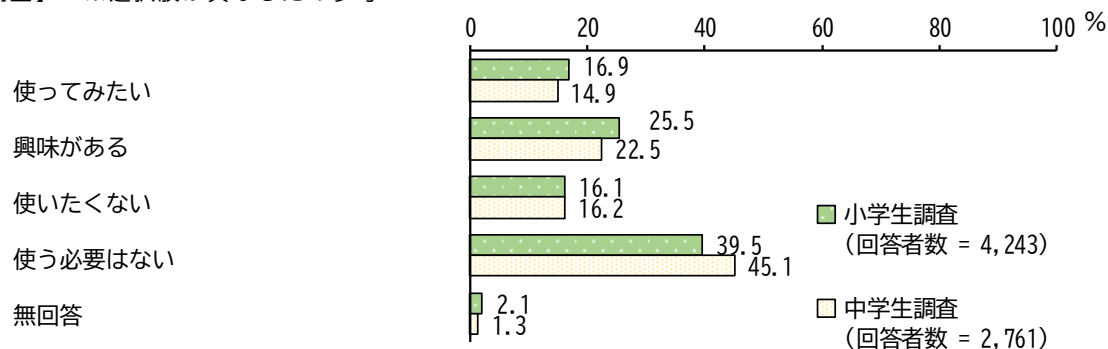
- 利用したことがある
- 利用したことはない あれば利用したいと思う
- 利用したことはない 今後も利用したいと思わない
- 利用したことはない 今後利用したいかどうか分からない
- 無回答



【中学生調査】



【県調査】 ※選択肢が異なるため参考



問 25 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

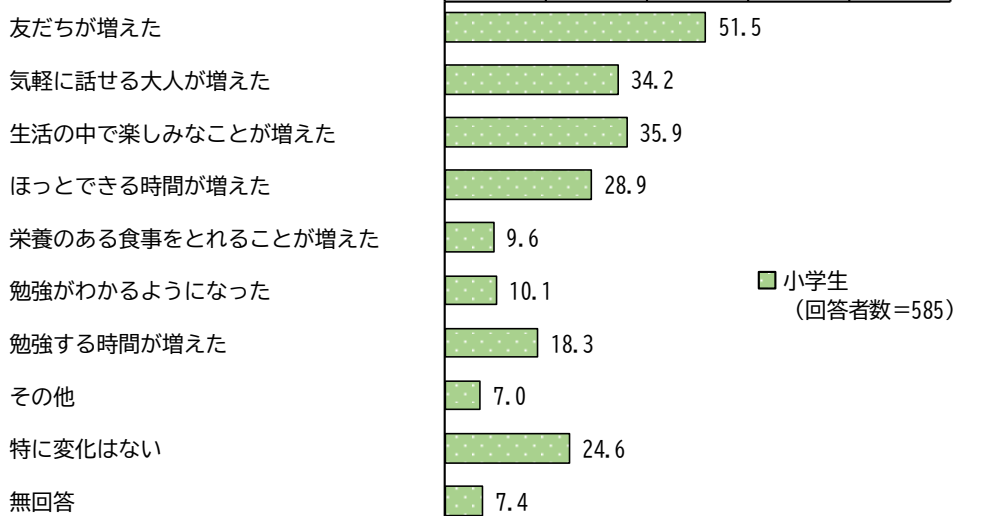
小学生では、「友だちが増えた」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」の割合が 35.9%、「気軽に話せる大人が増えた」の割合が 34.2%となっています。

中学生では、「特に変化はない」の割合が 53.4%と最も高く、次いで「生活の中で楽しみなことが増えた」の割合が 20.2%、「ほっとできる時間が増えた」の割合が 19.7%となっています。

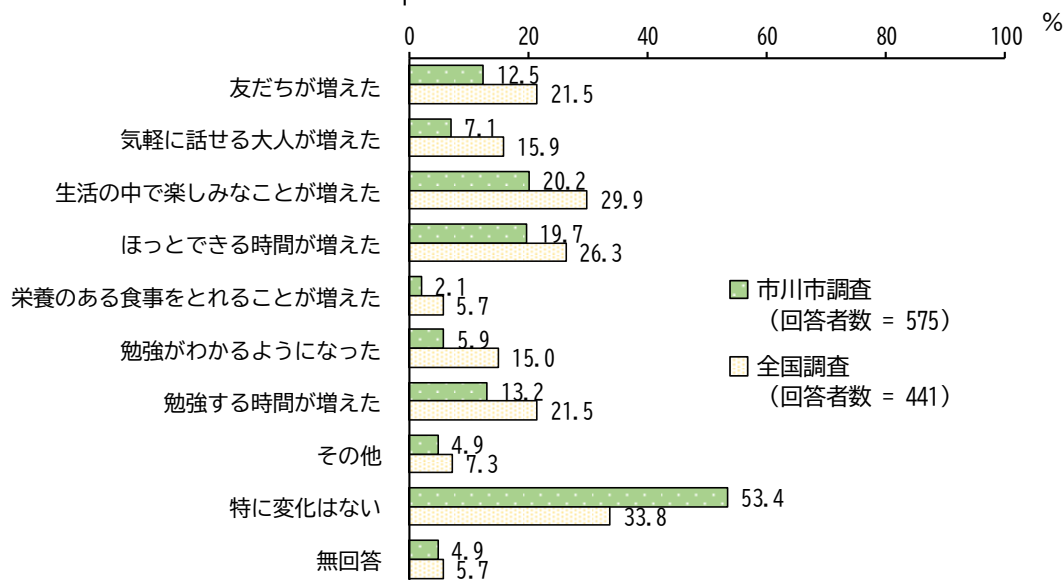
中学生調査を全国調査と比べ、「特に変化はない」の割合が高くなっています。一方、「友だちが増えた」「気軽に話せる大人が増えた」「生活の中で楽しみなことが増えた」「ほっとできる時間が増えた」「勉強がわかるようになった」「勉強する時間が増えた」の割合が低くなっています。

【小学生調査】

回答者数 = 585



【中学生調査】



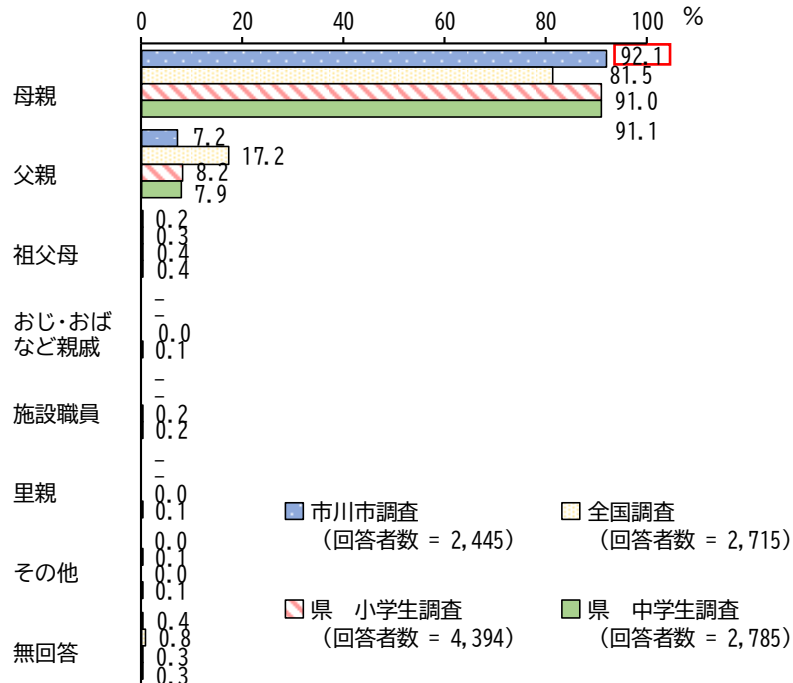
【まとめ】

- ・「勉強を無料でみてる場所」に関しては、利用したことはないが、あれば利用したい割合が小学生、中学生どちらも最も高くなっていることから、勉強をみてる場所のニーズが高くなっていることがうかがえます。
- ・「子ども食堂」「相談場所」に関しては、全国調査に比べて、利用したことはないが、あれば利用したい割合が小学生、中学生で高くなっていることから、子ども食堂や相談場所のニーズが高くなっていることがうかがえます。
- ・「放課後子どもクラブ」や「子ども食堂」「勉強を無料でみてる場所」「相談場所」を1つでも利用したことがあることで起きた変化については、小学生で「友だちが増えた」の割合が高く、中学生で「生活の中で楽しみなことが増えた」の割合が高くなっていることから、このような居場所が子どもたちにとって必要なものになっていることがうかがえます。

II - 2 保護者調査票（生活困窮世帯と一般層の比較）

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんからみた続柄でお答えください。（あてはまるもの1つに○）

「母親」の割合が92.1%と最も高くなっています。



* 県調査のみ「おじ・おばなど親戚」「施設職員」「里親」がありました。

※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	(件) 回答者数	母親	父親	祖父母	その他	無回答
全体	2445	92.1	7.2	0.2	-	0.4
生活困窮世帯	79	91.1	6.3	1.3	1.3	-
周辺層	430	91.6	7.4	0.5	-	0.5
一般層	1699	92.2	7.5	-	-	0.2

【世帯構成別】

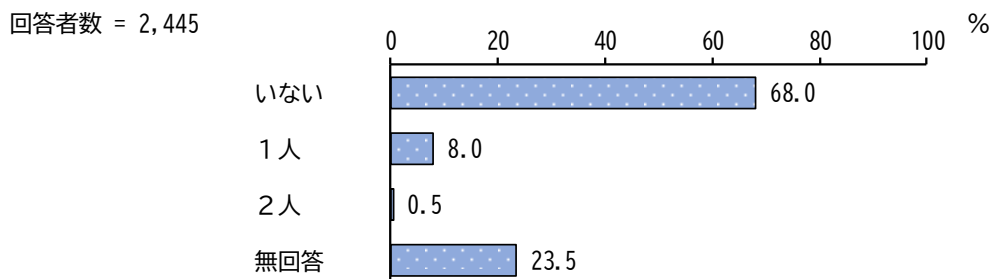
単位：%

区分	(件) 回答者数	母親	父親	祖父母	その他	無回答
全体	2445	92.1	7.2	0.2	-	0.4
その他の世帯	2241	92.7	7.0	0.2	-	-
ひとり親世帯	181	90.1	9.9	-	-	-
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	100.0	-	-	-	-

問2 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a~h それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 祖母

「いない」の割合が68.0%と最も高くなっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	無回答
全体	2445	68.0	8.0	0.5	23.5
生活困窮世帯	79	57.0	20.3	—	22.8
周辺層	430	59.5	17.2	0.9	22.3
一般層	1699	71.2	5.1	0.5	23.3

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

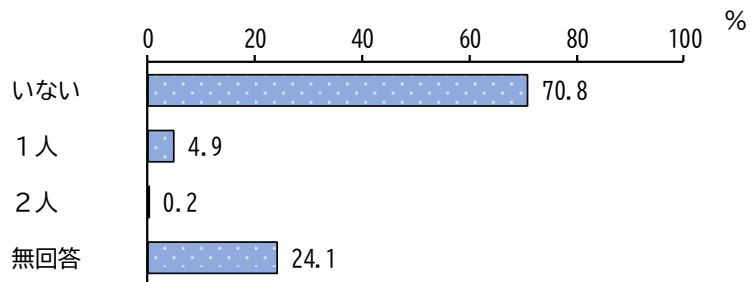
単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	無回答
全体	2445	68.0	8.0	0.5	23.5
その他の世帯	2241	69.0	7.2	0.6	23.2
ひとり親世帯	181	60.2	18.2	—	21.5
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	61.3	18.4	—	20.2

b) 祖父

「いない」の割合が70.8%と最も高くなっています。

回答者数 = 2,445



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	無回答
全 体	2445	70.8	4.9	0.2	24.1
生活困窮世帯	79	54.4	20.3	—	25.3
周辺層	430	66.5	10.2	—	23.3
一般層	1699	73.3	2.8	0.3	23.6

【世帯構成別】

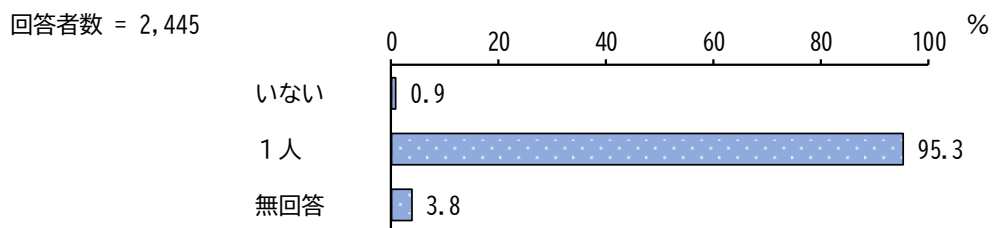
世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	無回答
全 体	2445	70.8	4.9	0.2	24.1
その他の世帯	2241	71.8	4.2	0.2	23.8
ひとり親世帯	181	63.5	14.9	—	21.5
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	64.4	16.0	—	19.6

c) 母親

「いない」の割合が0.9%、「1人」の割合が95.3%となっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	無回答
全 体	2445	0.9	95.3	3.8
生活困窮世帯	79	3.8	92.4	3.8
周辺層	430	1.6	94.7	3.7
一般層	1699	0.4	96.9	2.6

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

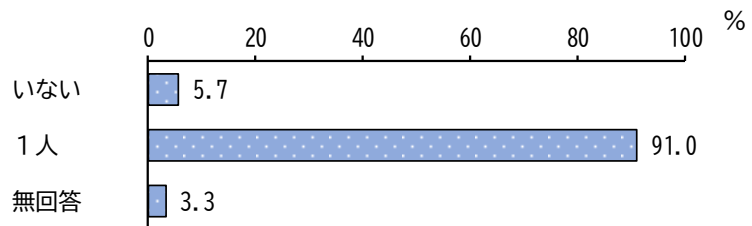
単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	無回答
全 体	2445	0.9	95.3	3.8
その他の世帯	2241	0.4	96.4	3.2
ひとり親世帯	181	6.6	85.6	7.7
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	0.6	95.1	4.3

d) 父親

「いない」の割合が5.7%となっています。

回答者数 = 2,445



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、一般層で「1人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	無回答
全 体	2445	5.7	91.0	3.3
生活困窮世帯	79	45.6	40.5	13.9
周辺層	430	13.3	83.0	3.7
一般層	1699	1.9	96.5	1.6

【世帯構成別】

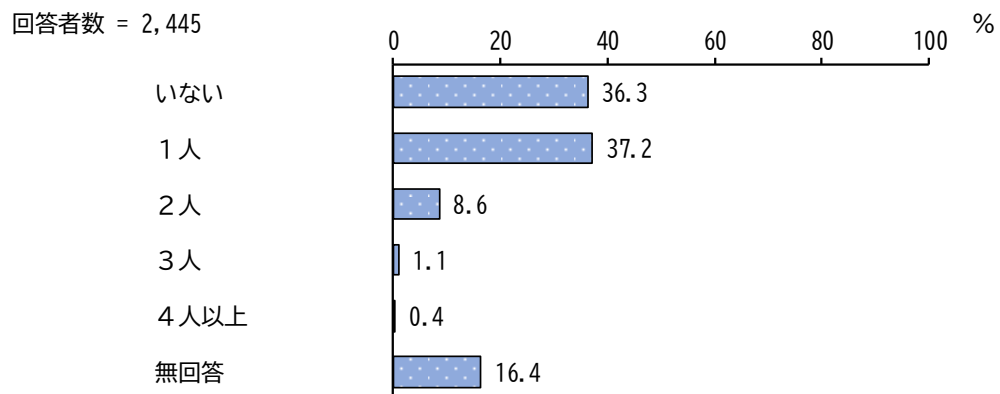
世帯構成別にみると、他に比べ、その他の世帯で「1人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	無回答
全 体	2445	5.7	91.0	3.3
その他の世帯	2241	0.7	97.6	1.7
ひとり親世帯	181	68.0	13.8	18.2
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	75.5	6.1	18.4

e) 姉・兄

「1人」の割合が37.2%と最も高く、次いで「いない」の割合が36.3%となっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
全体	2445	36.3	37.2	8.6	1.1	0.4	16.4
生活困窮世帯	79	19.0	40.5	15.2	1.3	2.5	21.5
周辺層	430	33.5	35.6	10.9	1.2	0.7	18.1
一般層	1699	38.4	37.6	8.2	0.9	0.4	14.5

【世帯構成別】

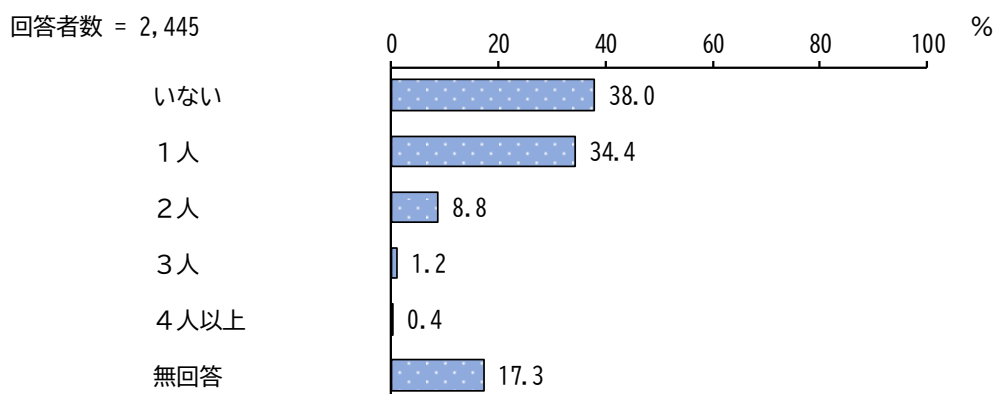
世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
全体	2445	36.3	37.2	8.6	1.1	0.4	16.4
その他の世帯	2241	36.9	37.3	8.6	1.2	0.4	15.6
ひとり親世帯	181	32.0	38.7	9.9	0.6	0.6	18.2
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	32.5	39.3	10.4	-	0.6	17.2

f) 妹・弟

「いない」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「1人」の割合が 34.4%となっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
全体	2445	38.0	34.4	8.8	1.2	0.4	17.3
生活困窮世帯	79	32.9	27.8	12.7	3.8	1.3	21.5
周辺層	430	34.0	32.6	14.7	1.4	0.9	16.5
一般層	1699	39.8	35.6	7.2	1.2	0.2	16.0

【世帯構成別】

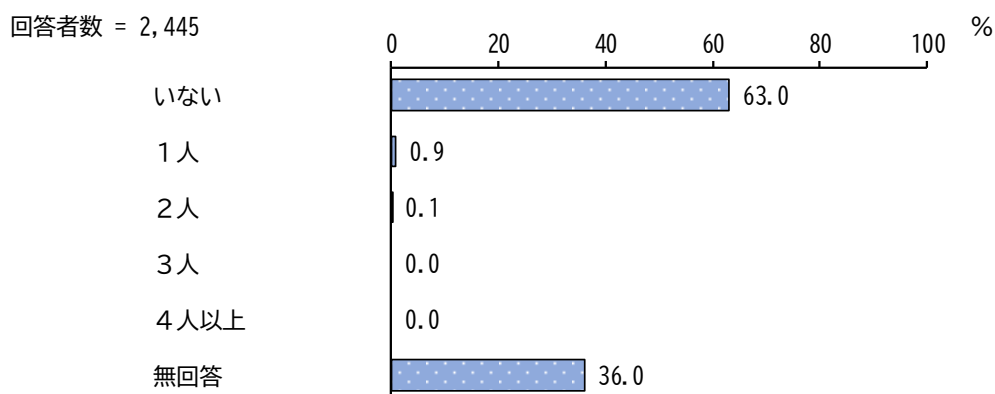
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯：母子世帯のみ、ひとり親世帯で「いない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
全体	2445	38.0	34.4	8.8	1.2	0.4	17.3
その他の世帯	2241	37.3	35.8	9.1	1.2	0.3	16.2
ひとり親世帯	181	47.0	21.0	5.0	1.7	1.1	24.3
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	47.9	21.5	5.5	1.8	1.2	22.1

g) その他

「いない」の割合が63.0%と最も高くなっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
全体	2445	63.0	0.9	0.1	—	—	36.0
生活困窮世帯	79	49.4	3.8	—	—	—	46.8
周辺層	430	59.5	2.1	0.5	—	0.2	37.7
一般層	1699	65.6	0.5	—	—	—	34.0

【世帯構成別】

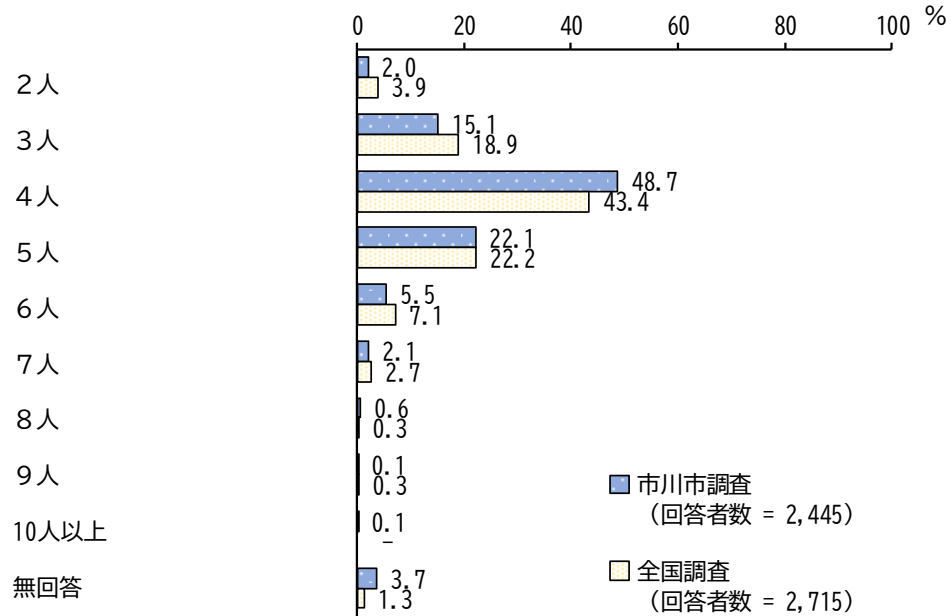
世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いない	1人	2人	3人	4人以上	無回答
全体	2445	63.0	0.9	0.1	—	—	36.0
その他の世帯	2241	63.7	0.6	0.1	—	—	35.5
ひとり親世帯	181	58.6	4.4	—	—	—	37.0
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	60.7	4.3	—	—	—	35.0

h) 合計

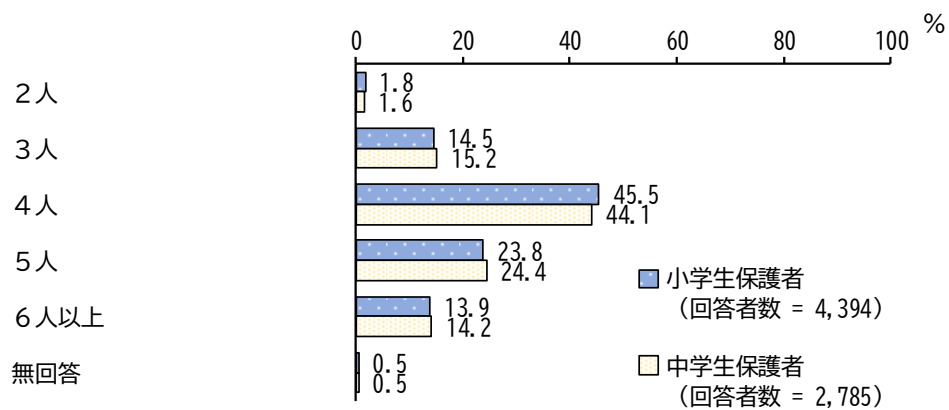
「4人」の割合が48.7%と最も高く、次いで「5人」の割合が22.1%、「3人」の割合が15.1%となっています。



*全国調査は「9人以上」まででした。

※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【県調査】 ※選択肢が異なるため参考



※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、周辺層で「5人」の割合が、一般層で「4人」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答
全体	2445	2.0	15.1	48.7	22.1	5.5	2.1	0.6	0.1	0.1	3.7
生活困窮世帯	79	10.1	15.2	30.4	24.1	11.4	6.3	2.5	—	—	—
周辺層	430	2.8	15.6	35.3	32.3	7.4	4.0	1.6	0.5	0.5	—
一般層	1699	1.5	15.3	55.4	20.9	4.9	1.6	0.3	—	0.1	—

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「3人」の割合が高くなっています。

単位：%

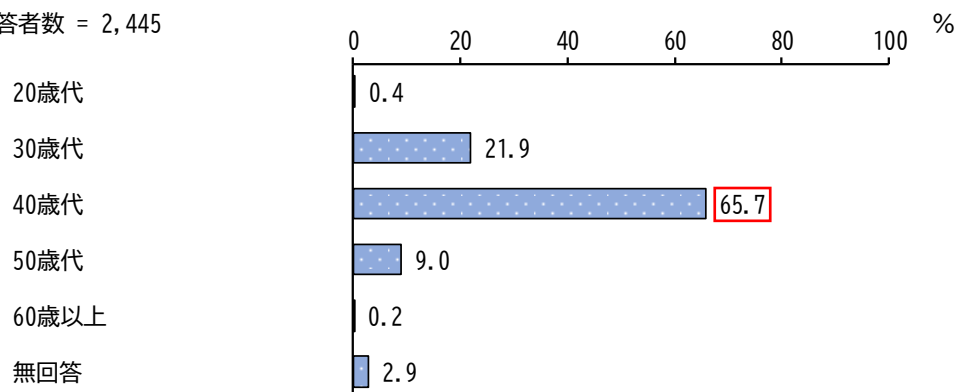
区分	回答者数 (件)	2人	3人	4人	5人	6人	7人	8人	9人	10人以上	無回答
全体	2445	2.0	15.1	48.7	22.1	5.5	2.1	0.6	0.1	0.1	3.7
その他の世帯	2241	0.3	13.6	51.1	23.3	5.6	2.1	0.7	—	0.1	3.2
ひとり親世帯	181	22.1	31.5	22.1	9.9	5.0	2.2	—	0.6	—	6.6
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	163	20.9	30.7	23.3	10.4	4.9	2.5	—	0.6	—	6.7

問3 お子さんの親の現在の年齢についてお答えください。(令和4年4月1日時点) (母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」と記入)

母親

「40歳代」の割合が65.7%と最も高く、次いで「30歳代」の割合が21.9%となっています。

回答者数 = 2,445



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯、周辺層で「30歳代」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
全体	2445	0.4	21.9	65.7	9.0	0.2	2.9
生活困窮世帯	79	1.3	38.0	46.8	8.9	-	5.1
周辺層	430	0.7	33.7	53.5	9.1	0.2	2.8
一般層	1699	0.2	18.4	70.7	8.8	0.2	1.6

【世帯構成別】

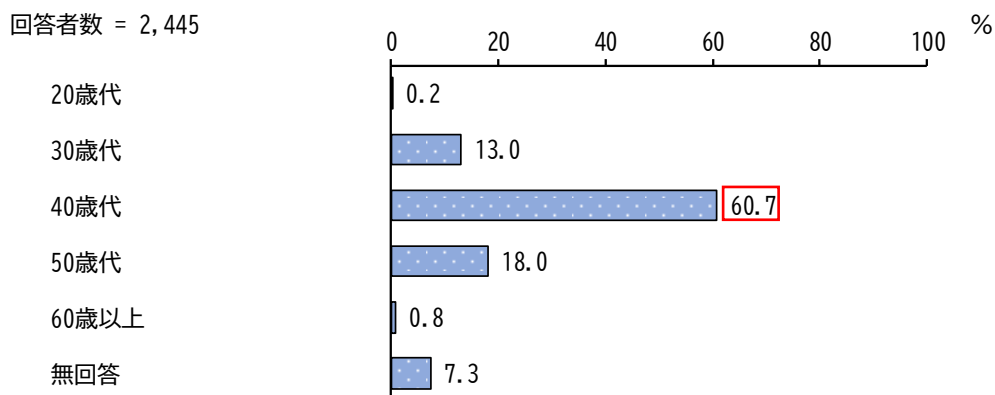
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯：母子世帯のみ、ひとり親世帯で「30歳代」の割合が若干高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
全体	2445	0.4	21.9	65.7	9.0	0.2	2.9
その他の世帯	2241	0.3	21.2	67.1	9.1	0.2	2.1
ひとり親世帯	181	1.1	30.4	50.3	8.3	-	9.9
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	1.2	33.7	54.6	9.2	-	1.2

父親

「40歳代」の割合が60.7%と最も高く、次いで「50歳代」の割合が18.0%、「30歳代」の割合が13.0%となっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、周辺層で「30歳代」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
全体	2445	0.2	13.0	60.7	18.0	0.8	7.3
生活困窮世帯	79	—	12.7	31.6	13.9	—	41.8
周辺層	430	0.5	20.0	50.2	15.3	1.6	12.3
一般層	1699	0.1	11.3	65.7	19.2	0.7	2.9

【世帯構成別】

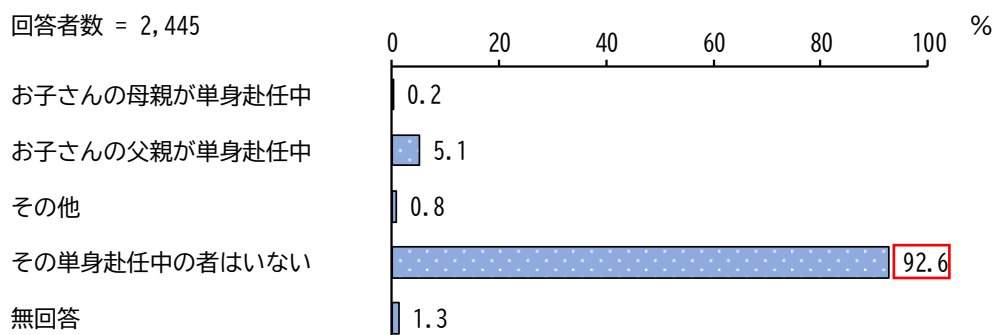
世帯構成別にみても、「40歳代」の割合が最も高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	無回答
全体	2445	0.2	13.0	60.7	18.0	0.8	7.3
その他の世帯	2241	0.2	13.6	64.2	19.1	0.8	2.1
ひとり親世帯	181	—	6.1	21.0	4.4	0.6	68.0
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	163	—	6.1	15.3	3.7	0.6	74.2

問4 お子さんのご家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。
(1～3については、あてはまるものすべてに○)

「その単身赴任中の者はいない」の割合が92.6%と最も高くなっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	お子さんの母親 が単身赴任中	お子さんの父親 が単身赴任中	その他	その単身赴任中 の者はいない	無回答
全 体	2445	0.2	5.1	0.8	92.6	1.3
生活困窮世帯	79	3.8	2.5	2.5	89.9	2.5
周辺層	430	—	2.1	1.2	94.4	2.3
一般層	1699	0.1	5.9	0.5	93.1	0.4

【世帯構成別】

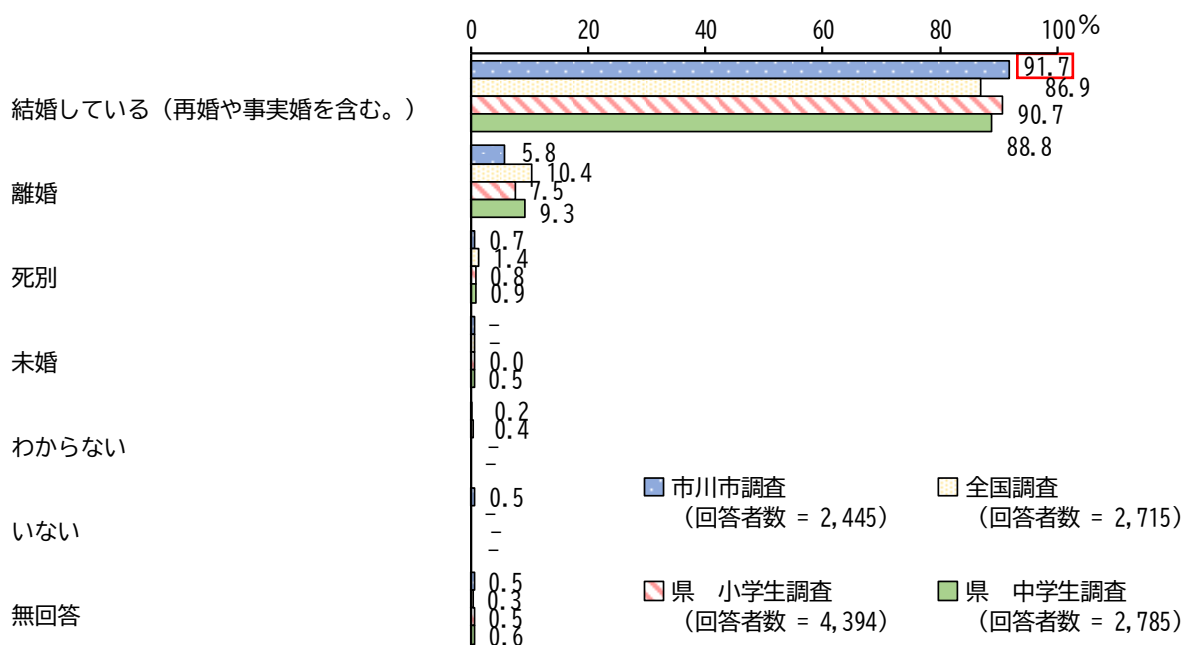
世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	お子さんの母親 が単身赴任中	お子さんの父親 が単身赴任中	その他	その単身赴任中 の者はいない	無回答
全 体	2445	0.2	5.1	0.8	92.6	1.3
その他の世帯	2241	—	5.5	0.6	93.1	0.8
ひとり親世帯	181	1.7	0.6	2.8	91.2	3.9
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	163	1.8	0.6	3.1	90.8	3.7

問5 お子さんと同居し、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が91.7%と最も高くなっています。



* 県調査では「わからない」「いない」がありませんでした。全国調査では「いない、わからない」が一緒になっていました。

※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、一般層で「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	結婚している (再婚や事実婚を含む)	離婚	死別	未婚	わからない	いない	無回答
全体	2445	91.7	5.8	0.7	0.6	0.2	0.5	0.5
生活困窮世帯	79	39.2	41.8	3.8	6.3	1.3	5.1	2.5
周辺層	430	83.0	13.0	0.9	1.9	0.2	0.5	0.5
一般層	1699	97.1	2.1	0.4	0.1	0.1	0.2	0.1

【世帯構成別】

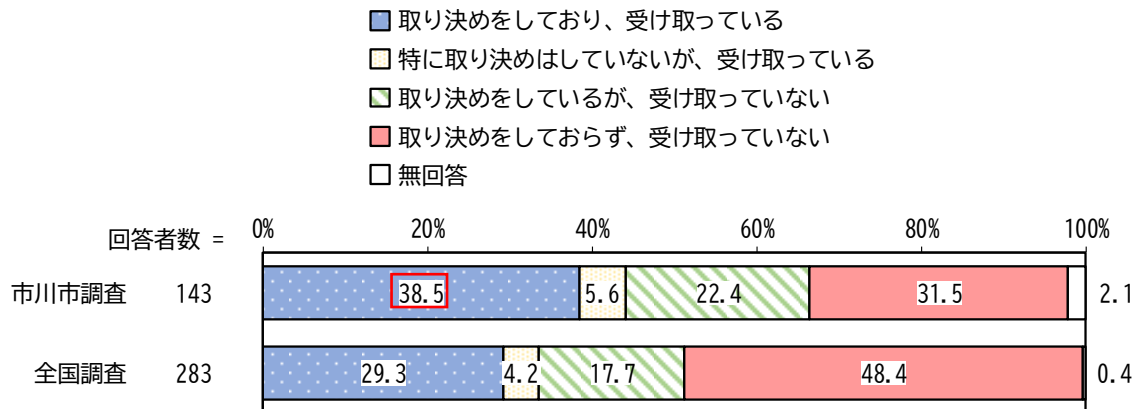
世帯構成別にみると、他に比べ、その他の世帯で「結婚している（再婚や事実婚を含む。）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	結婚している（再婚や事実婚を含む）	離婚	死別	未婚	わからない	いない	無回答
全 体	2445	91.7	5.8	0.7	0.6	0.2	0.5	0.5
その他の世帯	2241	99.6	0.1	—	—	0.2	—	—
ひとり親世帯	181	—	77.3	8.3	7.7	—	6.6	—
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	163	—	79.1	4.9	8.6	—	7.4	—

問6 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また養育費を現在受け取っていますか。（あてはまるもの1つに○）

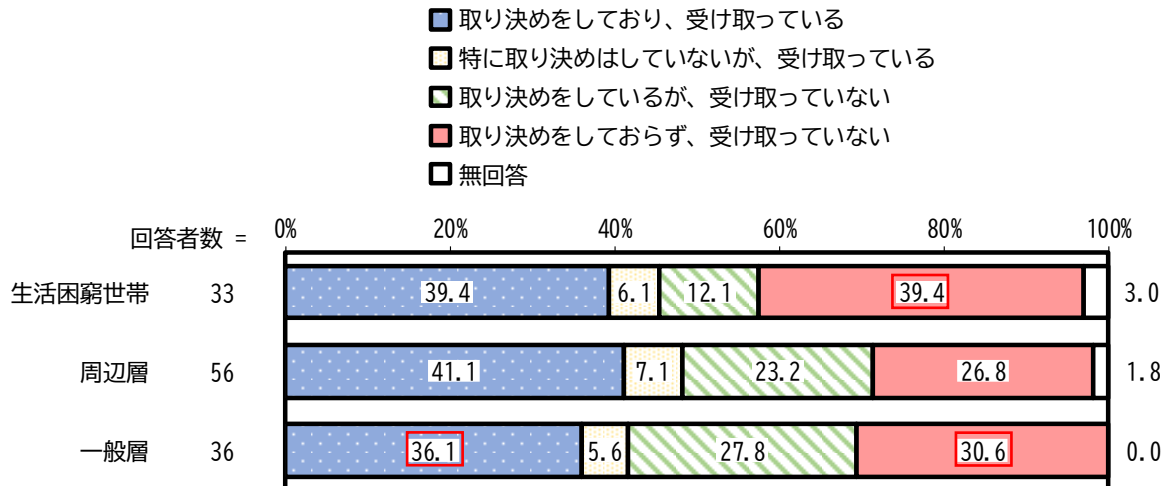
離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしているかについて、全国調査と比べ、「取り決めをしており、受け取っている」の割合が高くなっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

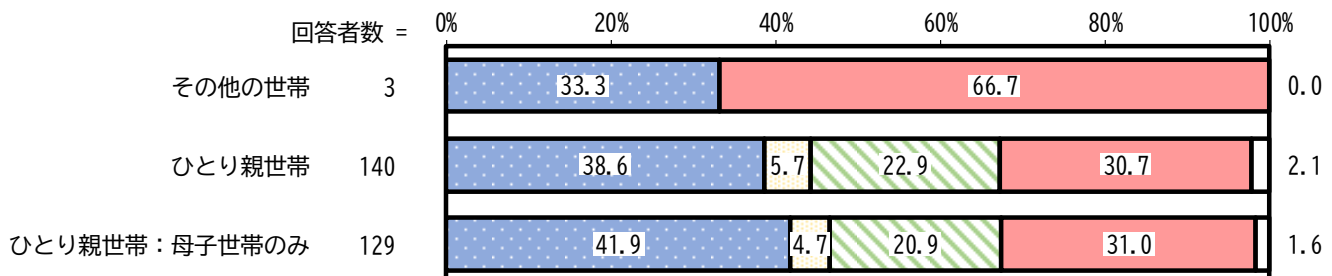
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が、一般層で「取り決めをしており、受け取っている」の割合が高くなっています。



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、他に比べ、その他の世帯で「取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が高くなっています。

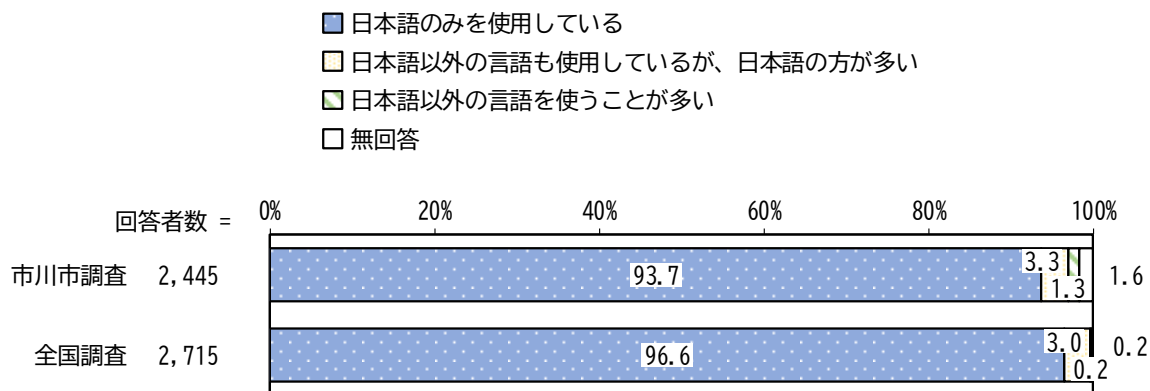


【まとめ】

- ・ 家族構成の合計人数をみると、「4人」の割合が最も高く、全国調査や県調査に比べ高い割合となっています。
- ・ また、離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしているかについて、生活困窮世帯では「取り決めをしておらず、受け取っていない」の割合が高くなっています。
- ・ 養育費取得のための相談対応、書類作成や同行支援などの積極的な支援が必要です。
- ・ 養育費の取得の早い段階からの相談につながる周知啓発が必要です。

問7 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

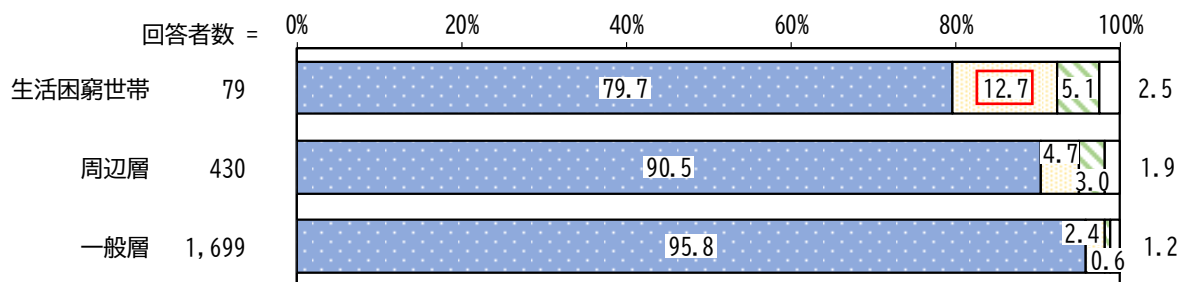
ご家庭での日本語以外の言語を使用しているかについて、生活困窮世帯では、一般層に比べ「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」の割合が高く、1割を超えています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

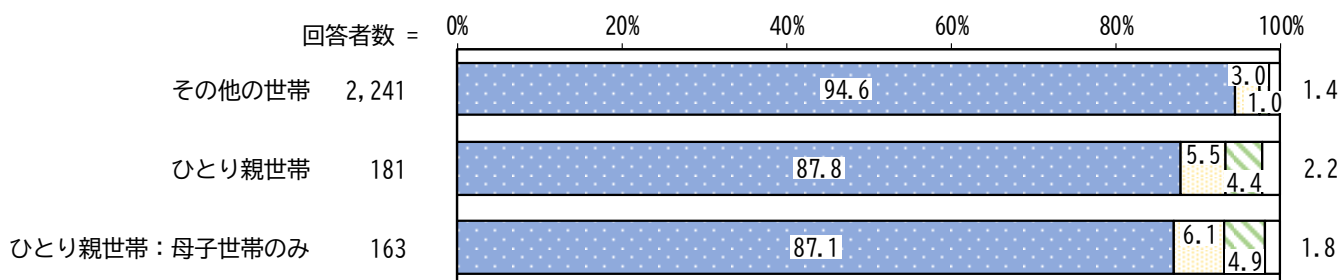
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、生活困窮世帯で「日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い」の割合が高くなっています。



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

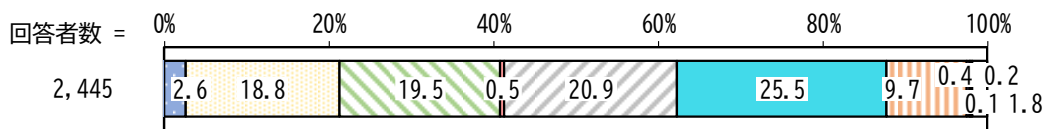


問8 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。(a, b それぞれについて、あてはまるものひとつに○)

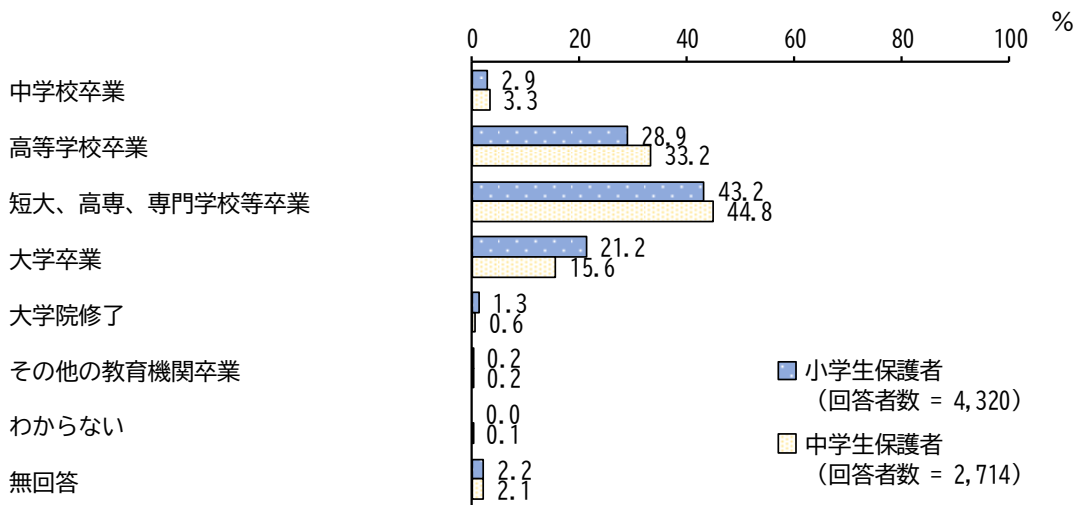
a) 母親

親の卒業・修了の状況について、母親、父親ともに一般層に比べ、生活困窮世帯・周辺世帯では、「中学」「中学、高校」の割合が高くなっています。

- 中学
- 中学、高校、専門学校
- 中学、高校、短大
- 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院
- わからない
- 無回答
- 中学、高校
- 中学、5年制の高等専門学校
- 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学
- その他
- いない



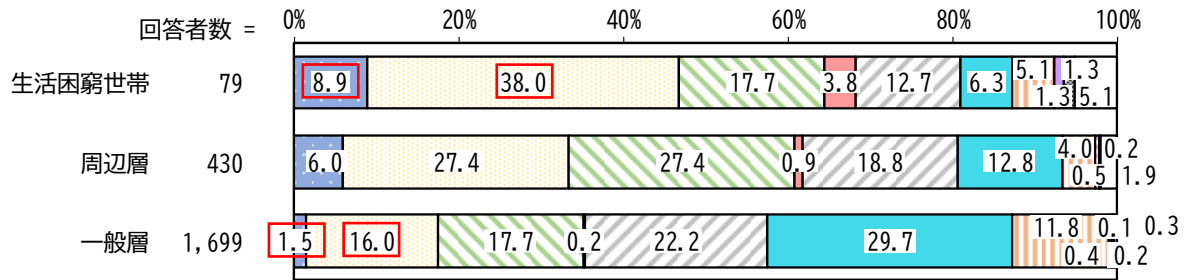
【県調査】 ※選択肢、対象者が異なるため参考



※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

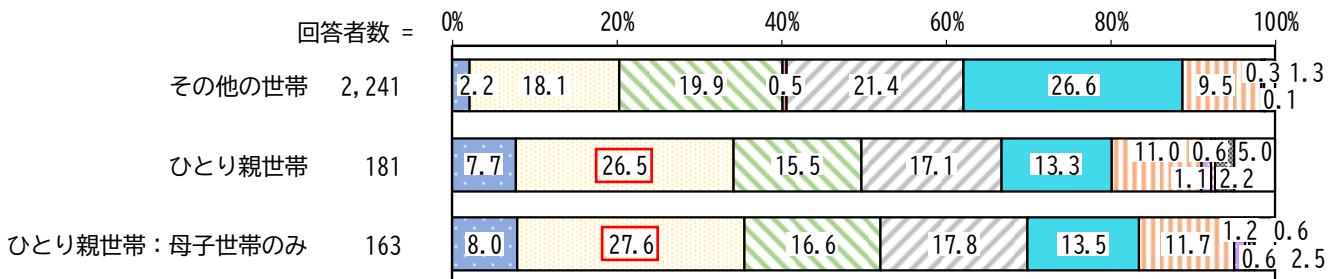
【世帯区分別】

- 中学
- 中学、高校、専門学校
- 中学、高校、短大
- 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院
- わからない
- 無回答
- 中学、高校
- 中学、5年制の高等専門学校
- 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学
- その他
- いない



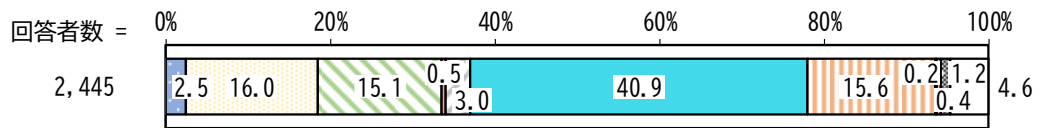
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「中学、高校」の割合が高くなっています。

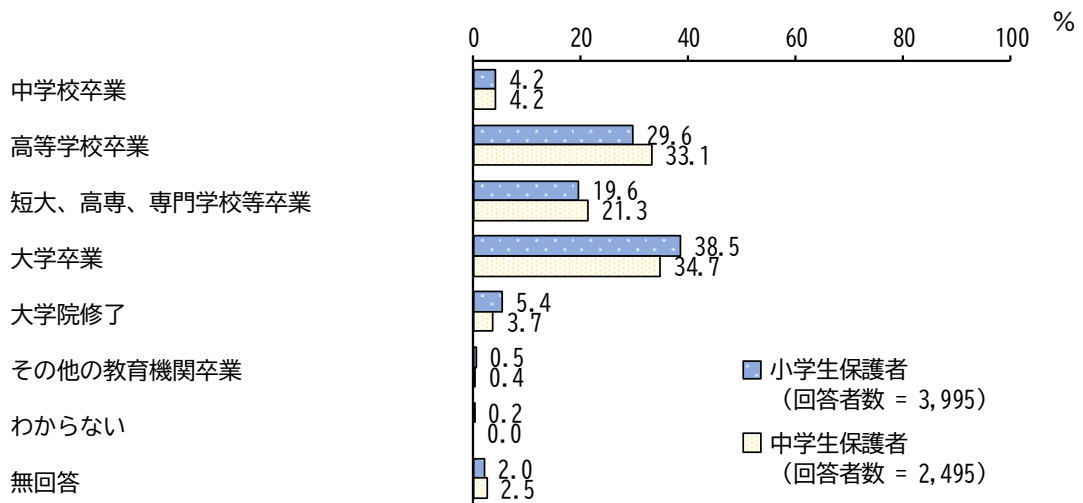


b) 父親

- 中学
- 中学、高校、専門学校
- 中学、高校、短大
- 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院
- わからない
- 無回答
- 中学、高校
- 中学、5年制の高等専門学校
- 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学
- その他
- いない



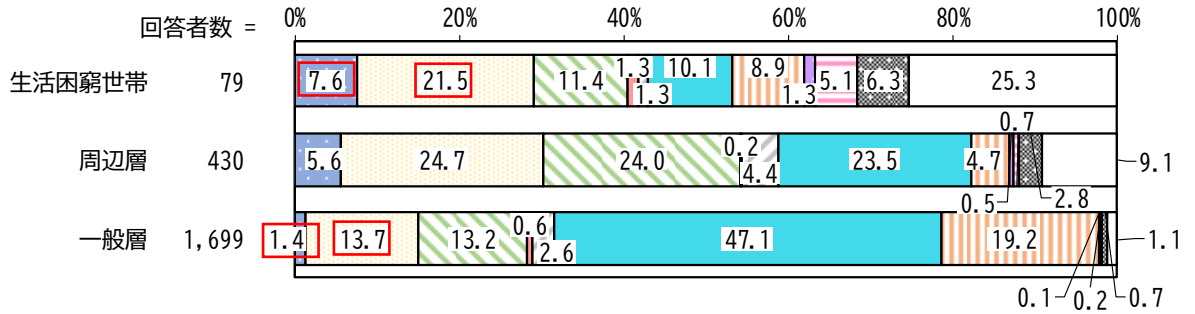
【県調査】 ※選択肢、対象者が異なるため参考



※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

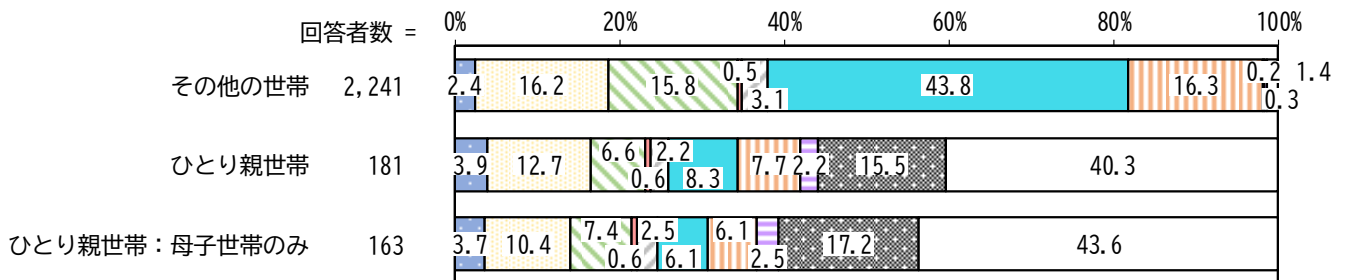
【世帯区分別】

- 中学
- 中学、高校、専門学校
- 中学、高校、短大
- 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院
- わからない
- 無回答
- 中学、高校
- 中学、5年制の高等専門学校
- 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学
- その他
- いない



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

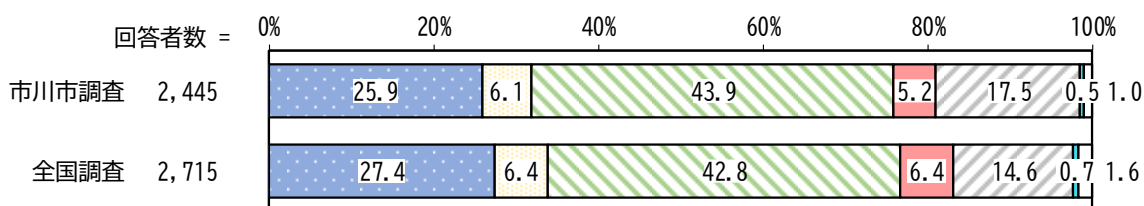


問9 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

親の就労の状況について、母親、父親ともに一般層に比べ、生活困窮世帯では、「正社員・正規職員・会社役員」の割合が低くなっています。

a) 母親

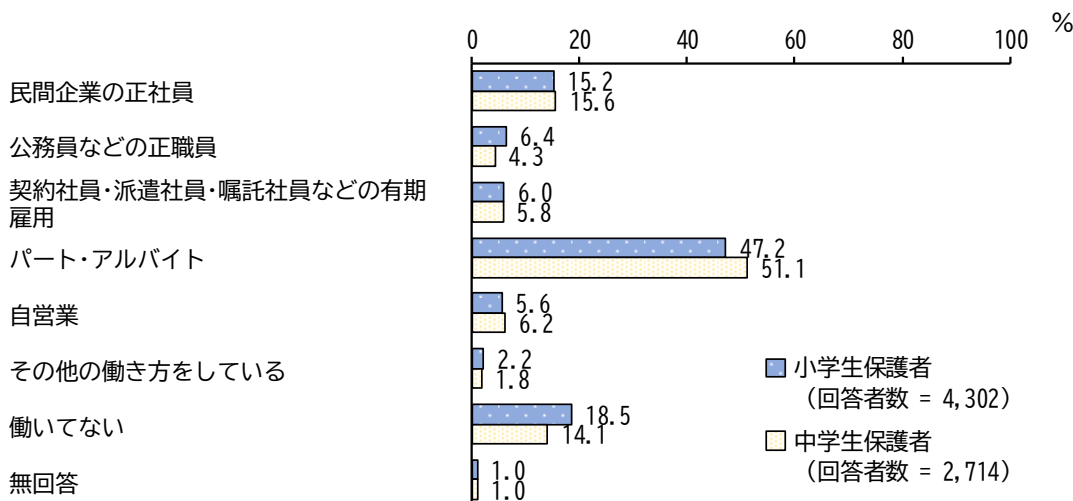
- 正社員・正規職員・会社役員
- パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
- 働いていない(専業主婦/主夫を含む。)
- 無回答
- 嘱託・契約社員・派遣職員
- 自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)
- わからない、いない



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

* 「いない」、「わからない」の割合を「わからない、いない」に入れていきます。

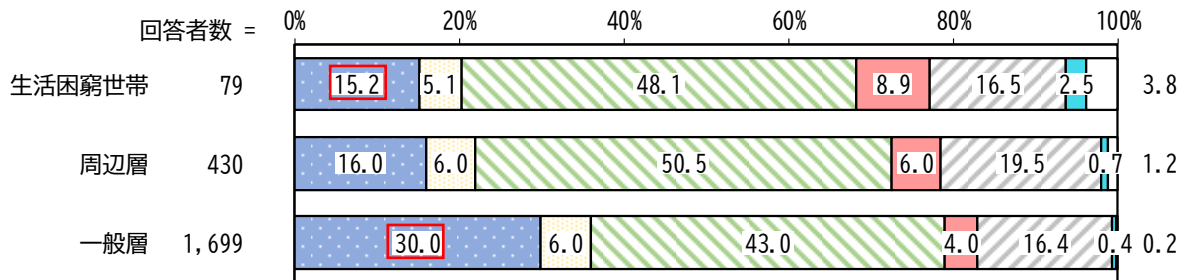
【県調査】 ※選択肢、対象者が異なるため参考



※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

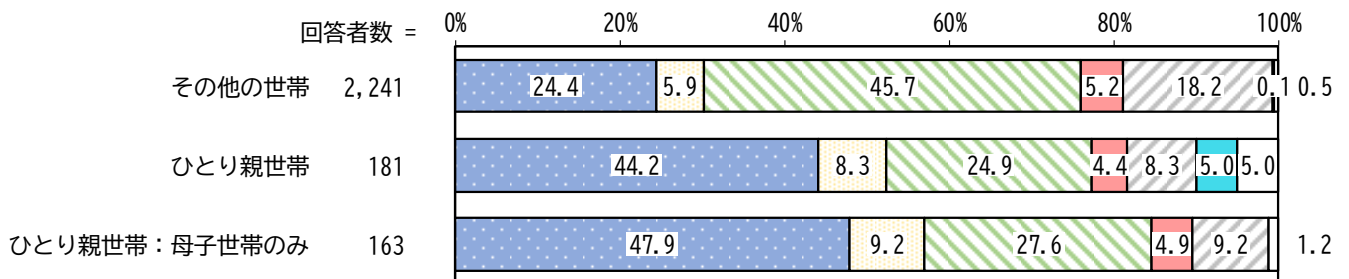
【世帯区分別】

- 正社員・正規職員・会社役員
- パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
- 働いていない（専業主婦／主夫を含む。）
- 無回答
- 嘱託・契約社員・派遣職員
- 自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）
- わからない、いない



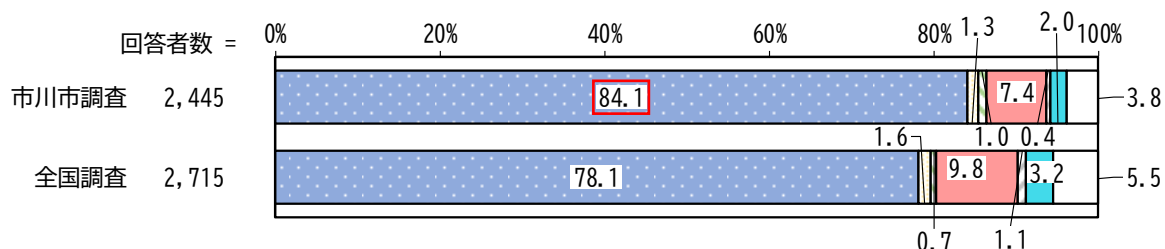
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「正社員・正規職員・会社役員」の割合が高くなっています。



b) 父親

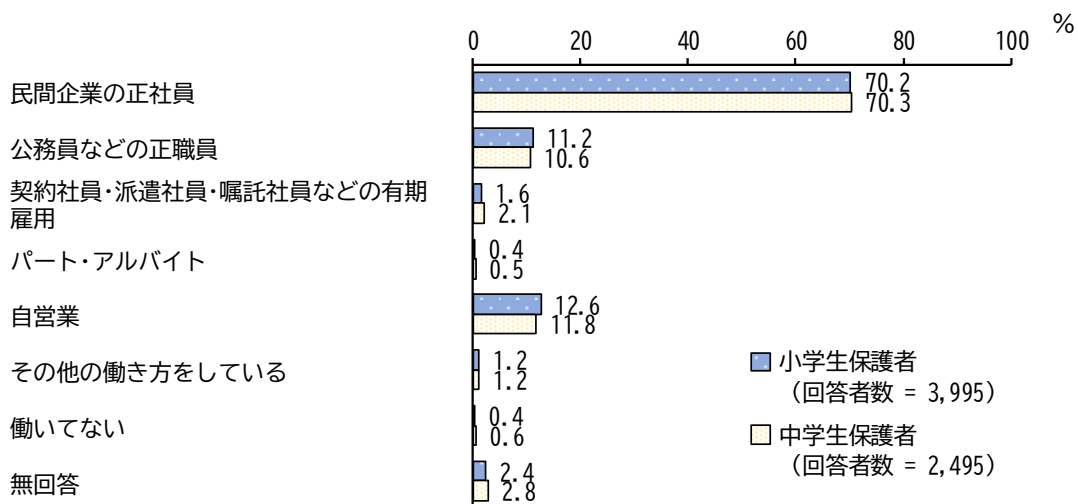
- 正社員・正規職員・会社役員
- パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
- 働いていない（専業主婦／主夫を含む。）
- 無回答
- 嘱託・契約社員・派遣職員
- 自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）
- わからない、いない



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

* 「いない」、「わからない」の割合を「わからない、いない」に入れていきます。

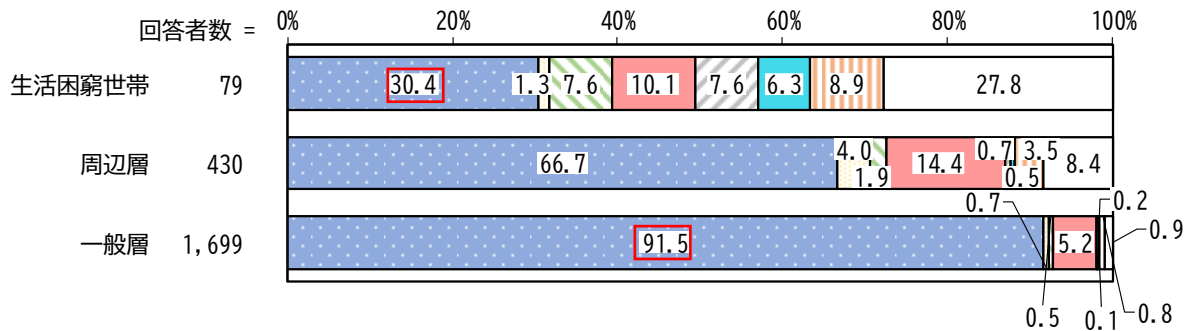
【県調査】 ※選択肢、対象者が異なるため参考



※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

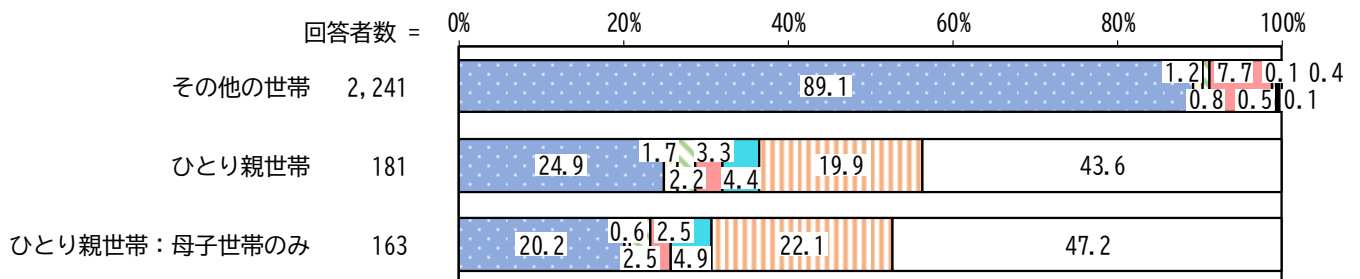
【世帯区分別】

- 正社員・正規職員・会社役員
- パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員
- 働いていない（専業主婦／主夫を含む。）
- 無回答
- 嘱託・契約社員・派遣職員
- 自営業（家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。）
- わからない、いない



【世帯構成別】

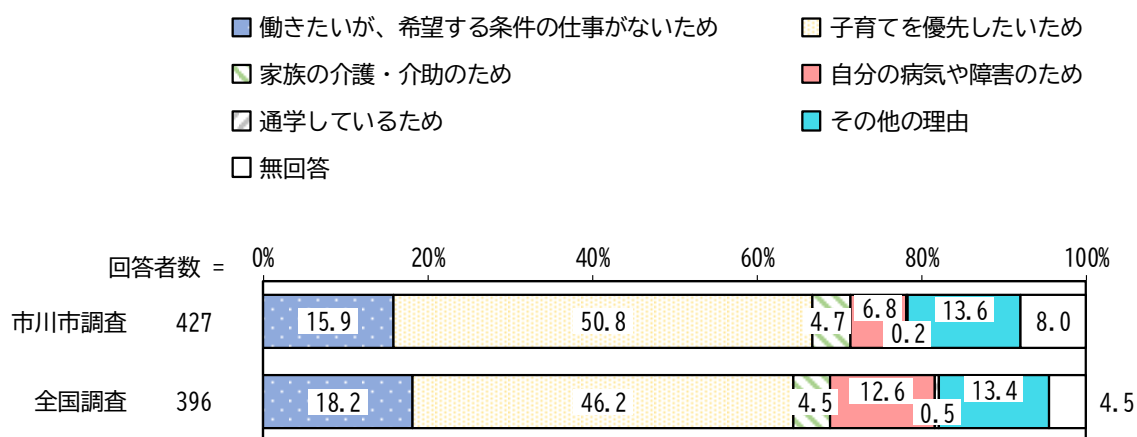
世帯構成別にみると、他に比べ、その他の世帯で「正社員・正規職員・会社役員」の割合が高くなっています。



問 10 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

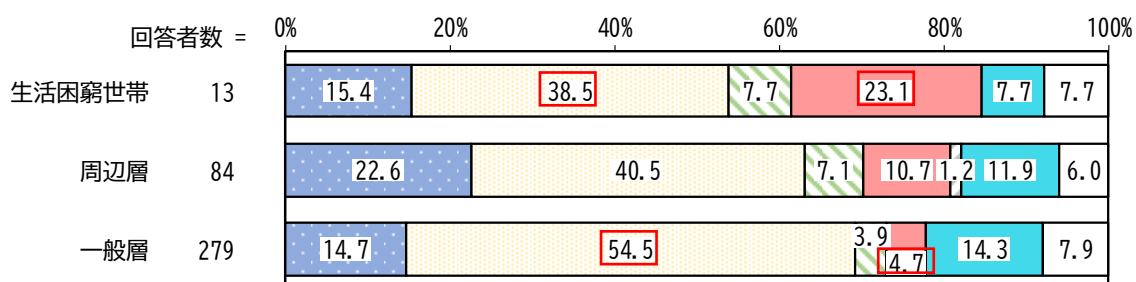
働いていない理由について、全国調査と比較すると、母親で「自分の病気や障害のため」の割合が低く、父親で「家族の介護・介助のため」「通学しているため」の割合が高くなっています。母親では、生活困窮世帯では、一般層に比べ「自分の病気や障害のため」の割合が高くなっています。一方、「子育てを優先したいため」の割合が低くなっています。

a) 母親



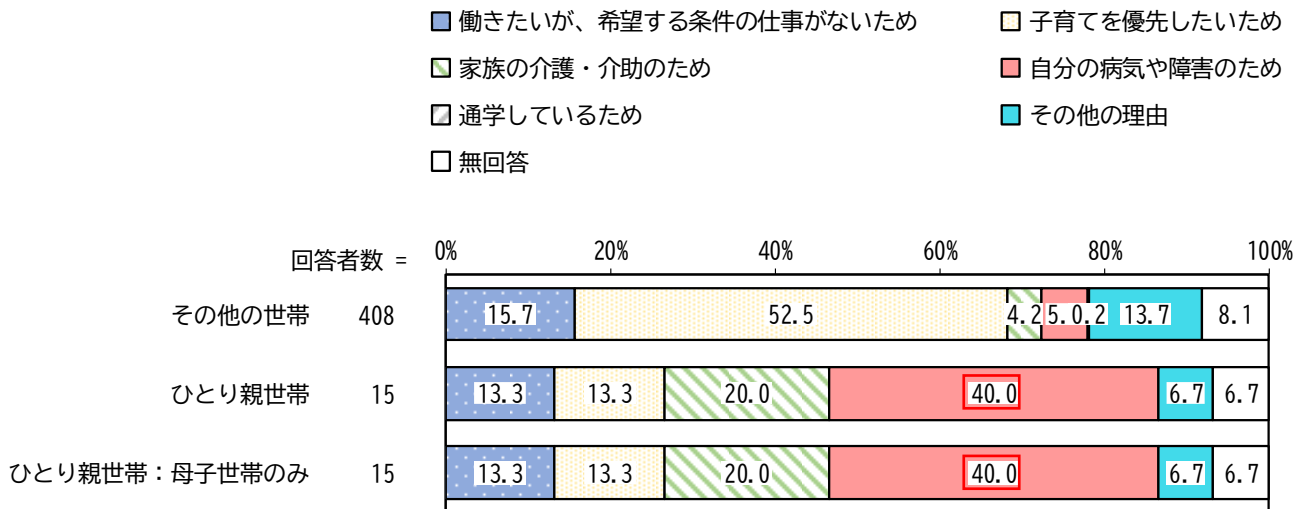
※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】

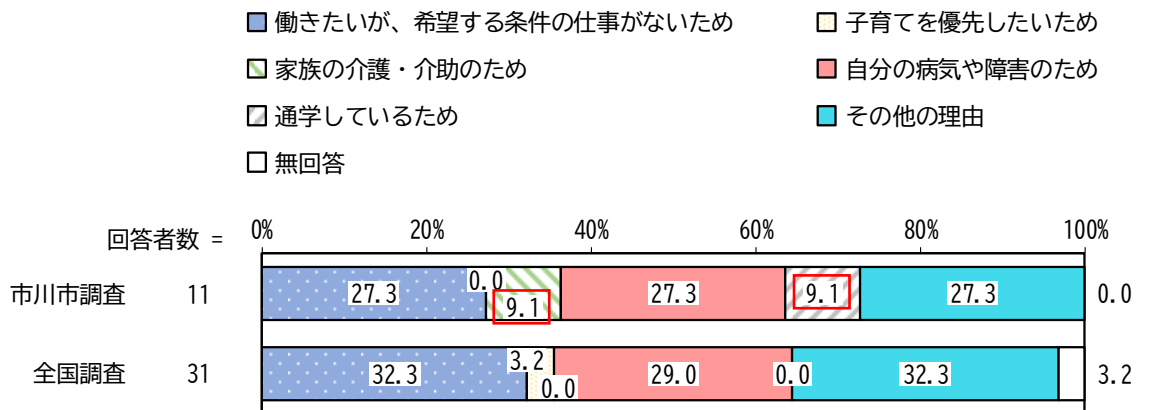


【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「自分の病気や障がいのため」が高くなっています。

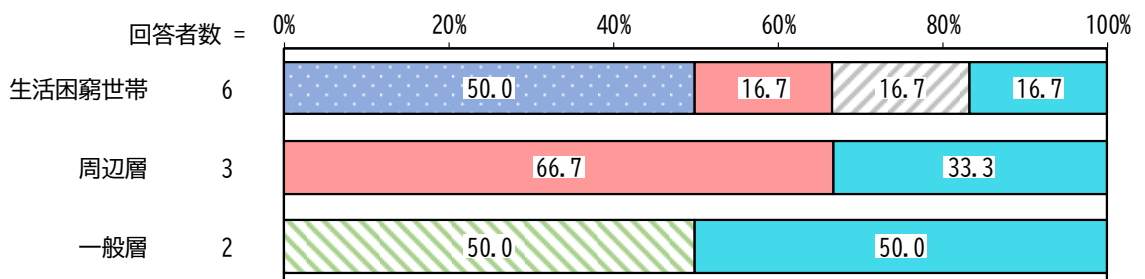


b) 父親



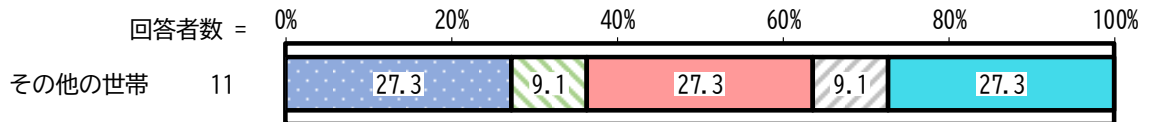
※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】



【世帯構成別】

- 働きたいが、希望する条件の仕事がないため
- 子育てを優先したいため
- 家族の介護・介助のため
- 自分の病気や障害のため
- 通学しているため
- その他の理由
- 無回答

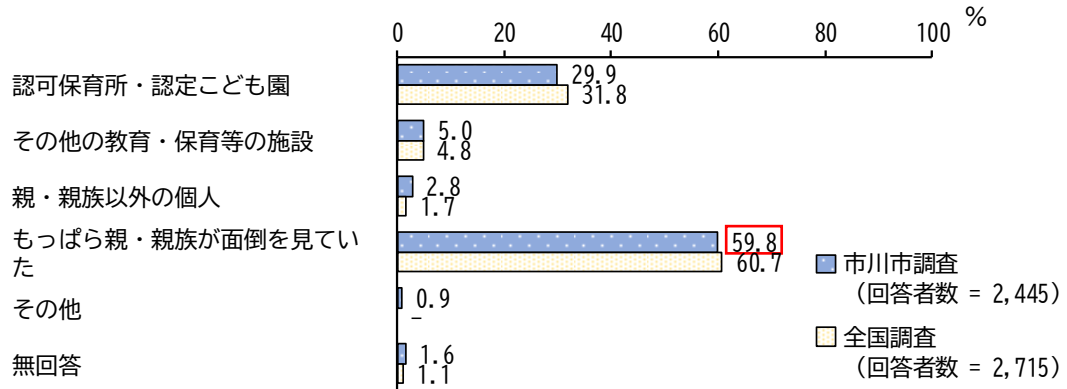


【まとめ】

- ・親の就労の状況について、生活困窮世帯では、一般層に比べ「正社員・正規職員・会社役員」の割合が低い傾向となっています。
- ・子育て世帯の経済的自立や生活の安定に向けて、保護者の就労支援や学び直しの支援を行う必要があります。
- ・保護者に対する就労に関する情報提供及び相談の充実を図ることが必要です。

問 11 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

「もっぱら親・親族が面倒を見ていた」の割合が59.8%と最も高く、次いで「認可保育所・認定こども園」の割合が29.9%となっています。



* 全国調査は「その他」がなく、「不明・無回答」が一緒になっていました。

※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	認可保育所・認定こども園	その他の教育・保育等の施設	親・親族以外の個人	もっぱら親・親族が面倒を見ていた	その他	無回答
全体	2445	29.9	5.0	2.8	59.8	0.9	1.6
生活困窮世帯	79	32.9	1.3	8.9	48.1	7.6	1.3
周辺層	430	30.0	4.4	4.0	59.3	0.9	1.4
一般層	1699	30.6	5.2	2.5	60.0	0.6	1.1

【世帯構成別】

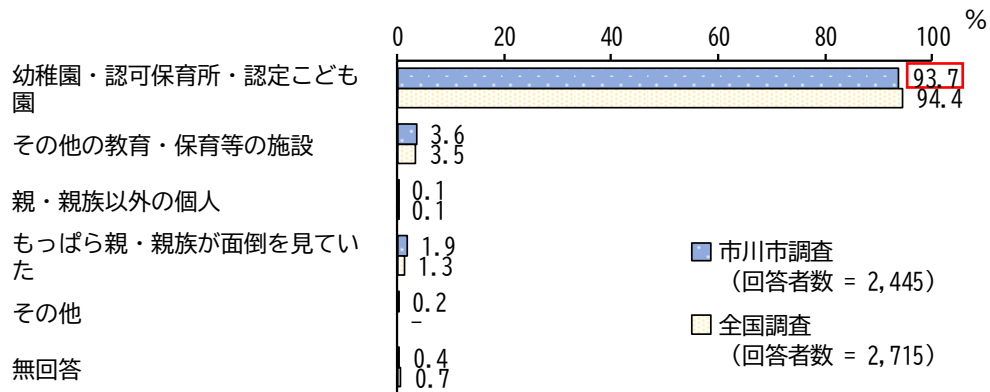
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「認可保育所・認定こども園」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	認可保育所・ 認定こども園	その他の教育・保 育等の施設	親・親族以外 の個人	たがもつぱら親・親族 面倒を見てい	その他	無回答
全 体	2445	29.9	5.0	2.8	59.8	0.9	1.6
その他の世帯	2241	28.7	4.7	2.7	61.7	0.7	1.6
ひとり親世帯	181	43.6	9.9	4.4	38.1	2.8	1.1
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	163	44.8	10.4	4.9	36.2	3.1	0.6

問 12 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なものを（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の割合が93.7%と最も高くなっています。



*全国調査は「その他」がなく、「不明・無回答」が一緒になっていました。

※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	幼稚園・認可保育所・認定こども園	その他の教育・保育等の施設	親・親族以外の個人	もっぱら親・親族が面倒を見ていた	その他	無回答
全体	2445	93.7	3.6	0.1	1.9	0.2	0.4
生活困窮世帯	79	88.6	6.3	-	3.8	1.3	-
周辺層	430	94.9	2.8	0.7	1.6	-	-
一般層	1699	94.3	3.4	-	1.6	0.3	0.4

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

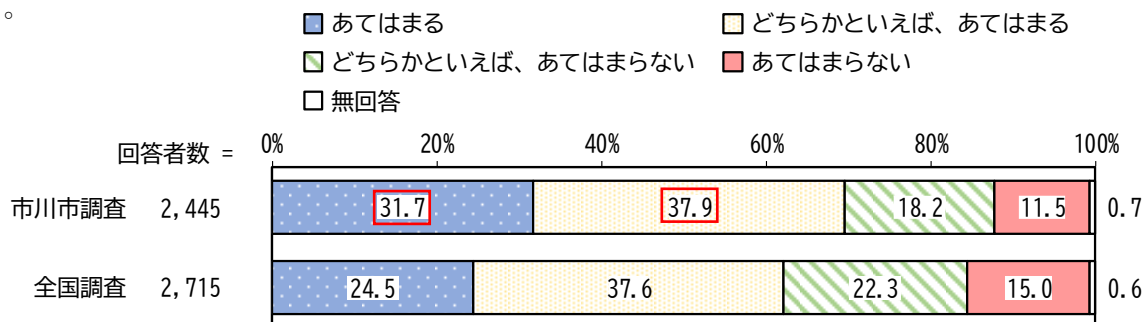
単位：%

区分	回答者数 (件)	幼稚園・認可保育所・認定こども園	その他の教育・保育等の施設	親・親族以外の個人	もっぱら親・親族が面倒を見ていた	その他	無回答
全体	2445	93.7	3.6	0.1	1.9	0.2	0.4
その他の世帯	2241	94.0	3.4	0.1	1.9	0.2	0.4
ひとり親世帯	181	90.6	6.1	-	2.2	0.6	0.6
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	90.8	6.1	-	2.5	0.6	-

問 13 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。(a~d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

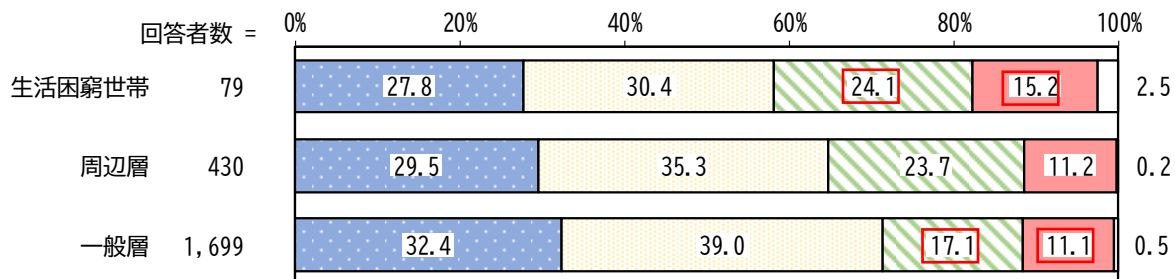
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている

「テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている」について、全国調査と比べ、「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」をあわせた“あてはまる”の割合が高くなっています。生活困窮世帯では、一般層に比べ「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」をあわせた“あてはまらない”の割合が高くなっています。



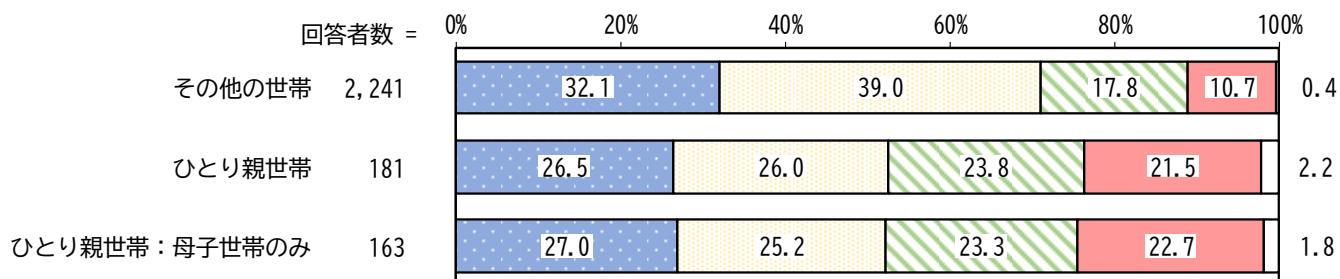
※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】



【世帯構成別】

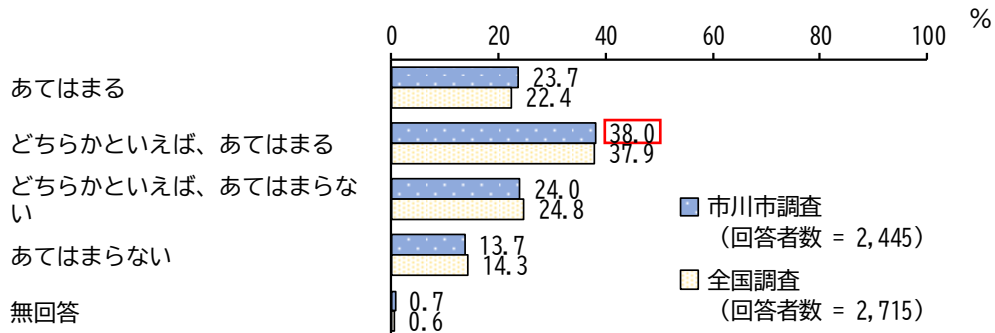
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯：母子世帯のみで「あてはまらない」の割合が、ひとり親世帯で「あてはまらない」「どちらかといえば、あてはまらない」の割合が高くなっています。



b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている

「どちらかといえば、あてはまる」の割合が 38.0%と最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまらない」の割合が 24.0%、「あてはまる」の割合が 23.7%となっています。

全国調査と比べると、大きな差はありません。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「あてはまらない」の割合が、周辺層で「どちらかといえば、あてはまらない」の割合がやや高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
全体	2445	23.7	38.0	24.0	13.7	0.7
生活困窮世帯	79	15.2	38.0	24.1	20.3	2.5
周辺層	430	18.4	34.0	30.2	16.5	0.9
一般層	1699	25.5	38.8	23.1	12.2	0.3

【世帯構成別】

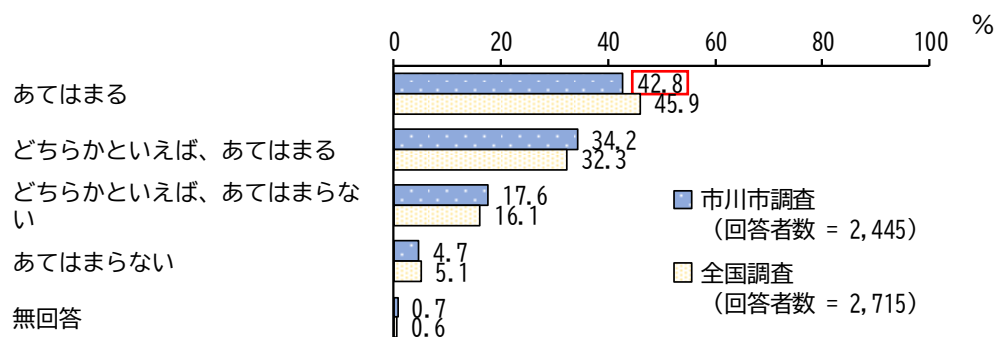
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「あてはまらない」の割合がやや高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
全体	2445	23.7	38.0	24.0	13.7	0.7
その他の世帯	2241	24.3	38.5	23.6	13.2	0.5
ひとり親世帯	181	16.6	32.0	28.7	21.5	1.1
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	17.2	32.5	28.8	20.9	0.6

c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた

「あてはまる」の割合が 42.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまる」の割合が 34.2%、「どちらかといえば、あてはまらない」の割合が 17.6%となっています。
全国調査と比べると、大きな差はありません。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「どちらかといえば、あてはまらない」「あてはまらない」の割合が、周辺層で「どちらかといえば、あてはまらない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
全体	2445	42.8	34.2	17.6	4.7	0.7
生活困窮世帯	79	32.9	36.7	15.2	12.7	2.5
周辺層	430	33.0	36.0	23.7	6.0	1.2
一般層	1699	45.7	33.8	16.6	3.7	0.2

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「あてはまらない」が若干高くなっています。

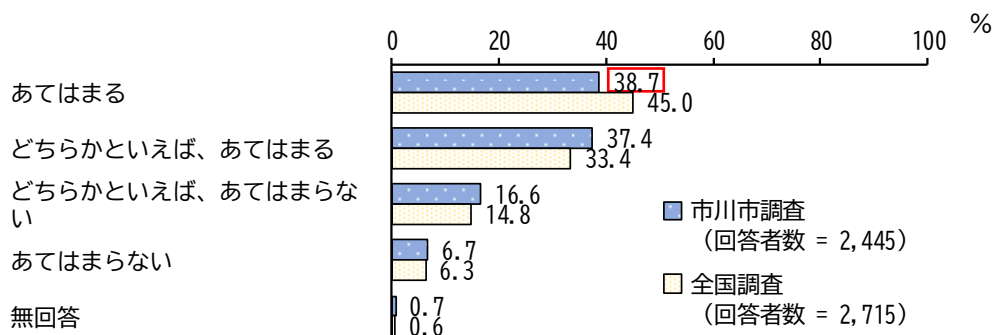
単位：%

区分	回答者数 (件)	あてはまる	どちらかといえ ば、あてはまる	いづれ も、あてはまらな い	あてはまらない	無回答
全 体	2445	42.8	34.2	17.6	4.7	0.7
その他の世帯	2241	43.4	34.2	17.6	4.3	0.5
ひとり親世帯	181	35.9	34.3	18.2	9.9	1.7
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	163	37.4	32.5	19.6	9.2	1.2

d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる

「あてはまる」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「どちらかといえば、あてはまる」の割合が 37.4%、「どちらかといえば、あてはまらない」の割合が 16.6%となっています。

全国調査と比べると、大きな差はありません。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられませんが、生活困窮世帯、周辺層で「あてはまらない」の割合が若干高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
全体	2445	38.7	37.4	16.6	6.7	0.7
生活困窮世帯	79	34.2	36.7	16.5	10.1	2.5
周辺層	430	34.9	37.9	17.7	8.1	1.4
一般層	1699	39.4	37.9	16.5	6.0	0.2

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

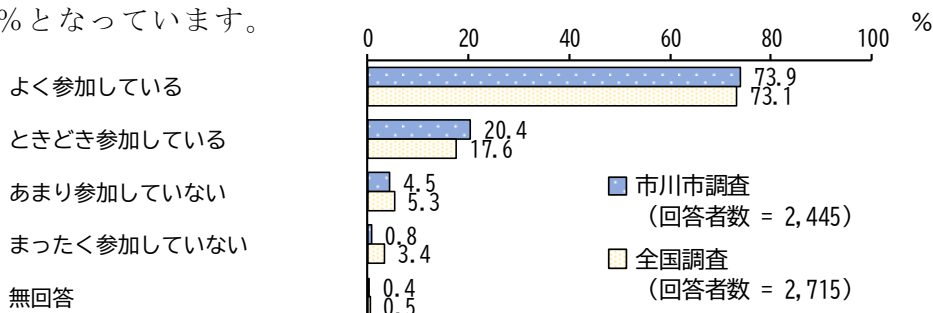
単位：%

区分	回答者数 (件)	あてはまる	どちらかといえば、あてはまる	どちらかといえば、あてはまらない	あてはまらない	無回答
全体	2445	38.7	37.4	16.6	6.7	0.7
その他の世帯	2241	39.4	37.4	16.5	6.3	0.4
ひとり親世帯	181	30.9	35.9	18.8	12.2	2.2
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	32.5	36.8	19.0	9.8	1.8

問 14 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。(a, b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加

「よく参加している」の割合が73.9%と最も高く、次いで「ときどき参加している」の割合が20.4%となっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「ときどき参加している」の割合が若干高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
全体	2445	73.9	20.4	4.5	0.8	0.4
生活困窮世帯	79	62.0	29.1	5.1	2.5	1.3
周辺層	430	70.9	22.8	5.1	0.9	0.2
一般層	1699	75.8	19.7	3.9	0.5	0.1

【世帯構成別】

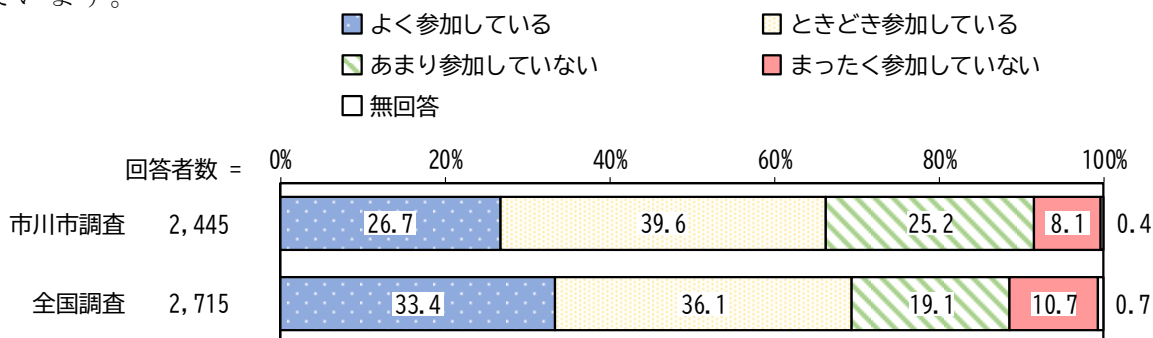
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「ときどき参加している」の割合がやや高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない	無回答
全体	2445	73.9	20.4	4.5	0.8	0.4
その他の世帯	2241	75.3	19.7	4.1	0.7	0.2
ひとり親世帯	181	57.5	29.3	9.4	2.8	1.1
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	60.7	27.6	9.2	1.8	0.6

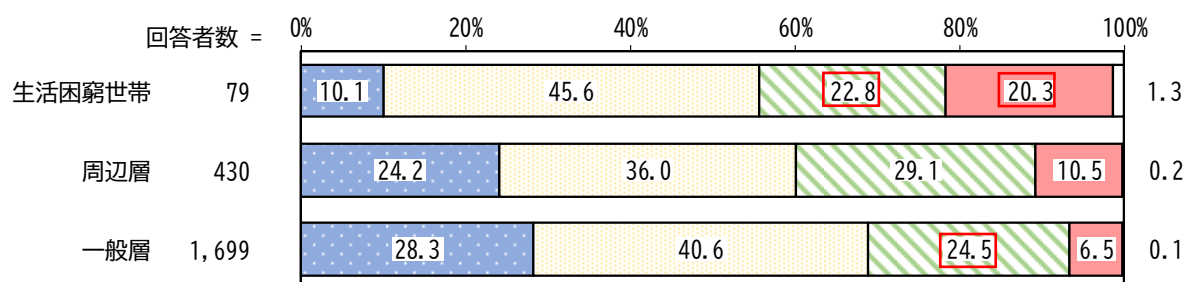
b) P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加

次のようなことをどの程度しているかについて、「P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加」では、生活困窮世帯で、一般層に比べ「あまり参加していない」と「まったく参加していない」を合わせた“参加していない”の割合が高くなっています。



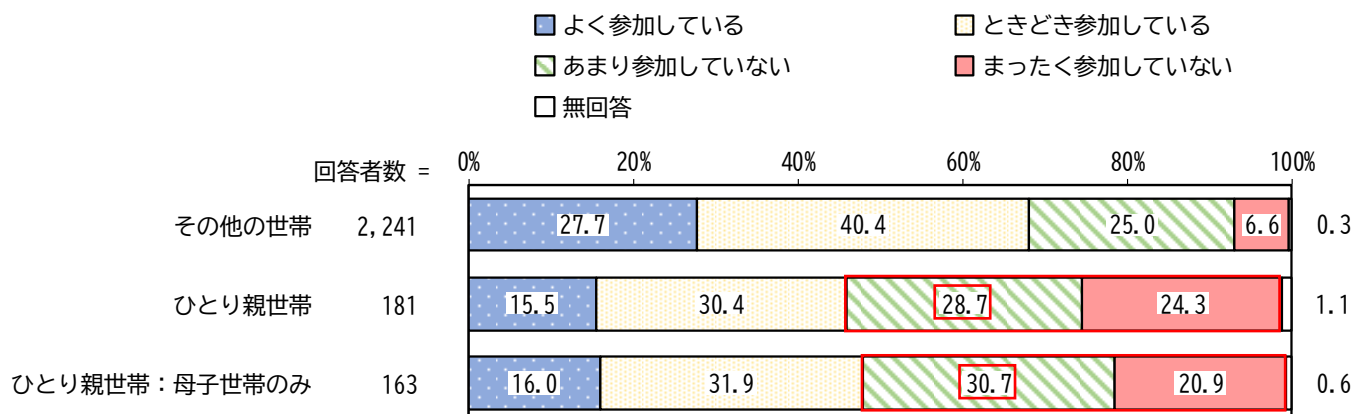
※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「あまり参加していない」の割合が高くなっています。



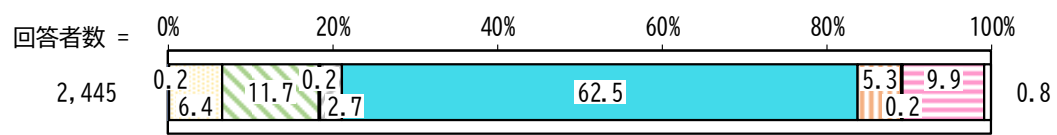
【まとめ】

- ・ 3～5歳の間に通っていた教育保育施設等では「幼稚園・認可保育所・認定こども園」の割合が最も高くなり差はみられないが、0～2歳の間に通っていた教育保育施設等では、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで認可保育所、認定こども園の割合が高く、0～2歳のうちから就労していたことが窺えます。
- ・ 子どもが基本的な生活習慣・生活能力、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身に付ける上で重要な役割を担う家庭教育について、理解を深めることが必要です。
- ・ 生活困窮世帯ではPTA活動や保護者会などの社会参加が少なくなっており、孤立防止を防ぐためにも住民同士の声かけや、積極的な情報提供が必要です。

問 15 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。(あてはまるものひとつに○)

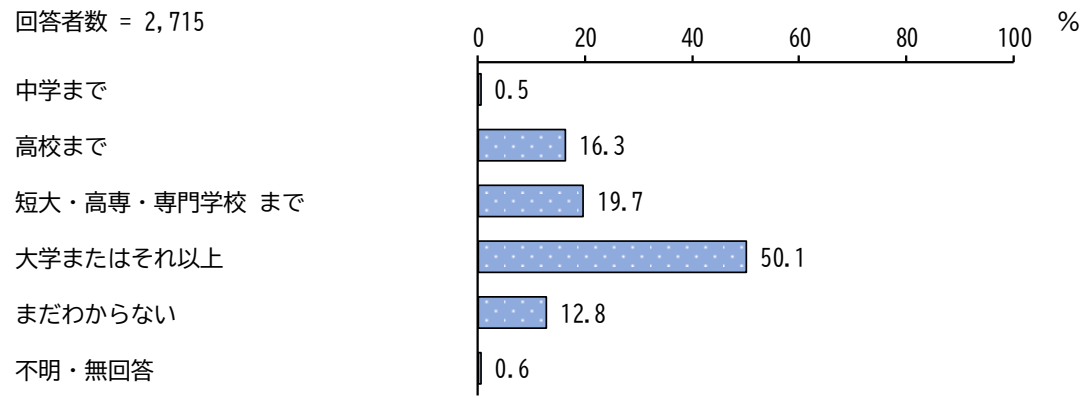
お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思うかについて、生活困窮世帯では、一般層に比べ「中学、高校」「中学、高校、専門学校」の割合が高くなっています。一方、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学」の割合が低くなっています。

- 中学
- 中学、高校、専門学校
- 中学、高校、短大
- 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院
- まだわからない
- 中学、高校
- 中学、5年制の高等専門学校
- 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学
- その他
- 無回答



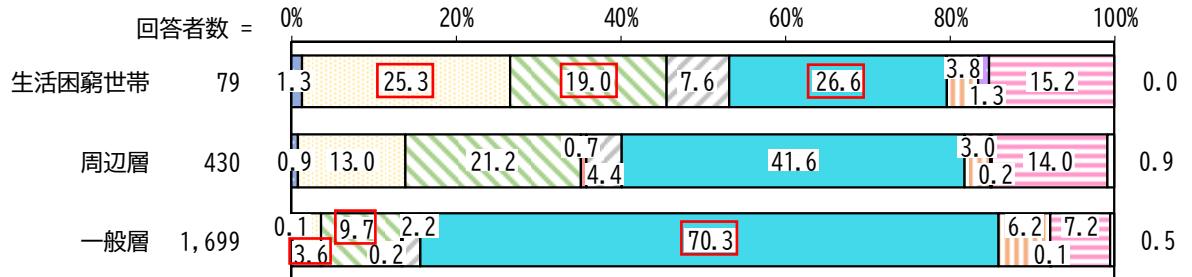
【全国調査】 ※選択肢が異なるため参考

※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）



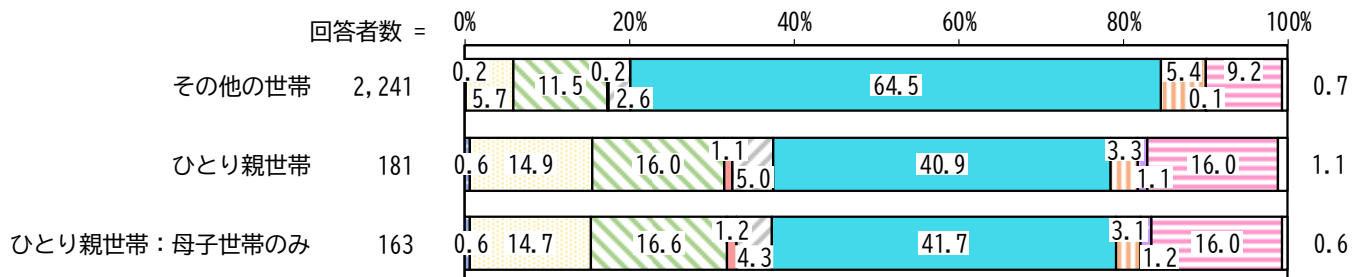
【世帯区分別】

- 中学
- 中学、高校
- 中学、高校、専門学校
- 中学、5年制の高等専門学校
- 中学、高校、短大
- 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学
- 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院
- その他
- まだわからない
- 無回答



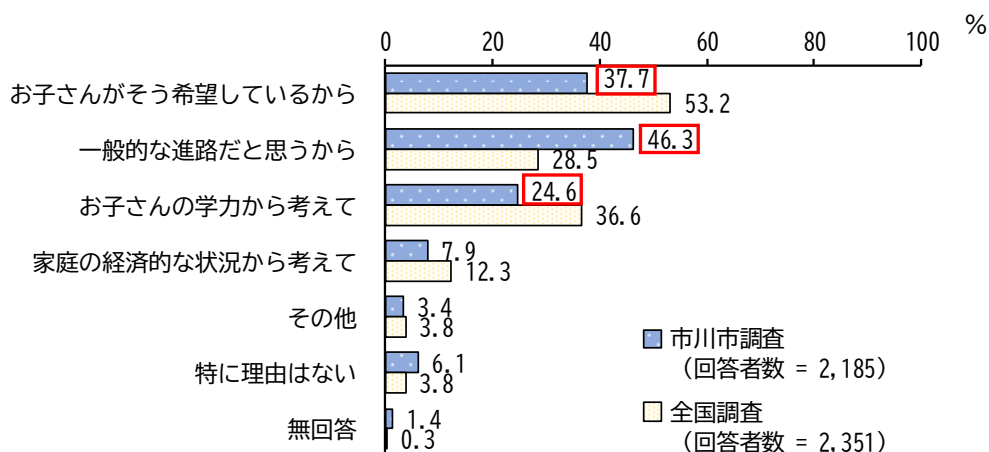
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親、ひとり親世帯：母子世帯のみで、「中学、高校（または5年制の高等専門学校）大学」の割合が低くなっています。



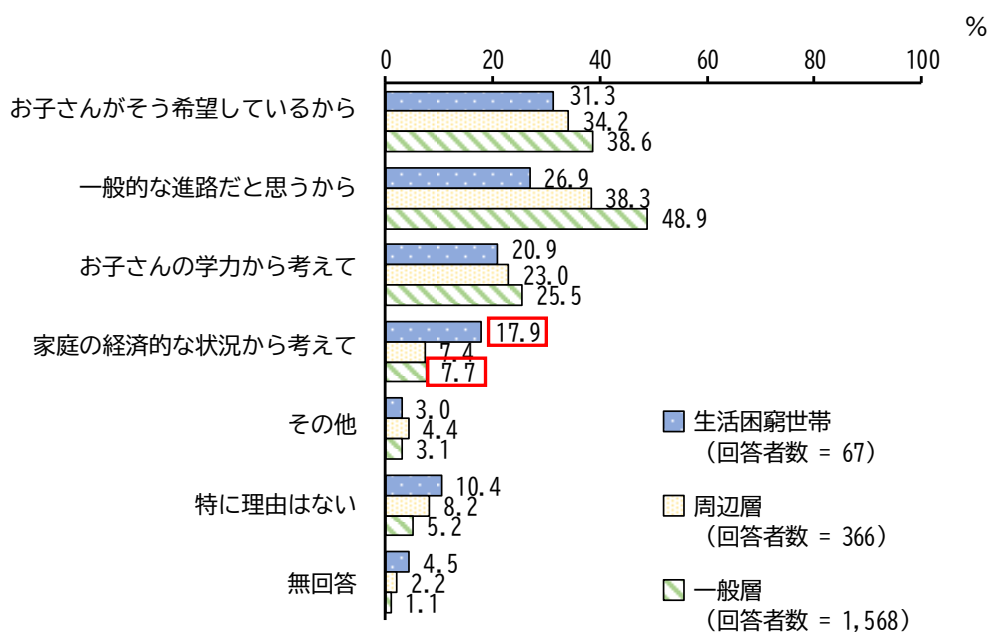
問 16 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。(1～5については、あてはまるものすべてに○)

その理由については、生活困窮世帯では、一般層に比べ「家庭の経済的な状況から考えて」の割合が高くなっています。全国調査と比べ、「一般的な進路だと思うから」の割合が高くなっています。一方、「お子さんがそう希望しているから」「お子さんの学力から考えて」の割合が低くなっています。



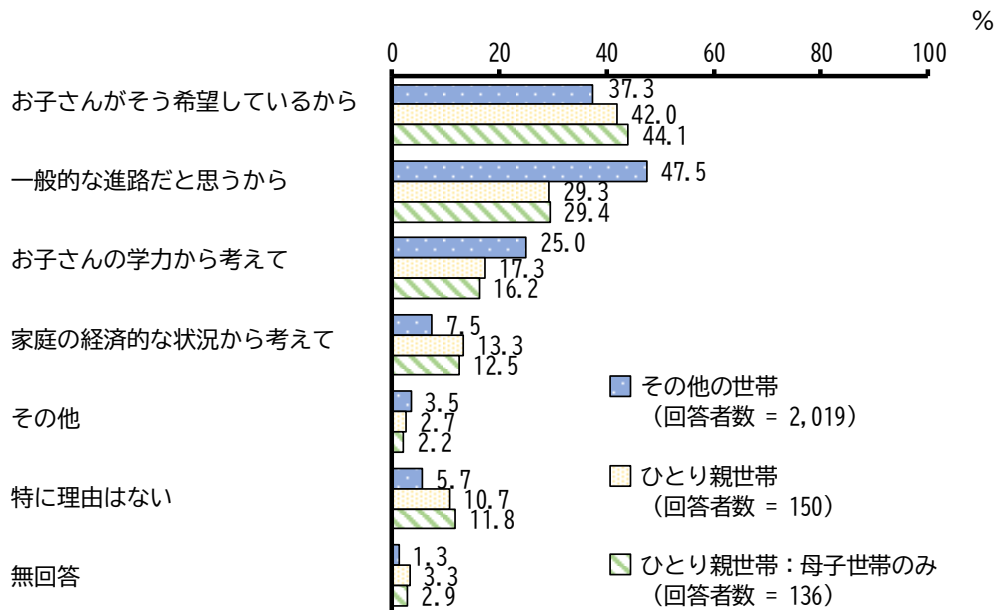
※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯：母子世帯のみで「お子さんがそう希望しているから」の割合が高くなっています。



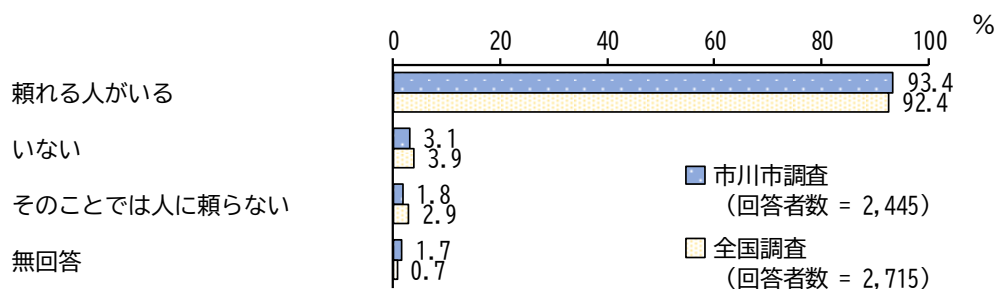
【まとめ】

- ・ 経済的な理由により進学が困難となることがないように、また、生活困窮度が高くても安心して教育が受けられるよう教育費負担の軽減を行う必要があります。

問 17 あなたは次に挙げる事柄(ことがら)で頼れる人はいますか。(1～3のあてはまるもの1つに○) また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

a) 子育てに関する相談

「頼れる人がいる」の割合が93.4%と最も高くなっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
全体	2445	93.4	3.1	1.8	1.7
生活困窮世帯	79	89.9	3.8	2.5	3.8
周辺層	430	92.1	3.5	1.9	2.6
一般層	1699	95.0	2.9	1.6	0.4

【世帯構成別】

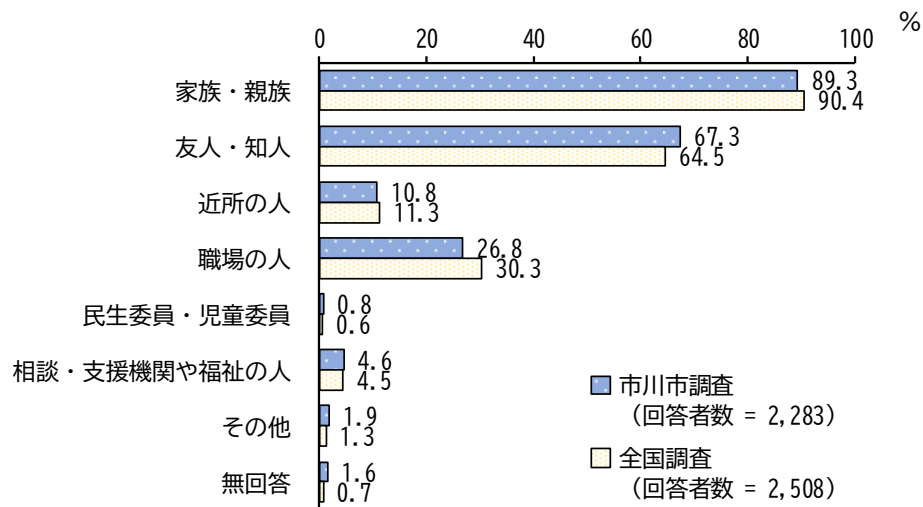
世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
全体	2445	93.4	3.1	1.8	1.7
その他の世帯	2241	94.2	2.7	1.6	1.5
ひとり親世帯	181	84.5	8.3	4.4	2.8
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	86.5	8.0	3.7	1.8

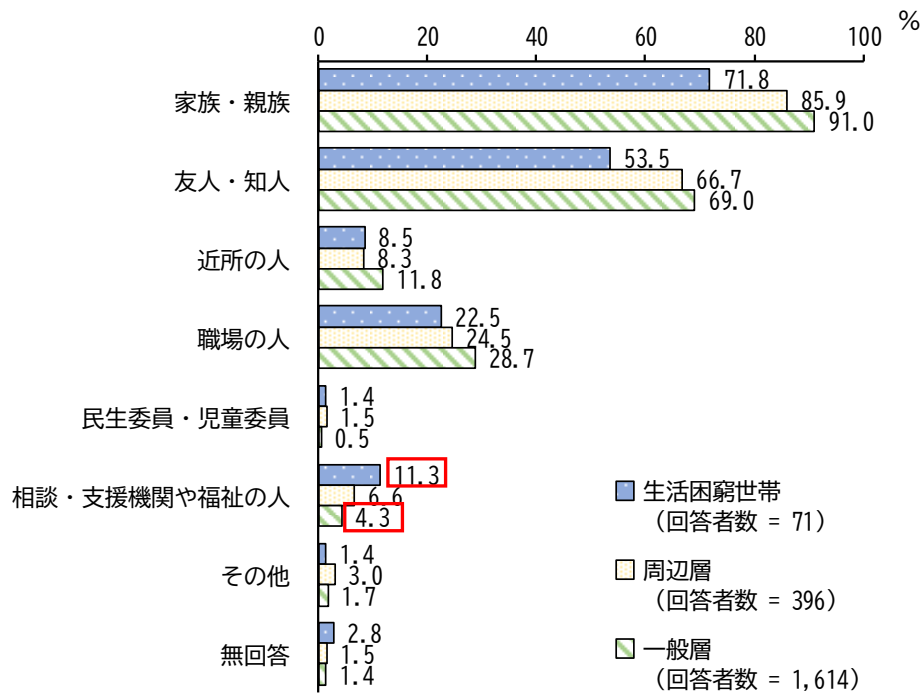
頼れる人

子育てに関する相談で頼れる人がいるかについて、生活困窮世帯では、一般層に比べ「相談・支援機関や福祉の人」の割合が高くなっています。



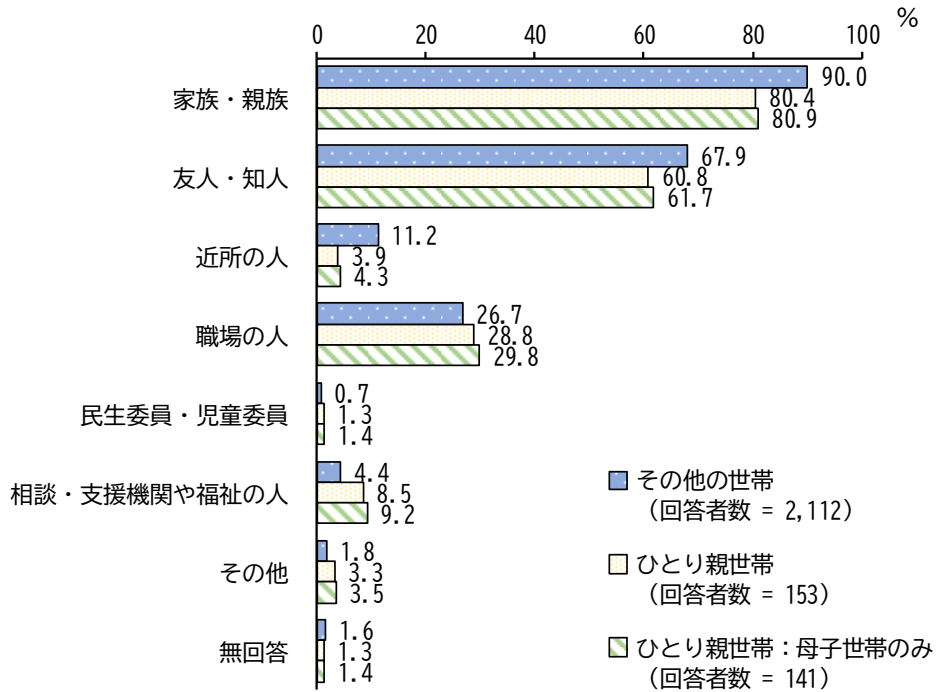
※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】



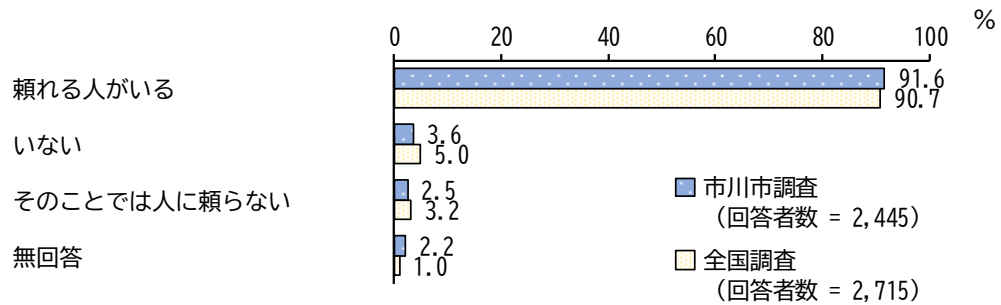
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで、「相談・支援機関や福祉の人」が若干高くなっています。



b) 重要な事柄の相談

「頼れる人がいる」の割合が91.6%と最も高くなっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
全体	2445	91.6	3.6	2.5	2.2
生活困窮世帯	79	87.3	3.8	3.8	5.1
周辺層	430	89.8	4.7	3.3	2.3
一般層	1699	93.6	3.0	2.4	1.0

【世帯構成別】

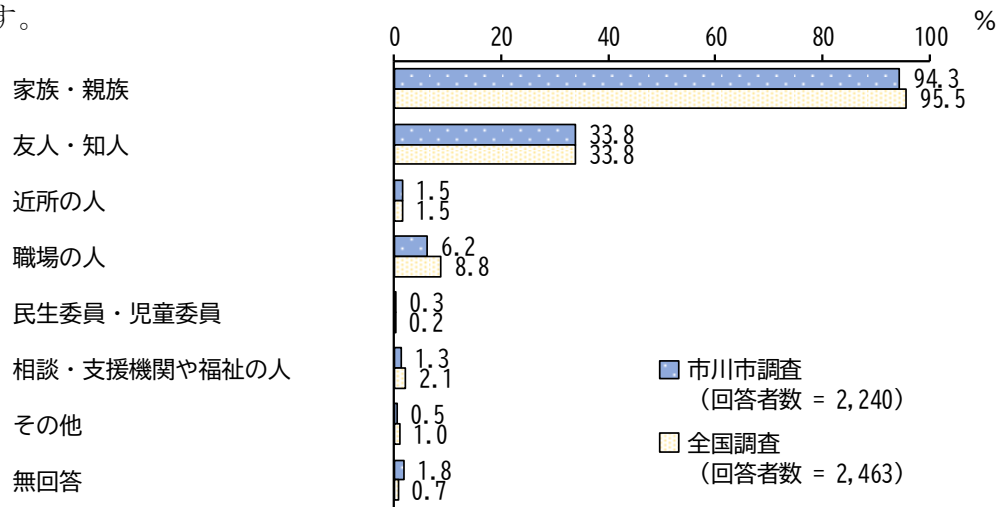
世帯構成別にみると、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「いない」の割合が若干高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
全体	2445	91.6	3.6	2.5	2.2
その他の世帯	2241	92.7	2.9	2.5	1.9
ひとり親世帯	181	79.6	12.7	3.9	3.9
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	81.0	12.3	3.7	3.1

頼れる人

「家族・親族」の割合が94.3%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が33.8%となっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯、周辺層で「相談・支援機関や福祉の人」の割合が若干高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	福祉の人 相談・支援機関や	その他	無回答
全体	2240	94.3	33.8	1.5	6.2	0.3	1.3	0.5	1.8
生活困窮世帯	69	82.6	29.0	4.3	2.9	1.4	5.8	—	2.9
周辺層	386	90.7	35.5	1.3	6.2	1.0	2.3	1.0	2.1
一般層	1591	95.8	34.1	1.3	6.5	0.1	0.8	0.4	1.5

【世帯構成別】

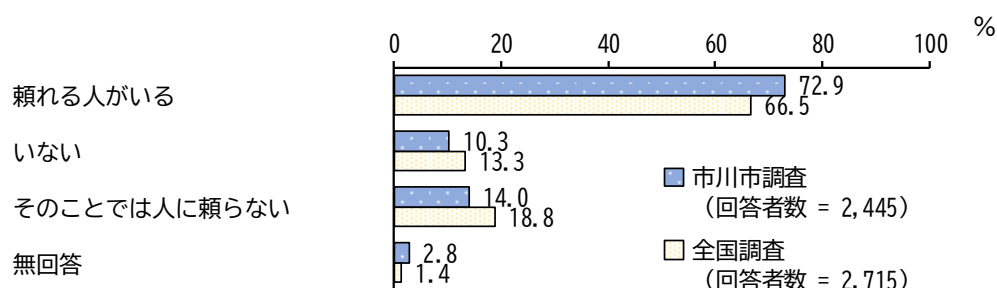
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親：母子世帯のみで「相談・支援機関や福祉の人」の割合が若干高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	家族・親族	友人・知人	近所の人	職場の人	民生委員・児童委員	福祉の人 相談・支援機関や	その他	無回答
全体	2240	94.3	33.8	1.5	6.2	0.3	1.3	0.5	1.8
その他の世帯	2078	95.0	33.5	1.4	5.8	0.2	1.1	0.4	1.8
ひとり親世帯	144	85.4	36.8	0.7	10.4	0.7	4.2	2.1	1.4
ひとり親世帯：母子世帯のみ	132	84.8	37.9	0.8	9.1	0.8	3.8	2.3	1.5

c) いざという時のお金の援助

「頼れる人がいる」の割合が 72.9%と最も高く、次いで「そのことでは人に頼らない」の割合が 14.0%、「いない」の割合が 10.3%となっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「いない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
全体	2445	72.9	10.3	14.0	2.8
生活困窮世帯	79	64.6	19.0	11.4	5.1
周辺層	430	73.3	14.2	9.5	3.0
一般層	1699	74.5	8.9	15.2	1.4

【世帯構成別】

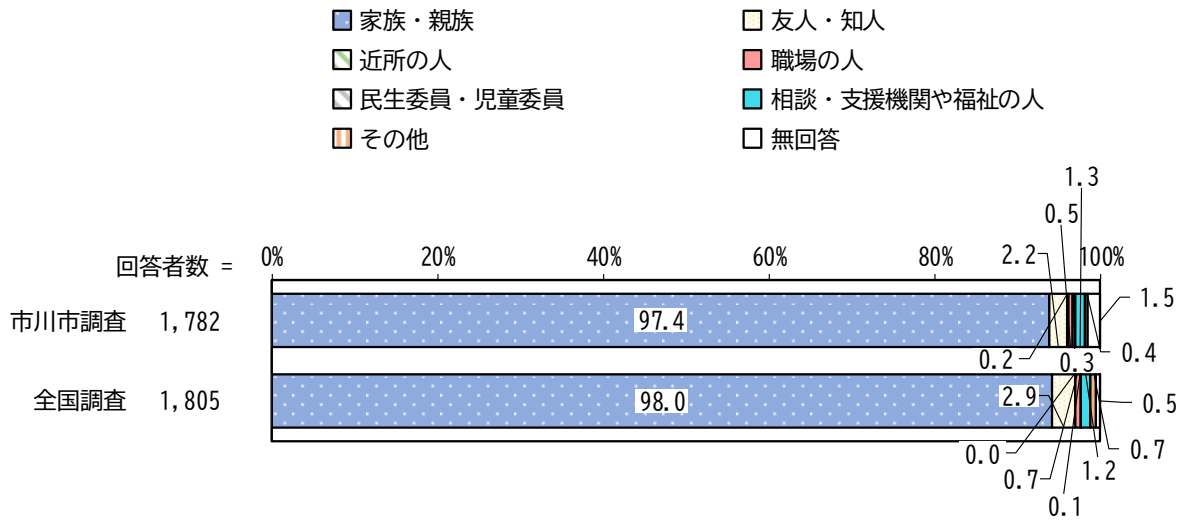
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「いない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	頼れる人がいる	いない	そのことでは人に頼らない	無回答
全体	2445	72.9	10.3	14.0	2.8
その他の世帯	2241	73.9	9.5	14.2	2.5
ひとり親世帯	181	64.6	21.5	10.5	3.3
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	66.9	20.9	9.8	2.5

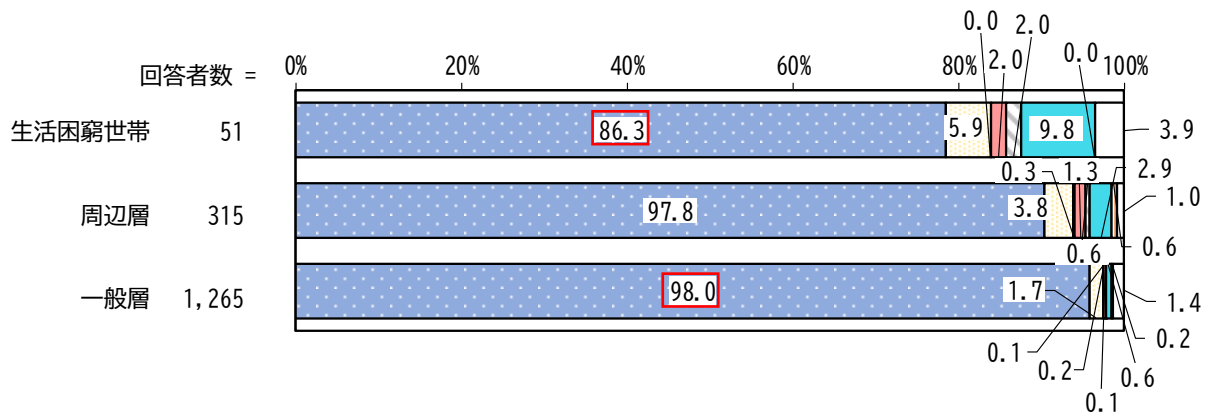
頼れる人

一方、いざという時のお金の援助で頼れる人がいるかについて、生活困窮世帯では、一般層に比べ「相談・支援機関や福祉の人」の割合が高くなっています。一方、「家族・親族」の割合が低くなっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

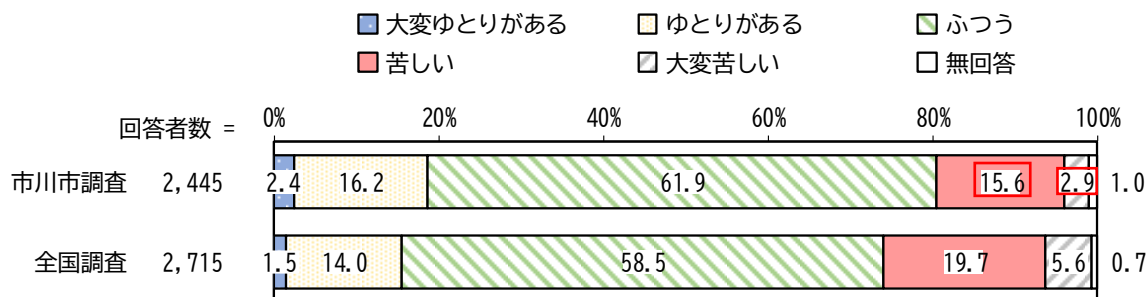
区分	回答者数 (件)	家族・ 親族	友人・ 知人	近所 の人	職場 の人	民生 委員・ 児童委 員	相談・ 支援機 関や 福祉の 人	その他	無回 答
全 体	1782	97.4	2.2	0.2	0.5	0.3	1.3	0.4	1.5
その他の世帯	1655	97.9	1.5	0.1	0.3	0.2	0.9	0.2	1.5
ひとり親世帯	117	89.7	12.0	－	2.6	0.9	6.0	2.6	1.7
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	109	89.0	12.8	－	1.8	0.9	6.4	1.8	1.8

【まとめ】

- ・ いざという時のお金の援助について頼れる人がいない割合が1割ほどおり、このことから緊急時などの経済的な援助に対して支援が必要になることが考えられます。
- ・ 問題が複合化した場合は、単一の支援機関や制度では限界があるため、関係機関の連携や情報共有体制をより一層強化していく必要があります。
- ・ 支援の必要な子どもや子育て家庭の課題を早期に把握し、適切な支援につなぐことが必要です。

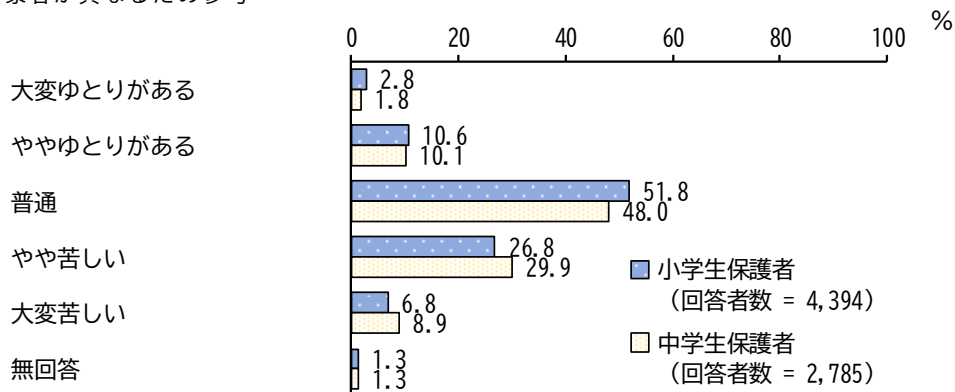
問 18 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

現在の暮らしの状況をどのように感じているかについて、全国調査と比較すると、“苦しい”の割合が低くなっていますが、生活困窮世帯では、一般層に比べ“苦しい”の割合が高くなっています。



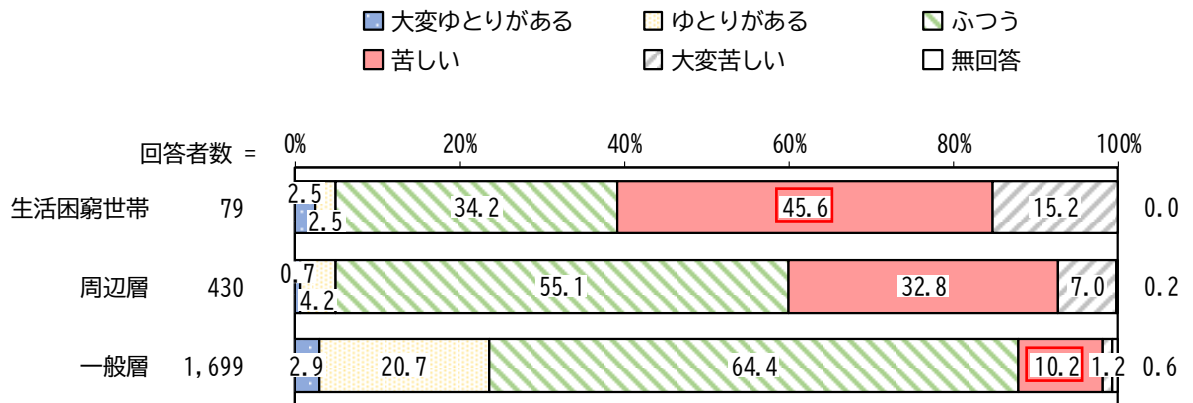
※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【県調査】 ※対象者が異なるため参考



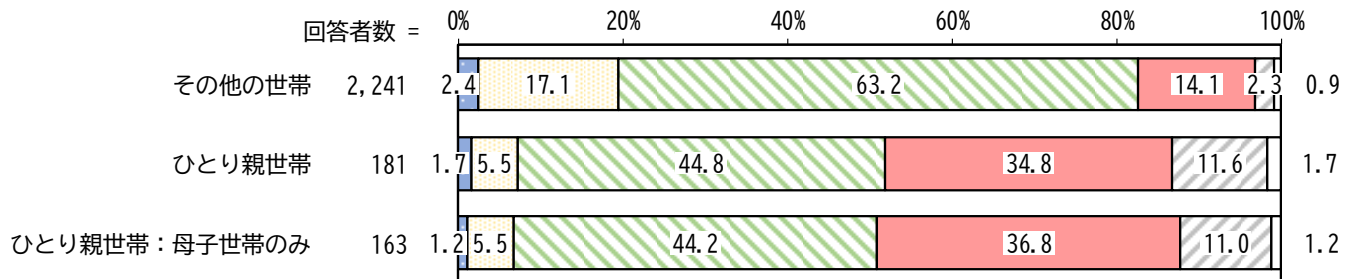
※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

【世帯区分別】



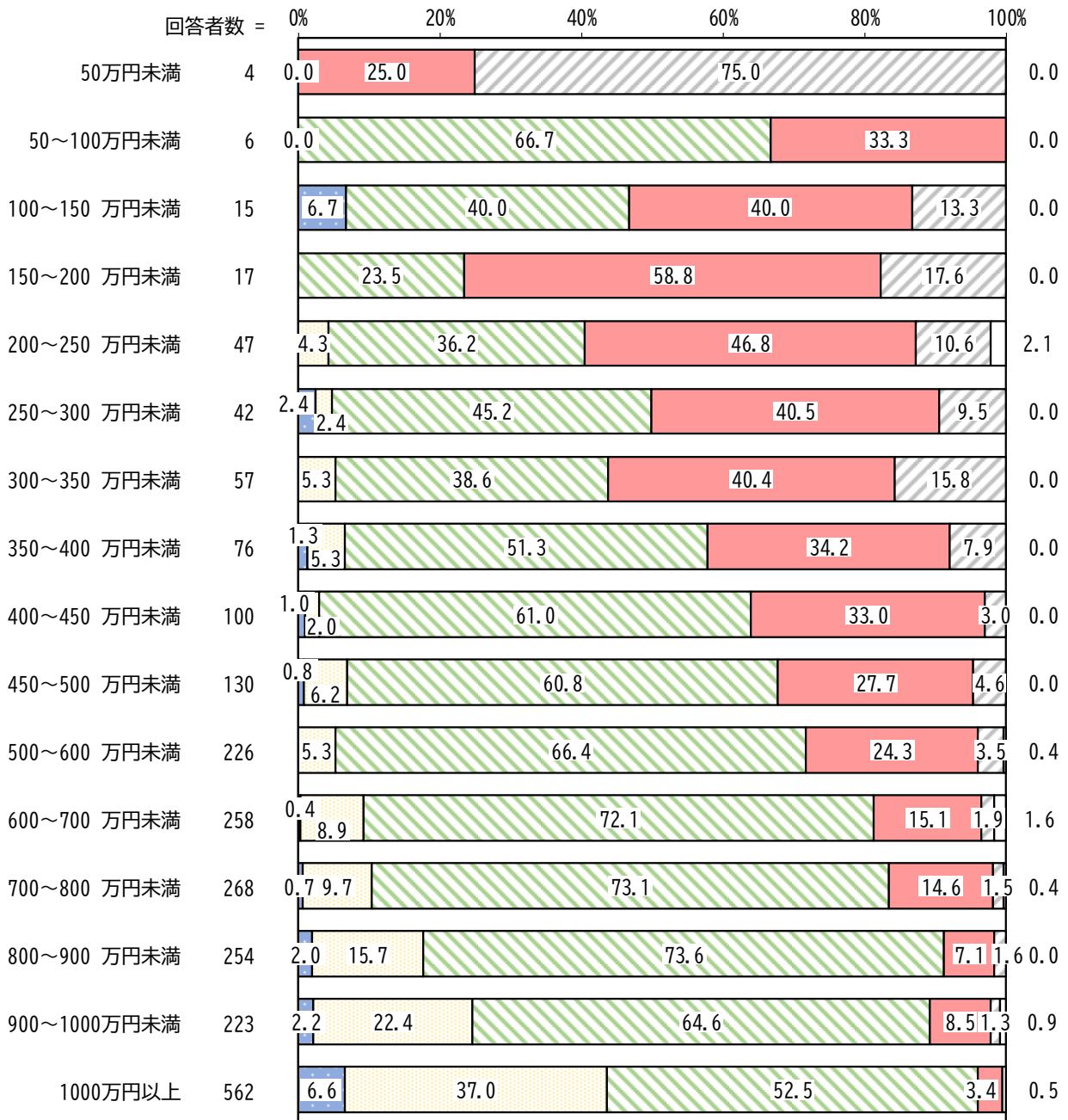
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯：母子世帯のみ、ひとり親世帯で「苦しい」の割合が高くなっています。



【世帯年収別】

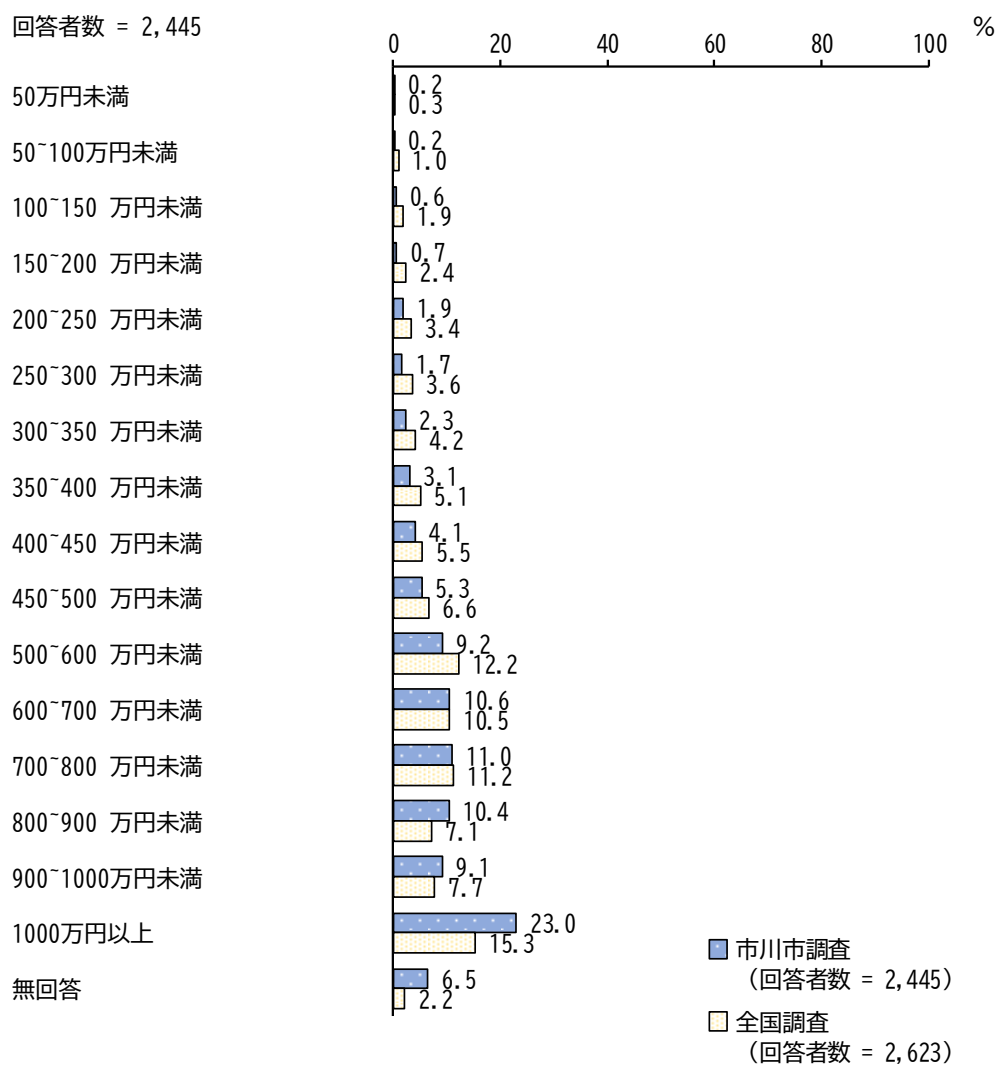
■ 大変ゆとりがある □ ゆとりがある □ ふつう
■ 苦しい □ 大変苦しい □ 無回答



問 19 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○) ※2021年の年間収入についてお答えください。

「1000万円以上」の割合が23.0%と最も高く、次いで「700～800万円未満」の割合が11.0%、「600～700万円未満」の割合が10.6%となっています。

全国調査との比較を参考として掲載します。

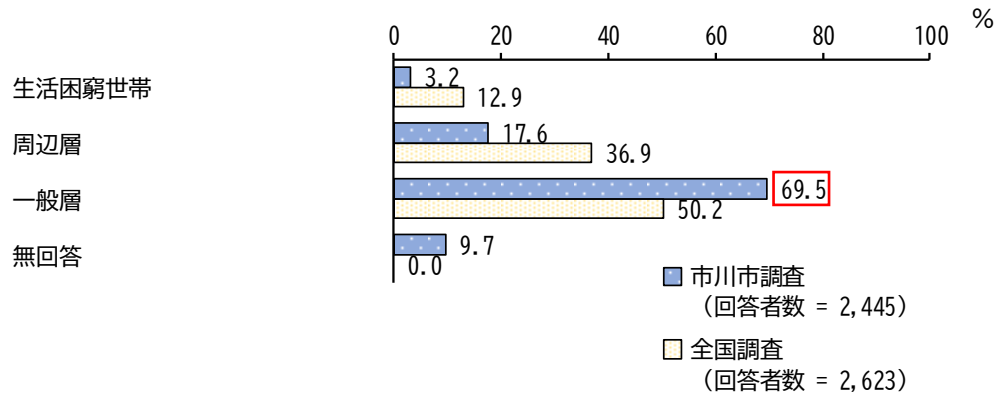


※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】

「一般層」の割合が69.5%と最も高く、次いで「周辺層」の割合が17.6%となっています。

全国調査との比較を参考として掲載します。



【世帯構成別】

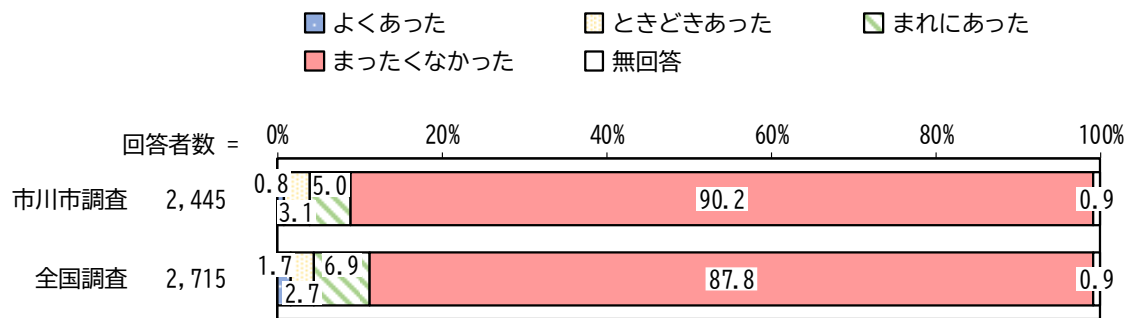
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯：母子世帯のみ、ひとり親世帯で「周辺層」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	生活困窮世帯	周辺層	一般層	無回答
全体	2445	3.2	17.6	69.5	9.7
その他の世帯	2241	1.5	15.9	73.4	9.1
ひとり親世帯	181	24.3	38.1	26.0	11.6
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	163	26.4	38.7	23.3	11.7

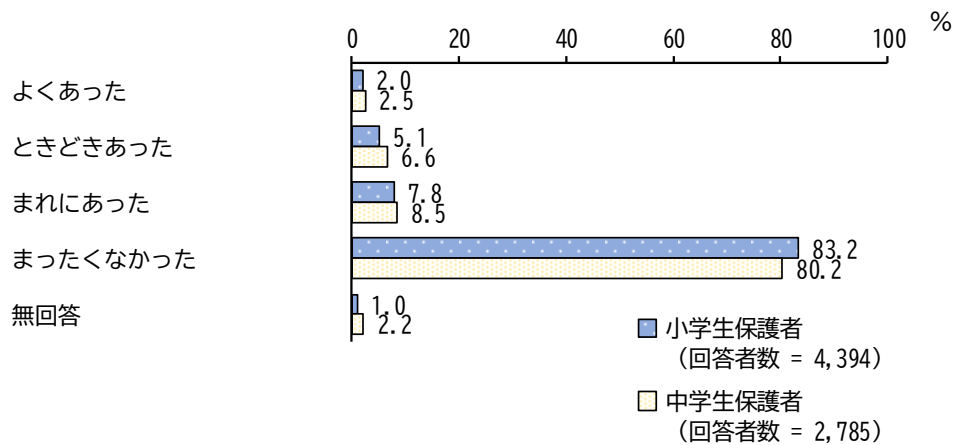
問 20 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。
(あてはまるもの1つに○)

過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがあったかについて、生活困窮世帯では、一般層に比べ「よくあった」と「ときどきあった」をあわせた“あった”の割合が高く、2割をこえています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

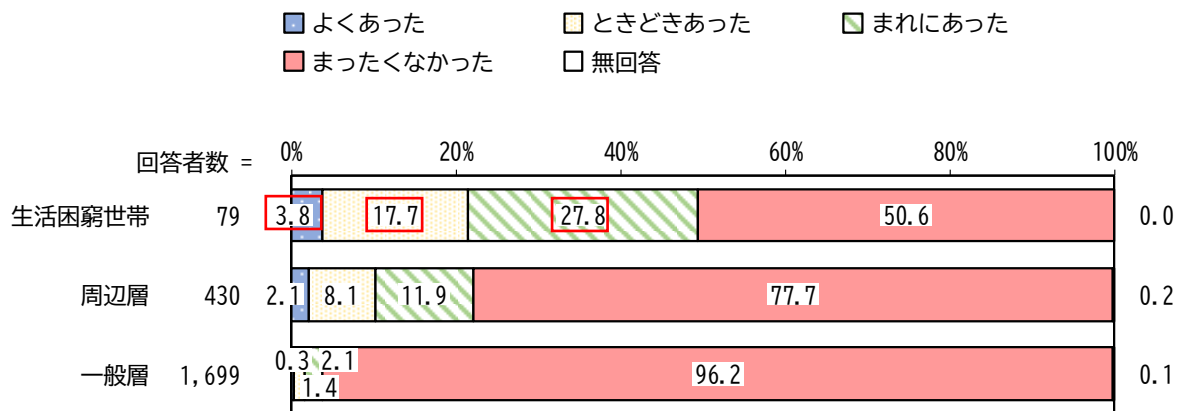
【県調査】 ※対象者が異なるため参考



※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、生活困窮世帯で「ときどきあった」「まれにあった」の割合が高くなっています。



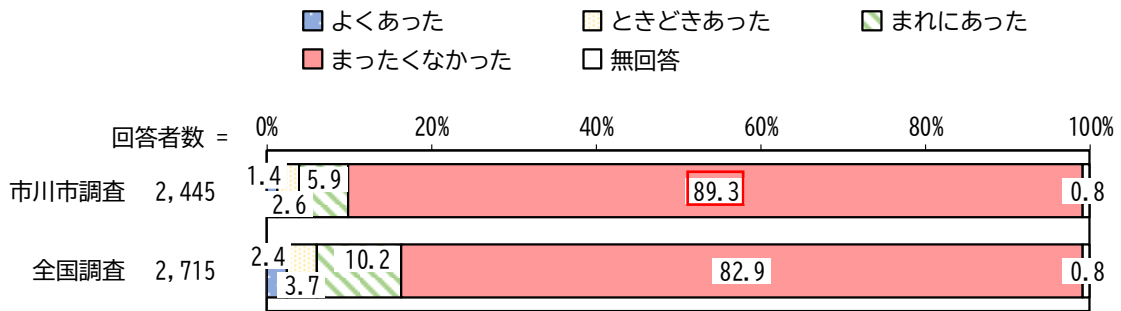
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「ときどきあった」「まれにあった」の割合が高くなっています。また、その他の世帯で「まったくなかった」の割合が高くなっています。



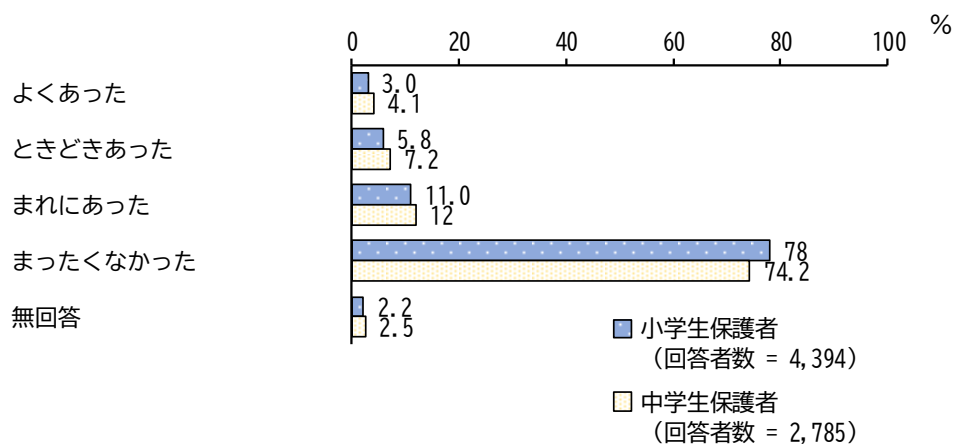
問 21 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがあったかについて、全国調査と比較すると、「まったくなかった」の割合が高くなっています。しかし、生活困窮世帯では、一般層に比べ「よくあった」と「ときどきあった」をあわせた“あった”の割合が高く、2割を超えています。



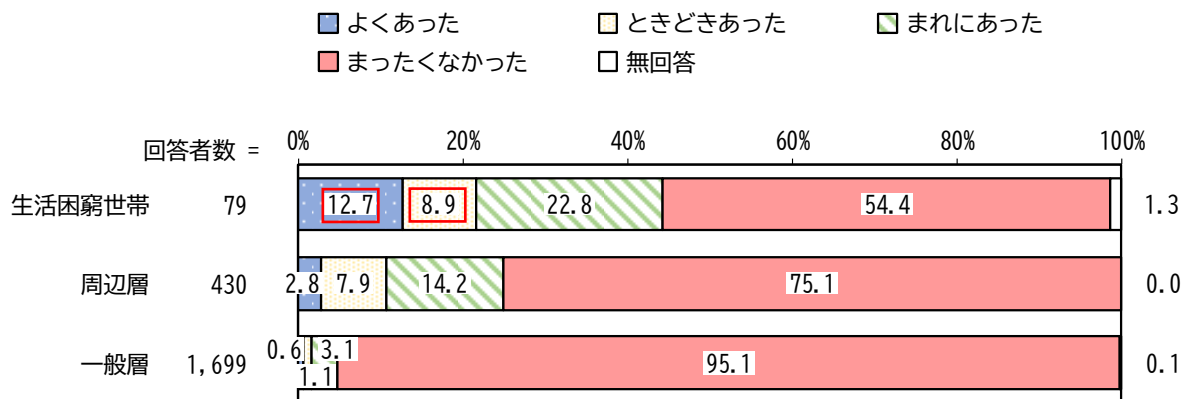
※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【県調査】 ※対象者が異なるため参考



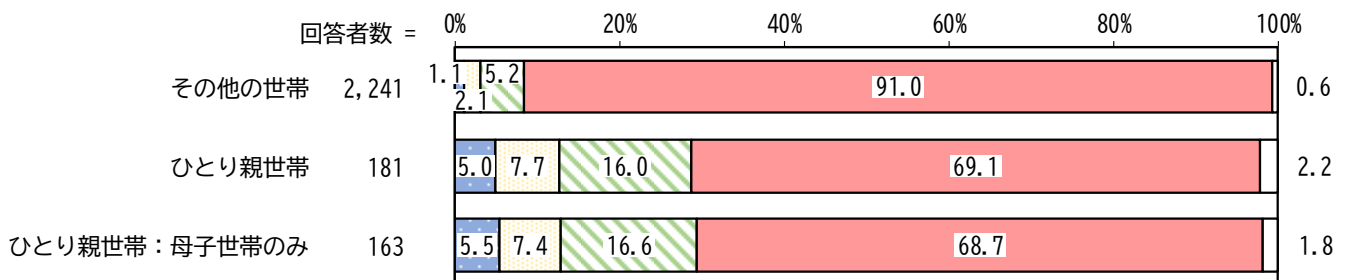
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、生活困窮世帯では、「よくあった」「ときどきあった」の合計が2割をこえています。



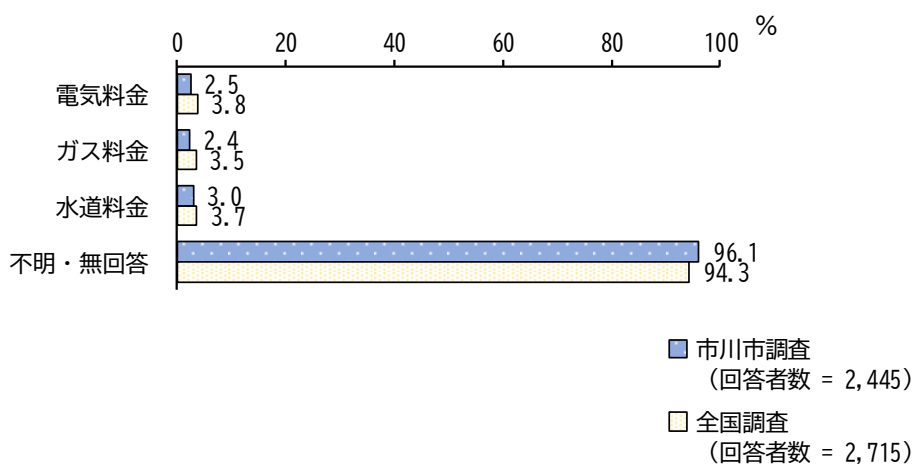
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「よくあった」「まれにあった」が1割をこえています。



問 22 あなたの世帯では、過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1～3については、あてはまるものすべてに○)

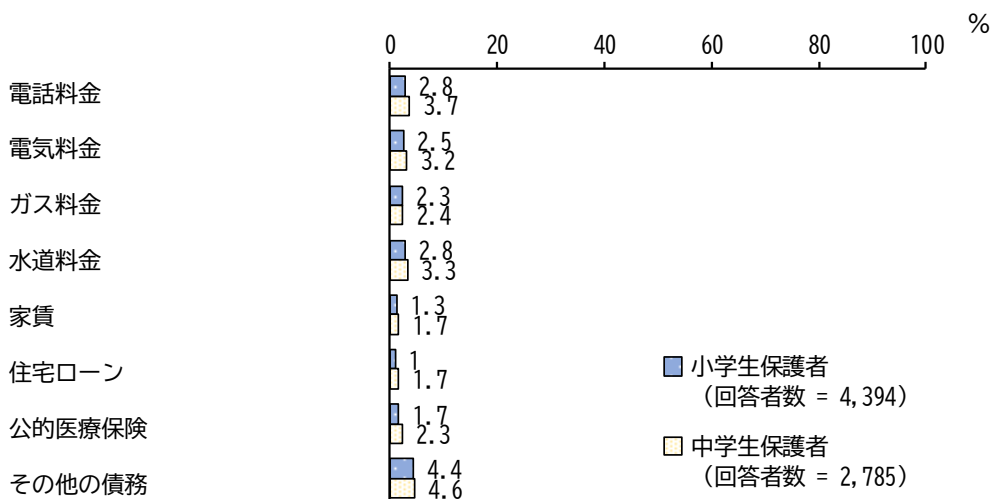
過去1年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがあったかについて、生活困窮世帯では、一般層に比べ「電気料金」「ガス料金」「水道料金」の割合が高くなっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

*全国調査では、「あてはまるものはない」の選択肢はありません。また、「あてはまるものはない」、「無回答」の割合を「不明・無回答」に入れています。

【県調査】 ※選択肢、対象者が異なるため参考

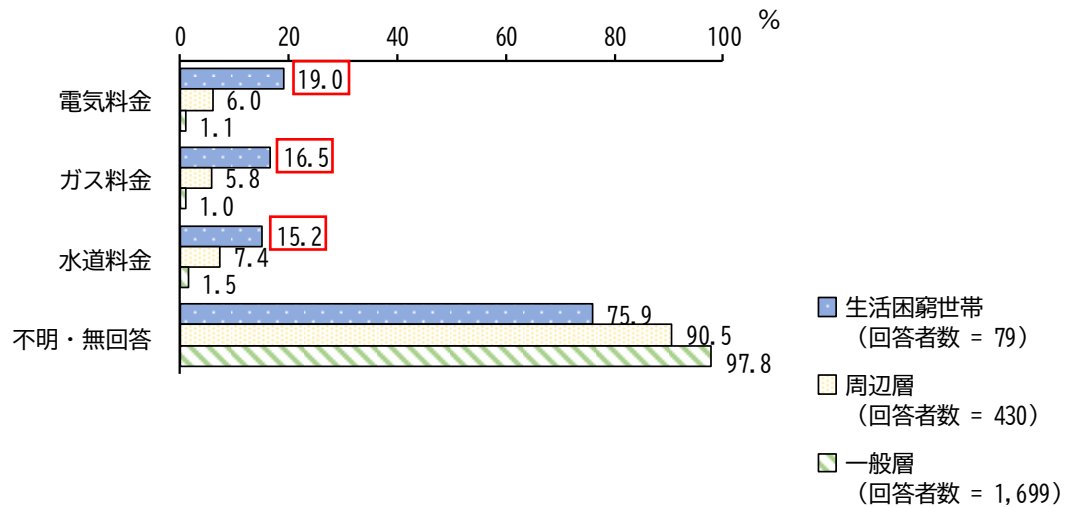


*県調査では、「無回答」の割合は記載されていませんでした。

※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

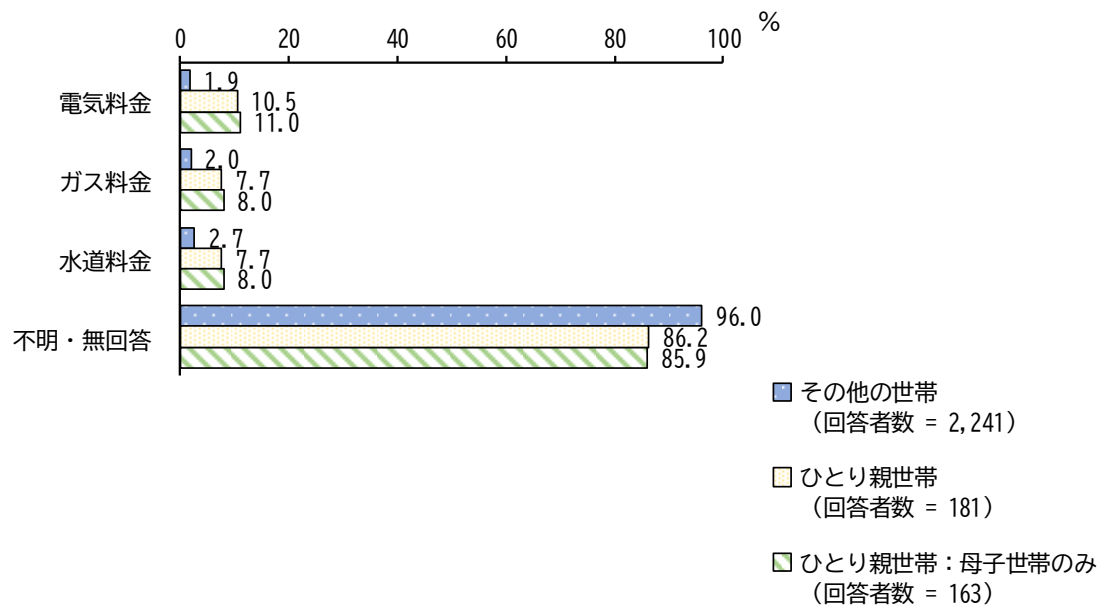
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「電気料金」「ガス料金」「水道料金」の割合が高くなっています。



【世帯構成別】

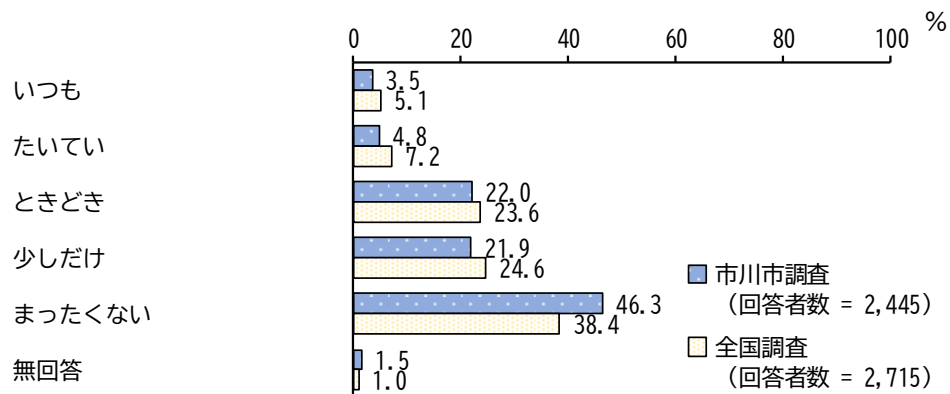
世帯構成別にみると、他に比べ、その他の世帯で「電気料金」「ガス料金」「水道料金」の割合が低くなっています。



問 23 次の a)～f)の質問について、この1か月間のあなたの気持ちについてお伺いします。(a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 神経過敏に感じた

「まったくない」の割合が46.3%と最も高く、次いで「ときどき」の割合が22.0%、「少しだけ」の割合が21.9%となっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、周辺層で「ときどき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
全体	2445	3.5	4.8	22.0	21.9	46.3	1.5
生活困窮世帯	79	6.3	15.2	22.8	24.1	30.4	1.3
周辺層	430	4.9	6.7	27.2	22.3	37.4	1.4
一般層	1699	2.8	3.9	20.2	21.8	50.6	0.6

【世帯構成別】

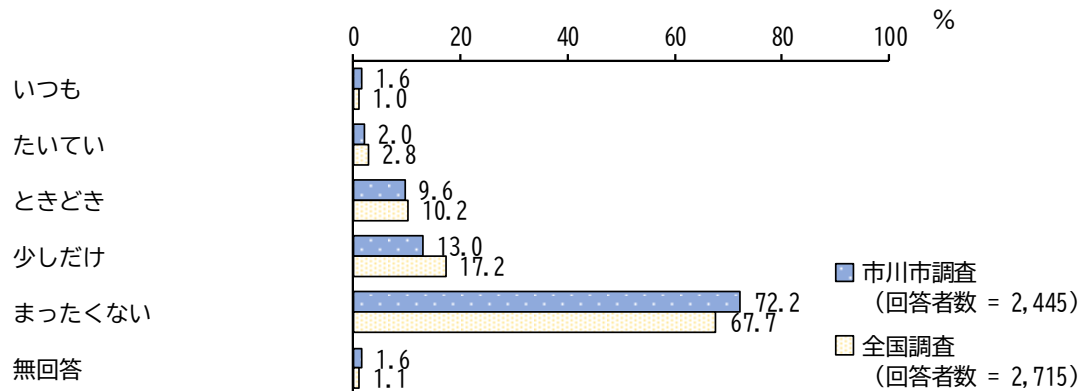
世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
全体	2445	3.5	4.8	22.0	21.9	46.3	1.5
その他の世帯	2241	3.2	4.5	22.4	21.6	47.0	1.4
ひとり親世帯	181	6.6	9.4	18.8	24.3	38.7	2.2
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	163	7.4	10.4	19.6	22.7	38.0	1.8

b) 絶望的だと感じた

「まったくない」の割合が72.2%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が13.0%となっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「少しだけ」の割合が、一般層で「まったくない」の割合が高くなっています。

位：%

区分	回答者数 (件)	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
全体	2445	1.6	2.0	9.6	13.0	72.2	1.6
生活困窮世帯	79	5.1	11.4	15.2	21.5	45.6	1.3
周辺層	430	2.6	3.7	16.0	16.0	60.2	1.4
一般層	1699	1.2	1.2	7.7	11.4	77.9	0.6

【世帯構成別】

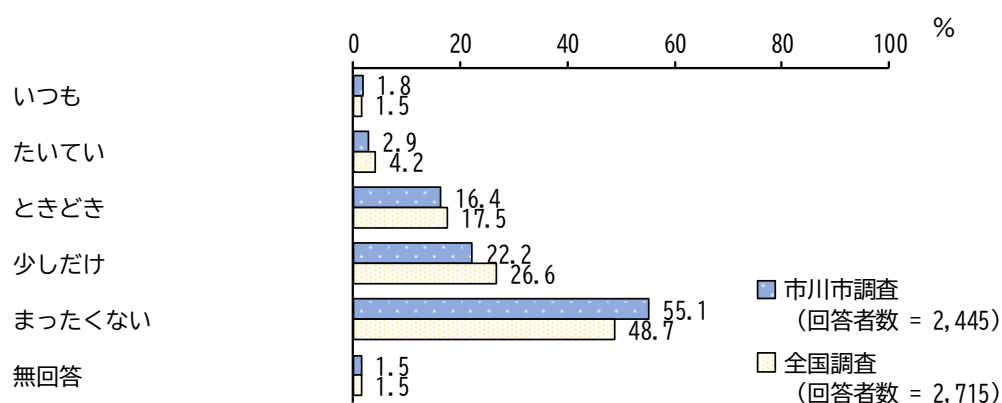
世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
全体	2445	1.6	2.0	9.6	13.0	72.2	1.6
その他の世帯	2241	1.4	1.7	9.2	12.6	73.5	1.5
ひとり親世帯	181	4.4	6.1	12.7	17.7	57.5	1.7
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	163	4.9	6.7	14.1	16.0	57.1	1.2

c) そわそわ、落ち着かなく感じた

「まったくない」の割合が 55.1%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が 22.2%、「ときどき」の割合が 16.4%となっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、周辺層で「ときどき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
全体	2445	1.8	2.9	16.4	22.2	55.1	1.5
生活困窮世帯	79	7.6	10.1	20.3	20.3	41.8	—
周辺層	430	1.2	5.3	21.9	22.1	48.4	1.2
一般層	1699	1.8	1.9	14.9	21.8	58.7	0.7

【世帯構成別】

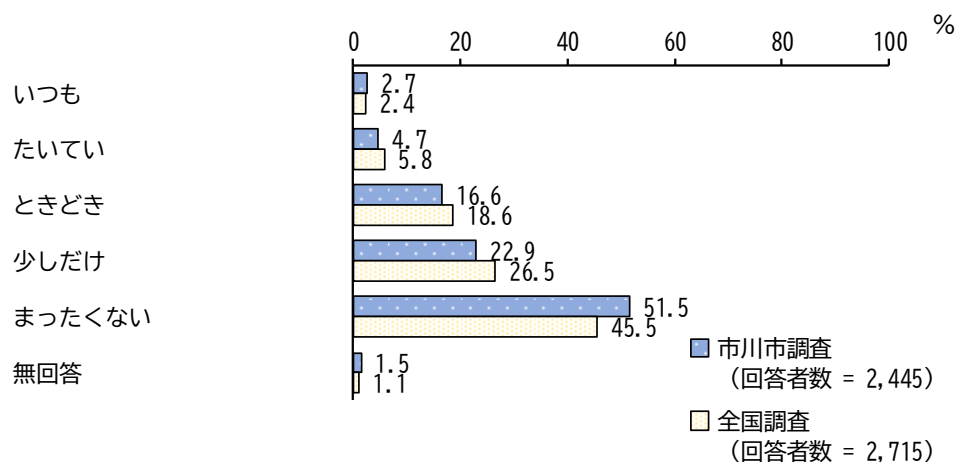
世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
全体	2445	1.8	2.9	16.4	22.2	55.1	1.5
その他の世帯	2241	1.7	2.7	16.2	22.5	55.5	1.4
ひとり親世帯	181	3.3	6.1	18.2	18.8	51.9	1.7
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	3.7	6.7	20.2	17.8	50.3	1.2

d) 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

「まったくない」の割合が51.5%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が22.9%、「ときどき」の割合が16.6%となっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
全体	2445	2.7	4.7	16.6	22.9	51.5	1.5
生活困窮世帯	79	6.3	13.9	21.5	19.0	39.2	—
周辺層	430	4.0	7.2	19.5	24.2	44.0	1.2
一般層	1699	2.2	3.5	15.7	23.2	54.7	0.7

【世帯構成別】

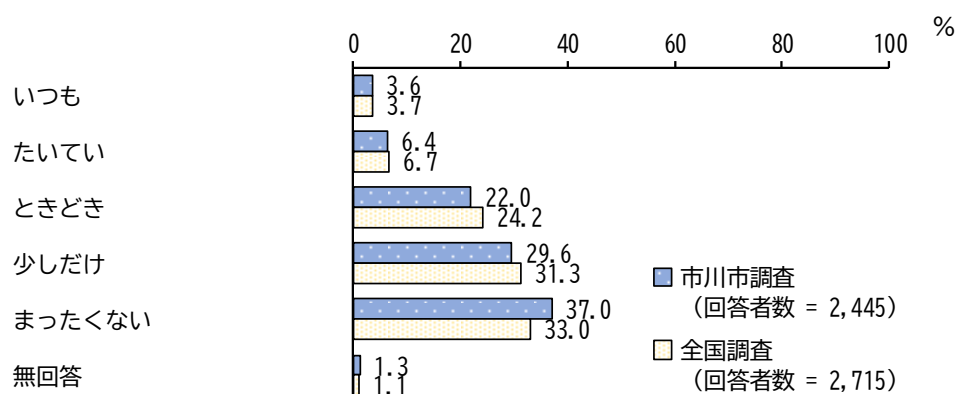
世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
全体	2445	2.7	4.7	16.6	22.9	51.5	1.5
その他の世帯	2241	2.4	4.4	16.6	23.2	52.0	1.4
ひとり親世帯	181	7.2	8.3	17.7	19.9	45.3	1.7
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	8.0	8.6	19.6	18.4	44.2	1.2

e) 何をするのも面倒だと感じた

「まったくない」の割合が37.0%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が29.6%、「ときどき」の割合が22.0%となっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
全体	2445	3.6	6.4	22.0	29.6	37.0	1.3
生活困窮世帯	79	7.6	11.4	26.6	31.6	22.8	—
周辺層	430	5.3	9.8	22.1	30.9	30.7	1.2
一般層	1699	2.9	5.1	22.0	29.9	39.7	0.4

【世帯構成別】

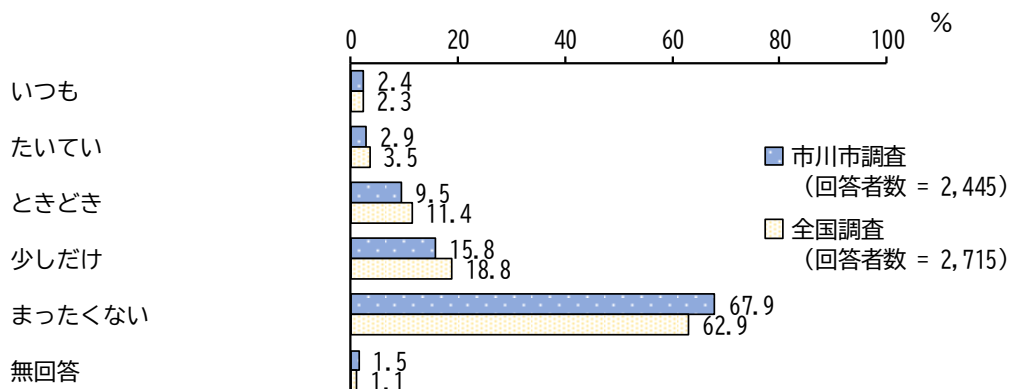
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯：母子世帯のみで「ときどき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
全体	2445	3.6	6.4	22.0	29.6	37.0	1.3
その他の世帯	2241	3.6	6.1	21.8	30.0	37.3	1.2
ひとり親世帯	181	4.4	10.5	25.4	26.0	32.0	1.7
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	4.3	11.0	28.2	23.9	31.3	1.2

f) 自分は価値のない人間だと感じた

「まったくない」の割合が67.9%と最も高く、次いで「少しだけ」の割合が15.8%となっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「少しだけ」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
全体	2445	2.4	2.9	9.5	15.8	67.9	1.5
生活困窮世帯	79	5.1	3.8	19.0	21.5	50.6	—
周辺層	430	3.7	4.9	13.0	16.7	60.5	1.2
一般層	1699	1.8	2.4	8.2	15.7	71.5	0.5

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない	無回答
全体	2445	2.4	2.9	9.5	15.8	67.9	1.5
その他の世帯	2241	2.2	2.7	9.4	15.6	68.7	1.3
ひとり親世帯	181	5.0	6.1	11.0	17.1	58.6	2.2
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	5.5	6.7	11.0	17.8	57.1	1.8

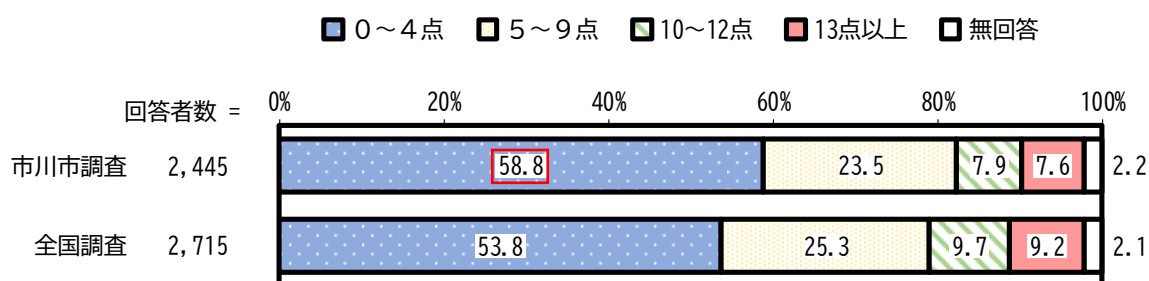
○K6について

「保護者の心理的な状態」に関して、調査では「K6」と呼ばれる a~f の項目を設定した。
 ※K6 は米国の Kessler らによって、うつ病・不安障害などの精神疾患をスクリーニングすることを目的として開発され、調査で心理的ストレスを含む何らかの精神的な問題の程度を表す指標として利用されている。

採点方法は、ひとつの質問ごとに 0 点（5.まったくない）から 4 点（1.いつも）を振り、0 点から 24 点で合計を計算する。高くなるほど抑うつ状態が強いことを示している。

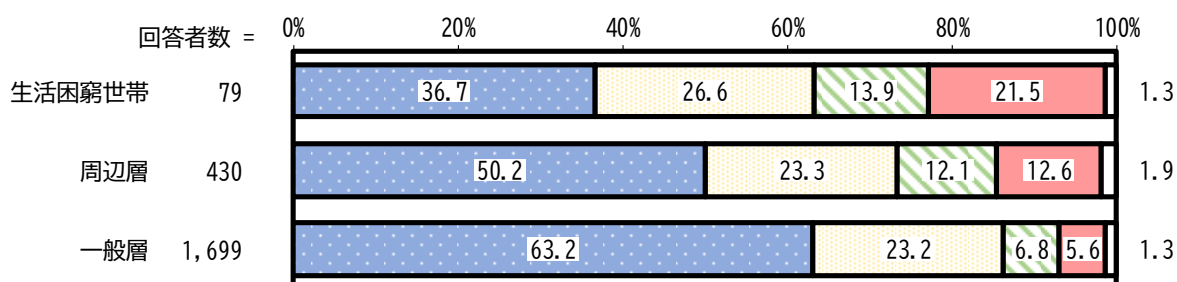
・K6 について、全国調査と比べ、「0～4 点」の割合が高くなっており、精神的な問題を抱える人が少ない傾向となっています。

K 6

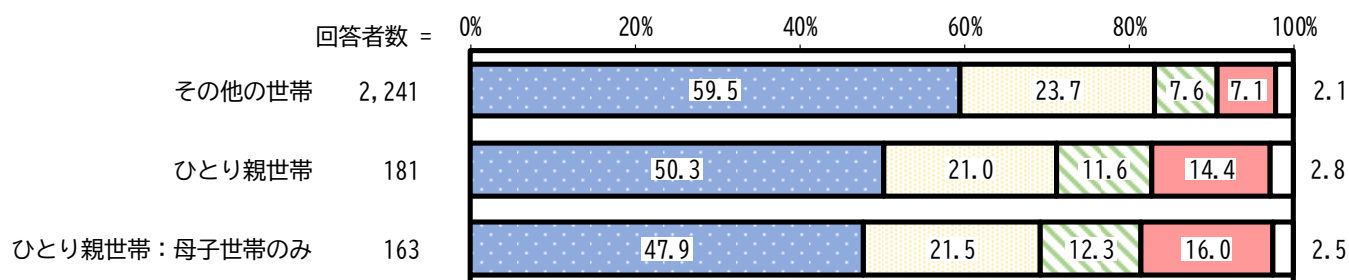


※全国調査：令和 3 年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和 3 年 12 月）

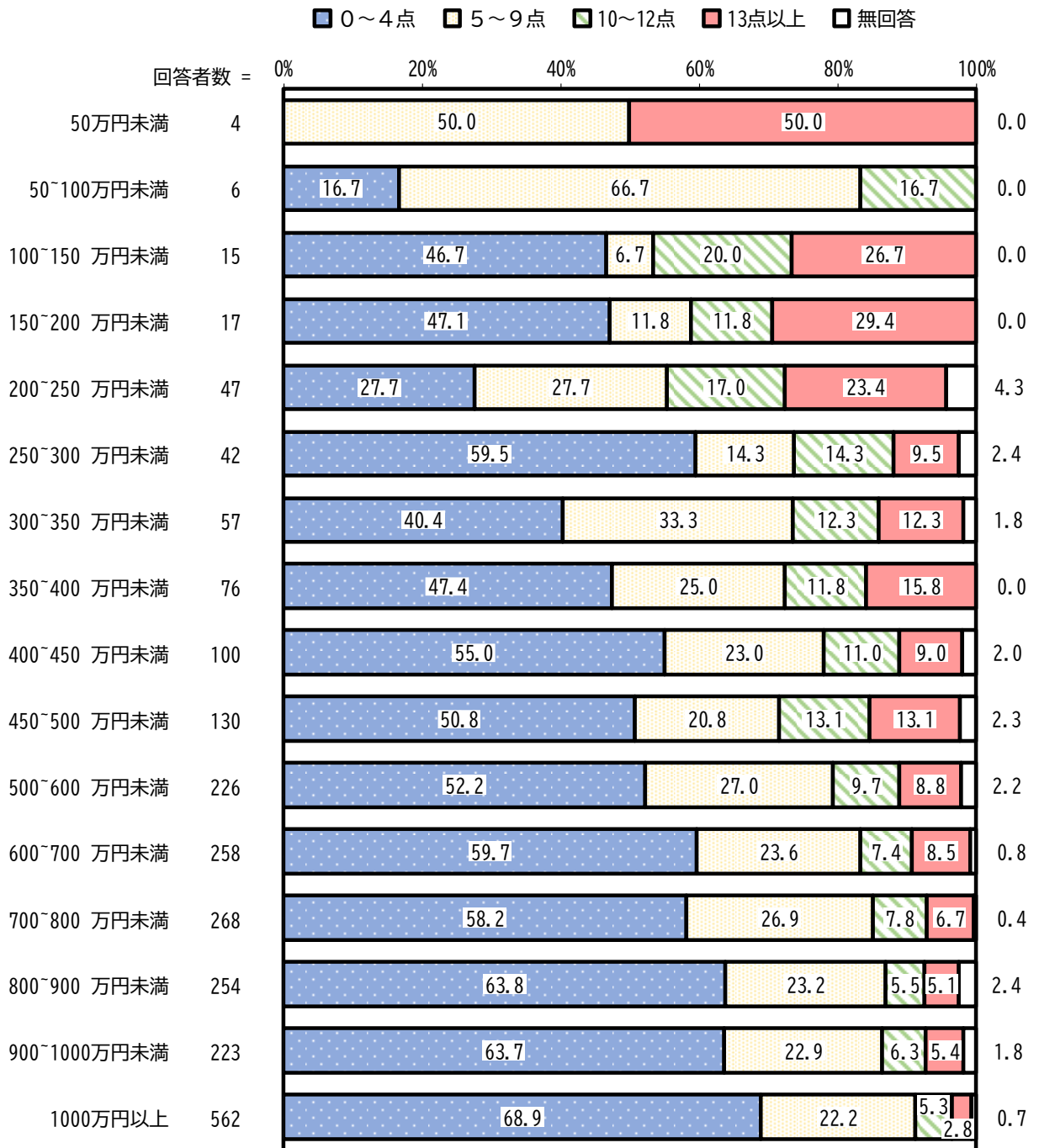
【世帯区分別】



【世帯構成別】



【所得区分別】

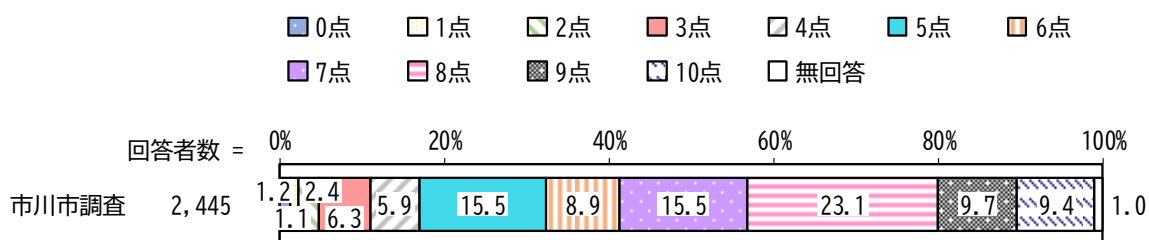


【まとめ】

- ・「K6」について、全国調査と比べて、市川市調査では0～4点の割合が高くなっており、精神的な問題を抱える人の割合が少ないことがうかがえる一方で、生活困窮世帯やひとり親世帯：母子世帯では点数が高い傾向があるため、支援が必要です。
- ・すべての子育て家庭が安定した生活を送れるよう、保護者の自立支援や育児負担の軽減を図るとともに、親子の健康の維持・増進を図る必要があります。

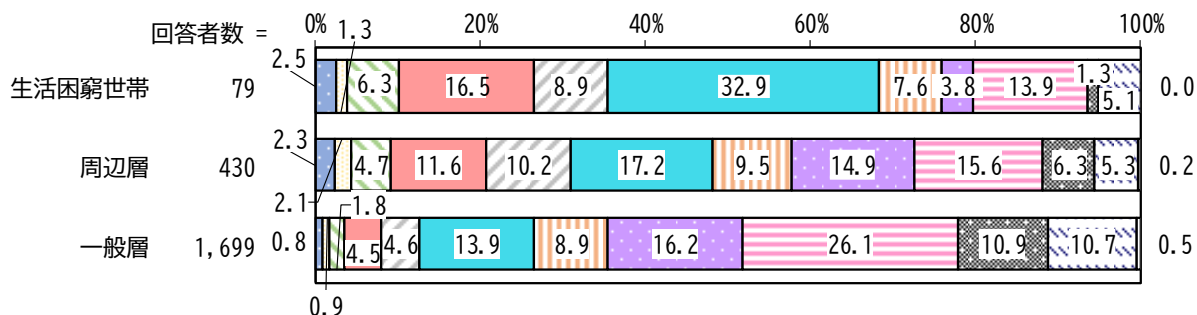
問 24 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。
「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字
で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

生活満足度については、「8点」の割合が23.1%と最も高く、次いで「5点」「7点」の割合が15.5%となっています。生活困窮世帯では、一般層に比べ、「5点」の割合が高くなっています。



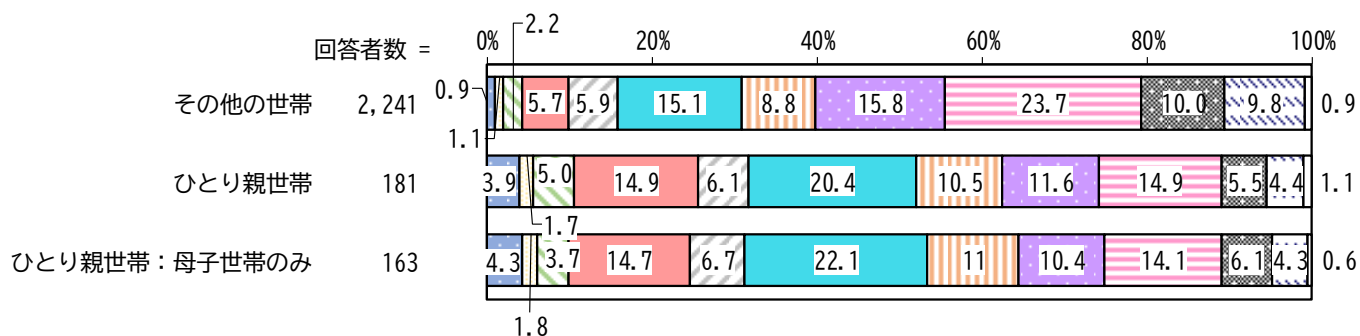
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「5点」の割合が高くなっています。



【世帯構成別】

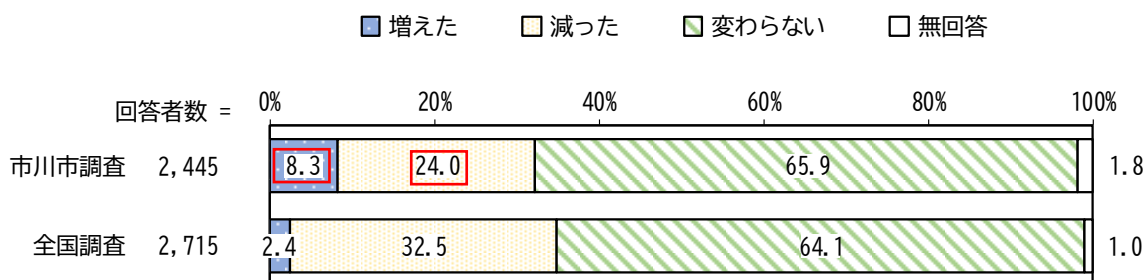
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯：母子世帯のみで「5点」の割合が高くなっています。



問 25 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。（a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

a) 世帯全体の収入の変化

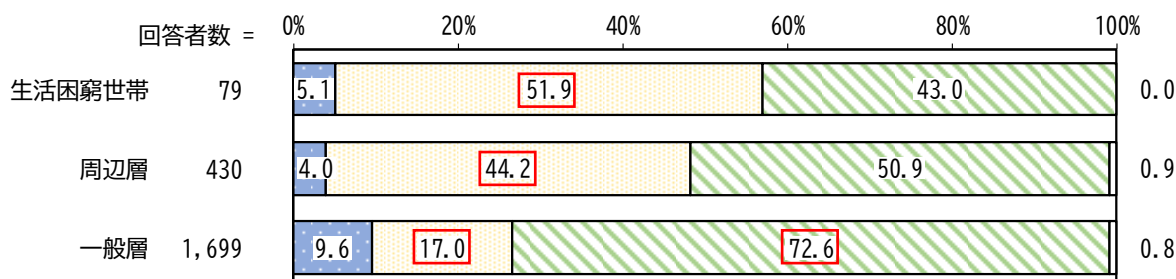
新型コロナウイルスの影響により、「世帯全体の収入の変化」について、生活困窮世帯では、一般層に比べ「減った」の割合が高くなっています。全国調査と比べ、「増えた」の割合が高くなっています。一方、「減った」の割合が低くなっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

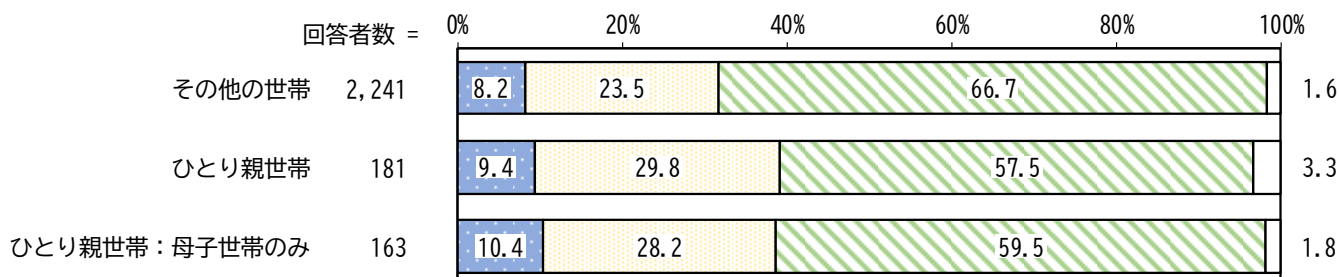
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「減った」の割合が、周辺層で「減った」の割合が、一般層で「変わらない」の割合が高くなっています。



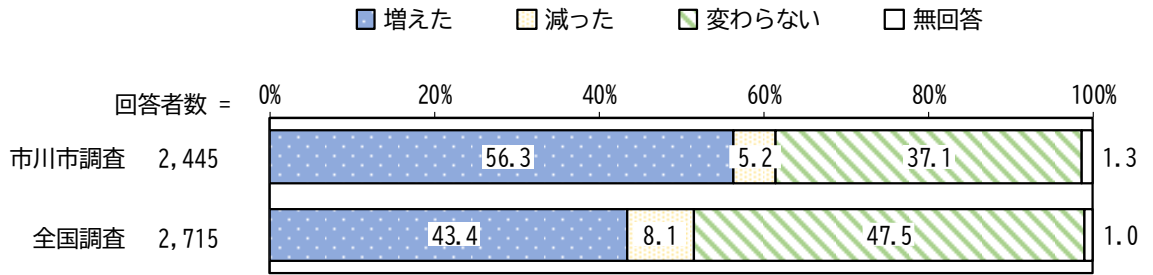
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯で「減った」の割合が高くなっています。



b) 生活に必要な支出の変化

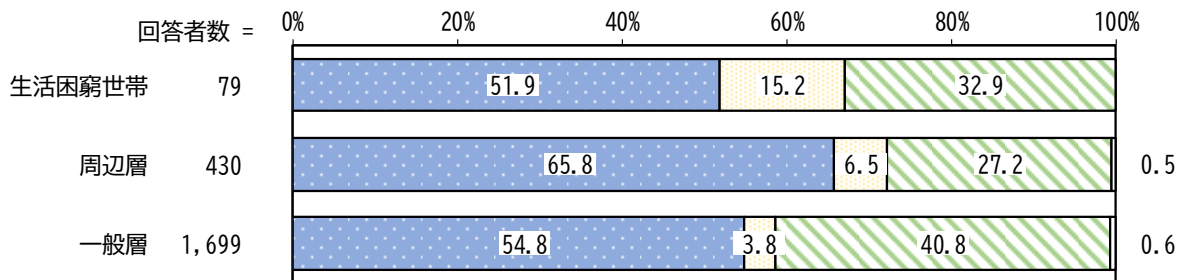
「増えた」の割合が 56.3% と最も高く、次いで「変わらない」の割合が 37.1% となっています。



※全国調査：令和 3 年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和 3 年 12 月）

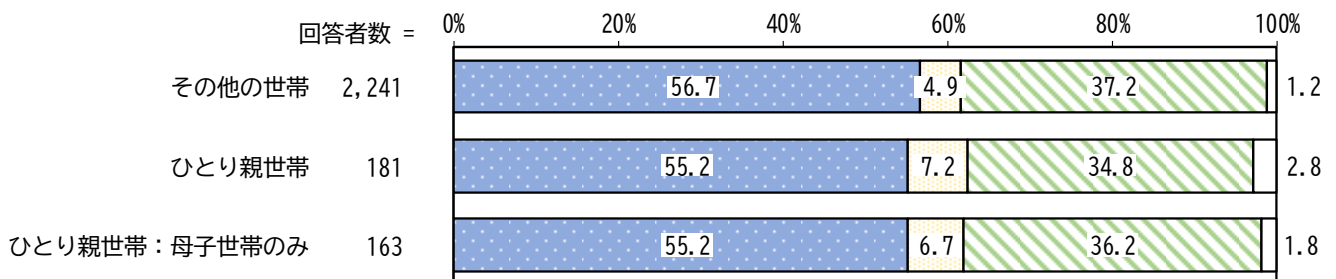
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、周辺層で「増えた」の割合が高くなっています。



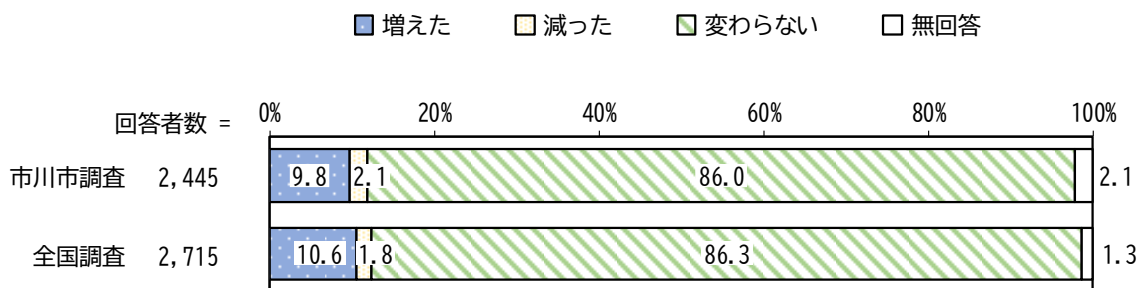
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。



c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと

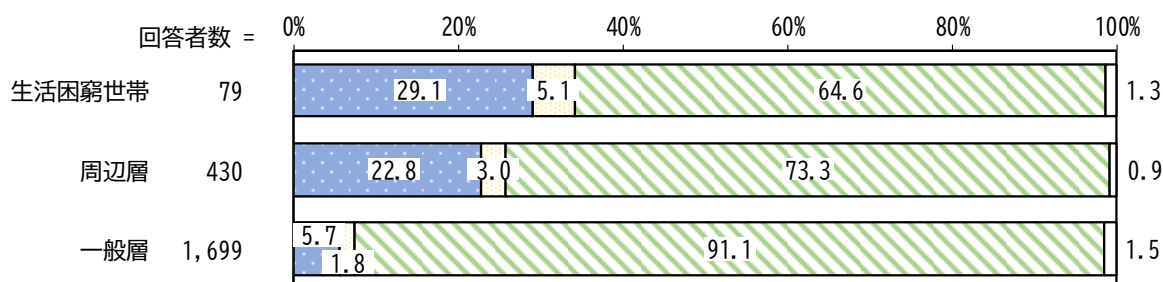
「変わらない」の割合が86.0%と最も高くなっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

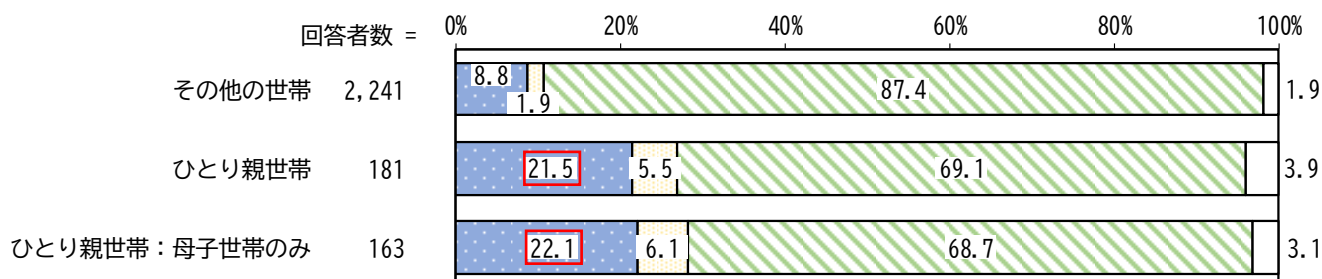
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯、周辺層で「増えた」の割合が高くなっています。



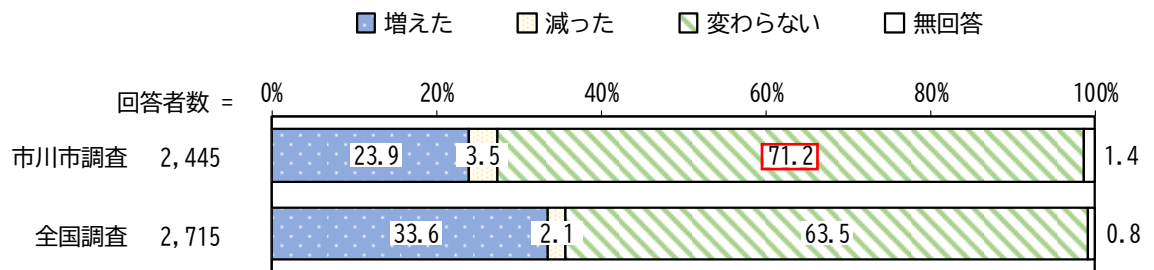
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯で「増えた」の割合が高くなっています。



d) お子さんと話をすること

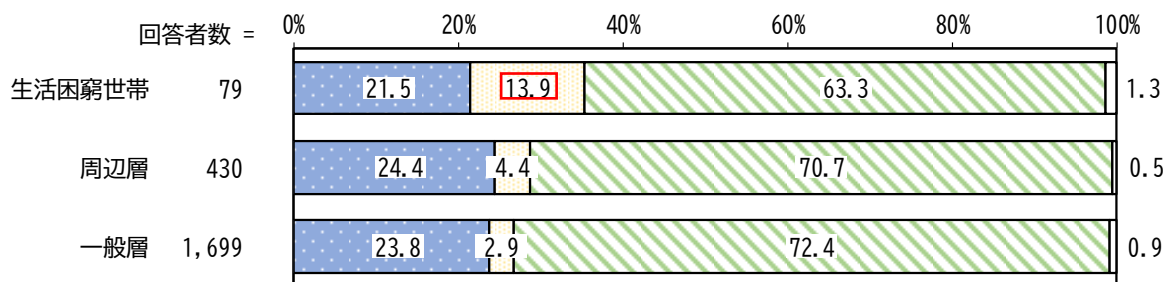
「変わらない」の割合が71.2%と最も高く、次いで「増えた」の割合が23.9%となっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

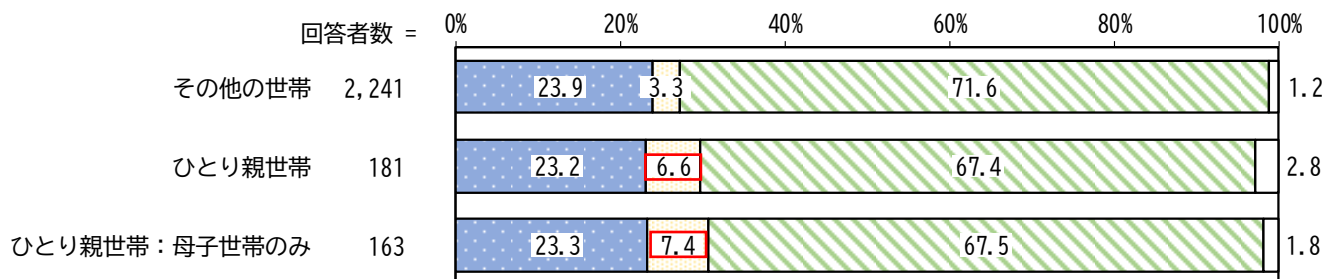
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、生活困窮世帯で「減った」の割合が高くなっています。



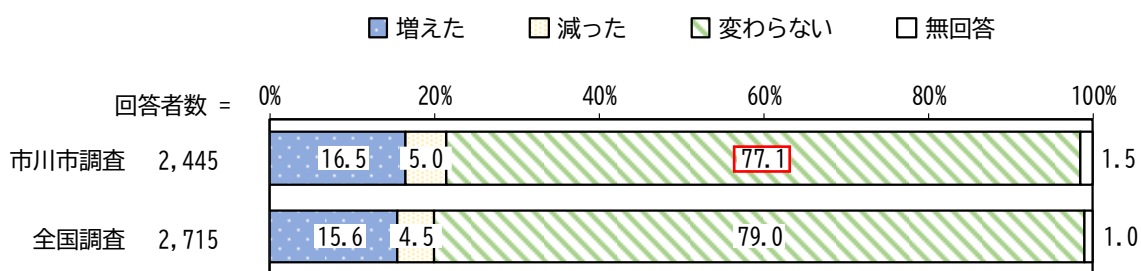
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯で「減った」の割合が若干高くなっています。



e) 家庭内で言い争ったり、もめごとが起こること

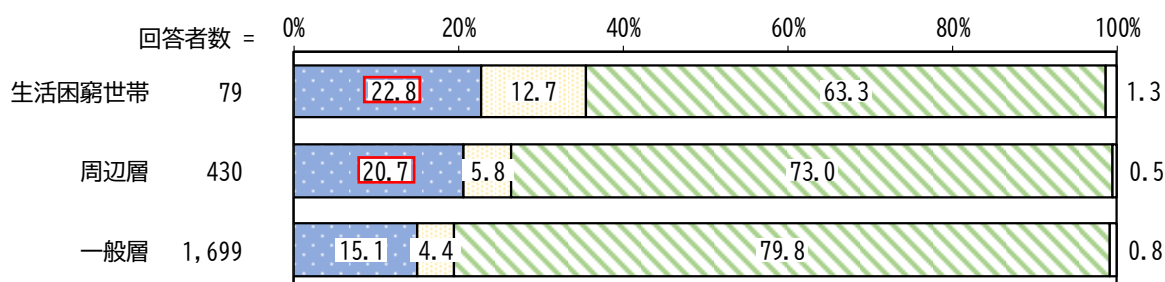
「変わらない」の割合が77.1%と最も高く、次いで「増えた」の割合が16.5%となっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

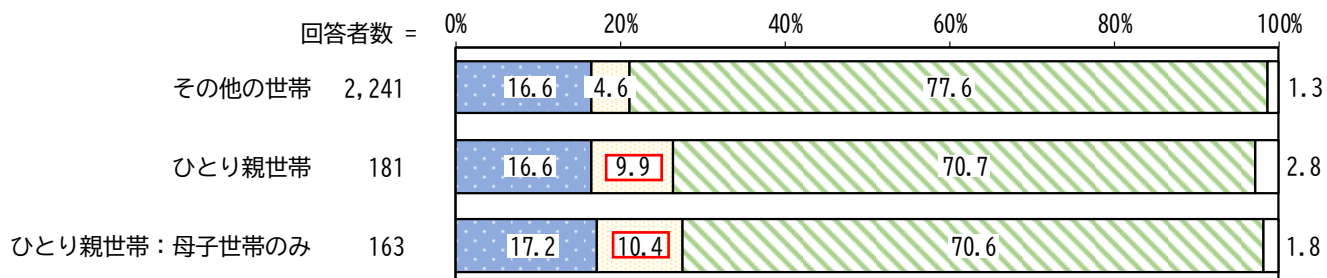
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯、周辺層で「増えた」の割合が高くなっています。



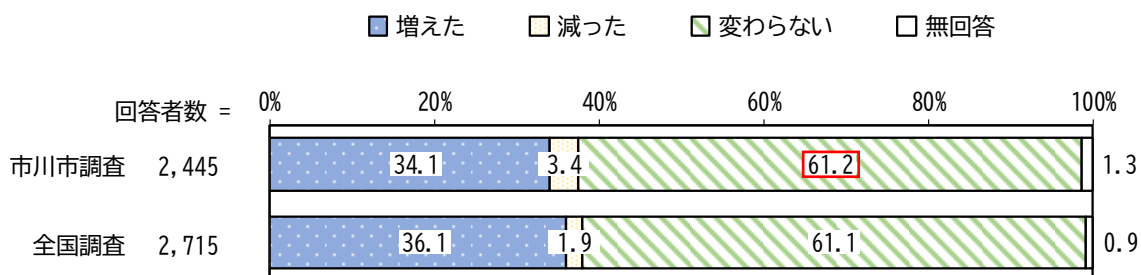
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯で、「減った」の割合が高くなっています。



f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと

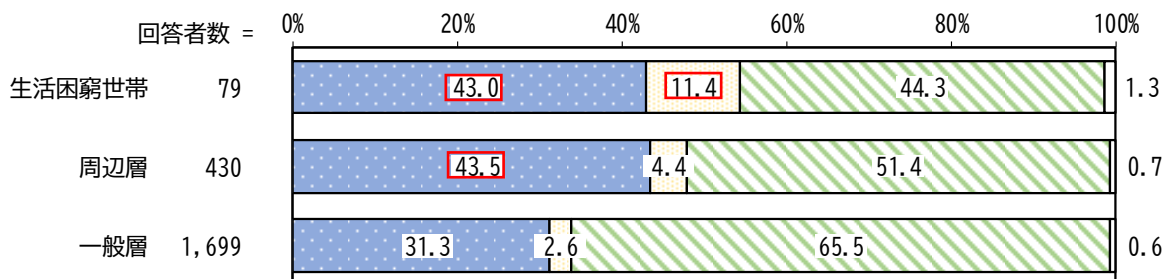
「変わらない」の割合が61.2%と最も高く、次いで「増えた」の割合が34.1%となっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

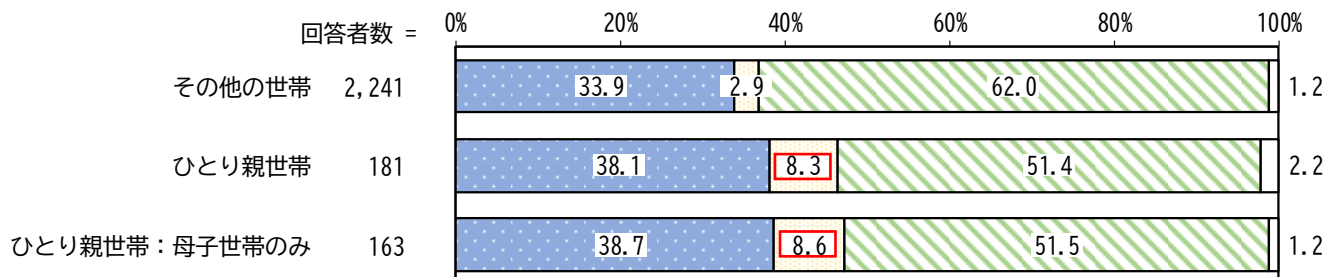
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯・周辺層で「増えた」の割合が高くなっている一方で、生活困窮世帯で「減った」の割合が若干高くなっています。



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯で「減った」の割合が若干高くなっています。



【まとめ】

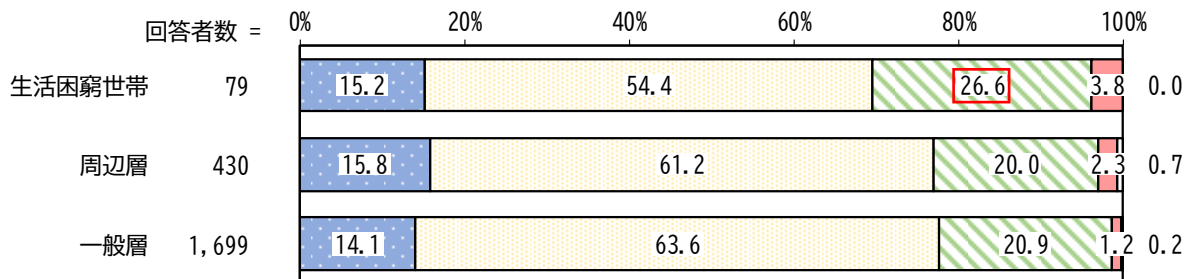
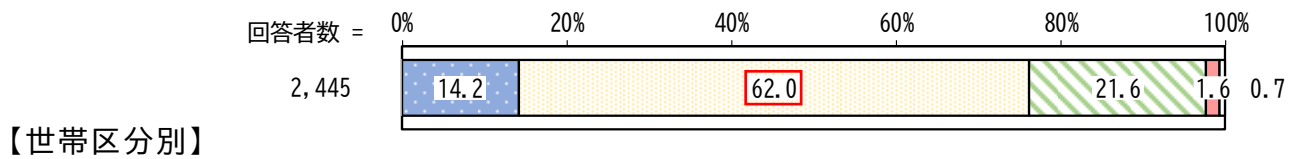
- ・親の経済状態や就労状況にかかわらず、子育て家庭の日々の生活を安定させるため、経済的支援を実施するとともに、必要な世帯へ支援の利用を促すことが必要です。
- ・支援が届きにくい子どもや子育て家庭にも届く、当事者視点に立った情報発信が必要です。
- ・生活困窮世帯はお金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことが「まれにあった」という回答が見られるため、生活困窮世帯に対して食に関わる支援を充実していく必要があります。
- ・物価高騰により生活が困窮している家庭への経済的な支援が必要です。
- ・また、この1か月間の気持ちについては、「神経過敏に感じた」「何をするのも面倒だと感じた」と答える割合が高くなっており、子育て世帯を支援するような仕組みや相談場所などを設け、周知していく必要があります。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大により休校する前と比べて変化したことについては、「生活に必要な支出の変化」で「増えた」の割合が高くなっており、どの世帯区分でも「増えた」の割合が高いことから、コロナウイルスの影響が大きいことがうかがえます。

問 26 以下の、子育て支援に関する事業について知っていますか。(a~c それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

こども家庭支援センター(0歳~18歳までの保護者の子育て相談窓口)

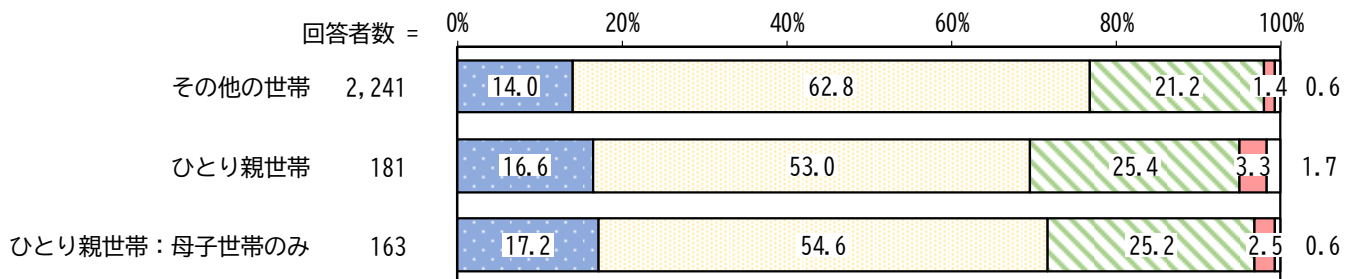
「こども家庭支援センター」について、生活困窮世帯では、一般層に比べ「知らない、利用したことはない」の割合が高くなっています。

- 知っていて利用したことがある
- 知っているが利用したことはない
- 知らない、利用したことはない
- 知らないが今後利用したい
- 無回答



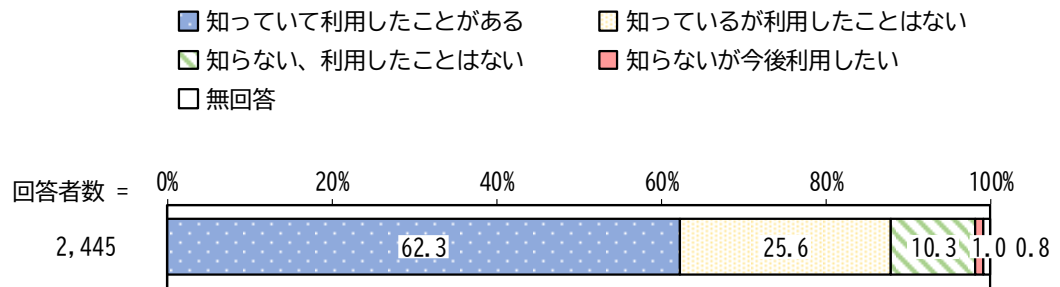
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

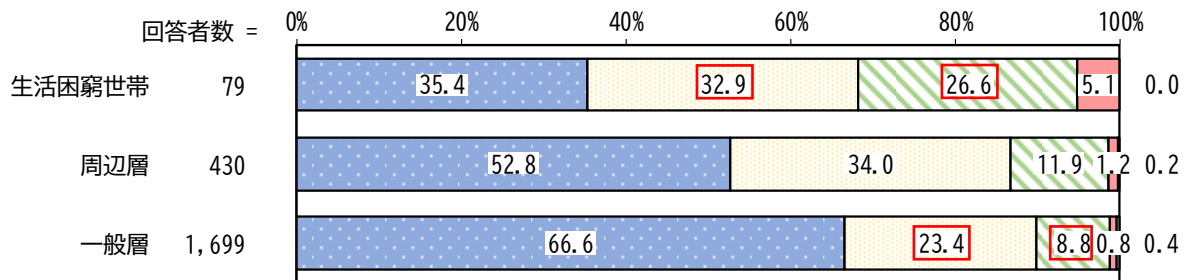


こども館

「こども館」について、生活困窮世帯では、一般層に比べ「知らない、利用したことはない」「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。

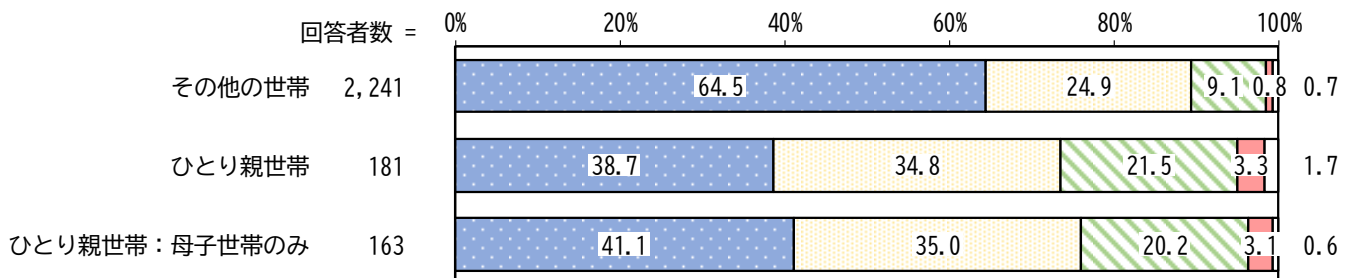


【世帯区分別】



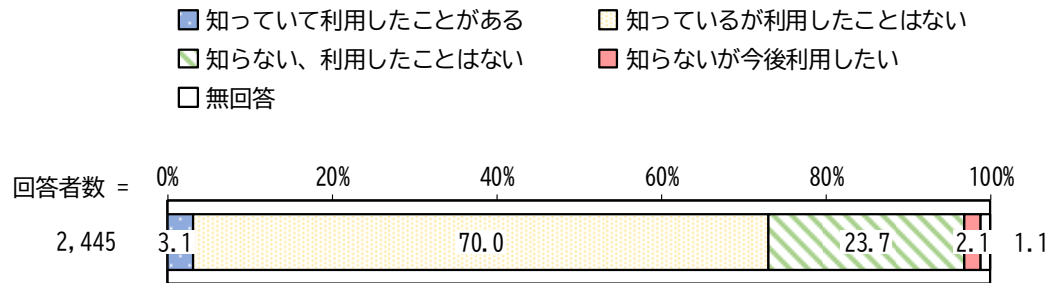
【世帯構成別】

世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯で「知らない、利用したことはない」の割合が、ひとり親世帯：母子世帯のみで「知らない、利用したことはない」「知っているが利用したことはない」の割合が高くなっています。



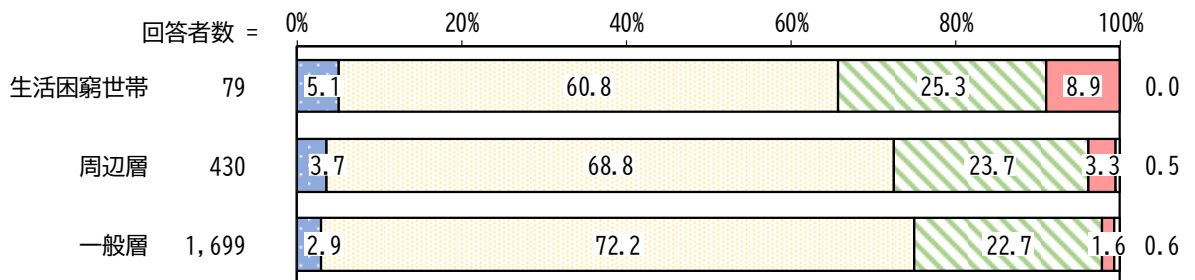
こども食堂

「知っているが利用したことはない」の割合が 70.0%と最も高く、次いで「知らない、利用したことはない」の割合が 23.7%となっています。



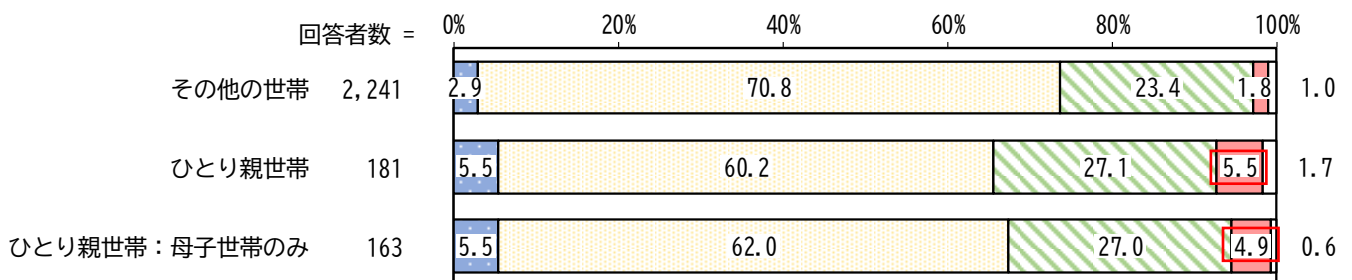
【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。



【世帯構成別】

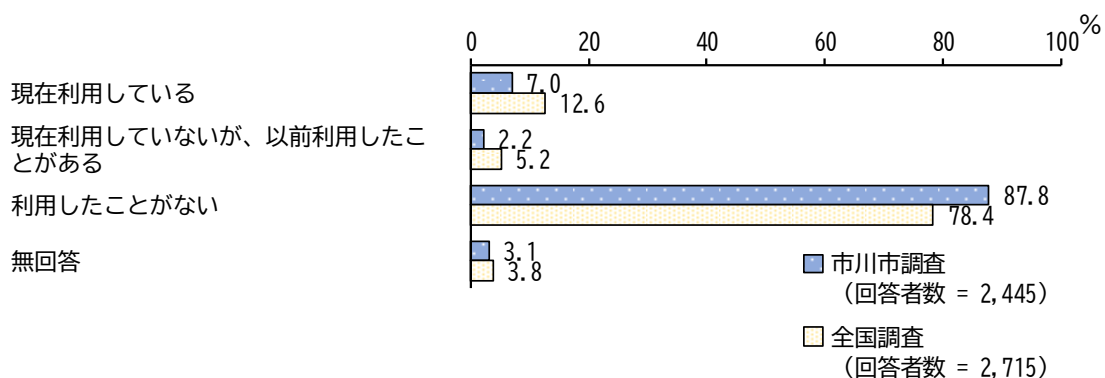
世帯構成別にみると、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯で、「知らないが今後利用したい」の割合が若干高くなっています。



問 27 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。(a～eそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○) また、また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(あてはまるもの1つに○)

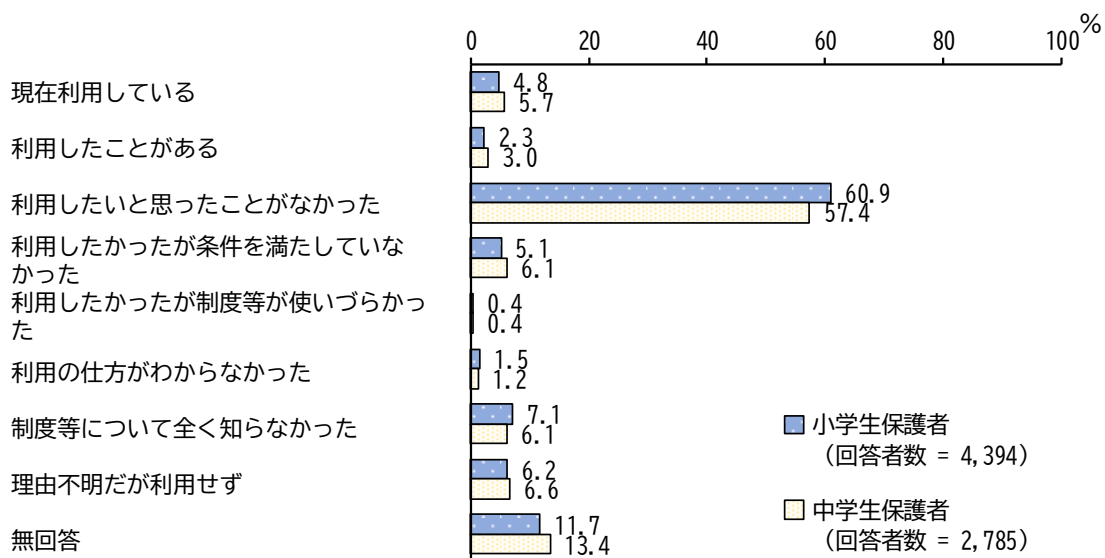
a 就学援助

「利用したことがない」の割合が87.8%と最も高くなっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【県調査】 ※選択肢、対象者が異なるため参考



※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、一般層で「利用したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用して いる	現在 利用して いないが、 以前利用 したことが ある	利用 したことが ない	無 回答
全 体	2445	7.0	2.2	87.8	3.1
生活困窮世帯	79	54.4	7.6	27.8	10.1
周辺層	430	20.7	3.5	70.7	5.1
一般層	1699	1.2	1.9	96.0	0.9

【世帯構成別】

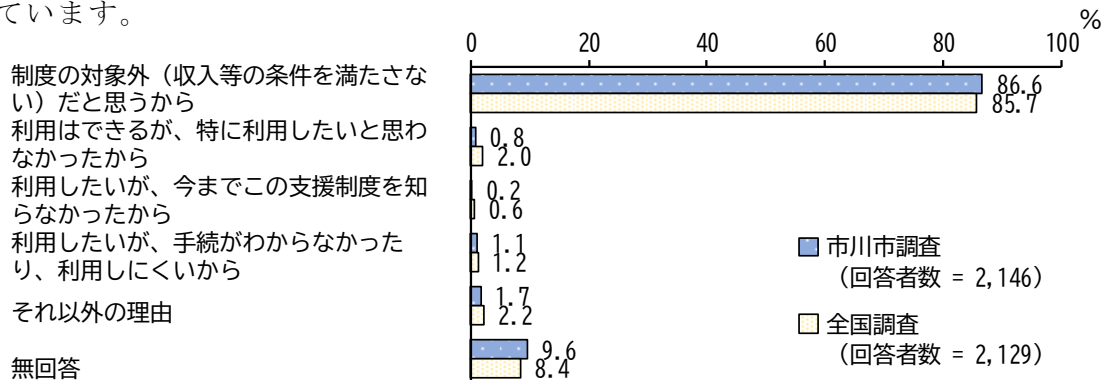
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「現在利用している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在 利用して いる	現在 利用して いないが、 以前利用 したことが ある	利用 したことが ない	無 回答
全 体	2445	7.0	2.2	87.8	3.1
その他の世帯	2241	3.5	2.1	92.1	2.4
ひとり親世帯	181	49.2	4.4	37.6	8.8
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	163	53.4	3.7	35.0	8.0

利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が86.6%と最も高くなっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が低くなっています。また、生活困窮世帯で「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全 体	2146	86.6	0.8	0.2	1.1	1.7	9.6
生活困窮世帯	22	50.0	9.1	—	9.1	—	31.8
周辺層	304	78.6	2.6	1.0	4.3	3.0	10.5
一般層	1631	89.2	0.4	0.1	0.4	1.3	8.6

【世帯構成別】

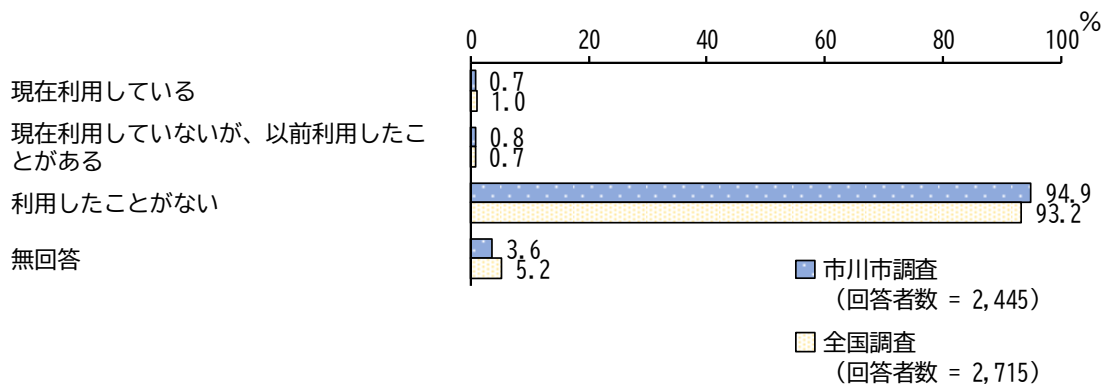
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手順がわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全 体	2146	86.6	0.8	0.2	1.1	1.7	9.6
その他の世帯	2063	86.9	0.7	0.2	0.9	1.7	9.5
ひとり親世帯	68	76.5	4.4	—	7.4	—	11.8
ひとり親世帯：母子世帯のみ	57	75.4	5.3	—	7.0	—	12.3

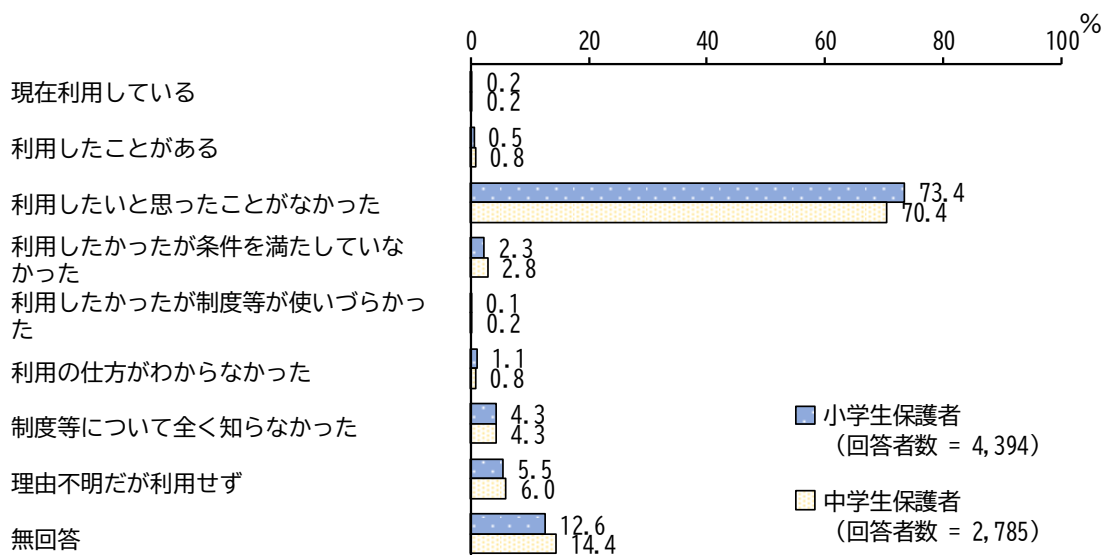
b 生活保護

「利用したことがない」の割合が94.9%と最も高くなっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【県調査】 ※選択肢、対象者が異なるため参考



※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「現在利用している」「現在利用していないが、以前利用したことがある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	2445	0.7	0.8	94.9	3.6
生活困窮世帯	79	11.4	10.1	67.1	11.4
周辺層	430	0.9	1.9	90.5	6.7
一般層	1699	—	0.1	98.6	1.3

【世帯構成別】

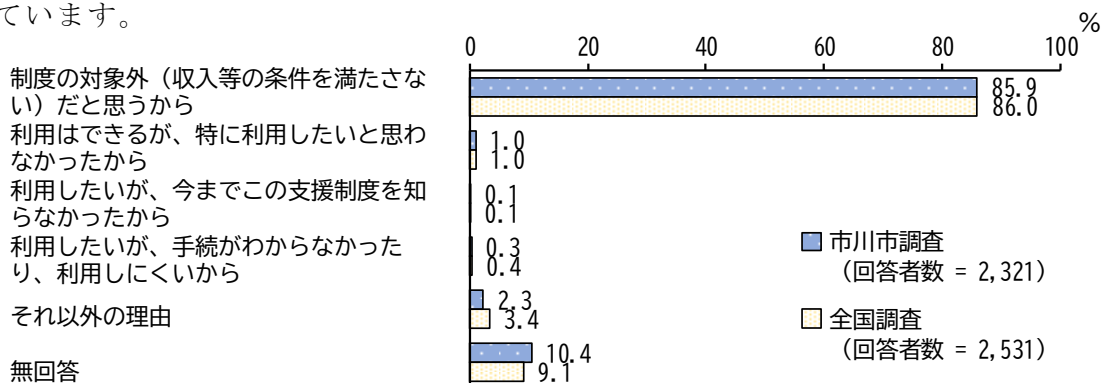
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「現在利用している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	2445	0.7	0.8	94.9	3.6
その他の世帯	2241	0.1	0.5	96.5	2.9
ひとり親世帯	181	7.7	3.3	79.0	9.9
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	8.6	3.7	78.5	9.2

利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が85.9%と最も高くなっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全体	2321	85.9	1.0	0.1	0.3	2.3	10.4
生活困窮世帯	53	52.8	11.3	—	1.9	9.4	24.5
周辺層	389	79.9	2.1	0.5	0.5	3.6	13.4
一般層	1675	88.8	0.5	—	0.2	1.7	8.8

【世帯構成別】

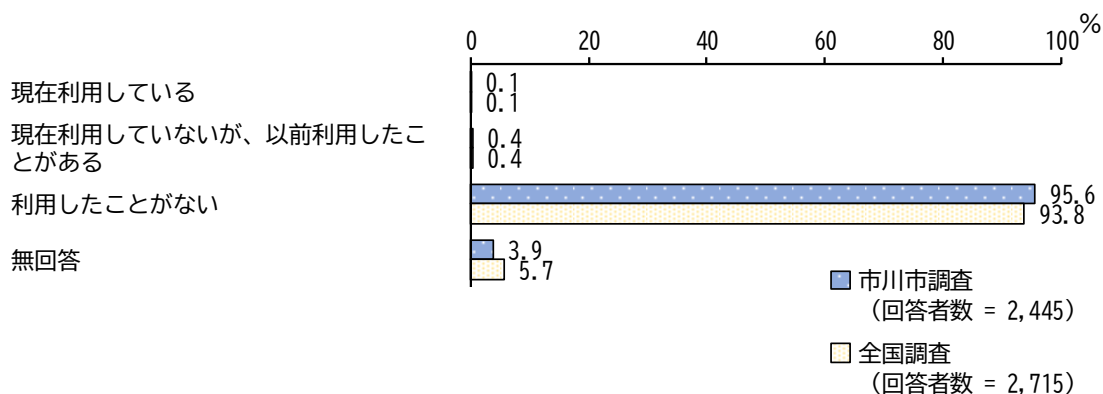
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全体	2321	85.9	1.0	0.1	0.3	2.3	10.4
その他の世帯	2162	86.8	0.7	0.1	0.3	1.9	10.1
ひとり親世帯	143	72.7	5.6	—	0.7	7.0	14.0
ひとり親世帯：母子世帯のみ	128	70.3	6.3	—	0.8	7.8	14.8

c 生活困窮者の自立支援相談窓口

「利用したことがない」の割合が95.6%と最も高くなっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	2445	0.1	0.4	95.6	3.9
生活困窮世帯	79	1.3	2.5	82.3	13.9
周辺層	430	0.2	1.4	91.2	7.2
一般層	1699	—	0.1	98.7	1.2

【世帯構成別】

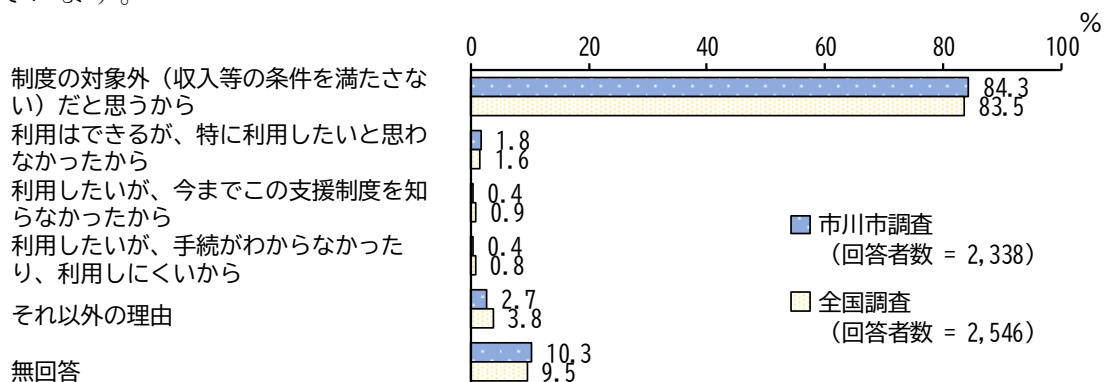
世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	2445	0.1	0.4	95.6	3.9
その他の世帯	2241	—	0.3	96.7	2.9
ひとり親世帯	181	0.6	1.7	84.5	13.3
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	0.6	1.8	84.7	12.9

利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が84.3%と最も高くなっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全体	2338	84.3	1.8	0.4	0.4	2.7	10.3
生活困窮世帯	65	40.0	20.0	4.6	3.1	10.8	21.5
周辺層	392	75.8	4.1	1.0	1.3	4.3	13.5
一般層	1677	88.5	0.7	0.1	0.2	1.8	8.8

【世帯構成別】

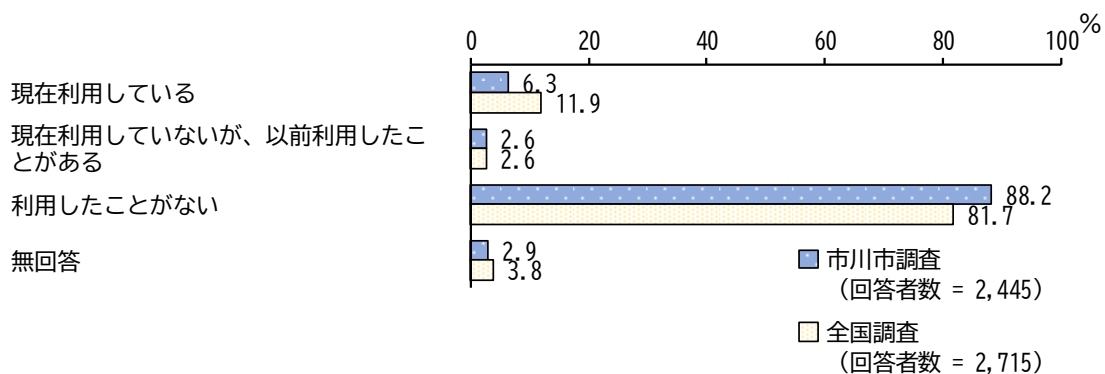
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全体	2338	84.3	1.8	0.4	0.4	2.7	10.3
その他の世帯	2168	86.0	1.2	0.2	0.3	2.1	10.1
ひとり親世帯	153	62.7	9.8	3.3	2.0	10.5	11.8
ひとり親世帯：母子世帯のみ	138	60.9	10.1	3.6	2.2	10.9	12.3

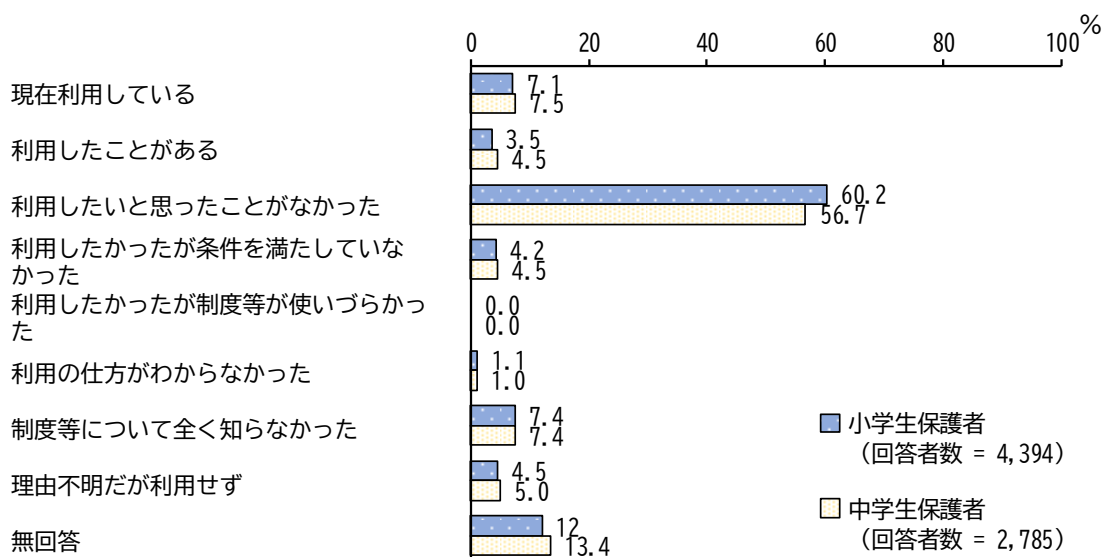
d 児童扶養手当

「利用したことがない」の割合が88.2%と最も高くなっています。



※全国調査：令和3年 子供の生活状況調査の分析 報告書（令和3年12月）

【県調査】 ※選択肢、対象者が異なるため参考



※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「現在利用している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	2445	6.3	2.6	88.2	2.9
生活困窮世帯	79	46.8	7.6	34.2	11.4
周辺層	430	15.3	4.0	76.5	4.2
一般層	1699	1.9	2.0	95.1	1.0

【世帯構成別】

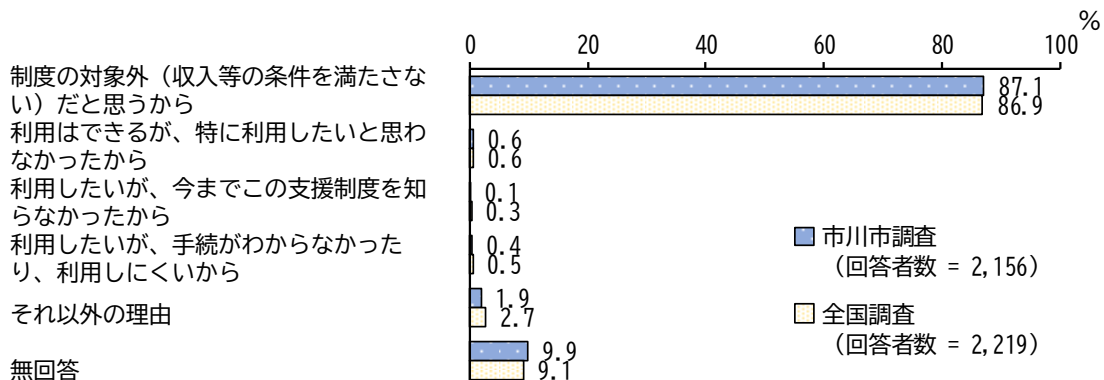
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「現在利用している」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	2445	6.3	2.6	88.2	2.9
その他の世帯	2241	2.7	1.7	93.1	2.5
ひとり親世帯	181	49.2	13.3	30.9	6.6
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	163	52.8	13.5	28.2	5.5

利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が87.1%と最も高くなっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、生活困窮世帯で「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全体	2156	87.1	0.6	0.1	0.4	1.9	9.9
生活困窮世帯	27	51.9	14.8	-	-	7.4	25.9
周辺層	329	81.8	1.2	0.6	1.5	2.4	12.5
一般層	1615	89.1	0.4	-	0.2	1.6	8.7

【世帯構成別】

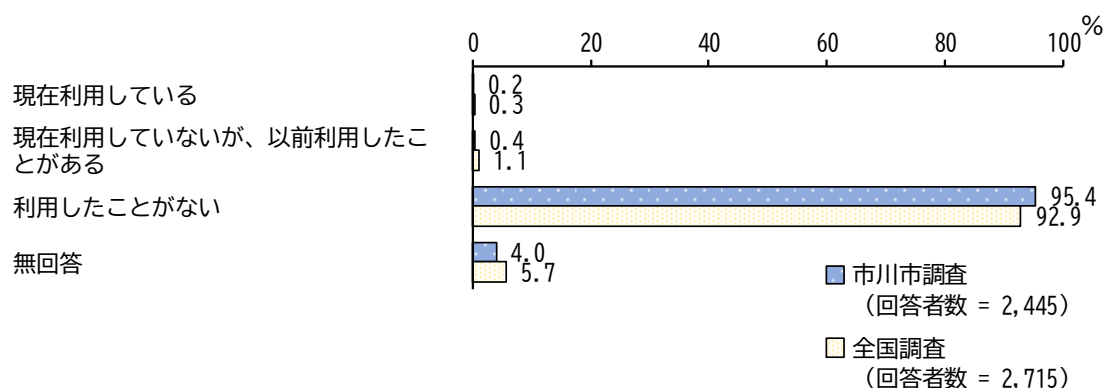
世帯構成別にみると、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全体	2156	87.1	0.6	0.1	0.4	1.9	9.9
その他の世帯	2087	87.4	0.6	0.1	0.2	1.9	9.9
ひとり親世帯	56	76.8	3.6	-	7.1	3.6	8.9
ひとり親世帯：母子世帯のみ	46	73.9	4.3	-	6.5	4.3	10.9

e 母子家庭等就業・自立支援センター

「利用したことがない」の割合が95.4%と最も高くなっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「現在利用している」「現在利用していないが、以前利用したことがある」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	2445	0.2	0.4	95.4	4.0
生活困窮世帯	79	3.8	5.1	74.7	16.5
周辺層	430	0.2	0.7	92.1	7.0
一般層	1699	0.1	0.1	98.6	1.2

【世帯構成別】

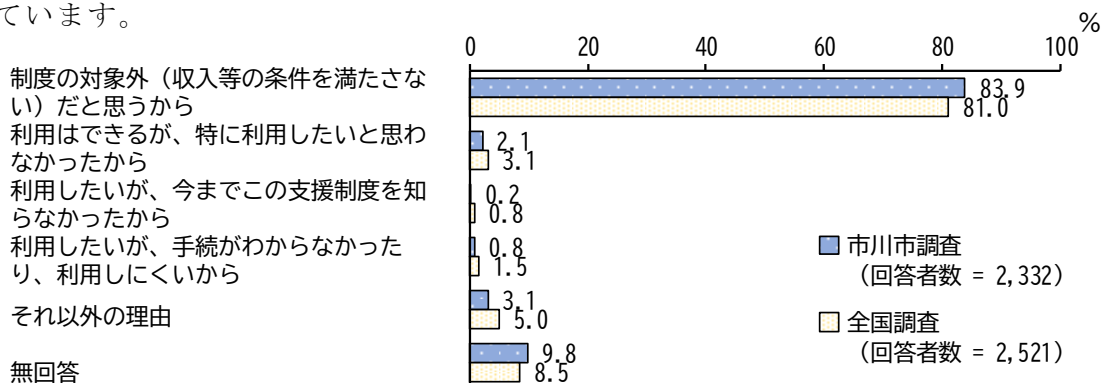
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「現在利用している」「現在利用していないが、以前利用したことがある」の割合が若干高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	現在利用している	現在利用していないが、以前利用したことがある	利用したことがない	無回答
全体	2445	0.2	0.4	95.4	4.0
その他の世帯	2241	-	0.2	96.7	3.0
ひとり親世帯	181	2.8	2.8	81.8	12.7
ひとり親世帯：母子世帯のみ	163	3.1	3.1	81.6	12.3

利用したことがない理由

「制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから」の割合が83.9%と最も高くなっています。



【世帯区分別】

世帯区分別にみると、他に比べ、生活困窮世帯で「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全体	2332	83.9	2.1	0.2	0.8	3.1	9.8
生活困窮世帯	59	35.6	18.6	1.7	8.5	11.9	23.7
周辺層	396	74.7	5.1	0.5	2.3	5.6	11.9
一般層	1676	88.4	0.9	0.1	0.2	2.0	8.5

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから」「利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから」の割合が高くなっています。

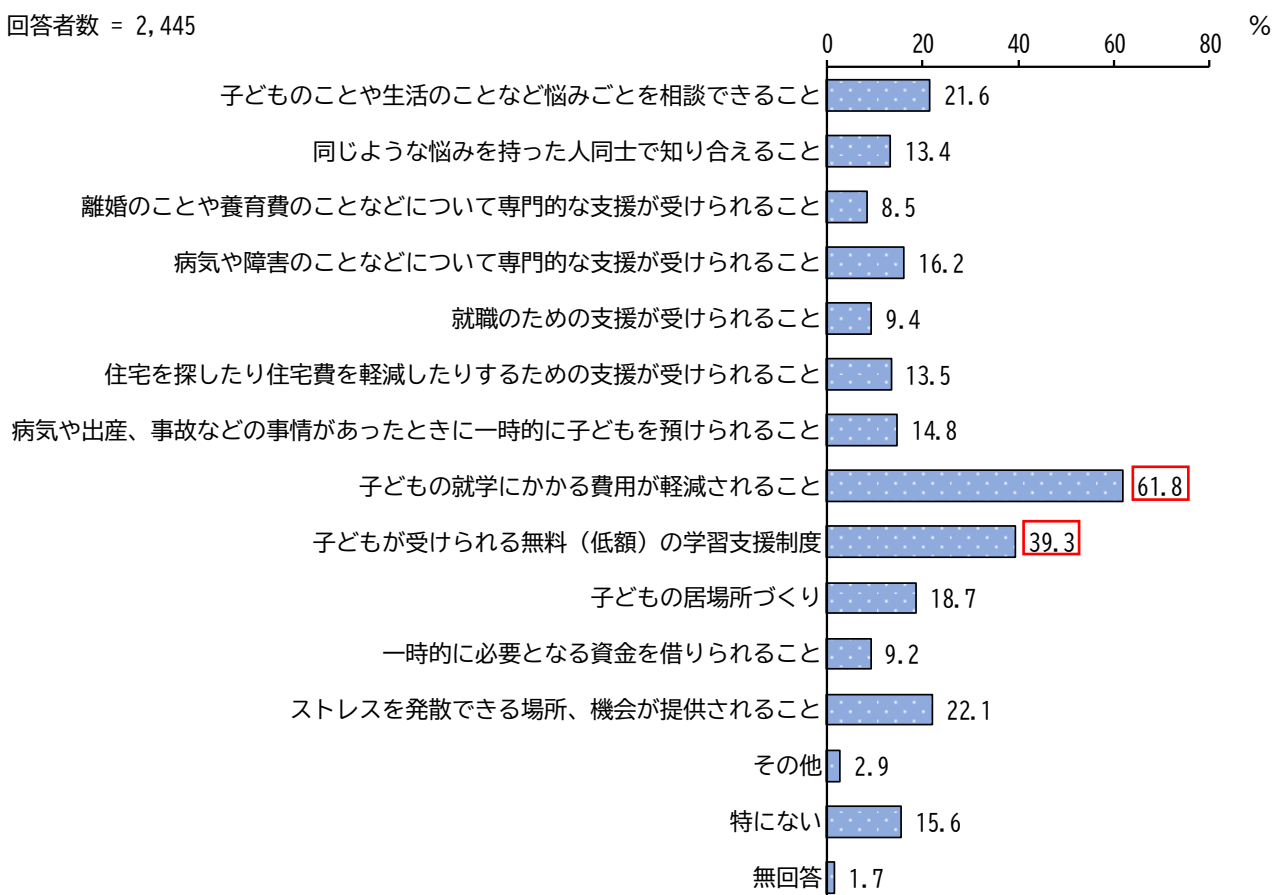
単位：%

区分	回答者数（件）	制度の対象外（収入等の条件を満たさない）だと思うから	利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	それ以外の理由	無回答
全体	2332	83.9	2.1	0.2	0.8	3.1	9.8
その他の世帯	2168	86.6	1.0	0.1	0.3	2.3	9.7
ひとり親世帯	148	45.3	18.2	1.4	8.8	14.9	11.5
ひとり親世帯：母子世帯のみ	133	42.1	19.5	1.5	9.8	15.0	12.0

問 28 あなたが現在必要としていることで、重要だと思う支援等はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもの就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度」の割合が 39.3%となっています。

回答者数 = 2,445



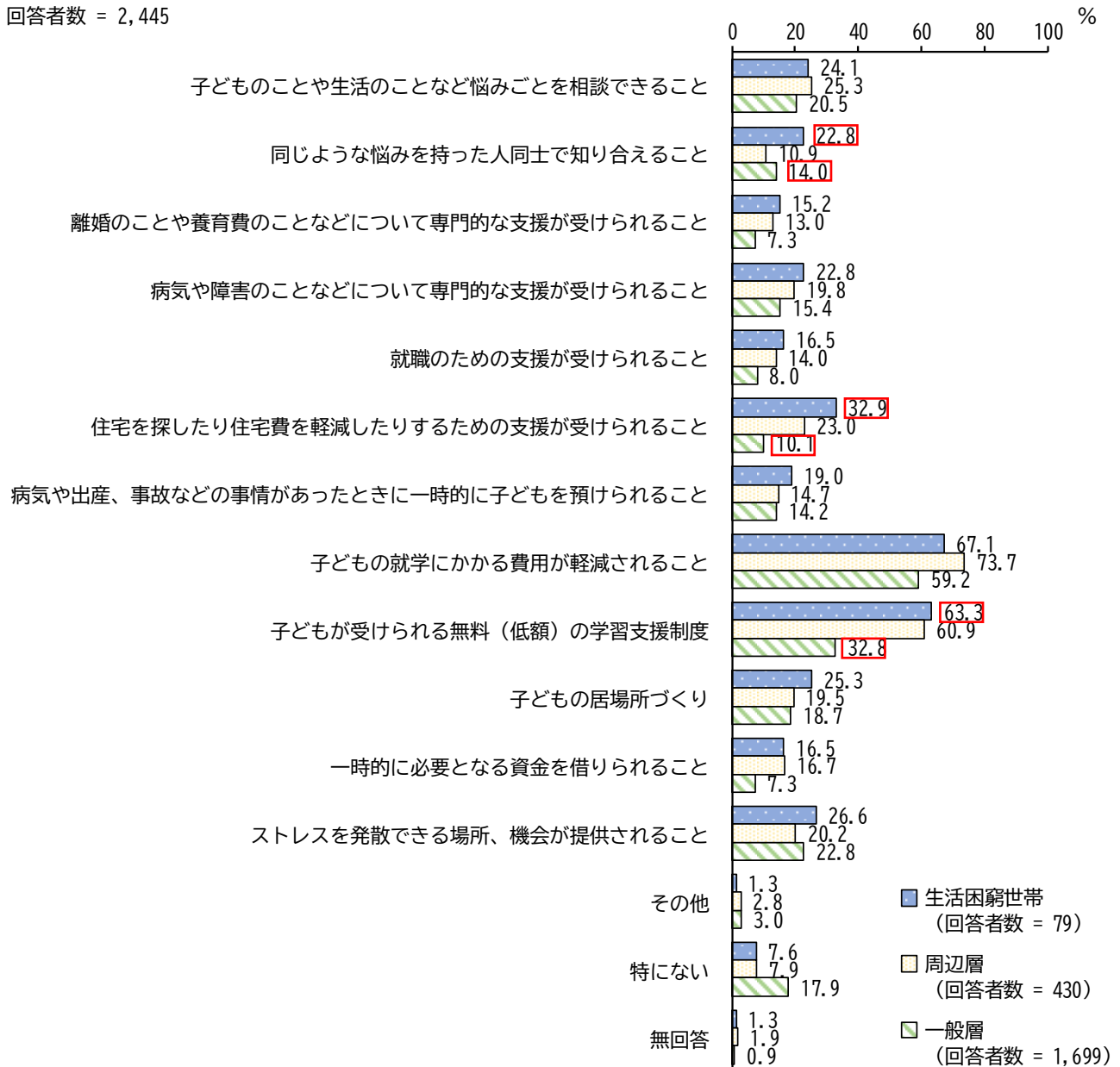
○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・年収や子供の人数で支援はあるが、物価上昇にともない、年収も増えていない人には支援がないので、支援をしてほしい
- ・放課後こども教室をどの小学校にも常設してほしい
- ・長期休み等に集団で学習できる場
- ・必要な行政情報を誰もがいつでも得られること
- ・多子世帯に対する世帯収入制限がない支援
- ・医療助成を高校生まで拡大してほしい など

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、生活困窮世帯では、「子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度」「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」「同じような悩みを持った人同士で知り合えること」の割合が高くなっています。

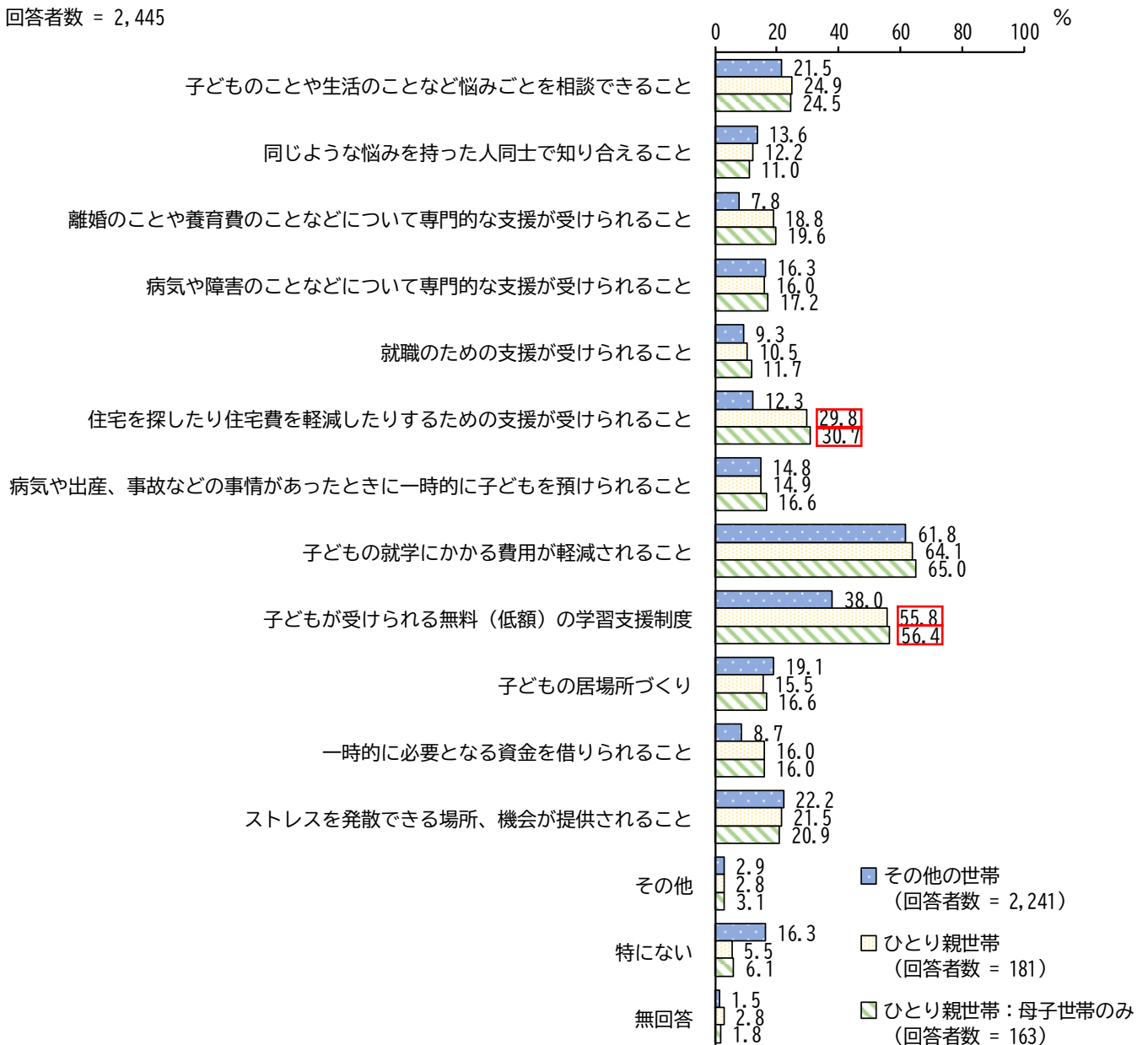
回答者数 = 2,445



【世帯構成別】

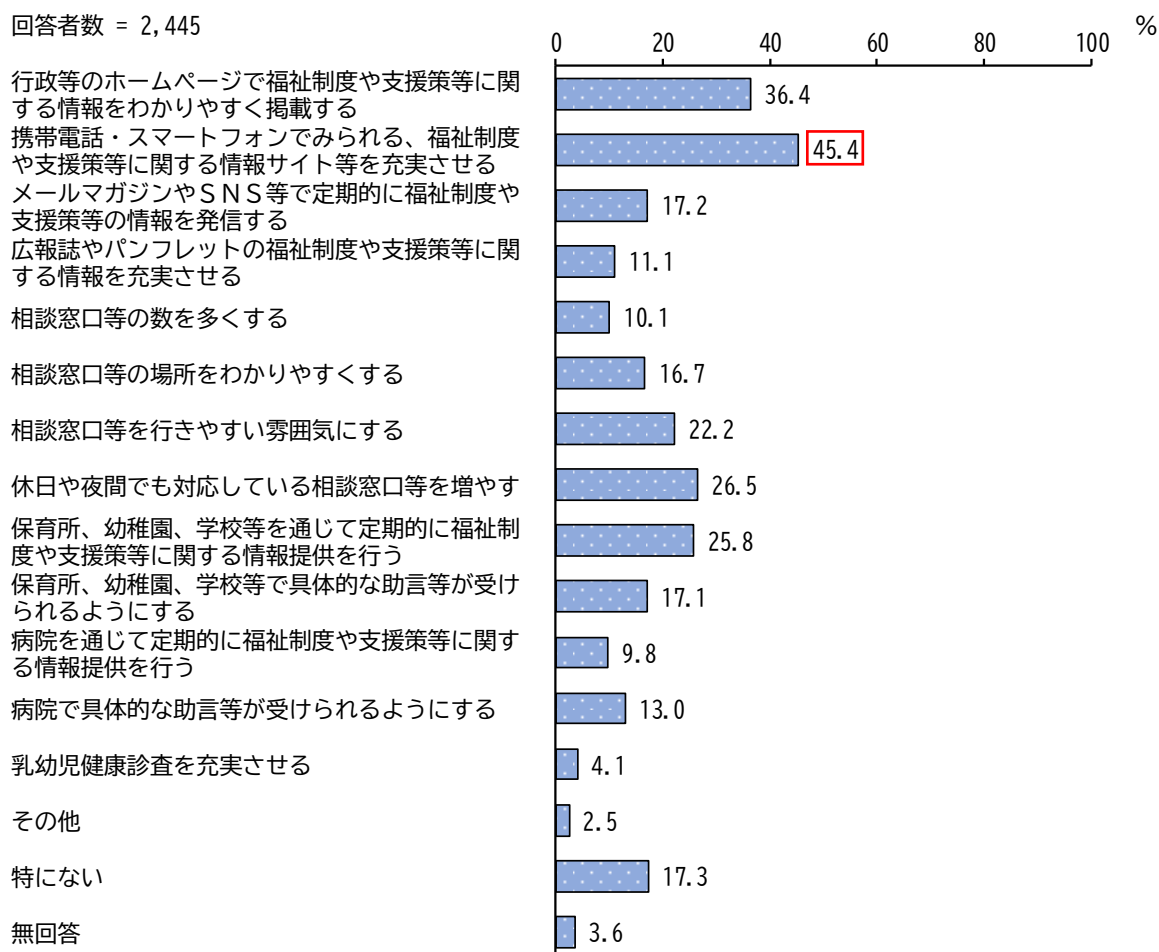
世帯構成別にみると、他に比べ、ひとり親世帯、ひとり親世帯：母子世帯のみで「住宅を探したり住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」「子どもが受けられる無料（低額）の学習支援制度」の割合が高くなっています。

回答者数 = 2,445



問 29 あなたが必要な支援を受けるために重要だと思うことを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイト等を充実させる」の割合が45.4%と最も高く、次いで「行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する」の割合が36.4%、「休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす」の割合が26.5%となっています。



○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・オンラインで充実した（無料）子育てや生活全般に役立つ講座など参加できる
- ・支援をする側に専門的な知識があること。
- ・学校に専門のスタッフを常駐させる
- ・ネットで相談、回答を得られるようにする。
- ・対象となる制度があるなら、メール等で知らせてほしい。 など

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数（件）	行政等のホームページで福祉制 度や支援策等に関する情報をわ かりやすく掲載する	携帯電話・スマートフォンでみ られる、福祉制度や支援策等に 関する情報サイトを充実させる	メールマガジンやSNS等で定 期的に福祉制度や支援策等の情 報を発信する	広報誌やパンフレットの福祉制 度や支援策等に関する情報を充 実させる	相談窓口等の数を多くする	相談窓口等の場所をわかりやす くする	相談窓口等を行きやすい雰囲気 にする	休日や夜間でも対応している相 談窓口等を増やす
全 体	2445	36.4	45.4	17.2	11.1	10.1	16.7	22.2	26.5
生活困窮世帯	79	32.9	44.3	16.5	12.7	8.9	19.0	17.7	26.6
周辺層	430	39.3	50.2	16.7	11.6	11.9	17.2	23.0	25.8
一般層	1699	36.4	45.1	17.4	11.0	9.9	17.0	22.1	27.3

区分	定期的な福祉制度や支援策等に 関する情報提供を行う	保育所、幼稚園、学校等で具体 的な助言等が受けられるようにす る	病院を通じて定期的に福祉制度 や支援策等に関する情報提供を 行う	病院で具体的な助言等が受けら れるようにする	乳幼児健康診査を充実させる	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	25.8	17.1	9.8	13.0	4.1	2.5	17.3	3.6
生活困窮世帯	30.4	11.4	12.7	11.4	8.9	2.5	16.5	7.6
周辺層	28.8	19.3	13.0	14.4	4.7	2.1	15.3	3.5
一般層	25.7	17.6	8.8	12.8	4.1	2.6	18.2	2.1

【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

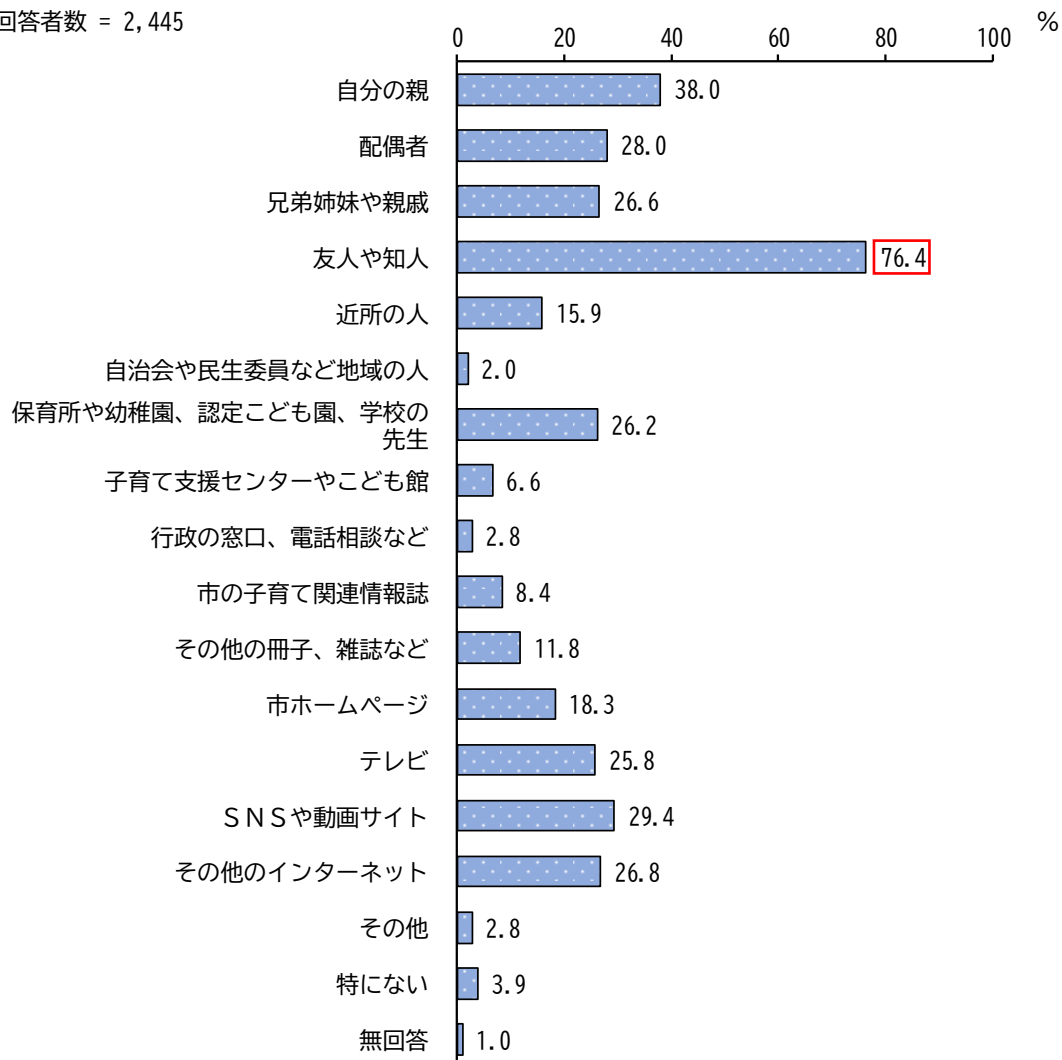
区分	回答者数（件）	行政等のホームページで福祉制度や支援策等に関する情報をわかりやすく掲載する	携帯電話・スマートフォンでみられる、福祉制度や支援策等に関する情報サイトを充実させる	メールマガジンやSNS等で定期的に福祉制度や支援策等の情報を発信する	広報誌やパンフレットの福祉制度や支援策等に関する情報を充実させる	相談窓口等の数を多くする	相談窓口等の場所をわかりやすくする	相談窓口等を行きやすい雰囲気にする	休日や夜間でも対応している相談窓口等を増やす
全 体	2445	36.4	45.4	17.2	11.1	10.1	16.7	22.2	26.5
その他の世帯	2241	36.5	46.0	17.5	11.2	10.3	17.0	22.4	26.4
ひとり親世帯	181	36.5	42.5	14.4	10.5	8.3	14.9	23.2	28.7
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	163	37.4	44.8	16.0	10.4	8.0	14.1	23.3	28.2

区分	保育所、幼稚園、学校等を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う	保育所、幼稚園、学校等で具体的な助言等が受けられるようにする	病院を通じて定期的に福祉制度や支援策等に関する情報提供を行う	病院で具体的な助言等が受けられるようにする	乳幼児健康診査を充実させる	その他	特になし	無回答
全 体	25.8	17.1	9.8	13.0	4.1	2.5	17.3	3.6
その他の世帯	26.1	17.5	9.9	13.2	4.2	2.4	17.2	3.2
ひとり親世帯	22.1	13.8	8.8	9.9	3.3	3.3	16.6	6.6
ひとり親世帯： 母子世帯のみ	23.3	14.7	9.2	9.2	3.1	3.7	16.0	6.1

問 30 あなたは、子育てに関する情報をどこから手に入れますか。(あてはまるものすべてに○)

「友人や知人」の割合が76.4%と最も高くなっています。

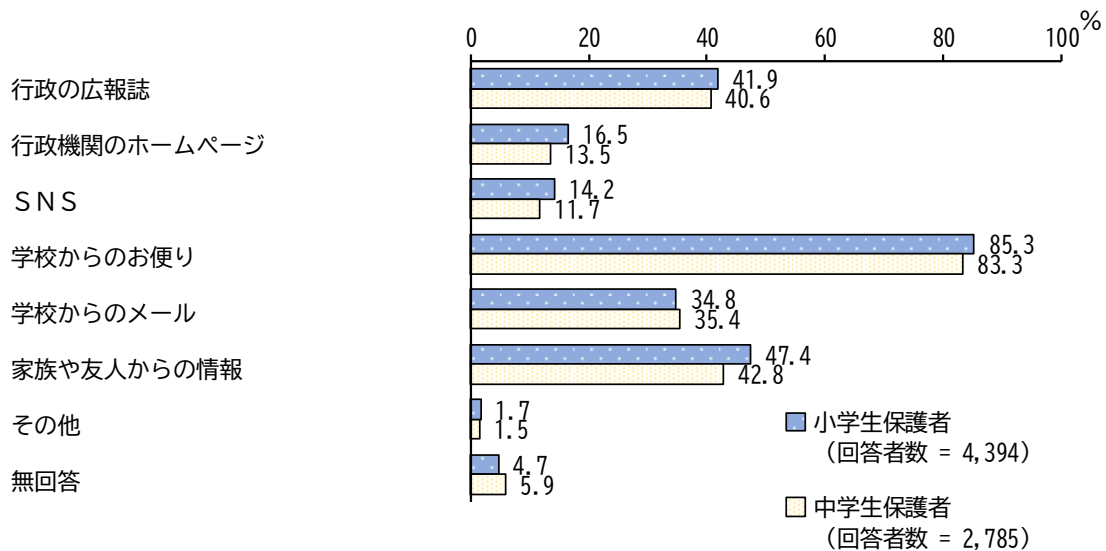
回答者数 = 2,445



○主なその他意見 (原文のまま記載)

- ・ 職場の同僚
- ・ 子供が学校からもらってくるチラシなど
- ・ 病院の掲示物
- ・ 市からのメールマガジン
- ・ 新聞
- ・ 塾の先生 など

【県調査】 ※選択肢、対象者が異なるため参考

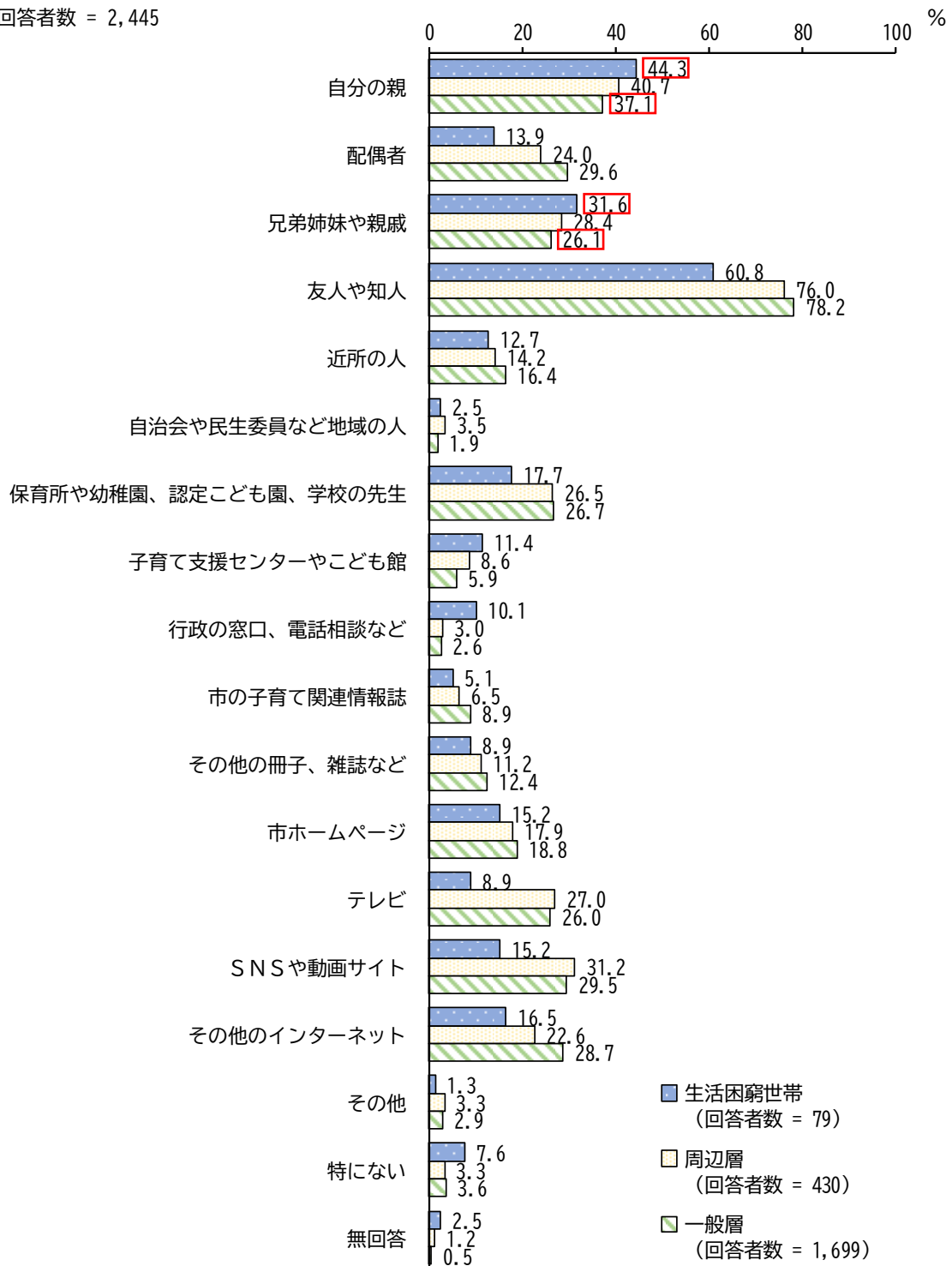


※県調査：千葉県子どもの生活実態調査 報告書（令和元年）

【世帯区分別】

世帯区分別にみると、生活困窮世帯では、一般層に比べ「自分の親」「兄弟姉妹や親戚」の割合が高くなっています。

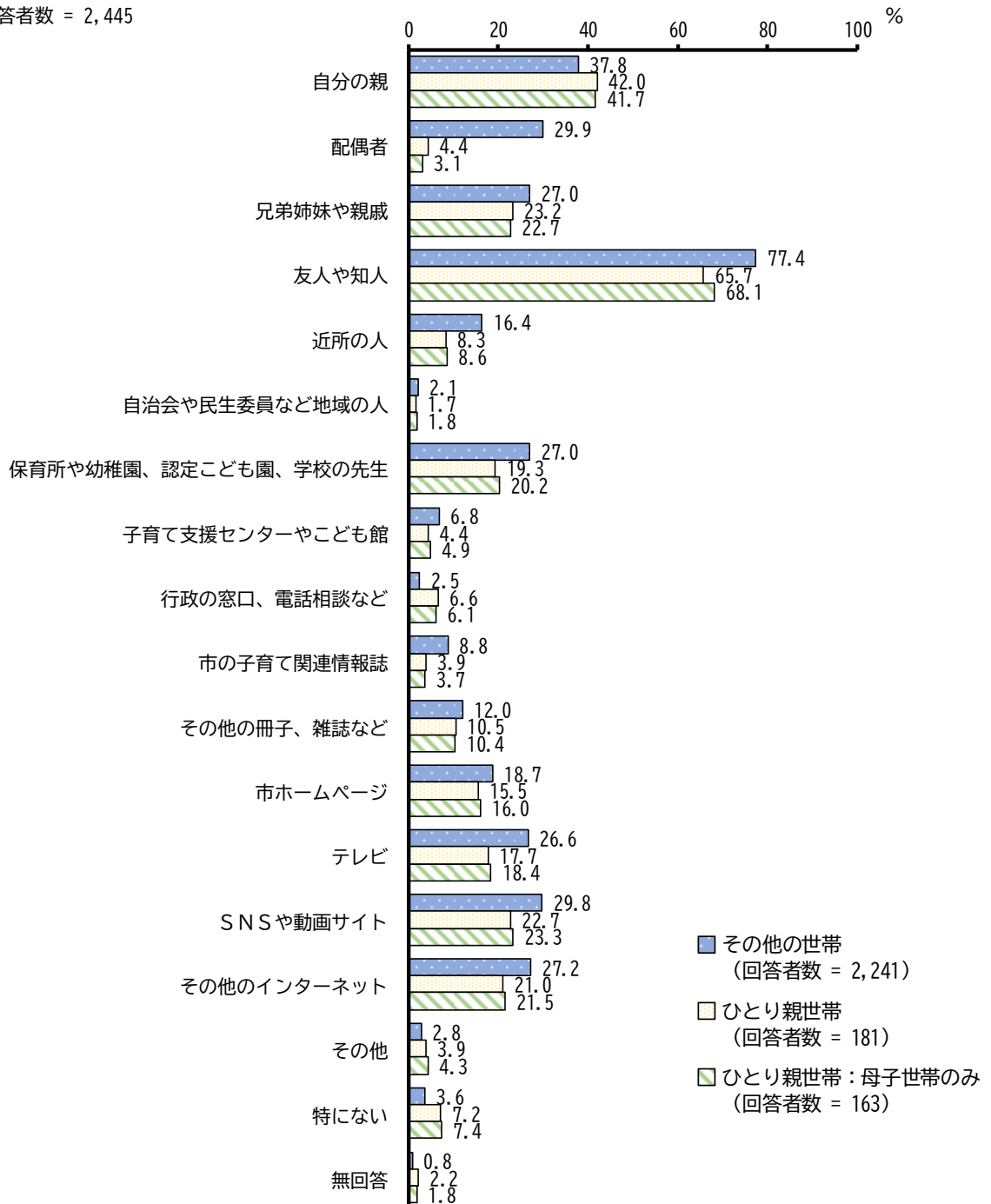
回答者数 = 2,445



【世帯構成別】

世帯構成別にみると、大きな差はみられません。

回答者数 = 2,445



【まとめ】

- ・市が実施している支援やサービスを知らないという意見が多くみられるため、積極的に情報を発信し、地域住民へ周知することが必要となります。
- ・貧困の状況にある子どもやその家庭の一部には、必要な支援制度を知らない、手続きが分からない、積極的に利用したてがらない等の状況も見られるため、こうした子どもたちや家庭を早期に発見し、支援につなげられるよう、アウトリーチ型のアプローチや、気軽に相談できる機会の充実が必要です。

○記述回答まとめ

問 31 毎日の生活で困っていること、相談したいことなど自由にお書き下さい。

第1章 子どもの日常生活

保護者

- ・ 反抗期に入って、口喧嘩が増えた。
- ・ 子供の思春期のこと。
- ・ こどもたちが話を聞かない。勉強時間とゲームをやるじかんのルールを決めてあげても中々うまくいかないのどうすればいいか悩んでいます。
- ・ 夜更かしをするので、朝起こすのが大変。
- ・ 子どもの間でネットゲームのコミュニティがあり、そのゲームをしていないと友達と話があわないということが過去にありました。今は学校の配慮（タイミングでクラス替がありました）でゲームをしてない子もいるクラスになり楽しく過ごしていますが、ゲームとのつきあい方は難しいものがあるなと感じています。
- ・ 子供の友人関係（女子）。
- ・ もっとたくさんの子供達が経験・体験できるように、しかも誰でもお金をかけずにできる習い事があってほしい。ボランティアで習字教室やピアノ教室、絵の教室、図工の教室などがあってもよいと思う。お金がある家は子供にお金をかけられるけど収入が少ない家はやらせてあげたくてもやらせてあげられないのが今の現状。日本の将来の為に若い子たちの為に！！
- ・ タブレットや、インターネット等の視聴時間を決めているが、なかなか守れないこと。
- ・ 息子の反抗期。
- ・ 不登校になりそうです。
- ・ 子ども達の生活環境がめちゃくちゃ。生活リズムもひどい状態で、主人も私（母）も病んでいて心の余裕が皆無です。数年前からは、きつく怒鳴りつけたりイライラしていることも多く、見えない虐待をどれぐらいしてしまっているのだろうか、と子ども達がかわいそうで。でもめちゃくちゃすぎてちっとも立て直すことがままならず、早く、一刻も早く改善してあげたいです。
- ・ 子供が体育の授業が嫌で学校に行きたがらない。
- ・ 鬼高小学校の5年生で学級崩壊が起きています。授業がうるさくて成立しておらず、登校出来ない児童もいます。先生が足りず、少人数クラスにする事も出来ていません。保護者会もありましたが、当事者の親が認識不足の為、自分の子供が人に迷惑をかけ

ている事に気付かず本当に困っています。授業を受けたい子供達を助けて下さい。

- ・ 授業の一環としてタブレットを配布しているが、部屋にこもって yahoo! のニュースなどみている家族の時間が大幅に少なくなった。また、勝手に見たり、ずっとみたり、時間も守らなく困っている。対策してもらいたい。
- ・ 子どものクラスが荒れているのをどうにかしてほしい。登校させることが子どもの身心に対して悪えいきょうなのではと思うほどである。
- ・ 子供が9月から保健室登校になり、始めのころは、こまめに担任から連絡を頂いていましたが、どんどん減り、自分の用事がある時だけ電話があり、用事が済むと、さっと切る。家での様子等聞くわけでもない。他人事のようにみえる。始めは算数だけ頑張る教室に行っていて、段々に国語、理科、社会と増えていたのに、先週から教室に行く回数を減らしたいと言い出し、算数国語だけに。先生が何をしてくれるわけでもない、「そりゃそうだな」と思いました。4月に、人見知り、あまり知っている子供がいなくて話をしていたのに、特に対処してくれていた様子もなく、本人が友達がいなくて先生に言ったら、「それは、それで良いんじゃない」と。そのように思っているなら、先生にそのような事は言わないと思う。クラス替えも良いですが、もう少し子供の性格をはあくしてクラスを決めてほしいです。高学年なのできちんと対処出来る先生に担任してほしいです。(昨年までは仲の良い友達がいって、楽しそうに登校していました。)
- ・ 学校の担任の先生以外で、子供の発達や学力について気軽に相談できるような、専門知識のある人が身近にいたらいいなと思う。
- ・ 特にありません、毎日楽しくすごしています。
- ・ 子供たちが伸び伸び遊べる公園が少ない(特にボール遊び)。公園近辺に住んでいる人々の目が厳しい。不審者が多いが、情報が遅い。防犯パトロールもあまり意味がない気がする。
- ・ 土手や川などがあるが、代々木公園や日比谷公園のように、広くて、ボールなどにも使えて、(近隣の人に文句を言われず)子供達だけでも安全に遊べるスペースが欲しい。子供達が遊ぶ所が無くゲームばかりしてしまう。
- ・ 私自身の困っていることはありません。子供の遊び場が少ない。遊べる友達が少ないように感じる。
- ・ 登下校以外でも、夕方、夜など、公園や道路での見守隊みたいな方が増えると、安心に思います。最近、変質者が時々出ているようなので心配です。
- ・ とくに困っていることは何もありませんが、新浜小学校でクラス替えを毎年やることになり、「子どもの気持ちを全く考えていない人が、新しい校長先生になったんだなあ

～。」と思いました。なぜ、子ども達や保護者に、何の相談もなしに、勝手に決めたのですかね？教育委員会に、なぜ、この校長に就任させたのか、聞きたいです。疑問を感じています。

- ・ 子どもが学校をこわがって遅れて登校したり、放課後はお迎えを希望しているので私が仕事につくことができません。
- ・ 子どもの学校で本部役員をしております。数年かけて PTA のスリム化を進めて参りましたが、PTA 本部役員 OB から学校に圧力がかかり、非常にやりづらかったです。その方が学校運営協議会のメンバーであった為、忖度されたのだと思います。地域との連携が重要だとよく言われますが、学校運営協議会も高齢化が進み、全く現代の感覚と合っていません。何年も歴任されている方を入れ替えていただきたいです。また、先生の数が明らかに少ないと思います。学級崩壊、いじめがあっても、十分な対応ができていない状況です。問題のある子どもの親に問題がある場合が多いのですが、担当の先生も怖くて対応しきれないのかなと思います。結果いじめられた側が転校した事例もありました。学校には「波風を立てない」ことを良しとする風潮があります。しかし、教育の現場において本当にそれでいいのでしょうか？いじめの子、問題のある子に対して適切な指導をお願いします。学校の手には負えないのであれば、教育委員会の対応をお願いします。何のための教育委員会なのでしょう？不安を抱えたまま子どもを通わせている親御さんもいらっしゃいます。このままでは、私立小、中学校への進学を選択する家庭が増えてしまうと思います。
- ・ 子供のこれからが心配。働きたいが子を見る人もいないし、子供の勉強がもっとおろそかになっていき将来どうなるか。家族をたすけたいがどうたすければ良いかわからない。
- ・ 両親が仕事で不在のとき、子供が一人になってしまうので、学童保育以外にも、気軽に子供達が安全に遊べる場所があれば、親も安心して働ける。
- ・ 学校の通学に困っている。
- ・ 反抗期の子供（男子）の対応、接し方。
- ・ 家族そろってスマホ依存状態となっている。生活リズムがくるう程ではないが、会話が少ない。特に父親がひどく、注意をしても「唯一のストレス発散方法だから無理」としか言わず、子供に悪影響となっており、困っている。
- ・ 子供のゲーム、スマホの時間。依存しているように感じる。仕事が忙しく、ほとんど子供も一緒に過ごせない。子供と一緒にいる時間をつくりたいので仕事をかえたいが、会社が辞められない。
- ・ 現代っ子はゲームを遅くまでして寝るのが遅く、朝起きられない。学校に行かな

い。注意すると反発的になる。

- ・ 子供の部活動→技術面などの指導の前に部活でのルール、気持ちの持ち方など基本を教えていないせいで、つまらない事で、日々苦勞している。
- ・ 周囲に子どもの居場所が少ないと感じます。同時に高齢者（とくに散歩している独り高齢男性）が多く見られます。一緒に利用できる複合施設があったらよいです。例えば、浦安にある交通公園では、高齢の方が売店で物をうっています。高齢者施設（サ高住）に、駄菓子屋があって、その施設の方が店番をしています。超高齢社会にもうすこし目を向けてほしいです。
- ・ 本人の片付け処理能力 食卓のお皿を片付ける際、毎回、1、2つを残して終わりにしている。目に見えていないのか、気にしないのか、どうしてかわからない。注意されれば片付けるが、1回で片付けられることは、ほぼ90%ない。
- ・ 目の前にティッシュのゴミ、くすりのゴミが（自分のもの）があっても捨てられない。妹へのちょっかいの出し方（1番の困り事）（自分の気分でべたべた触ったり、寄ったり、たたいたり、のぞきこんだりしている）
- ・ ・ルーティーンがある。食べこぼしが多め。でも、本人は困っていないらしい。私も、そういう子だと思っているので妹へのちょっかいのみ、注意している。父親が全てに関してイライラして注意している。
- ・ 子供たちが遊べる施設（外）を増やしてほしい。明らかに今の子は運動不足。アスレチックなど近場に、体を動かせる物が増えるとうれしい。小学生だけでなく、中・高校生まで遊べる（体を動かせる）場所。
- ・ ・子供が、勉強の大切さを理解してくれない。言う事を聞かない。人をけなす、口が悪い。良い事も悪い事も全てすぐに忘れるところ。
- ・ ・信頼できる人が身近にいないので日々、孤独です。たまには母親業から解放されたい時、息抜きしたいときもあるが頼れる人が近くにいないため心身ともに疲弊している。育児などの悩みで本当に限界の精神状態の人は、相談を周りにしようとの考えも浮かばないまま、毎日耐えているので、手軽に、手元にある Line を使えたらよいと思います。子ども3人のうち2人が支援学級に通っていて、もう一人もグレーな所があり、毎日ケンカして、親子関係も悪く、どうすればよいかわかりません。発達障害と診断されることが増えている今、もう少し支援や相談窓口が増えるといいなと思います。
- ・ 父親の子供に対する態度（乱暴な言い方、一方的な思い込み）。
- ・ 学校の教師の質が悪く、暴言や嫌味、やる気を失くさせる声掛けが多い。
- ・ 子どもが不登校。

- ・ 外国人が増えて、治安が悪化しないか心配。中学校の下校時刻が遅く、冬期は真っ暗ななか帰ってくるので変質者などに遭遇しないか心配。
- ・ ガードレールがきちんとある歩道が市川市には少なくてびっくりしています。子どもの夜の塾通いに不安を感じますし、自転車で転んだ場合、車にひかれそうでとても怖いのです。せめて通学路になるような道だけでも、ガードレールの設置、歩道の整備をしてほしいです。(柏井町在住)
- ・ 思春期の子供の接し方。
- ・ 子どもが部屋をどうしたら自主的に片づけるようになるのでしょうか。毎日小言のように言うのがとても苦痛です。
- ・ どうすれば子供とよりよくコミュニケーションをとることができますか？子供の遊び時間を減らすには？
- ・ もっと学校教育に、予算をさいてほしい。先生が少ないので、手のかからないおとなしい子は、色々な問題をかかえたまま、みすごされていると思います。不登校の子供へのフォローも、もっとしてほしいと思いますが、現状では先生も対応できないと思います。もっと先生の数を増やしていただきたいです。
- ・ 教員を増やして欲しい！！現場はやることが多すぎる為、子どもが相談をじっくりしたくてもしにくく、悩んだり不安定。そのため生活リズムが乱れたり学業にも遅れあり。
- ・ 自分達の年代と違いインターネット・SNS の有害サイトへの誘導等あり、子供達が理解しないまま、利用している事が多い。子供達への情報発信や危険性のアピールが必要。教育委員会貸し出し PC (有害サイト閲覧事象発生、いつになっても対策しない役所、教育の根幹をうたがう。) のセキュリティ強化。
- ・ 困っていないが、困っている子がかくれているような気がして。子ども食堂などを利用しているかわからない。もっとオープンに誰でも(困ってない人もまぎれる)行けるようにすれば利用が必要な人も行きやすくなるように思う。“必要な人”にしぼると中学生は行きたくないのでは？
- ・ 高校時代の友人が離婚して子供二人を育てています。夕食を作る時間がなくて買ったお弁当を食べさせているのですが毎日お金もかかるし、子供も残すそうです。香川県の小学校で(当時)校長先生が始めた「弁当の日」(子供が自分でお弁当を作って学校に持ってくる。年5回、何を作るかを決めることも、買い出しも調理も弁当箱に詰めるのも片付けも子供がする)を市川市ですることが出来たら、夕食など作ることでできる子供が増えるのかなと思います。親も子供が作ってくれたご飯を食べることができたら元気になるかなと思います。

- ・ 学校内でのクラス LINE、校内ツイート等での誹謗中傷が起きている事を学校側も受け止め、今後必要不可欠となるインターネット、ソーシャルメディアへの正しい使い方、向き合い方の指導を今一度生徒達へ伝えて欲しいと思います。悩み、苦しんで、生きづらさを感じながら生活している子。ネット上で陰口、ありもしない噂を立てられ、仲間外れにされる子。またその事実を知りながら、味方したいが、すれば自分にも被害が及ぶ事を恐れ、だまって見すごす子。それで学校に行けない子もいる。先生方だけではなく、生徒ひとりひとり、その親子さんにも再認識できる、する機会があってほしいと思っています。(非常に難しい案件ですが)
- ・ 学校支給 PC の利用制限。

第2章 子どもの学びと進学

保護者

- ・ 妹がよくカゼで発熱してしまいその度に本人が学校を休まなくてはいけなくなるので、学習についていけるか心配です。(現在の担任の先生にはできる限りの事はよくフォローしていただいていると思っています。)
- ・ 子ども(小学生)の帰宅時間です。高学年になると6時間の日課も多く冬場は暗くなる事が多い。中学生になって部活動がはじまればもっと遅くなる日も増えるので日が短い冬場は暗くなるので心配です。道路(歩道もなく通学路が暗い)や不審者など。
- ・ 放課後に利用できるこども教室(長期休みやその他休日など)が常設されている学校と、ない学校がある。全小学校に常設してほしい。
- ・ 中学校の女子の制服にスラックスも用意して欲しい。(犯罪防止の為、入学までに!!)
- ・ 学習したい気持ちがあるようだが、塾に行かせることが出来ず、子どもたちに申し訳ない気持ちである。無料で行っている学習支援などについて、市のホームページ等でお知らせがあると、子どもにもすすめやすいので、検討して頂きたい。平日はワンオペ状態で上の子に下の子をみてもらい、やりたい事をさせてあげられず、困っている。
- ・ 少年自然の家で宿泊訓練ができないなら隣の市で借りるなど4年生の楽しみをうばわないであげてほしい。(病院に入れられない人の待機場所になったときいているが子供にとっては一生に一度の思い出)
- ・ 発達障害児の進学について→周りの子と少しでも近づけるように支援級に入ったのにそもそも進学がむずかしい等言われますが(定時制、夜間、通信をすすめられる)それでは可能性をつぶすのではないのでしょうか。なるべく周りの子達と同じように出来るように今練習しているのに、支援級=普通には戻れないのかと思ってしまう。

- ・ 中学校が遠すぎるのでスクールバスをだしてほしい。
- ・ 長期休暇中、子が家に1人になるため学童を利用したい。
- ・ 子どもの性教育について、インターネットなどで、ゆがんだ性の知識を取り込む前に、正しい知識を伝えたいのですが、話すタイミング、伝え方がむずかしいです。思春期になってからではおそいと思います。それより前に、学ぶ場があってほしいです。親としても、どう伝えればいいかなど情報がほしいです。
- ・ 行政でも、土・日・祝日の開庁を増やしてほしい。学校教育の、授業の内容や質が低い。考える力を育むための会話、文章の書き方（作文）の授業が少なく、子供たちが単語で会話しようとしている姿を目にすると、言語の大切さと気持ちを伝える方法を学べる場所がないと実感してしまうので親としては不安になる。
- ・ 安定的に、子どもが登校できれば、働き方も安定し、親がメンタルも収入もおちつきません。（＝子どもが不安定なので、仕事をセーブせざるを得ず、職場にも時短で迷惑をかけている。主たる収入者の主人も、5年後に定年なので、しっかり働く必要があるのに思うように働けず、こどもの対応で心身共にギリギリ。）安定して登校できるよう、市長さんへ。教員を増やして！！スクールカウンセラーも増員を！！子どもは国の宝、教育現場をみて下さい。学校の先生方は、一生懸命支援して下さっています。しかし忙しすぎます。リモート対応して下さいますが、全ての授業に対応できておらず、学びが停滞中。親の力で努力しても家庭の力では限介。先生も今の人員では、手一杯で気の毒です。親も先生も、子どもを何とかしようとしても、誰がどうみても先生の数が足りません。スクールカウンセラーのニーズも高いと思いますが不足しているのでは？
- ・ 高校、大学への学費が心配です。
- ・ 父と母で子供の進路について考え方がちがう。
- ・ 特別支援クラスのある学校が少ない。徒歩で通える学校がない。
- ・ 子供の発達、進学等
- ・ 学校のIT化を進めてほしいです。全国的にみても、水準は低いと思うので。新浜小に放課後クラブを早く作ってほしいです。
- ・ 自分には、何もない。わからないことが多い。将来子供が進学したいと言ったら、進学させることができない。勉強もおしえられない。子供がしたいこと、行きたいところをまんぞくにさせることができない。
- ・ 家事、仕事に追われる中、子供の宿題のフォローをすると22時近くになることも多い。リモートワークが減って帰宅が19時過ぎの場合、必要な家庭学習のフォローができず、子供の学力の遅れが心配です。

- ・ 私立受験の子の親子（特に親御さん？）が学校に「宿題を減らして」と言うのは分かりますが、そんなにお金をかけられない家は勉強を学校でやってもらいたい（宿題を出してほしい）です。でも、上記の親御さんの方が熱心に保護者会に多数来ているのでそちらが強いです。貧乏人は勉強しなくて良いのでしょうか。学校はもっと勉強を塾に行っていない子に向けてやってほしいと貧乏人は思います。
- ・ 子供の学業の件を相談したい。
- ・ 子どもがネット依存になりつつある→その先の影響も心配・家庭学習の時間が極端に少ないと思う。授業についていけないさそう。成績が低く、上がらないこと。ほとんど会話がなく、スマホの時間がほとんど。・昔から算数は苦手。計算の障害などないのか、調べる機関が知りたい。
- ・ 小学校に子ども教室が出来てとても助かっています。ありがとうございます。（末っ子が通っています）中学生も自由に利用できる場所があるといいのになあ。鬼高のところにこども館があるのは知っていますが少し遠いので、妙典小年野球場のあたりに新しく出来る施設に期待しています。
- ・ 市川市が子供に学校で支給しているタブレット。現場の先生方、親からしたら大人用のふつうのタブレットで子供用でなく、故障が多く困っています。我が子はふつうに使用していて、こわれ、しゅうりを春に申し込み（2020.4）まだ帰ってきていません。子が勉強する時間をうばうな！！大切な時間もうすぎています。なおらない物わたさないで下さい。塩浜学園はそこを考えタブレットをちがう物をたのんでいるからこわれにくいそうです。ぜひ、変えて頂き、我が子のタブレットも早く新しい物に変えて頂けないと、授業に入れません。調べ物も全てタブレット使用なので先生方に教育委員会へ申して下さいと言われていています。故障が多く時間がかかるなら他の物使って下さい。教員も意見を言えない、とおらない環境を改善するべきです。親の事はもっと無視されますか！？リモート時も参加さえさせてもらえないです。コロナになったら勉強できません。早くかいぜんして下さい。学校に予備品支給など早くして下さい。シャワー室を作っている場合ではありません。おこっています。アンケート取るなら意見聞いて下さい。遠足、修学旅行前はタブレットで必ず調べる授業しています。
- ・ 今は無いですが、息子が中学の時不登校になり、高校受験で大変な思いをしました。別室登校でも公平に評価されたり、別室すら登校出来ない子の為のオンラインでの単位取得等考えて頂きたいです。
- ・ 子供の通う中学のさわやか教室とクラスの授業の状況がリンクされていない。さわやかの子はクラスで何を教わっているのかわからないし教わる機会がないのでいつまでたってもさわやか教室に通う生徒クラスの子との差が縮まらない。さわやか教室でク

ラスとのリモートで授業を受けたいと言ってみたが受け入れてもらえなかった。クラスに通えるための次のステップとなるさわやかなクラスがほしい。義務教育なのに、まともに授業を受けられていない。

- ・ 思春期で会話を面倒がっているので受験の話が出来ない。塾へも行っていないので自主勉のみで成績も良くなくどうなるのか。
- ・ 大学に通わせたいが費用負担が大きく自分がパート→社員となるしか道がない気がする。家事・仕事の両立が不安。
- ・ 中学の担任への不満はどこに相談すればいいですか。
- ・ 子供の塾代が高く生活を考えると最低限しかできない。自習できるように無料の会議室とかあるといいなと思いました。
- ・ こども3人分の教育費の捻出、その子にあった進路選択。(それぞれに必要な費用等)
- ・ 高校について、学校からの情報ではよく分からず、塾ありきだと感じました。学力テストでは偏差値が出ないため、志望校を決めるとき大変困ります。塾へ行かなくても安心して高校受験出来ると助かります。
- ・ 子ども達の将来が心配。
- ・ 長男が中学生の頃、不登校となり、学校や、市の相談員などをたよったが、どこも解決にいたる様な対応はなく、ありきたりなことばかり言われ、相談する事もやめてしまいました。フリースクール(市の)も行きましたが、学校に行けない子には、続けられる物ではありませんでした。今思うと、出席あつかいしてもらえる通信での授業などあったらよかったと思います。
- ・ 通学路の道路がせまく、通学時不安を感じる。
- ・ 塾に行かずに学習の支援を受けられる場所が欲しい。長期休みの時以外でも補習のような形で勉強をみてほしい。あまり着用していない制服をリサイクル販売しているお店を増やしてほしい。
- ・ 特にありませんが、授業が遅れている、又は勉強が追い付いていない子に対する補習などしていただければと思う。
- ・ 子供の進学について。
- ・ これからの孫の高校について。
- ・ 高校受験を前にして、各校の特徴がわかりづらい。偏差値ばかりではなく、その子に合った学校さがしが出来るような社会になってほしい。多様性といいつつ、教育の現場が一番多様性の難しさを感じているのではないだろうか？制服を変えることが多様性ではなく、もっとコアな部分を大切にしてほしいと思う。
- ・ 子供の具合が悪く、学校を休むことが多い。受験にひびかないか心配。塾は高額で、

行かせられるほどの余裕はないこと。思春期であまり子供と会話ができない。高校の話、受験の話、それ以外にも色々話したいがなかなかできないので、第3者から話してくれるといいと思う。学校では内申点がとかつつこんだ話はしないので。夫が単身赴任をしている時があり、家賃補助などあったのですがその分も年収に加算されたせいで、児童手当や医療費の助成が受けられずこまった。

- ・ 公立の学校の先生の多忙さ、教育制度の限界を感じます。先生方の努力でなんとか現状を維持していますが、本当に大変だと思います。教職員の数が少なすぎると思います。それにより授業の質も低下し、子供達の学力も低下するのではないのでしょうか。未来の日本のためにも教育現場の改善をお願い致します。
- ・ 子供の進学先について相談出来る所があれば、相談に行きたい。(市の教育センター、放課後デイ、学校(スマイル)あおぞらキッズ等では相談済みです。)
- ・ どうすれば勉強をするようになるか。
- ・ 子供が家庭学習をしない。
- ・ 小5の本人について、特定の仲の良い友人というのがおらず、中学に行って大丈夫なのか少し心配です。家と学校以外の場所(習いごとなど)を用意しようとしても本人が希望せず、このまま見守っていたらいいのか、親から働きかけた方がいいのか、悩み中です。このことを本人は、全く気にしておらず、学校は楽しいと通っています。

第3章 子どもの健康と医療

保護者

- ・ 親が病気になった時の子供へのケア。
- ・ 学校のカウンセラーに子供のことを相談し、クリニックなどの医療もうけたいが、予約がとりにくく、相談に行くこともままならなかった。
- ・ 近所に小児科(12才以下)や、耳鼻科、皮膚科、眼科が、もう少し増えればいいと思っています。子供がコロナに感染した時、子供は受け付けていないと書かれている病院が多い気がした。
- ・ 子供の過敏症、強迫症などについて。今後、将来1人で歩いていく事に不安があります。
- ・ 病気のため毎日が大変苦しいが何とか自分のペースでゆっくり出来る事を少しずつやっているといる。他の親子さんと比べたら全然ちゃんと出来ていないのを毎日毎日痛感しているので気持ちの面でキツイが焦らずゆっくりやっているといる。
- ・ 子と親の体調不良。

- ・ 子供の運動不足、体力不足が気になります。すぐ近くにトイレや水道付の公園もなく、外遊びはほとんどしていません。徒歩圏内にある信篤公園は、ひとつの複合遊具が置いてあるだけで、高学年の我が子には魅力を感じない様です。行徳駅前公園や、「南行徳のえんぴつ公園」のような魅力的な公園を、田尻原木高谷地区に是非作ってほしいです。子供が進学時、経済的な理由であきらめるのは避けたいです。入学祝い金や、卒業祝い金などの援助をお願いしたいです。
- ・ 昨年から子どものインフルエンザの予防接種の助成があり、とても助かっています。できれば、ずっと継続して欲しいです。・給食費の無料化もとても助かります。
- ・ 自分自身の双極性障害、パニック障害で、子供が小さな時は、苦勞しました。今は、子供も大きくなり、大丈夫になってきましたが。そういう親への対応も、取りくんでいってほしい。
- ・ うつ病、バセドウ病で辛い。子供がⅠ型糖尿病で辛い。
- ・ こどもが長年、アレルギー性鼻炎に悩まされており、その改善方法。(現在も通院して服薬しているが)
- ・ 発達に関しての相談窓口。
- ・ 子供のことは、学校の先生や放課後デイの先生などにお話を聞いてもらっています。特性があるので、小学4年生の終わり頃から、音声チックが出はじめましたが、最近、精神科のかかりつけのお医者さんも見つけることができました、今のところは、お医者さんと学校の担任の先生に相談しながらやっっていこうと思っています。夫のことですが、何から話したら良いのだろう、と思うぐらい色々ありますが、近くに私の実家もありますので、母に話すことで、なんとかやっっていけています。もし、どうしても相談させてほしいことがありましたら、お電話したいと思います。その時は、どうぞよろしくお願い致します。
- ・ 登校拒否が続いているので、子供の人との協調性の育くみが心配です。OD、リスカが続き、精神的な病から立ち治る術がなく困っている。学校はとても親身になってくれ、先生方には感謝しかありません。
- ・ 子供の運動不足、栄養のかたより。学習の定着。(塾へは、通っていない)

第4章 世帯の経済状況

保護者

- ・ 受験（中学）のための塾代の捻出
- ・ 児童扶養手当をもらっていましたが、所得がオーバーしているとのことで、今年の11月～来年まで1年間手当でゼロになりました。一人親だからフルタイムで働いているのに、まったく手当がないというのは、おかしいです。
- ・ 非課税世帯などへの一時金や、これから、小中の給食無料などが行われるが、全くあてはまらない。税金は払い続けているが、公平感がなく、中流家庭が1番損していると思う。助けが必要な世帯にはお金ではなく、根本を解決できるように、どうか、がんばってほしいです。
- ・ 周りを見る限りうちは1番収入が高いと言われるが、かくれた貧困状態にある。子供が4人いるし病気を患う事も多く、母のパート収入も不安定である。どうにかしてほしい。
- ・ 児童手当は子供のための手当なのに世帯年収によって削減や廃止となるのはおかしい。年収によって何かしらの削減があっても「児童手当」からはやめてほしい。
- ・ 学校の教材費が高いです。
- ・ 物価が上がり給料は上がらず、この先の生活が必要最低限でも暮らしていけるかとても不安。
- ・ 物価の上昇と給与減で生活が苦しい。毎月の集金も正直かなりつらい。
- ・ ただ今後、高校、大学へ進学した時の事を考えると不安もあります。金銭面の事でいうと、高校学費の免除（学費）等々、地域で違いもあると思います。
- ・ 所得制限の撤廃を強く望みます。私立高校無償化の対象に入れて頂きたい。子供の手当は所得に関係なく一律にして頂きたい。今のままだと、県立高校一択、国立大学一択で子供の選択の幅がせばまり、大学も行かせてあげられないかもしれないと今から不安になります。不自由な生活は送っていませんがぜいたくを一切していません。色々な支援を切られ税金だけは支払わされ、本当に苦しいです。なんでわかってもらえないのか？誰に言えば良いのかわかりません。
- ・ 所得制限でいつも手当を受けられない。高い給料の分、税金を払っているのに。毎度、児童手当などの手当で受けられず、不公平。子供は差別されるべきではない。親の収入で子供の差別はよくない。働くほど、税金をとられて、手当なし。へたしたら、給料低くて、税金払うのが少ない方が実際の手取りは多いのかも。
- ・ 学校教材費が払えない事や日々子どもに不自由を与えないよう過ごそうとすると、必

要なお金がない事が多々ある。

- ・ 私立高校無償化、児童手当など、子どもに関する支援が全て対象外の為、教育費の負担が大きく、不公平に感じます。
- ・ 収入が少なく貯金ができない。税金は高いのに教育や福祉が充実していない。
- ・ 子供3人育てて行くのに単純にお金が足りない。ギリギリ就学援助もうけられないし、物価高騰で毎日の食費の捻出もギリギリ。
- ・ 大学生（3年）、中学生（3年）、小学生（5年）の子どもがいます 年がはなれていますが、学費の負担はかなり大変です。乳幼児やお年寄りだけに注目が多いですが、高校・大学の学費は大変なので国として、考えてほしいです。
- ・ 高校支援が無く、子供が3人いるため不安。無償化対象外となる為、3人もいるのに全て自己負担となる。市川市在住である以上何もないので、他地域への転居も考えている。
- ・ 物価は上がる一方で、収入は減少している為、以前と同じように食料品や日用品を買っているとお金が足りなくなり、預金が減る一方で、先々の生活が成り立たない事が明白で困っている。
- ・ 夫の収入は上がったが税金で持っていかれるので手元にくる分は少なく、児童手当もカットされ、損している。子どもが3人いてお金がかかるのに税金を取りすぎる。収入があると額面上思われても、実際は苦しい。
- ・ 所得はそのままでも物価だけ上昇しているので以前より支出が増え、子供たちの将来を考えると生活の楽しみ（旅行や買い物）などが減ったと感じる。日本全体が貧しくなっているように感じ、子供たちの将来に不安を感じる。
- ・ 高校生がいるから、学費を払うのに必死。日々の生活で限界だから自分達の老後の資金もためられず将来の不安からのストレス。
- ・ これから大きくなり、今は、小学生で学費もあまりかからないが、今後、高校・大学に進学した時、きちんと、授業料が支払えるか心配。特に、私立にしか入れなかった時、どのくらいかかるかわからず、不安に思う。
- ・ 物価が上がって食費、光熱費がキツイです。
- ・ 上、下水道含む光熱費の高騰。
- ・ 光熱費、物価が高く、毎日の生活が大変。
- ・ 公共料金が上がってきて、家計の負担になっている。
- ・ 生活費。
- ・ 子供には、生活の中で貧困な思いをさせない様に借金を返済するのに仕事をすると、収入に応じた手当がもらえずに子供に淋しい思いをさせ、借金が減る事がない日々で

す。

- ・ 1人親で、養育費は多少はもらっているが、自身が稼ぐしかない状況であります。仕事はしておりますが、帰りが遅いため娘の安全が心配でたまらないです。
- ・ 物価や光熱費が上がったが、給料は上がらないしむしろ下がっており子どもは年とともに出費がかさむ。働いていたが保育園の利用料が高かったし貯蓄はないし、来年からの給食費無料化に期待。しかし塾代の1教科分にもならないので、生活は変化させることはなくどこかできりつめていこうと思う。昔のように年とともに給料は上がらないので老後の生活は不安しかない。しかしなんとか教育費を念出するのに頑張っている。教育（学校、習い事）のこと家事のこと仕事のこと、スケジュール管理も大変で毎日がめまぐるしい。忙しすぎて生きている実感がないことがある。簡単明瞭にしたい。
- ・ 物価が上がり、収入は増えたが正社員となったため、税金の支払いで、給与は大して変わっていない。就労援助の該当から外れたため、支出ばかり増えていて、生活は厳しくなっていく一方です。
- ・ 食料品の値上げ、水・光熱費の値上げ。市・県民税も高く、学費がこれから増えることを思うと毎日とても不安です。
- ・ 公共料金も物価も上がり、生活に不安を感じる。子供もどんどん教育費がかかる年になっていくのに。
- ・ 現在は特に困っていないが、3人の子供（高2、中2、小5）がそれぞれ私立の大学（特に理系）を希望した時に、3人全てを通わせることができるか、経済的に今から不安です。子供に関することは所得制限で対象外になることが多く、たくさん税金を払っているのに、恩恵が受けられないのが不満です。
- ・ 就学にかかる費用の負担が大きい。自分の将来まで手がまわらない。
- ・ 生活費が足りない。ただそれだけです。市川市は税金が高いのにサービスが低いです。子供の医りょう費も無料ではないです。何かあれば+αで費用がかかるのもおかしいです。←ケガなどで松葉つえが必要で別でお金がかかりすぎです。
- ・ もう少し子育ての金銭的フォローをしてほしい。産んでも、収入を増やしても、税金や光熱費高とうで意味がない。
- ・ 受験生は塾に通って当たり前という雰囲気がある。本人のやる気があっても、学習塾は月謝が高すぎてとても通わせることはできない。1人っ子ならまだ可能かもしれないが、3人子供がいて3人ともというのは不可能。でも大学等、高卒後の進路を考えると行っていないと情報も少なく不利な感じ。結局、経済的に豊かな家庭の子が、優遇されていくのだろうかと思う。不登校生に対する居場所がない。今どき、オンライン

授業もアリでしょう。あと、市川市の医療受給券はせめて高校まで対象にしてほしい。部活をやるうちはケガも多い。

- ・ 収入が増えず困っている。お金がない。離婚した場合の生活や住居、子供の事など不安だらけ 子供の進学や、老後などとにかくお金が心配。
- ・ 子供には、やりたい習い事は全てやらせてやりたいが、月謝や諸費用が高額になるので経済的に難しい。
- ・ 子供の教育、進学資金がちゃんと、ためられるか、まかなえるか心配。私や夫が、病気やケガになった時の生活資金や生活のこと。将来（老後）のお金のことが心配。
- ・ 中学生の制服は登下校や式の時（イベントも）にしか着ない。購入する意味はあるのか？更衣室がないから体操服を下に常に着用しているって・・・変でしょ。リサイクル店があるとしても、そこまで安くもない。部活をする時も、その部でユニフォームなどけっこうかかる。生活が苦しいわけではないが、購入しない道はないのか？すぐ・・・約2年半で終わるのに中学校の名前入り一式そろえるって・・・。やりたくても部活できない子もいるのでは？と常々思っています
- ・ 教育にかかる費用が今後どの位必要なのか。どんどん増えていき不安。子供が望む習い事をさせてあげられないなど、子育てに関する悩みが多いです。
- ・ 食料など買えないほどではないが、世帯年収が高いからといって金銭面で困っていないわけではない。放課後デイを利用しているが、同じ子供なのに世帯年収によって多額を支払っているのは少々不満である。
- ・ 家賃は家計の負担。保育士は家賃（借上げ？）安くおさえられてうらやましいです。
- ・ 学習の支援は本当に急いで何とかしてほしいと思う。親は仕事で子供の勉強まで手をかけられず、でも塾に行かせるお金もなく、しかし学校の先生（学校だけでは）どうにもならず、本当に中学に入りますます必要性を感じるが、それでは遅く小学校の時からさせてあげたかったが・・・。悪循環の極みであると思う。
- ・ 来年度長男が大学受験、次男三男（双子）が高校受験で経済的な理由で希望校を受験出来るか心配です。
- ・ 色々なものが値上がりしているのに給料が変わらないので、食費や光熱費でいっぱいいっぱいです。子供達への支援をして頂きたいです。
- ・ 来年度長男が大学受験、次男三男（双子）が高校受験で経済的な理由で希望校を受験出来るか心配です。
- ・ 支出は増える一方なのに収入はかわらないので生活は苦しくなるばかりです。
- ・ 物価が値上りする事や、電気代等も上がり今が一番、食べ盛りだったりするので、今後の物価の値上り等が気になるし、心配にもなる。

- ・ お給料が下がり、物価が上がったので、生活が苦しい。子供の学費が大変。
- ・ 物価上がりすぎて辛いです。
- ・ 収入の減少、物価高騰等により、子供の進学先を選ばせてやれないだろうという不安と申し訳ない気持ちで、すごく不安になる時があります。日々の生活もギリギリではあるが、平穩に生活できているが、親や子供が大きな病気になったり、災害がおきたりなどした時の蓄えがないので、将来の不安はずっとある。
- ・ 学校の授業についていけない子供が復習を家でやることは容易ではなく、塾に通わせるのは経済的負担が大き過ぎて難しい為学力に合わせたクラス分けや公共の学力支援などもっと増えてほしい。部活動をやる事も推奨しているし、本人もやりたいと思っているので限られた時間でこなせる課題や子供へのすすめ方の提案なども伝えてほしい。
- ・ 困っている訳ではありませんが、塾や習い事が年々高くなり、習い事格差がでています。経済的な理由で学ばせることを諦めさせる事もあります。学校（土・日）やこども館などの施設でボランティアで教えてくれるような、場所や、機会などあれば良いなと思っています。
- ・ 子供が勉強嫌いで、成績が悪い。公立高校はムリだと思うが、私立だと経済的に不安。塾にも行きたがらないので、とにかく高校受験が心配。
- ・ 高校無償化について・塾代を捻出することが困難。

第5章 保護者の状況

保護者

- ・ ゲームやスマホの扱い方など、自分の知識が追いつかず、子供に適した使い方の指導に自信がない。他のお友達との環境の差など、難しいと思うこともよくあります。
- ・ フルタイム+残業ばかりで子育てとの両立が上手にできず。予防接種とか病院事がうまくこなせない。保健所やセンターで土・日もやってほしい。時間が24時あってもたらない。
- ・ 子供が望む学校に通わせてあげる事ができるか不安。
- ・ 中学男児の子から（知的障害、発達障害による二次障害でうつあり）家庭内暴力を受けている。自分で行政のサービス等をしらべて、今は週1回小児精神訪問看護介入。精神科に親が代理受診し、内服なども使用しているが、パニック時などかんしゃくをおこし身体的暴力を母・娘が受けている。母が制止のために対抗すると、「虐待だー！」と近所の人にきこえるようにさわぐ。ひきこもりで外出困難なため、自宅でゆっくり

できず、いろんなことが重なり、うつ病とストレスにより喘息発作を私（母）自身が患い、パートで仕事をしていても通院や薬代が月に1万5千円を超えることがあります。金銭的にも、身体的にも、精神的にも毎日つらく、息子の将来が不安でしかたない。

- ・ 離婚したいが、相手がこぼんでいる。だが別居中の上に生活費もほとんどもらえず、持ち家をてばなすくらいせっぱくしている。離婚をしないといろいろな制度がうけられず、本職以外に仕事をしたくても、なかなかない。時間的余裕がない。
- ・ 転校前後、不安から子どもが時折休むので、心配している。
- ・ 学校のタブレットの設定をもう少し親がいじれると助かる。
- ・ 小2の息子が発達障害と判明し、どの様に接すれば良いか情報がない。
- ・ 過去は手もあげた事もある。ひどくなることもある。もう会話ができるので、話し合いができるが、反抗期に入り未だにケンカをする。気をつけているが、どうにもならない時もある。大切な我が子のためにも、全てをつつめる大きな人になりたい。もっと冷静に、かつ愛情をもって包んであげたい。未だに子供じみた自分に落ち込みます。・ どうしたら自分から片づけ、宿題等するか等もずっとなやみます。
- ・ 義母とのこと（同居）、中学生の娘のこと。
- ・ 子供も気持ちが分からない。成長するとともに子育てに不安しかない。子育て、やりなおしたい。
- ・ 専業主婦とはいえど、毎日の家事・育児（送迎・勉強サポート等）が休みなく続くため、家事育児分担について、夫と不公平さを感じる。
- ・ 父親からの面前DVで実家に子供と身をよせています 実家におります。金銭的に実家にお金も入れ、余ゆうはなくても、離婚は成立していないので行政的に支援がなく、少々厳しいです。
- ・ 現在の夫婦関係。離婚した場合の生活に関する事など。
- ・ 今は特にありませんが、父、母共に高齢のため将来、健康面や金銭への不安は、少しあります。
- ・ 毎日困っている訳ではないが、いざ困った時に必要な情報を得られず困ったことがあった。ex) 保育園入園について問い合わせても情報が得られない。育休延長は1ヶ月前までの申請にも関わらず、4月復帰予定で3月1日になっても入れるかどうかの回答を得られない。
- ・ 夫の介護をして丸2年、生活がガラリと変わりました。それに伴い、子供も少しずつ変わっていきました。特に長男（中一）の反抗期も目立ってきて、私も疲れてきました。もう少し協力をしてくれないかなという期待感。到底無理だとわかっていますが、仕事と家事を両立している私からすれば助けを求めたいです。特に私が病気で寝込ん

でしまった時は強く感じます。こういう時、大人がもう 1 人いたらなあ・・・と思います。

- ・ 仕事をして帰宅し、食事におふろと眠るまでほぼ分きざみの中で、子供の宿題を見てあげられる余裕が少ない。自分の時は学校の先生が宿題をみていたのに今の時代は親がまるつけをしなくてはならない。そんな時間を取るために、子どものすい眠時間をけずらせるのが申し訳なく思ってしまう。働く親の子どもは、寝る時間がおそくなってしまふのは、仕方がない事なのか、とにかく時間が欲しい。
- ・ 夫の家事、育児への参加が充分ではない。
- ・ ・物価が上がっていていくら年収があっても不安である。・本当は子供を 2 人産みたいと思っても今の日本で子育てするのは大変すぎる。そんな人は周りにも多い。お金がかかるので産みひかえている人、考えている人が多い。真剣に少子化の事を考えて欲しいと思う。・議員の人はしっかり働いて欲しい。居眠りなんて普通の会社員なんてありえません。・本当にまじめな人がバカをみる世の中にはならないで欲しい！
- ・ 仕事と家事・・・24 時間じゃ足りない事。夕飯が毎日 9 時半～10 時になってしまう事。いつも眠い事。習い事をしたいと言われている事。小 5 なのに 1 つ 1 つ何度も指示しないと行動してくれない事。自由時間がなかなかとれない事。色々な物が値上げされていく事。などなど、困っていることです。
- ・ 毎日クタクタになるまで働いているが、生活にゆとりなく、生きる事がつらく感じる事がある。
- ・ 私は保育士の仕事をしている母です。保育士離れが深刻化しているという背景にはお給料の面だけがニュース等で取り上げられていますが、実際はそれだけでなく、保育所は開所時間が長いという点も大きく関係していると思います。保育の仕事は基本シフト制で遅い時は 20 時すぎという園も。我が子が小さいうちは預け先が保育所なので自分の職場より遅くまで開所している園に預ければ働く事はできますが、小学校に上がると学童に預けても 19 時まで。第 3 者の手助けを借りることができない我が家は旦那も帰りが遅くこのままでは正社員で続けていくのが難しいのが現状です。保育所で働く保育士も母である方が沢山います。そういう方の預け先がなく正社員で続けていく道をあきらめずに続けていけるよう市がサポートして欲しいです。強いて言うなら小学生より小さい子がなぜ長い時間親元から離れていなければいけないのか・・・保育所自体の開所時間の短縮をお願いしたいです。子育てしている母も働きやすい市であって欲しいと願っております。よろしくお願い致します。
- ・ 子どもに怒りすぎてしまう。
- ・ 収入の大幅減少で、住宅ローンや車のローンが支払えなくなりそうできつい。自分の

親の年金も少なく、これからのことも心配。もう一人の親は、高血圧、糖尿症で入、退院をくり返しており、そちらにもお金をもっていかれて、全くどうしていいかわからない。

- ・ 元々、出不精でコロナ後さらに億劫になった。ほとんど仕事、スーパー、所属しているボランティアのみの、変化のない生活。一人で娯楽に出かけることに不安があって出かける勇気がない（仕事とボランティアのメンバーは同じ）。仲間はいても昔から友達がいらない。教育費にお金がたくさん必要と思うと、自分にはあまりお金がかけられない。収入を増やすため、職を変えたい気持ちもあるが、失敗のトラウマ、スキルがない、自信もない。今の職も辞められる状況ではない。ボランティアでも仕事でも責任が重くなってきた。仕事・ボランティアを優先してしまう性格で、家のこと、子どものおろそかになっている。
- ・ 親が生きづらいと感じているため、子供たちが生きるこれからの社会がどうなってしまうのか心配です。（日本の）未来は、明るくなるのでしょうか。生きる事は、うれしくて、楽しいと思える社会になることを願います。
- ・ 仕事と家庭のバランスがとれない。子供たちがある程度大きくなってから復職したので、家族も、母親である私を専業主婦と同じように考えており、体を休める時間も確保できない。仕事も軌道にのり、任される業務が増えるにつれ、家事負担が重荷になり、いつか仕事で大きな失敗をするのではないかと、体を壊すのではないかと、心配になる。あと5年の辛抱と自分を励ましなが、のりきっている。
- ・ 経済的に困っていることはないが、家庭のため自分のために社会復帰を希望したところ、義母に反対され、夫は働きに出ることには賛成でも、義母からのストレスで体調を崩しても夫に取り合ってもらえず、専業主婦のまま長い月日が経ってしまった。年齢的に再就職は難しいのか・・・と自信がなくなってくるが、相談できる人が身近にいない。
- ・ 収入は全く増える見込がないのに、支出が増える一方で生活が苦しい。仕事と家事、子育てを両立させる事が大変で、睡眠時間がきちんととれていない。（平均 4.5 時間）体調もあまりすぐれず、いつも疲れているような気がする。病院にいきたいが時間がない。子供たちそれぞれに悩みがある。上の子は、受験にむけて成績があまり良くないこと。思春期に入り接し方が難しくなっていること。下の子は、イヤイヤが強かったり、保育園の集団生活にたまに苦勞すること。何か障害があるのか？そのようには見えないので単なる甘え不足なのか。自分の気分転換をする時間が全くないこと。常になにかに追われていること。
- ・ 私自身が更年期障害で子どもに当たったり、イライラしてしまったりする。

- ・ 家事と仕事の両立、役員業務なども含めると、本当に時間的余裕はなく、その中に、親の介護などが入ってくると、正直どう回していくかなかなか難しい。代行サービスを利用するなど、取り入れられるものを利用しながら進めていくしかないが、気持的余裕はなくても、平常心でいられるように自分だけではなく周りに頼りながらと思っています。
- ・ 食べ物の物価が10年前より1.5倍～2倍で、光熱費も2倍になりつつある。金銭面がきびしい。子供が3人いてそれぞれのPTA活動（下2人は全学年単学級で毎年の様に活動がある）が負担。ほとんどの世帯が共働きで忙しいのにずっと続いていなくてはならない。市や国から何らかの是正や提案をして話合う機会ができる様にしてほしい。子供達の世代まで続くと思うとゾッとする。田舎程そういった事が多い。
- ・ 私が困っている事ではありませんが学校等に電話するほどではないが伝えたい事などアンケートBOXなどがあると良い。夜に学校の電話がつかない時間になってしまい、すぐに話をしたくても相談できない事がある。学用品特に小学生のけんぱんハーモニカや算数セットは不要になったらキフできたりすると良い。卒業式（小学生）が派手になっていくのも差が出てしまい心配。
- ・ 現在の収入では、大学（専門学校）へ進学させるのが難しい。→・貯金がない・学資保険などしていない。子供の将来について、親としてどこまでしてあげられるのか、漠然とした不安がある。義務教育期間よりも、高校・大学とお金がかかることにおどろいた。
- ・ 主人と離婚したいがなかなかできない。

第6章 周囲の人や支援者とのかかわり

保護者

- ・ 大洲にある子ども発達センターの電話窓口（特に施設予約について）の人の感じがとても悪く、それによって子ども発達支援センターへの見方も変わった。もう頼りたくなかった。福祉にたずさわる人の資格がないように感じました。
- ・ 主人（子どもの父）が重度の障害者になり、色々と大変だった。今はひとり親世帯として市から援助を受けているが、そういう制度があったことも知らずに1年程過ごしていた。毎月6万円程もらえることがありがたいので、もっと早く知りたかったし、残念。その情報を教えてくれたのも、船橋に住む、同じような障害を持った家族の方で、その人に教えてもらわなければ何も知らなかった。
- ・ スマイルプランの利用をさせて頂きました。また、支援機関の方にお世話になってい

ます。

- ・ 相談できる場所がない。人もいない、結び目もダメ、よりそいホットラインするほどでもない、でも必要で苦しいときにいのちの電話はぜったいつながらない・結局きいてくれる人なんてこの世にいない・専門職なんてサギ！！
- ・ 発熱外来に片端から電話してもつながらず（または断られ）行政コールセンターも 4 日間全くつながらず、市に問い合わせしてもネット情報（県の HP 見てほしい）の回答しか得られず PCR 受けられず出勤できない、登校できない。その状況にならないと必要な情報ではないが、いざという時にも対応していただけると助かる。
- ・ コロナで在宅勤務の家が増え、以前まではそれ程気にならなかったが、コロナになってからは、外でタバコを吸う人が増えて、洗濯物がタバコ臭かったり、窓を開けていると臭いが入ってきて気分が悪いです。
- ・ 犬の散歩をする人が増えて、家の近くの電柱でオシッコして水もまかずに行く人がたくさんいます。とても悪臭がするのでマナーを守ってほしいです。たまに人の家でしているのもみかけます。ルールやマナーを守らない人が多くて困ります。
- ・ ディスレクシアについてどこに相談したらいいのか分からない。
- ・ 次男が去年、不登校気味になり、父親と本人の関係を見直す機会となりました。長男と三男もよく忍耐強くガマンしてくれたと思います。とても親だけでは解決できる問題ではなく、第 3 者に頼っていいことを知りました。今でも学校の先生やスクールカウンセラーの方にお世話になりつつ、本人もようやく自分の足で登校できるようになりました。今後もよろしくお願いします。
- ・ 学校の先生に相談した所で何も動いてくれない。相談するだけムダな時間だった事しかないのに困っている。
- ・ 困っている事、悩みなど相談して解決した事はない。話をしてスッキリしたと感ずるのであれば、時間のムダである。
- ・ 前に子供の事で相談をして「どうしたらよいか？」などを聞いたら、その様な事は、ネットとかに出ているから、子供と一緒に見たら、いいと思う！！と、とっても感じが悪くて・・・相談センターとか言って、今どきの答えでビックリしてしまいました。なので、相談センターみたいな所に相談しても無理なのだと思います。もう少し、やさしい対応をしてほしかった。私は、不信感しか感じられなかったし、これで、本当に、資格を持った人なのか？と思いました。
- ・ 就学前まで発達センターの療育にお世話になりました（発達障害グレーゾーン）。今では元気な中学生、自分に自信ももてる子になっています。相談にのってくださり本当に救われました。ありがとうございました。内容が違い申し訳ありません。

- ・ 困っているわけではないが、感情的に子供をしかる事は良くないと思っていて、自分のコントロールがうまくいかない時、子供を間違った方法で育てたくなくて、とっさに児童相談に電話し、子供との事を話した。最近です。

第7章 制度利用、支援への要望

保護者

- ・ 小学校と中学校にもっと快適にすごせる冷房と自販機を置いてほしいです。
- ・ 子供が学校や習い事でイジメにあった場合、相談できる場所がほしい。もしあるなら、その情報を積極的に発信してほしい。また将来通学するだろう公立中学の学力や生活態度の実態などの情報がほしい。
- ・ このようなアンケートの内容に驚きました。(あまりに個人的な内容の質問が多く)一般的な家庭環境かと思いますが、アンケート自体に違和感を覚えるので、全て無回答にしました。このアンケートを今後の施策に反映するとのことでしたが、一生懸命働き、税金を納めていますので、収入などに差のない「平等な」施策を望みます。
- ・ 災害の際などに両親が東京から帰れなくなった時など、一時的に子供を保護してくれたりする場所があると安心だと思えます。(5年生になり学童にも行っていないので、何かあった時、1人で電話もつながらない時など、落ちついて家にいるように伝えてはいますが近所にたよれる先があるといいなとは思っています。)(ママ友や近所の方なども自分のことが大変だと思うので。)
- ・ 学校の校舎、設備が古すぎる。特に水まわり、トイレは下水が古くや壁も何十年ものよごれでにおいもきつい。そうじしてきれいになるレベルではない。また運動会のテントも何故、全学年分もないのか。支援がないのか疑問です。
- ・ 子供(幼児)を連れて児童館に行った時に思ったより職員の方のサポートを受けられず、ガッカリした記憶があるので、改善されてほしい。
- ・ 相談したい事があっても、なかなか電話ができないと思えます。気軽にメール等で相談ができるようになればいいと思えます。子供の進学先で悩んでも、市川市は、「決めるのは親子さんです」と言われ、相談にもなりません。
- ・ 虐待から守る制度があっても、家庭内暴力から守ってくれる制度がない。
- ・ そういう人達にも優しい支援をおねがいしたいです。
- ・ 公務員職などの適正と経済的安定を持ち合わせた人材による主体的ボランティアの可能性を見える形で展開を試みてほしい。(学校・地域)一市民として、一父、一母として、子育て(無償の仕事)家事(無償の仕事)介護(無償の仕事)仕事(有償の仕事)

学校及び部活等ボランティア（無償の仕事）地域ボランティア（無償の仕事）などの兼業の持続の可能性や効果や価値を体現し示してほしい。困っている人を、より困らせる、困っている人を傍観する無視型ボランティアからできる人が、できる時に、できる事で貢献できる骨太な主体型ボランティアへの進展を。

- ・ 上の娘に障害がある為デイサービスに通っているが、仕事をしている為時間の工面が難しいことがある。保育士をしているので勤務時間が不規則な為、保育園のように放課後デイサービスも7時～19時の間で勤務時間に応じて利用可能など、柔軟にできると大変助かると感じる。
- ・ 全ての子供が自由に進路を選択できるように、制度を整えてほしいです。
- ・ 障害福祉課には行ったが、その時に「子どもがいるなら」と子ども福祉について教えてくれたり、（利用）できる制度をもっと課の人同士連携して教えてくれたらいいのに・・・と思う。インフルエンザ予防接種の助成はありがたいが、知人に聞くまで知らなかったのもっと学校から発信したり、情報が伝わればいいのにとと思う。中学3年生は受験もあるので助成年齢が中3までだとありがたい。
- ・ 給食費の負担がなくなり嬉しく又助かります。本当に有難いです。今の子供達が市川市に住み続けたいと思う様な施策をお願いしたいです。又、スマイルプラン制度には本当に助けられています。子供の学校には幸いな事にスクールカウンセラーが月に数回来ますが是非常駐して欲しいです。数年前のカウンセラーには本当に感謝しています。今のカウンセラーは近所の人に相談するレベルの回答しか返ってきません。質の問題もあると思います。
- ・ スクールバスを出して欲しい。家が遠過ぎて見守りに時間、労力、ガソリンを消費する日々。中学は更に遠くなる上に、スマホを持たせられないと聞き、どのように見守りをしたら良いのか悩んでいる。被害にあってからでは遅いので考えて欲しい。（自転車も不可の意味がわからない。）
- ・ 困ってはいないが、発達障害の子どもがおり、将来の不安はある。窓口にも相談したが、適切な（必要な）支援が受けられないなあと感じた。（自分でどうにかしないとならない感）・子育て支援と言うが、子どもの数が多くても、収入が多いと支援が受けられない。子どもが1人とかならば仕方がないかと思えるが。子どもを増やしたいのならば、複数の子どもを育てるにはやはりお金はかかるので、何かしら支援はあると有難い（すみません、これは意見です）←個人的には、親のことも考えないといけない世代、やはり悩み事は多岐にわたると思います。（子育てだけでなく）
- ・ 専門機関に気軽に相談出来る様になれたらと思います。フルタイムで仕事をして、家事、育児との両立もあるので、電話や出向く事が億劫になってしまいます。

- ・ 今現在の日本は、働いても収入は増える事は少なく、コロナやワクチンにかかるお金や税を国民にやわらげる対応してほしい。
- ・ 出産するにあたって、毎月の検（健）診代が高いと感じました（←補助券あっても）。（今年子どもを産みましたが、計算したら7万～8万）（4人目の出産）。後期も月2回でもっと家計にやさしい制度がほしい。
- ・ 県外の私立高校に進学した場合も、授業料の補助をしてほしい。
- ・ 子供を3人以上育てている家庭ではお金もそうですが時間がたりないです。別の機関に相談できますよと案内されても、そこに行く時間がとれない子供がたくさんいる家庭の子どもがかかわる機関の方から親に声がけしてちょっと手伝ってもらえると、すごく助かります。
- ・ 学校への意見など、直接学校に言いにくい場合、無記名で発信できる場が欲しい。
- ・ 子どもに関することは、平等にすべきではないでしょうか。この様な不公平な支援は「子育て支援」という名称を使うべきではないと思います。
- ・ 多子世帯への負担軽減等も検討頂ければと思います。（18歳までの医療費補助等）
- ・ タブレットを充電するだけのために持ち帰っている。学校でできないのか。（急な緊急事態宣言や学級閉鎖のためとはきいてはいるが荷物が重くて無意味に感じる）
- ・ ナルコレプシー等のすいみん障害の支援や制度はないのでしょうか。一生通院なのになにも支援がないのが疑問です。
- ・ 子供がうけられる低額の学習支援制度や子供が友人と集まってあそべられる施設を充実して欲しい。子供館などもっと子供が楽しめるようにして欲しい。
- ・ 最近、世間で言われている産み損、育て損。3人子供を産んで一生懸命、働いて育てても、何も得をしない。反対に、所得制限で、支援がほぼ受けられていない。3人いれば、生活費、学費も子供1人の世帯の3倍かかります。なのに、税金を払うのも、年金をもらう額も子供の人数に変わらず同じなのは、納得いかない。少子化を本気で考えるなら、もっと、多子世帯にも支援してほしい。
- ・ 小学生になってからよりも、未就学児の時の方が大変だった。子育て支援の場を作っている団体などに行ってみたが、どこもピンとこなかった。いわゆるワンオペ育児だったため、1人の時間が全くなく、保育園の一時預かりなども利用したが、もう少し利用しやすいといいのにと思っていた。もう高学年になり生活面では人の手を借りることも少なくなったため、学習のサポート面で何かできれば利用したい。
- ・ 本当に困っている方に支援がいくように、子供がづらい思いをしないように、行政サポートを受けやすい環境・地域作りが大事だと思います。
- ・ 子どもたちが成長するにつれて食費も上がり、いろいろな物が値上がり今後の生活が

心配です。来年から給食費が無償になるとのことでありがたいです。このような、「子どものための～」無償化や子どもにかかる費用が軽減されたり、進学時の経済的負担不安が少しでも、かるくなるような支援体制があってほしいです。

- ・ 4人も子どもがいるのに所得制限で手当がもらえなかったり、保育園の副食費補助制度が対象外や、そもそも、申請しなければもらえないのはおかしな話。保育無償化が始まるまでは、保育料の負担がなかったのに。あとは、学校用品は数年しか使わないのに買わされるものが多すぎる。(算数セットなど、学校で決まった数を保管してみんなで使えばよい。)彫刻刀や竹の定規など。
- ・ 高校無償化の対象を拡大してほしい。共働き、正社員でものすごく大変だし、すごくがんばっているのに、そういった家庭は現在の条件だと外れる家庭が多いのは不公平すぎる。余裕はなく、子どもが4人いればとても厳しい。もっと、子どもの人数も考慮に入れてほしいし、養育中の人数ではなく、何人育てたかも考慮してほしい。0-2才の保育料も、4人も育てているのに4人目は上の子が保育園を卒園しているから無償にならない。不公平。おかしい。
- ・ 収入は増えているが、それ以上に支出額が増え、まとまった金額を貯金できずに困っている。習い事や留学準備の為のお金が用意できない。また、親の同居により、そちらの金銭面のサポートをしているので、何か良い支援があれば受けたいです。中3の子供がいるが、私立に通う場合、金銭面での不安がある。
- ・ 収入は増えず、支出は増えているので本当に苦しいです。1人親の方が逆にたくさんの支援を受けられて生活自体は豊かなのではないかとともに思います。子ども達の学習塾や進学についてもお金をかけられず、それが学力の差になるのでは？と心配になったりもします。どちらにしても明るい未来はあまり見えない時代です。これからの日本を支える子どもをたくさん産んでも生活に対する支援は不十分だと感じる人が多いですね。
- ・ 子供が3人いても、年が離れていると支援の対象にならない事が多いです。夫が10年上なのでそれなりに収入はありますが、子供はまだ小さく、これから教育費が沢山かかってくるのが不安です。大きくなってからの方がお金はかかります。
- ・ 給食費にしろ子どもに対する支援が遅すぎる。2人目を産むか迷う世の中なのに。多子は3人目以降とか、現実と見合わない支援を支援とは呼ばないと思う。学費補助も所得制限をされると共働き世帯は何のために共働きしているのか分からない。
- ・ 非課税世帯より少し収入がある世帯は支援金をもらえず、生活が苦しい。物価高騰で貯金できず、塾代もない。
- ・ 日本は、就労の機会は平等にあります。働けるのに、働かない人は納税額も少ないの

に、様々な支援が受けられており、そちらばかりが優遇されていると感じます。がんばって働く人が、報われる、市川市になってほしい。

- ・ 仕方ないことかも知れないが、住んでいる自治体によってかなり支援内容（生活困きゆう者、母子家庭など）がちがうのがこまる。どの市、県でも同じ様な（例えば東京都のような）手当がうけられるといいなと思う。
- ・ 障がいのある子供を理解してくれる先生が少なすぎる。相談・支援してくれる機関の人数も少ないので対応してもらえないこと。
- ・ 子どもの医療費助成が中3まででもうすぐなくなってしまうのが困る。助成がおわったあと、いくらかかってくるのか不安である。（予想もつかない）自分の具合が悪い時に、子育てが負担となる。助けてくれる制度がほしい。
- ・ 子供が3人いてもいつも恩恵がうけられない。・収入制限でいつもみられるが子供1人の家庭と3人子供いる家庭ではお金のかかるのに違いがあるのに高校の奨学金もうけられない。給料からけっこう引かれて手取りが少ない。市川市は住民税が高いのでは？
- ・ お金が1番かかる中学生以上の子供に対する支援がもっとあると良い。
- ・ 低所得とかシングルだけ援助がでるのはおかしいと思います。まず、田舎暮らしと都心よりで生活している人は、生活にかかるお金がちがうし収入があったとしても、消えるお金が沢山あるので、けっこう生活するのは大変。世帯収入だけで色々決めないでほしいです。
- ・ 困っていることは（幸い）ありませんが、（自分の家庭のことで）困っている子どもたちが、親や家族に知られることなく安全が確保され、必要な支援をきちんと受けられるような施策が整ってほしいと、切に願っています。どうぞよろしくお願いします。
- ・ 子どもが4人いますが子どもの将来（教育面 教育費）の不安は常にあります。子どもが多い世帯こそ平等に子どものやりたいこと、行きたい進路が行ける未来を作って頂ければ子どもを増やす保護者が増えると思います（医療費無料・教育面の補助無料支援、大学の授業料補助等）。市川市は都内にも近いので、養育家庭が市川市に移住してもらえよう、子育て支援が厚く住みやすい、そして子育てしやすい、応援してくれる市として有名になってもらうことを願っています。たくさんアピールして子育て応援の市川市として全国の先がけとなってください！！
- ・ 子育て支援や、物価高騰対策に所得制限があるのはおかしい。働き損。高校無償化や、児童手当など、不公平にも程がある。いいかげんにしてほしい。
- ・ 税金を安くしてほしい。
- ・ こども手当などこどもに関する所得制限はなくしてほしい。多くの子を自力で努力し育てている家庭への罰ゲームのように感じる。子は社会の子だと思ふ。社会で育てる

べき。所得が多い人はその分税金で貢献している。

- ・ 収入は上がらないのに物価が異常な程上昇している現在だからこそ子育て支援として給食費を含め教材費等の無償化を早期に実現してほしい
- ・ 子供が多いのに学費関係（教育）で支援がうけられない事。子供が大きくなる程、お金がかかってくるのに支援がなく、4人を大学まで行かせてあげられるか不安しかない。
- ・ 手当をもらえないギリギリラインの生活負担。
- ・ 毎日の生活ではないが、中学校の制服が高すぎる。主人のスーツより高い。そして成長期で買いなおしたりする。もっと安価にできないだろうか。
- ・ 学業に使うお金が多い気がする。もちろん必要なお金もあるが、少しでも減らしていただけると他に使用できるお金が増えるので考えていただきたいです。子供を増やしていくためには教育にお金（税金）を使ってほしい。
- ・ 来年子供が2人受験生になるのにそれらに対しての、受験料、その他について、制服購入、他全く援助がない、情報もないのは、先進国なのに、日本は終わっていると思います。こんなに、シングルであって、制度の遅れ、放置を感じる国は他にないのでは？と思います。女性にとっては本当にハンデの国。シングルでなくても少子化に歯止めがかからないのも納得です。
- ・ 給食費無料に動いて下さった市長に感謝しています。次代を担う子どもに等しく学ぶ機会を与えることは、親世代の責任と思っています。頑張ってください。
- ・ 児童扶養手当の所得制限をなくしてほしい。今の状況は、働かない人の方が得をしている世の中。また、ひとり親の場合も働けるのに働かない、制度を利用するために働かない等色々納得できない。ひとり親で生活のため、子供のために働けば、所得が高くなり制度を利用出来ない。働くことがバカらしくなる。子供が大きくなって部活をやらせ、習い事をするためには、毎月の収入を増やすために働き、支出が増える分生活がラクになるわけではない。夫婦2人で働き、2人で家事や育児をする負担とひとりで働き全てをこなす事がどれだけ大変か。生活のためにダブルワークをして、休みもなく子供を1人にする時間も増える。世の中の税金の使い方や制度の見直し等を希望します。
- ・ 子供が小さい時より、中学・高校へ進学してからのほうが、学費や、部活動等での支出が増える為、他の千葉県内の市では、医療費が18才まで助成になっていたりするので、市川市も、せめて、医療費18才までの助成で、家計を支えてほしいです。
- ・ 困っているほどではありませんが、家事のサポートを公的な資金援助で受けられたりすると助かります。

- ・ 千葉県の高校でなくても無償化にしてほしい。又は低額にしてほしい。
- ・ 教育費（特に大学）が高すぎる。公立校では授業が充分ではない様に感じる。→わからないまま授業が進んでしまう。補習などがあると良いなと思う。（短時間でもいいので）学校だけでは不十分なので塾に通わなければならなくなるので結果教育費が増えてしまう。
- ・ 世帯所得が多い方とはいえ高校、大学費用はかなり負担になると思うので、軽減されるような支援策があればいいと思います。
- ・ 子供の医療費助成を18才までにしてほしい。子供が行きたい大学を学費に関係なく選べるよう、市川市で奨学金とかあるといい。
- ・ 私立高校の学費（授業料）が高すぎます。支援を受けられない制限を超えている世帯は大変な思いをして支払っています。実際、負担軽減とうたっていますが、世帯収入だと該当しない家庭が多いです。そして、父親が授業料を支払えない家庭は、母親が一日10時間も働いている（私も含め、周りの私立に通うママ友も）。収入制限を外して下さい。パート収入で、学費を支払っている家庭が多くあると思います。
- ・ まだまだ子供が多い家庭には、厳しい世の中だと感じます。3人以上子供が居る家庭には、もっと早く給食費免除などしてほしい。
- ・ 義務教育を受けている子供までが子供手当や医療の手当を受けられますが、今、高校や大学まで進学する子が多いと思います。もう少し先まで少額でもいいので手当が続く（受けられる）といいなと思います。
- ・ 子供が複数いると学費が多くかかります。金銭面で選べる学校がせまくなるのはかわいそう。子供に申し訳ないと感じてしまいます。
- ・ 療育手帳のある子供の支援・支給対象を広げてほしい。（子供が学校に行っている間のパートしかできない）
- ・ 子供が多いが、そのための支援は少ない。
- ・ このアンケートが手元に届いた時点で、子育てしている親達の支援を考えてくださっているんだな、と心温まりました。ありがとうございました。子供達の未来の為に今後とも宜しくお願い致します。
- ・ 高校生までは医療費（300円）を助成してほしいです。大学進学となるとお金が足りません。国や市町村等で補助的な事をしてもらいたいです。
- ・ ナシ。小・中学校の給食費無料化、とても助かります！
- ・ 乳児・幼児の手当て等は充実しているのはいいと思いますが、実際の子育てでは年齢が上がるごとにお金はかかってきます。特に大学の金額はとても高いです。そちらに目を向けてくれるともっと沢山の子供がお金を気にせず大学にかよえて学力も向上

していくと思います。

- ・ 物価がどんどん上がっているのに給料は変わらず、出費ばかり増える。子供に十分な教育費をかけたいが、生活費に圧迫され余裕がない。自治体や国は、戻るお金に関しては、こちらから申請しないと返してくれず、更に手続きも面倒なことが多いので困る。市川市の職員の対応はいつも上からで良くないと思う。
- ・ こどもに対する支援は全て収入条件で使えない。ぎりぎりの生活をしているのは収入が少ない人だけではないので、支援対象を広げないとこどもに十分な生活を送らせることは出来ないと思う。
- ・ 子育てや子どもの学校のことは、殆ど配偶者が協力してくれません。意見を求めても、反対されることもあります。受験もあるので、自分1人で対応しないといけないと思うと不安です。(私自身も、今、あまり体調が良くないので。) こういったケースは、支援などの提供はありますか？
- ・ 子供が不登校で悩んでいます。支援センターに相談したいのですが、つねに一緒にいるので電話できません。
- ・ 税金が高く、おさめるばかりです。パートの働き方も、変わってきてすごく働きにくいです。高校・大学生のいる家庭にも支援を。
- ・ 子供がいる人への職場提供、お金の補助。
- ・ 子供の急病時や手助けが必要になる時、気軽に相談や協力を求められる人が家族しかいないため、自分が仕事を休むことが多くなる。困った時に気軽に応援を求められるよう制度を充実してほしい、情報が知りたい。
- ・ 精神病では生活を助けてくれる制度がない。毎日、体調が違うので、仕事をするのが大変。でも、家族にめいわくをかけたくない。仕事が出来ない時、収入面で助けてほしい。

第8章 ひとり親家庭の状況

保護者

- ・ 一人親家庭ですが、収入もあり、住居等不足なく、子供も健康です。ただ、過労や子育てでしんどい時はそれなりにあります。しかし、いわゆる“支援が必要な状況”ではないため、周囲にしんどい、つらいといった相談をしづらく感じます。公的制度の支援対象からも外れるため、更に相談しづらいです。支援には順番があるので、納得はしていますが、いつかセーフティネットがより整い、臆せず話ができる日が来たらよいなと思います。

- ・ 同居していますがあまりうまくいきません。(1人親なので)
- ・ 母子家庭です。市営住宅や住宅に関する支援が不足しているように感じます。家賃が家計の大きな負担になっています。少しでもいいので、手当や母子家庭優先の住宅とかあればいいのにとおもいます。
- ・ ひとり親家庭で元夫から養育費、慰謝料をもらっていない。収入を上げるために介護で12年間働いてきたが指まで痛めて仕事をかえた。市川市ではひとり親家庭の家賃補助がないのに市営住宅で安い家賃で暮らしている母子家庭もいる。ひとり親手当が入っても子どもの塾代で消えてしまう。貯金ができない。毎年ひとり親手当の現況届をだしているが家賃の金額を書いても補助はない。市営住宅に住んでいる人が非課税ということで児童扶養手当を満額もらえたと聞き不公平差を感じる。高校卒業後大学に進学させられるか不安を感じている。子供の学びたい気持ちによりそいたい。
- ・ これから高校受験。シングルマザーなので良い高い私立にはいかせられないです。就学支援もその学校によってバラバラなのでやはりお金が心配です。うちの子供は発達障害(ASD)なので普通級の学校で失敗したら通信の学校も考えています。けどそこもまたお金がかかります。就学支援を使っても年間40万以上もかかる・・・シングルマザーになった私がいけないので、今の所は公立や都立を考えています。もうちょっと就学支援で学費が安くなると私立も視野に入れやすいです。なんだかんだ言っても学費だと思えます。(教材費や体そう服や交通費など)
- ・ 働いています。子は2人。離婚を考えていますが所得制限にひっかかり児童扶養手当もせず、とは言えかかるものかかるのだよ！とくに18才～はすごくかかるのにぜんぜんフォローしてもらえずひとり親がどれだけ泣いているか！(分かっている人はいるの?)こんな質問きつと何もかわらないでしょ。ひとり親への所得制限とやら今すぐやめてほしい！！中学生だってスポーツ(部活)やったら必要なコンタクト代、友達と出かけた。塾行きたい。髪だって切らなきゃのびるだろ、考えてくださいよ！！マジで！！
- ・ 親が片親になっているので、子供が、傾いた考えにならないか？母親が教える美容など自分からどの様に伝えたら良いか難しいなと思っています。
- ・ 収入をふやしたい。副業禁止の会社で、正社員だが、収入は低く、母子家庭ではくるしい。それでも、仕事をやめる事はできず、今、転職する勇気ない。

第9章 新型コロナ感染症の影響

保護者

- ・ コロナで学校の行事等へのしめつけが強いが、できるだけふつうの生活に戻すべきだと思う。中学校や小学校の体そう服など、寒すぎる、暑すぎるので問題が多いと思う。大人は自由に温い下着をつけるのに子供にタイツはダメとか、おかしいことを直すべき。
- ・ コロナのせいで、生活は苦しくなり、主人はアルバイトもしないと生活ができなくなりました。
- ・ 金銭面では困っていることが多い。コロナの影響で働けず収入は減ったけど、世帯面（主人だけ）では範囲内だからと援助は受けられなかった。私が辞めて収入は10~20万減ったとしてもうけられないは正直納得できなかつたです。現状は父・母両方が働いていかないと生きていけない時代、働けなくなった人、それで援助うけたくてもできない人がたくさんいます。子どもにはたくさん苦勞かけさせてしまった。もう少し子育て世帯に優しい支援をお願いしたいです。・子どもが生まれ、コロナの影響でどこにも行けず、初めて育児ノイローゼとうつになりました。出産、病気の場合でも保育所にあずけることは可能だけど病気でも働けない、あずけたくても金銭的に不可能で助けてほしくても出来ません。結果閉鎖的な生活をおくることになります。
- ・ コロナで、子供達なのびのびした生活が守られていない事にも目を向けて欲しいものです。先生や教育委員会、公務員の方々は責任問題になってしまったりするため常に事なかれの発想のままです。行事も夫婦そろって観てやったことはありません。地域の方々や祖父母、父母、たくさんの目の前で、たくさんの目が自分を見てくれている、見守ってくれているそう感じさせることも必要な事だと思わずにはられません。
- ・ コロナは茶番！！子供たちにマスクは害しかない！早くやめなさいとの一言だけです。
- ・ 上の子の時とくらべて、下の子はコロナで子育て支援センターに行きにくかったり、入園まで同じくらいの子同士でふれあう事が少なく、子供の発熱があっても病院に行きにくかったりして、色々大変。
- ・ 母が高齢でコロナ禍前は週一程度家にお手伝いに来てくれていたが、コロナ禍になってから頼れなくなった。主人も身体が弱い方で怪我の影響でリハビリ通いのため頼りにくく家事が上手く回せないのが悩みです。会社も子が小学生になるとフルタイム勤務で勉強も帰宅後に教えるのは難しい。家事、育児、仕事を上手く両立させたい。子供もアレルギー体質、成長期で成長痛もあり、通院が増えた。
- ・ 特に相談ではないがマスク生活が息苦しい、苦痛。疲労度かマスクしているのとして

ないので違う。コロナをインフルエンザと同じ位置付けにして欲しい。

- ・ コロナ禍で皆マスクしているため、話出来ないのがつらい（聾者なので口の動きを見ないと分からない）。仲の良いママ友がいても、マスクしているから話しかけられず、すごくさびしい思いをしている。筆談や音声認識アプリを使うけど、それでも気使ってしまう。こればかりはしょうがない。
- ・ 長女が4月にコロナにかかり新学期から学校を休んだことで学校になじめず心と身体のバランスがくずれ5月から不登校です。最初は、病院へ通っていましたが薬飲んでも治らないと言って病院へ行かず何を聞いても「わからない」としかこたえません。このまま不登校が続くのかと考えると不安で時々「親としてダメだな」と悩むことがあります。（教育センターや学校には、相談しています）
- ・ 家族でコロナがでると自宅待機、兄弟で体調が悪い人がいると全員休まなければいけない。兄弟が多いと休む回数が増え、勉強が遅れ授業が直接受けられない為、with コロナもう少し考えて欲しい。
- ・ 皆、同じだと思いますが、コロナになってから仕事の先行きの不安や経済状況の悪化などで不安な気持ちが常にあることがとてもストレスに感じます。
- ・ 小児科は乳幼児中心に診察やワクチン接種の予約が多く感じる。午前中に病院へ行ってから遅刻して学校へ行かせなくてはいけないこともある。これからの季節コロナワクチンとインフルエンザワクチンが市役所で済ませられるのならとても助かる。中学生は部活動もあり水曜日の夕方に病院へ行きたくても休診日。クリニックによって中学生は診察、ワクチン接種もできないことが多いので検討して欲しい。コロナのワクチン会場も以前に比べて閑散としているように思える。
- ・ コロナウイルスに感染した時、のうこうせつしよく者の子どもの支援をしてくれる事業があったらいいです。
- ・ こどもの進路について、中学は普通学校に行くか特別支援学級に行くか悩んでいる。他の市に比べて市川市はお金の援助がない（コロナを含む）。こども（小学生全員）の交通のマナーが悪い。信号無視はあたりまえ。赤で車がきていても平気で渡り、車が止まる。下降時に多い。
- ・ コロナ禍で体を動かす機会が減り、体力が低下して、健康状況が良くなかったと思う。子供を含め、ヘルスケアに興味を持つような施策を考えて欲しい。
- ・ とにかく、子供に対するマスクの着用や、黙食などを、やめさせてほしい。学校の学生指導を（マスクをはずすように）徹底してほしい。又、行事を以前のように戻し、子供達の生活がのびのびと、活気あふれるものにしてほしい。お祭りの復活。運動会も全体でやってほしい。子供にこれ以上がまんをしいることを本当にやめてほしい。

子供にやさしい子供を大事に、子供が中心の世の中（政策）にしてほしい。切に願います。

- ・ コロナ禍におけるマスク生活がいつまで続くのか？マスクありが当たり前になってしまっている現状は、子供の発育やコミュニケーション等に悪影響なように感じます。思いっきり笑ったり、元気いっぱいな感情表現ができて、いろいろな共感力も養えるのではないのでしょうか。子供たちの未来のために、青春時代を奪わないよう改革していただきたいです。
- ・ コロナ生活が続いて、子供もつかれています。給食を広い場所で食べられる日を作ったり前のように友達と食べさせてあげたいです。うちの子は音が出るので給食はほとんど食べないと言っています。
- ・ コロナにかかりたくないのに、自粛していますがそれがとてもストレスです。コロナを気にしないで過ごせる世の中になってほしいです。
- ・ 生活で困っていることや、相談はまだないが、コロナで収入が減った時、収入を見て子育て世帯に一時金を出して頂いたり、自動的に出して頂いて本当に助かりました。他の自治体はわかりませんが、なかなかこちらから給付の申請はしづらいが、市川市は役所から給付金をいただけた事は助かりました。
- ・ コロナ罹患後、1、2ヶ月間部活動への参加は自由として頂きたい。心筋炎の発症、またコロナ後遺症の発症の可能性があり、無理は禁物、という認識を広めてほしい。市川市教育委員会での検討を心よりお願いしたい。
- ・ 全体的に物価等が上がる中、賃金は変わらず困る。消費税増税や法人税引き上げなどの話も耳にするが心配になる。このままだと精神的にも肉体的にも支障をもたらす危険性もある。そうなった時、そうなる前の市の助けが必要となると思う。また現在の子供達は1名でもコロナが出たらすぐ学級が休みになったり、マスク、黙食など楽しい事が出来ず、やりたい事が見つからないのでは？と心配だ。
- ・ 子どものマスクをはずしてあげたい。学校で積極的にマスクをはずしても良いことを伝えてほしい。健康と心（マスクの弊害による）が心配。
- ・ 幼稚園、保育園、小学校が垣根をこえて連携すべき。→幼、小中はブロックがあるので。市川市の子育て支援は、充実していないと思う。コロナだといって小学校見学中止にするのはどうか！保育園年長アプローチカリキュラムとかいって機能していない。だから、小1崩壊がおきる。もっと充実すべき。
- ・ 子育てとは直接関連するわけではないのですが、抗原検査キットが高額で家計の負担になっています。市の助成をお願いしたいです。コロナで学校行事が縮小、中止になり、子どもの思い出づくりが減ってしまった。中学校の演劇は体育館で、マスクなし

で披露してもよいと思います。・所得がある世帯への子育て支援が薄すぎる。児童手当の額は同じでもよいのではないのでしょうか。子どもにかかるお金は同じ、働き損です。

- ・ コロナの影響で外出したがないので、スマホやゲームばかりになってしまう。
- ・ 物価が上がっても給料が上がらないので生活が苦しい。☆コロナの抗原キット無料配布再開希望。もしくは、松戸市みたいに 500 円で購入できるようにしてほしい。急に濃厚接触になったと連絡をもらって困ったから。
- ・ マスク生活が早く終わると良いと思っています。
- ・ コロナにより学習習慣になまけがあり、塾等に通わせる為、衣食住に不備はないが、貯蓄を崩している。老齢の父がいるので、今後の生活に不安を感じてきている。子供の進路についても、不安が多い。
- ・ シングル家庭ばかりの支援が多すぎる。離婚は本人の自由。家庭がある（夫婦そろっている）からといって収入だけで満足は出来ない。シングル家庭も正社員であったり、養育費をもらっているなら同じなはず。コロナ期もシングルは何度も支援をうけている。子供がいる家庭は皆平等であるべき。シングル家庭は、校外学習費の補助もあるのが納得できない。
- ・ コロナによる休業があったため収入が減ってしまう。衣食住に困ることはないが子の塾代や進学費用が捻出できないのではないかと不安である。
- ・ 収入に関係なく、私立高校の授業料の減額をして頂きたいです。水道光熱費の高騰で支出が多くて節約していますが、早くコロナが落ち着いてマスクなしの生活に戻れたら良いなと思いました。
- ・ コロナを機に、ご近所やお友達と気軽に話すことが無くなった。育児情報や相談など子供が小さい頃は本を読んだり色々したが、子供の成長と共に多様化(子供の興味や、性格、学力などそれぞれで)してきて相談できる所も少ないし、反抗期の子育ては非情に難しく感じる。先日、市川五中で行われたアウトメディアにチャレンジ(スマホやテレビなど1日のうちの位使っているのか、制限するのか目標立てて紙に記ろくして提出する)は非常に良かった。我が子はスマホ、ゲーム中毒なので全く取組んでいなかったが、月に1回位のペースでして頂けると、もしかすると、改善するかもしれないと思った。このアンケートで、だいたひ収入や生活お金のコト書いているが、我が家は親の出費(衣類や趣味)などお金をかけず、子供に出しています。決して生活は楽ではないです。
- ・ 問28にも記入しましたが、コロナ対策において、他市よりサービスが少なく、困っています。市川市は、発熱外来が少なく、対応が遅くなります。船橋市などは、電話連絡後、下熱剤や、検査キットなど、家族分送られてきます。市民税を使って、市役所

を立派に建設するより、市民に（市民の為に）使って欲しいと思います。それは、住みやすさにつながります。他市への住み替えも、考えています。

- ・ 子どもの学校のトラブル（友達）で、子どもは悩んでいるが相談できる先生がいないこと。男性教員だと、中々話しづらい様子。親が出ていくと、大ごとになる、など、子ども自身も言うに言えないとのこと。カウンセラーも、雰囲気的に、話しづらい人だと言う。解決ではなく、本人の気持ちを聞いてくれるだけで、やわらぐのでは、と思うが、適切な人がいないので、親としても苦しい。コロナ以降学校に行くことも機会がへり、先生方ともコミュニケーションとれていないので、より疎遠になってしまった。
- ・ コロナ前はゲームやユーチューブをあまりみななかったが コロナで学校が休みの時に、楽しさを覚えて今では、止められなくなっている。

第10章 その他

保護者

- ・ 忙しすぎて時間が足りません。働いても々支出、税金が多くゆとりのある暮らしとは思えません。
- ・ 無料の学童など、働いてなくても子供達が行けるところが、他の地域みたいにあるといいと思う。
- ・ 希望者のいない場合のPTA・父母会・後援会などボランティア・支援役員の選出方法について、ジャンケン、くじ引き、あみたくじでの無条件選出を禁止してほしい。
- ・ アスレチックなど外で体を動かせる施設がたくさんできると良い、子供が安心してあそべる場所がほしい。
- ・ 久しぶりのプール学習では今年の水着を用意するのにかなりお金がかかりました。女子は特に高いです。上に着るラッシュガードもあわせると（肌が弱いため）5000円程かかりました。手持ちの物にしたかったのに、校長が「華美でないもの」との指定でした。が、最近の女子の水着で華美でない物はありません。大体フリルや柄があります。次にいつあるか分からない、数日のみのプールに暗に購入を促すやり方は合理的ではありません。手持ちの物にさせて下さい。
- ・ 現在は共働きで安定しているが、何かあったときに相談できる場所があったら安心できると思います。
- ・ このアンケートで集められた皆さんの声を、さらに子育てのしやすい市川つくりのために有効に用いて下さる事を期待します。

- ・ 市川市北部から本八幡への直通の公共交通機関があるとよいと思います。
- ・ PTA 活動。仕事をしているし、休めないなので、PTA 活動は困る。1 番困っている。ママ友こわい。母子家庭でも PTA はやらないといけない。そもそも任意なのでは？制服のリサイクルやってほしい。1 回しか使わない(?) 学用品を買わないといけないのはもったいない。算数セット。星座早見盤など。先生方のお仕事も平日だとは思いますが、個人面談など平日は非常に困る。有給休暇も無いので。
- ・ 平日も休日も家事育児に追われて、毎日のささいな事を相談する気がわからない。電話相談も話をきくだけに留ると思われ、何かが解決するとも思えない。孤立していても、どこも解決できるように思えず、行政も親族も家族も頼れない(どこも余裕がないように思う)。そんな中で毒親とか親の責任やあり方が責められる話題ばかりで、今の世の中に生き苦しさ、育てにくさを感じざるを得ない。
- ・ 放課後、子ども達が安心して遊べる場所があったら良いのに、と思います。(学校の中にある、ビーイング(?) は教室に子ども達が密に遊んでおり、行かせる気になりません) 学童クラブには入ってなくても、行ける時に学校の子たちだけが遊べる場のような所。(江戸川区では、「すくすくクラブ」というものがあるそうです)
- ・ 今現在は少し落ちついているが、下の子(現 3 才)の夜泣きや危険行動で困っていた。かかりつけ、公民館などのパンフレットで相談してみましたが、「うちでは専門ではない」と言われ「ぺあ」の相談窓口を知った頃には少し落ち着いていました。それまで 5 ヶ所くらいで相談したかと思います。窓口や相談可能レベルが分かりにくすぎます。また、保育園入園で困り事があった時の対応もひどかったです。
- ・ このようなアンケート初めてでした。ご苦労様です。問 13、14 は、行政はそういうことにも関心を寄せているのか、ということがよく分かる設問だったし、問 17、27 は改めて自分のリソースを認識できる設問だと思ったので、このアンケートを通じて「知る」こともできる有意義な取り組みと感じます。このアンケート結果によってはご連絡させてもらうことがあると書いてあれば、言い出しにくい家庭にもアウトリーチできるのではないかと思います。本当に困っている人は自分から踏み出せないと思います。
- ・ もしかしたら自分が ASD だったり HSP にあてはまっていそうだが、その相談窓口等が知りたい。
- ・ 強制的な PTA 活動の参加が負担でしかない。
- ・ 小学校の先生の対応で困っている事があります。直接話してみますが、駄目だったら相談させてもらいます。
- ・ 子どもが多いのが市営団地だと物音を立ててしまい迷惑をかけてしまうこともあり

(多くはシニアの方なので) 空き家の情報がほしいです。一人親でも借りられる。

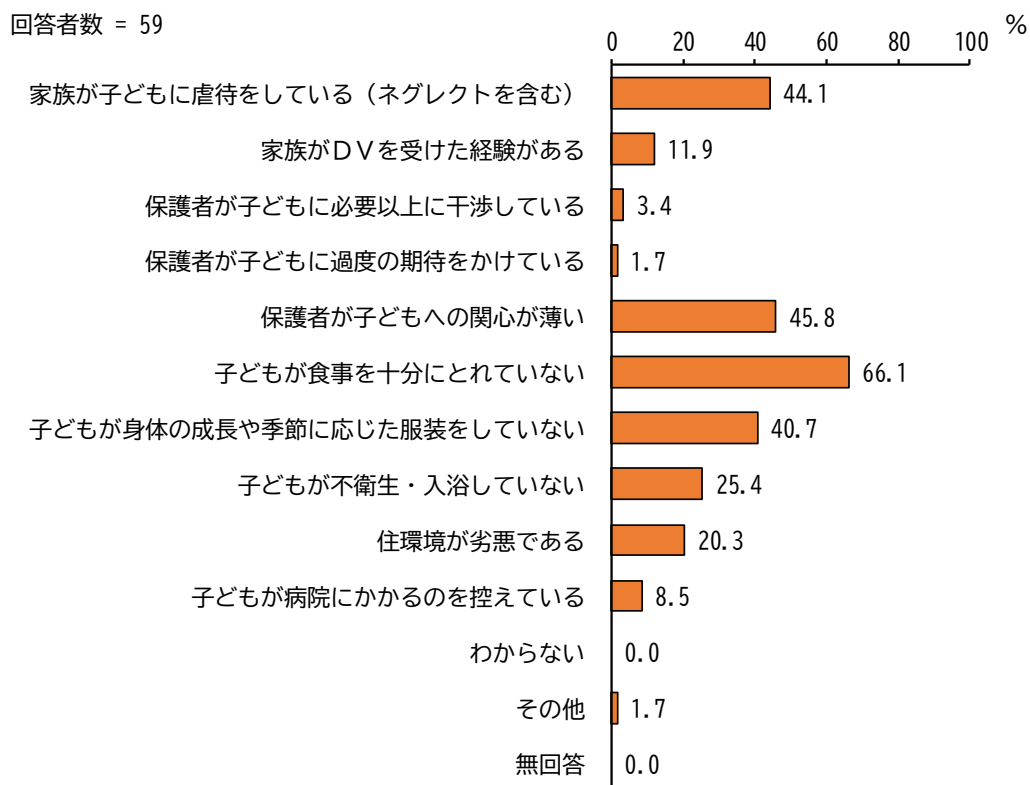
- ・ 今後の日本の経済について生活がどうなっていくのか生活していけるのか。災害等への不安。子供たちが将来安心してらせるのか? などばくぜんと不安。
- ・ 税金のことなど、わかりにくいものが、あるので、相談したい。
- ・ 質問内容の質が低く、行政の資料と実績づくりとしか受け取れない。うわべだけの調査なら、やらないほうがまし。アンケートの回答用紙が冊子なのに、返信封筒は長方形なのは、全く意味がわからない。とても入れづらい、何も考えていない。
- ・ 食品の値上がりがきびしい。その中でも安い物ばかり買うしかなく、いつも同じ物ばかりを食べている。今だけでも食品にかかる消費税をなくして欲しい。
- ・ 言っても意味がない。
- ・ 他の県は10万円とか支給されているのに市川市長は自分だけ。市民にもくぼってほしいです。
- ・ こども支援とは別になりますが、別居している両親が、引きこもりの弟の面倒を見ています。両親は自分達で何とかするつもりで、弟の状態は何年も変わりません。(弟には家族がありましたが、離婚し、仕事もやめています。) 40代以上の引きこもりに対し、家族だけでなく、地域としてのサポートが充実すれば良いと思います。

Ⅲ 資源量調査結果

Ⅲ－１ 庁内関係機関ヒアリング

問3 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況は何だと思えますか。(〇は3つまで)

貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況について、「子どもが食事を十分にとれていない」の割合が庁内関係機関では66.1%と最も高くなっています。



○主なその他意見（原文のまま記載）

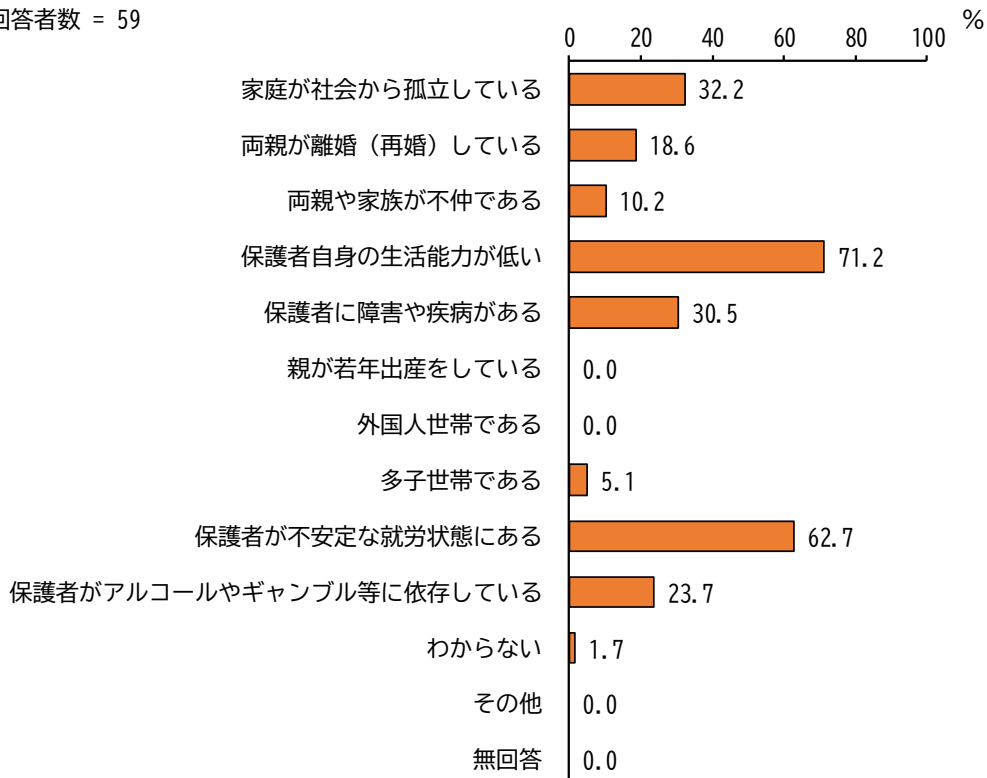
- ・親の子育てのサポートがない、またはサポートを拒否している

問4 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況の要因や背景は何だと思いますか。(〇は3つまで)

貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況の要因や背景について、「保護者自身の生活能力が低い」の割合が、庁内関係機関では71.2%と最も高くなっています。

「保護者自身の生活能力が低い」の割合が71.2%と最も高く、次いで「保護者が不安定な就労状態にある」の割合が62.7%、「家庭が社会から孤立している」の割合が32.2%となっています。

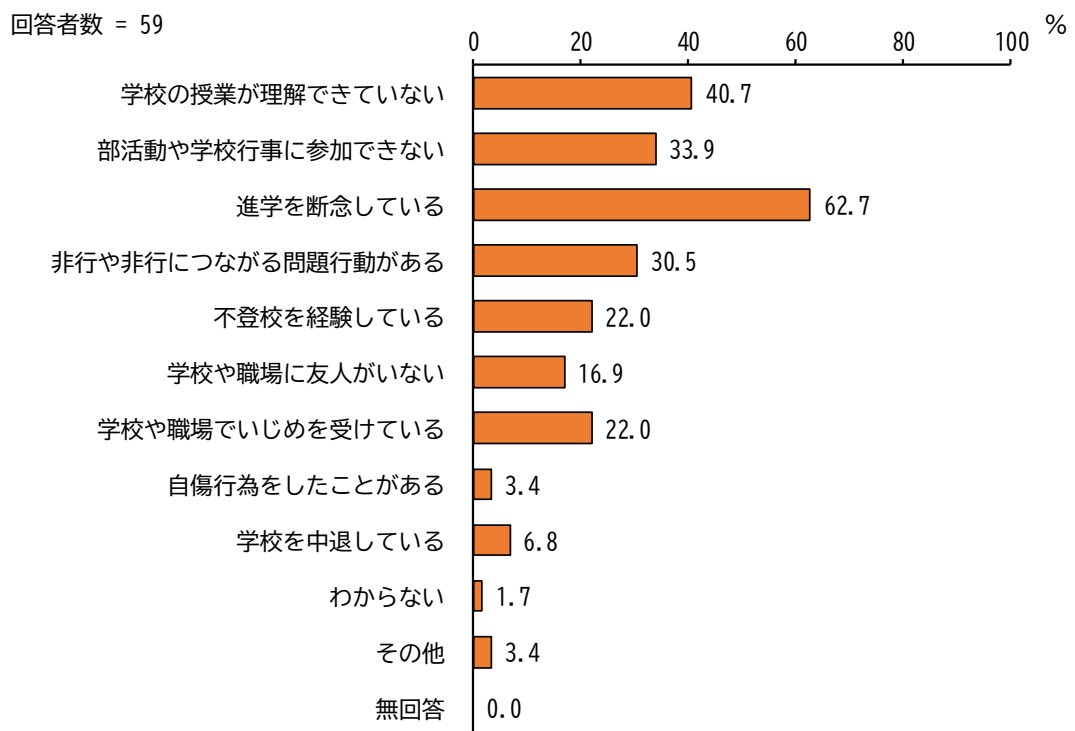
回答者数 = 59



問5 貧困状況にある子どもが多く陥る困難な状況として、考えられるものは何ですか。(〇は3つまで)

貧困状況にある子どもが多く陥る困難な状況について、「進学を断念している」の割合が庁内関係機関では62.7%と最も高くなっています。

「進学を断念している」の割合が62.7%と最も高く、次いで「学校の授業が理解できていない」の割合が40.7%、「部活動や学校行事に参加できない」の割合が33.9%となっています。

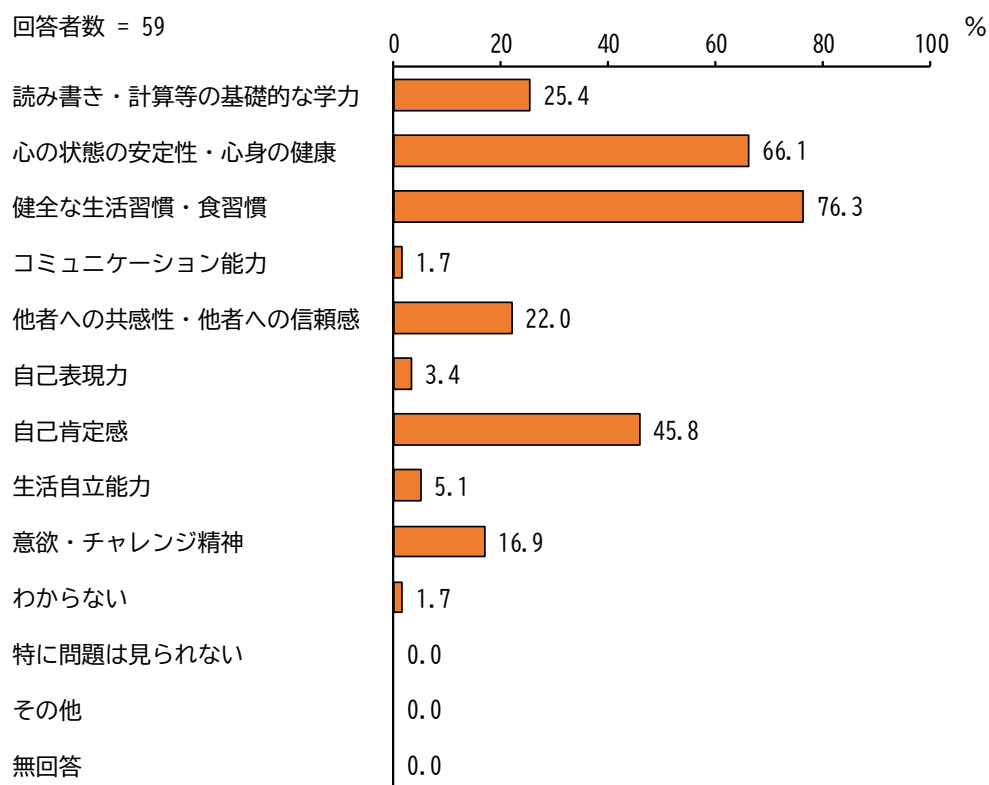


○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・家庭環境による
- ・安心して生活したり教育を受ける環境がない など

問6 貧困状況にある子どもはどのような項目において問題を抱えていることが多いと思いますか。(〇は3つまで)

「健全な生活習慣・食習慣」の割合が76.3%と最も高く、次いで「心の状態の安定性・心身の健康」の割合が66.1%、「自己肯定感」の割合が45.8%となっています。

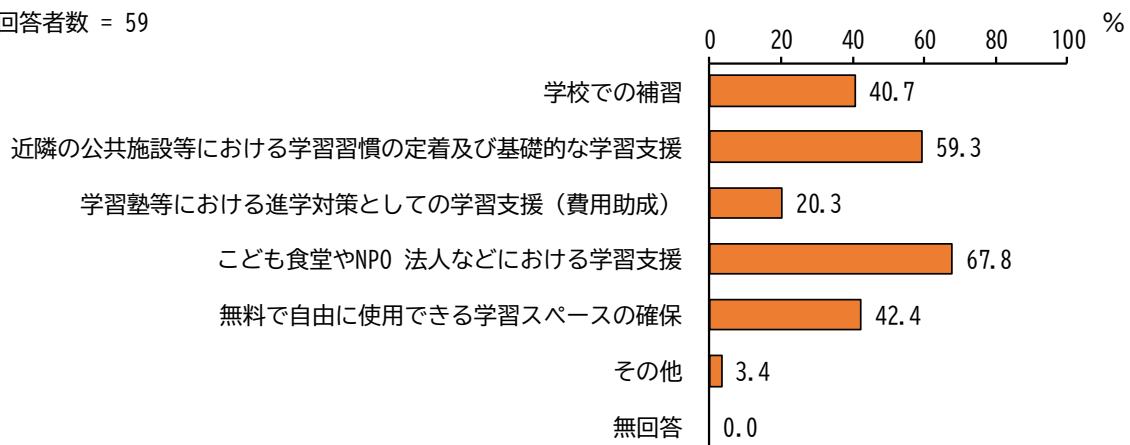


問7 貧困状況にある子どもに対する学習支援として、どのような仕組みや支援が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

貧困状況にある子どもに対して必要な学習支援について、「こども食堂や NPO 法人などにおける学習支援」の割合が庁内関係機関では 67.8%と最も高くなっています。

「こども食堂や NPO 法人などにおける学習支援」の割合が 67.8%と最も高く、次いで「近隣の公共施設等における学習習慣の定着及び基礎的な学習支援」の割合が 59.3%、「無料で自由に使用できる学習スペースの確保」の割合が 42.4%となっています。

回答者数 = 59

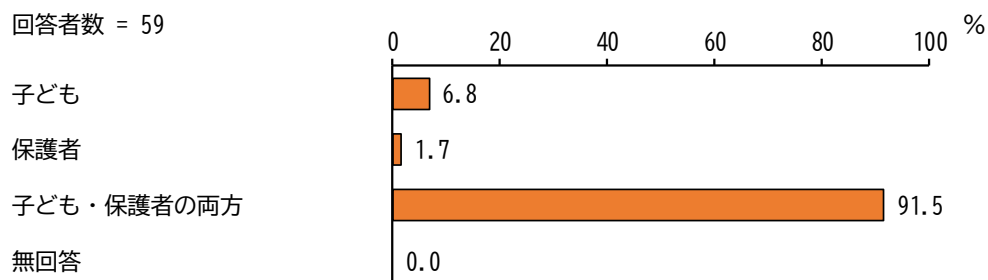


○主なその他意見 (原文のまま記載)

- ・ 無料、学習スペース、補習などやったところで本人の意欲ややる気がないと続かないし無意味。それなら一人ひとりにあった能力や (文系や理系、芸術や運動やオタク系など) 各分野に分けて期間限定で学ばせたり支援すれば長い目で見てその子本人のため、ゆくゆくは将来の日本のためになると思う。
- ・ 学校以外の居場所を提供する など

問8 支援の対象は子どもですか、保護者ですか。(〇は1つ)

「子ども・保護者の両方」の割合が91.5%と最も高くなっています。



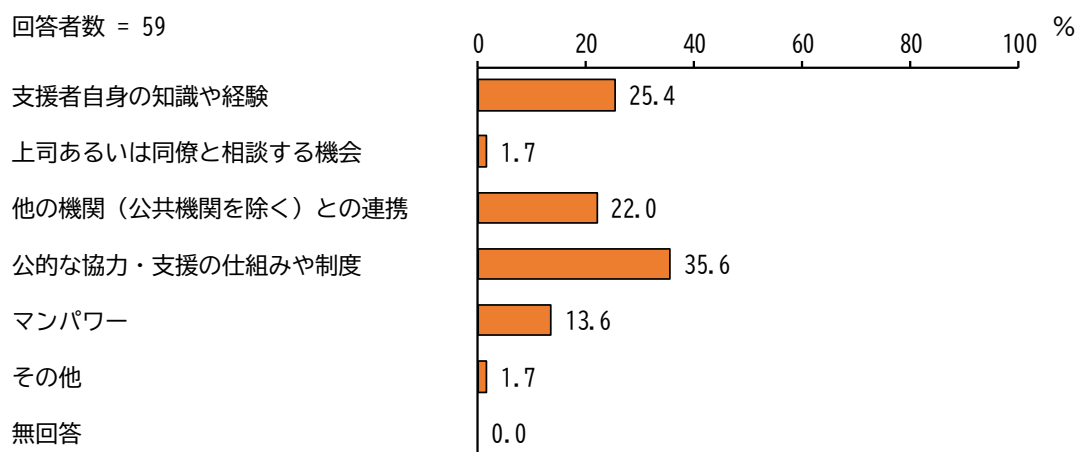
問9 あなた（あなたの所属機関）が行っている支援内容を教えてください。

《主な意見の抜粋》

- ・居場所と遊びの提供、相談対応の支援
- ・内容によって、関係機関へ繋げる手助けをする
- ・相談を受けるこども食堂などのポスター掲示をする
- ・放課後に子どもの居場所を提供する
- ・こどもや親子の居場所づくり、遊び場づくり
- ・必要な場合は、関係機関に繋げる
- ・学習時にわからない時の学習支援
- ・0歳から18歳まで幅広い児童の健全育成支援
- ・保育園に登園するように促すこと
- ・保護者との対話、面談、相談

問 10 日頃、支援を行っているなかで、足りていないと思うところを教えてください。(代表的なもの1つ) (○は1つ)

「公的な協力・支援の仕組みや制度」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「支援者自身の知識や経験」の割合が 25.4%、「他の機関（公共機関を除く）との連携」の割合が 22.0%となっています。

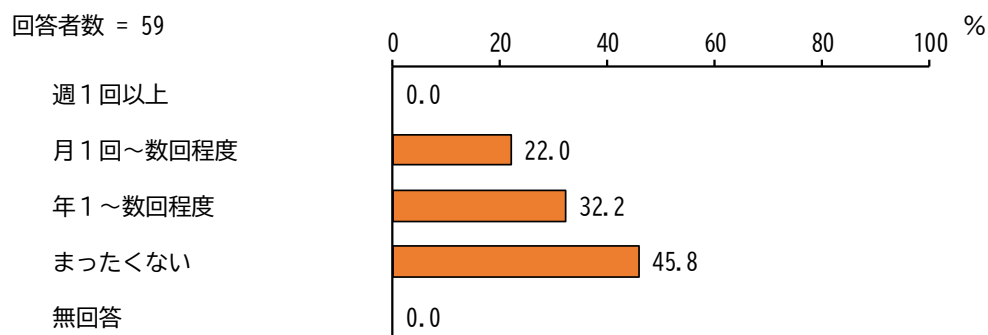


○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・支援をする職場ではないためわかりません

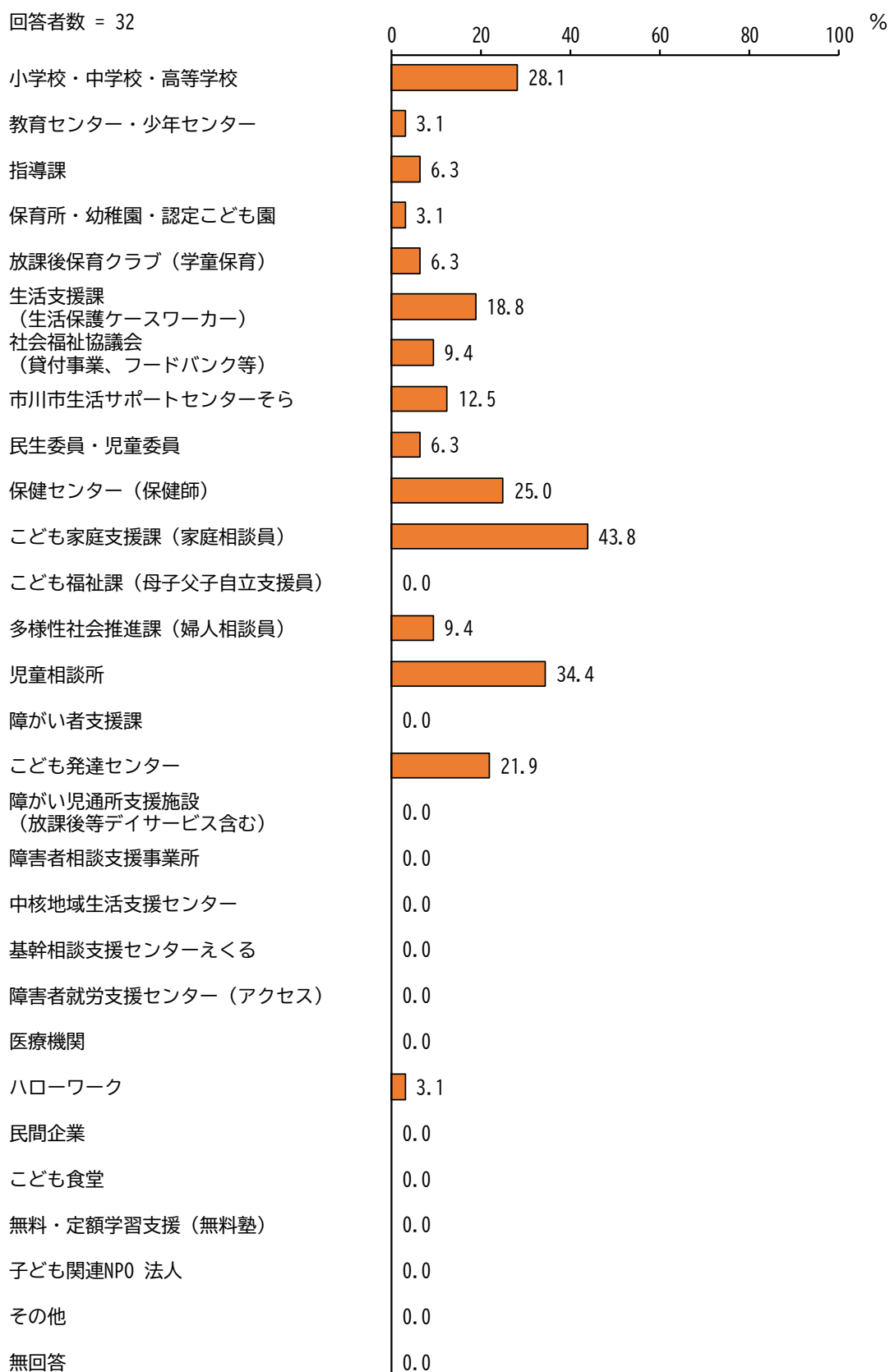
問 11 あなたは、普段、貧困状況にある子どもの支援をする際に他の部署・機関・団体とどのくらい連携することができますか。(○は1つ)

「まったくない」の割合が 45.8%と最も高く、次いで「年1～数回程度」の割合が 32.2%、「月1回～数回程度」の割合が 22.0%となっています。



問 12 連携することが多い部署・機関・団体をお答えください。(〇はいくつでも)

「こども家庭支援課（家庭相談員）」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「児童相談所」の割合が 34.4%、「小学校・中学校・高等学校」の割合が 28.1%となっています。

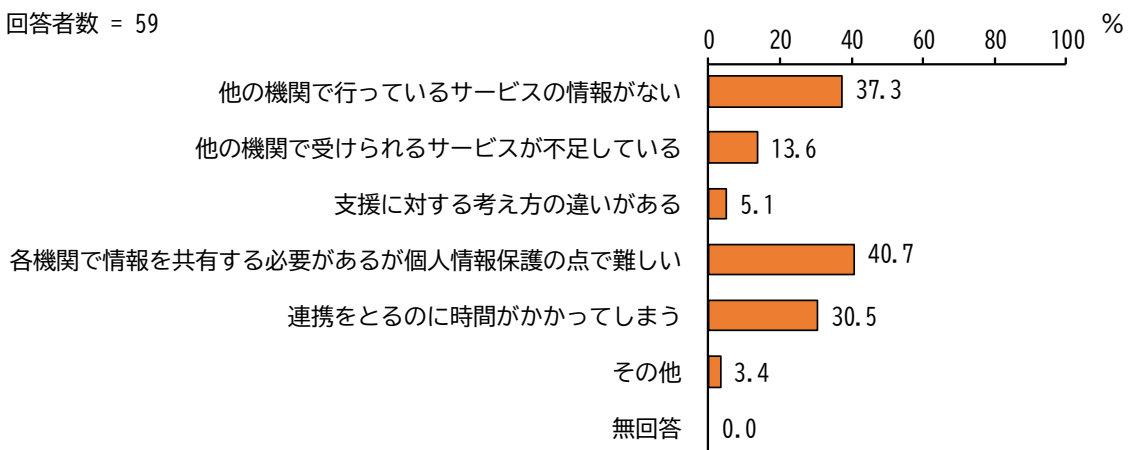


問 13 連携して支援をするうえで、課題となることは何ですか。(〇はいくつでも)

連携して支援をするうえでの課題について、「各機関で情報を共有する必要があるが個人情報保護の点で難しい」の割合が庁内関係機関では 40.7%と最も高くなっています。

「各機関で情報を共有する必要があるが個人情報保護の点で難しい」の割合が 40.7%と最も高く、次いで「他の機関で行っているサービスの情報がない」の割合が 37.3%、「連携をとるのに時間がかかってしまう」の割合が 30.5%となっています。

回答者数 = 59



○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・今までの実体験の中では園や課内での対応で対処できたため
- ・いまのところ、貧困が原因での相談を受けていないため など

問 14 貧困状況にある子どもや親を支援する際に、工夫していることや心がけていることがあれば、自由に記述してください。

《主な意見の抜粋》

- ・保護者や子どもの自尊心を傷つけないような言動を意識する。
- ・こまめに声をかけて肯定感を持てるようにする。
- ・貧困者ということを打ち出した相談は、ほとんど無い。
- ・保護者、児童ともに、話を傾聴すること。
- ・いつでも遊びにきていいよ、と伝える。
- ・相談内容に応じて市の行政サービス等の紹介を行う。
- ・こども館にいる間は、自分のやりたいことが楽しめるようにこどもや保護者の人権に配慮している。
- ・子どもは他の子どもと同様に、差別なく受け入れるようにしている。

問 15 これまでのご経験の中で、貧困の状況にある子どもが改善に向かったケースがあれば、自由に記述してください。

《主な意見の抜粋》

- ・ 保育園内でできる限りの支援を行った。
- ・ 踏み込めないところも多く、難しさを感じる。
- ・ 保育園に入園し、偏食や発育不良が改善された。
- ・ 未就学児童が、父親と一緒に遊びにきてくれた。

問 16 コロナ以前と、現在で、貧困の状況にある子どもや親の生活状況は変化していますか。また、変化してきているのであれば、どのような変化ですか。

《主な意見の抜粋》

- ・ 虐待や貧困家庭が増えているように思う。
- ・ 外出する機会が減り、見つけづらくなった。
- ・ コロナの影響はかなりあったかと思います。
- ・ 経済状況が厳しくなったのではないかと思う。
- ・ 親の就労が増えたのではないかと感じ取れる。
- ・ 家庭の差が出ている。
- ・ コロナ禍での変化はないと感じる。

問 17 今後必要な支援施策について、具体的なものがあれば、自由に記述してください。

《主な意見の抜粋》

- ・ 子どもが自分の状況を客観的に把握できるような仕組み。
- ・ 無料の学習塾や学習の場。
- ・ 支援サービス窓口の一覧。
- ・ ひとり親家庭の住宅（賃貸料の補助等）に関する補助
- ・ 貧困に限らず子どもの居場所として利用できる場所。

【まとめ】

- ・ 貧困状況にある子どもの家庭において、保護者自身の生活能力の低さや不安定な就労状況がみられます。
- ・ 食事や服装など、保護者が子どもに関わる時間がとれていない様子や、子どもへのケアが十分行えていない様子がうかがえることから、保護者の安定した就労に向けて、就労機会の提供や就労訓練の場、家庭の状況に応じた家計の見直しなどが必要です。

Ⅲ－２ 外部支援機関ヒアリング

問3 支援している子どもの人数を教えてください。(こどもが貧困状況にあるかどうかは問いません)

未就学児

「1～50人未満」の割合が12.5%と最も高くなっています。

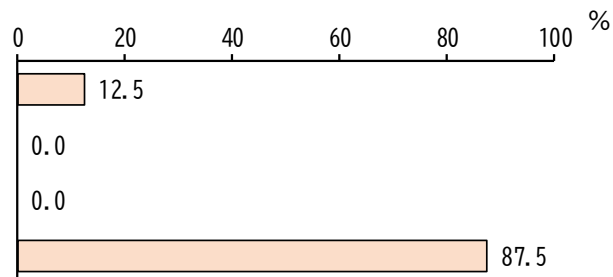
回答者数 = 32

1～50人未満

50～200人未満

200人以上

無回答



小学生

「1～50人未満」の割合が43.8%と最も高く、次いで「200人以上」の割合が21.9%となっています。

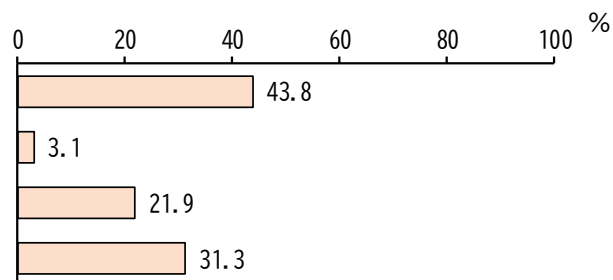
回答者数 = 32

1～50人未満

50～200人未満

200人以上

無回答



中学生

「1～50人未満」の割合が21.9%と最も高くなっています。

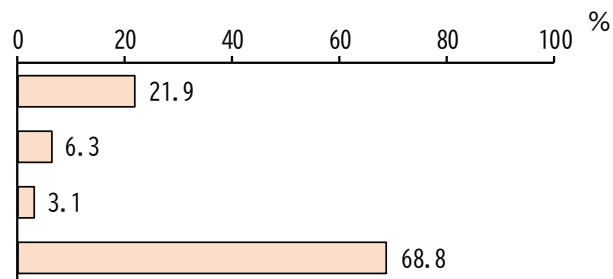
回答者数 = 32

1～50人未満

50～200人未満

200人以上

無回答



高校生

「1～50人未満」の割合が12.5%と最も高くなっています。

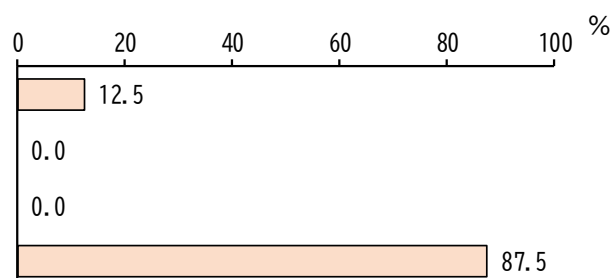
回答者数 = 32

1～50人未満

50～200人未満

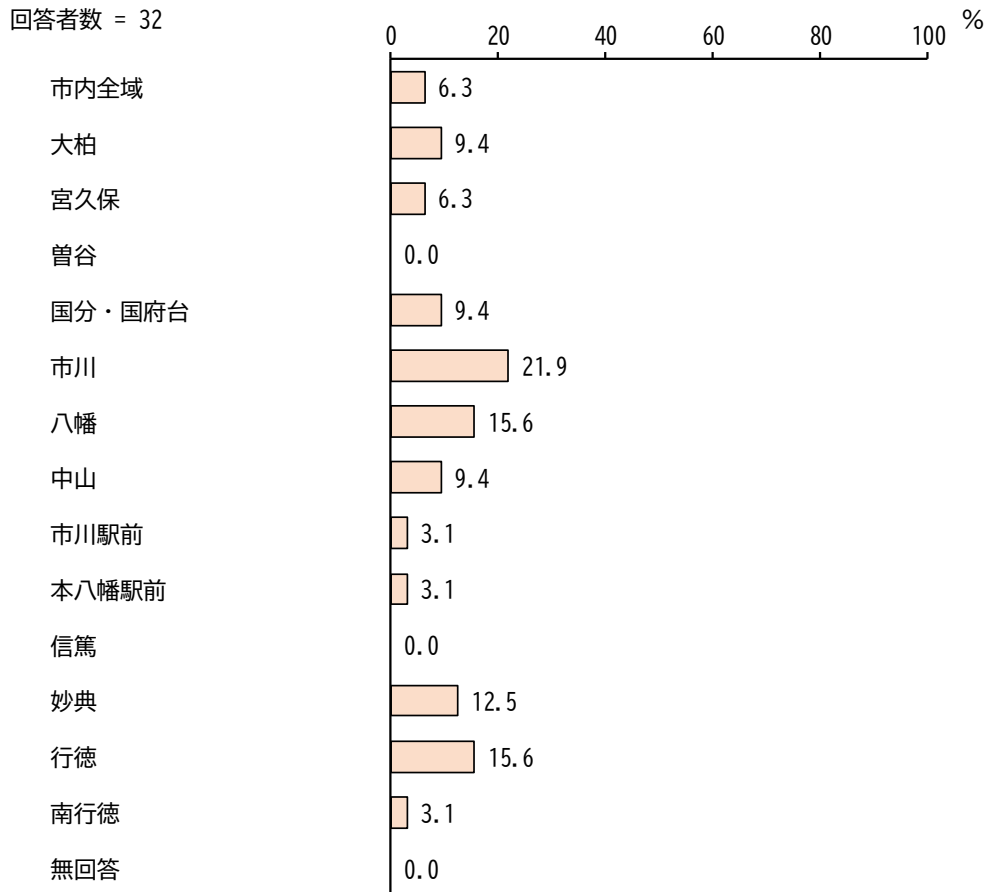
200人以上

無回答



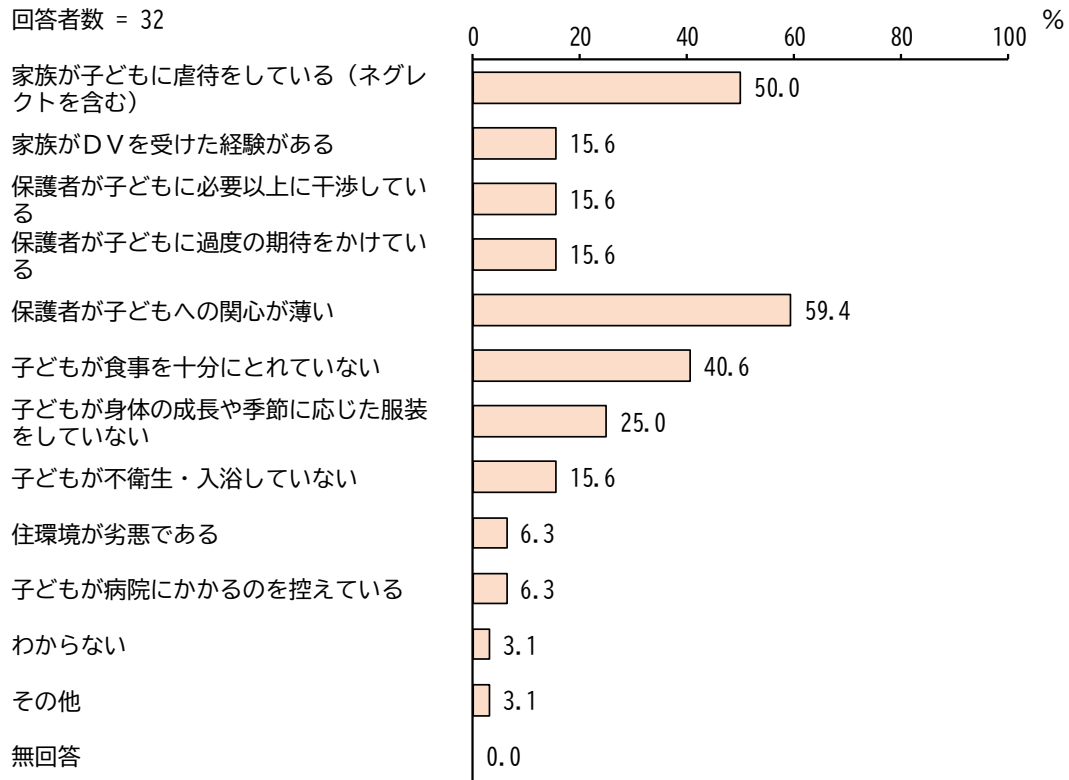
問4 主な活動地域をお聞かせください。

「市川」の割合が21.9%と最も高く、次いで「八幡」、「行徳」の割合が15.6%となっています。



問5 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況は何だと思えますか
(○は3つまで)

「保護者が子どもへの関心が薄い」の割合が外部支援機関では59.4%と最も高くなっています。



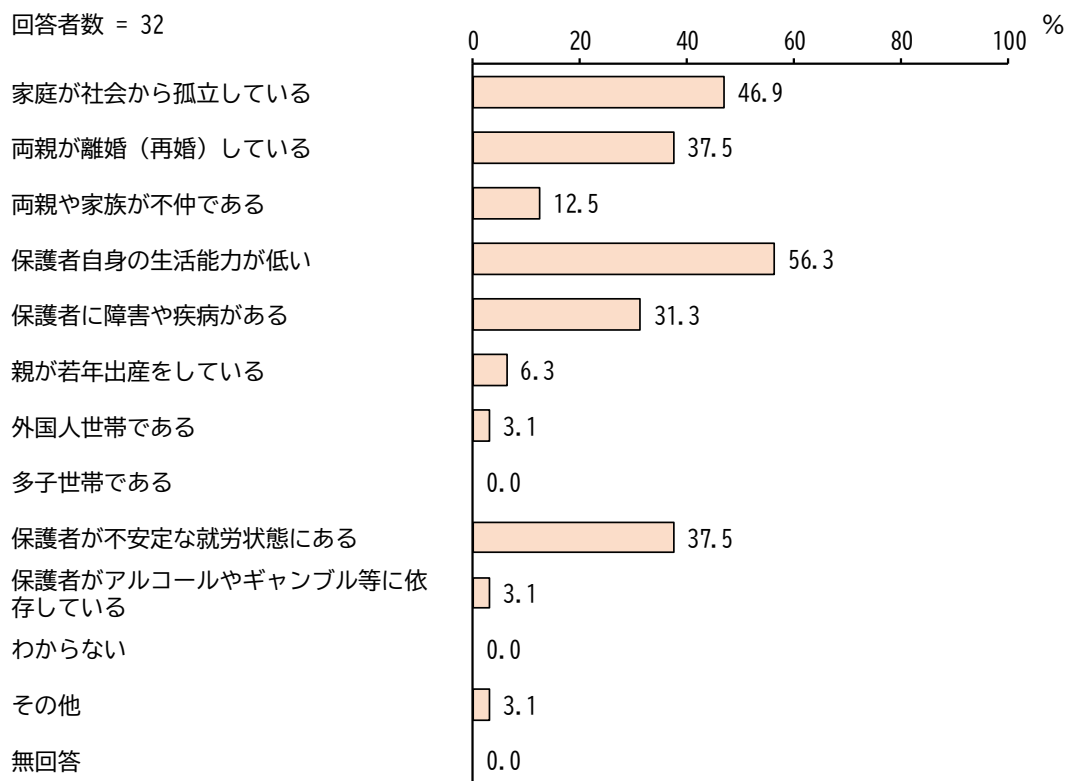
○主なその他意見 (原文のまま記載)

- ・母子家庭であったり幼少期の経験から人づきあいが余りうまく行かず不登校や引きこもりになるケースが見受けられる

問6 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況の要因や背景は何だと思いますか。(〇は3つまで)

貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況の要因や背景について、「保護者自身の生活能力が低い」の割合が、外部支援機関では56.3%と最も高くなっています。

「保護者自身の生活能力が低い」の割合が56.3%と最も高く、次いで「家庭が社会から孤立している」の割合が46.9%、「両親が離婚（再婚）している」、「保護者が不安定な就労状態にある」の割合が37.5%となっています。



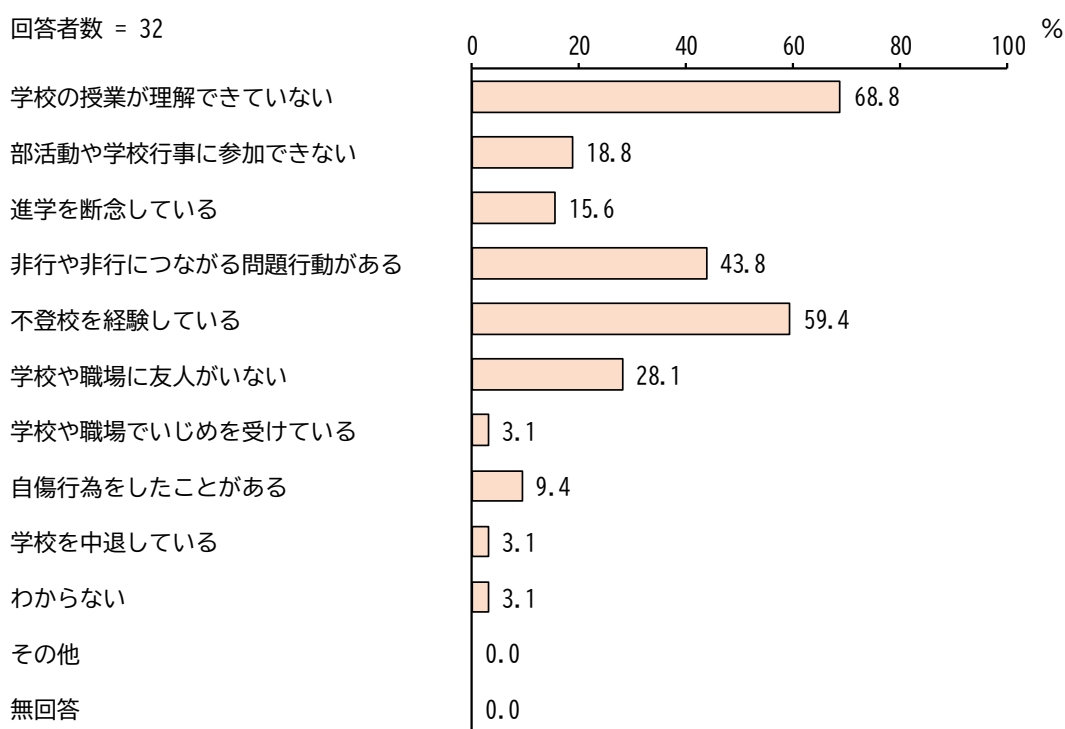
○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・3個に限定できません。どの項目も要因として関係していると思います。

問7 貧困状況にある子どもが多く陥る困難な状況として、考えられるものは何ですか。(〇は3つまで)

貧困状況にある子どもが多く陥る困難な状況について、「学校の授業が理解できていない」の割合が外部支援機関では68.8%と最も高くなっています。

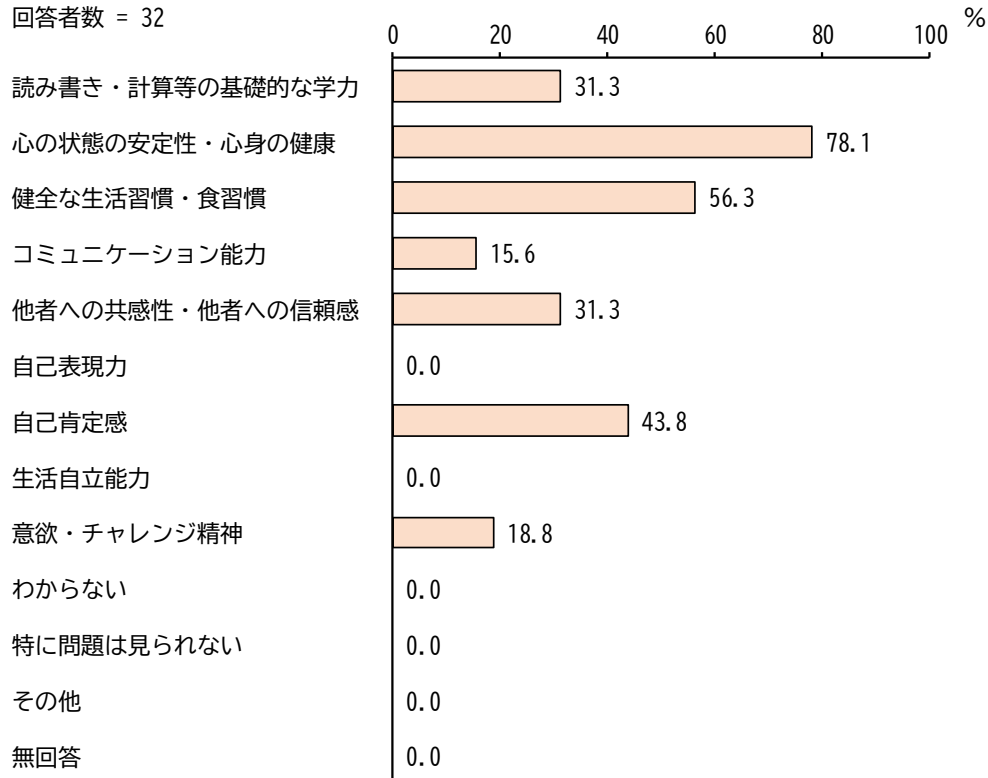
「学校の授業が理解できていない」の割合が68.8%と最も高く、次いで「不登校を経験している」の割合が59.4%、「非行や非行につながる問題行動がある」の割合が43.8%となっています。



問8 貧困状況にある子どもはどのような項目において問題を抱えていることが多いと思いますか。(〇は3つまで)

「心の状態の安定性・心身の健康」の割合が78.1%と最も高く、次いで「健全な生活習慣・食習慣」の割合が56.3%、「自己肯定感」の割合が43.8%となっています。

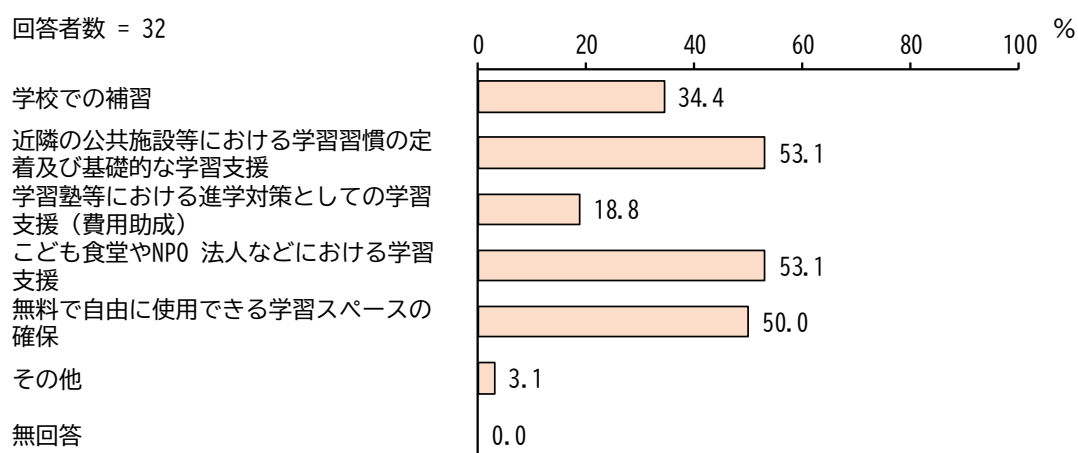
回答者数 = 32



問9 貧困状況にある子どもに対する学校外での学習支援として、どのような仕組みや支援が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

貧困状況にある子どもに対する学習支援について、「近隣の公共施設等における学習習慣の定着及び基礎的な学習支援」「こども食堂やNPO法人などにおける学習支援」の割合が外部支援機関では53.1%と最も高くなっています。

「近隣の公共施設等における学習習慣の定着及び基礎的な学習支援」、「こども食堂やNPO法人などにおける学習支援」の割合が53.1%と最も高く、次いで「無料で自由に使用できる学習スペースの確保」の割合が50.0%となっています。



○主なその他意見(原文のまま記載)

- ・子どもが学習したいと思わなければ場所やサービスを作っても来ないので、「なんのために勉強するのか」を知ること＝信頼する誰かから教えてもらうことが必要だと思います。

問 10 あなたは、貧困状況にある子どもや親に対し、どれくらいの頻度でどのような支援を行っていますか。

「子どもの居場所（遊びや読書等の場）の提供」では、「週に1回以上」の割合が46.9%と高く、4割半ばを超えています。また、「親の相談（育児、発達、教育、生活相談など）」では、「月に1～数回程度」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	週に 1回以上	月に 1 ～ 数回 程度	年に 1 ～ 数回 程度	全く 行っ てい ない	該当 せず	無回 答
家庭訪問	32	3.1	3.1	12.5	9.4	71.9	-
保育サービスの提供（病児保育、送迎支援等も含む）	32	-	-	-	3.1	96.9	-
子どもの居場所（遊びや読書等の場）の提供	32	46.9	18.8	3.1	6.3	25.0	-
子どもの食事の提供	32	9.4	9.4	-	-	81.3	-
子ども自身の相談	32	28.1	25.0	18.8	6.3	21.9	-
親の相談（育児、発達、教育、生活相談など）	32	6.3	37.5	21.9	6.3	28.1	-
乳幼児健康診査、予防接種等の勧め・受付	32	-	-	-	3.1	96.9	-
親子イベントの開催	32	-	9.4	-	9.4	81.3	-
経済支援（就学援助費、児童扶養手当など）の勧め・受付	32	-	6.3	6.3	-	87.5	-
子どもの学習支援	32	15.6	12.5	6.3	9.4	56.3	-
子どもの進学指導	32	9.4	-	6.3	3.1	81.3	-
子どもの文化的活動（自然体験学習、スポーツ等）の機会の提供	32	3.1	3.1	9.4	9.4	75.0	-
親の就労支援	32	6.3	-	3.1	6.3	84.4	-
その他	32	31.3	21.9	18.8	-	28.1	-

問 11 問 10 の他、貧困状況にある子どもや親に対し行っている支援の内容・頻度をお聞かせください。

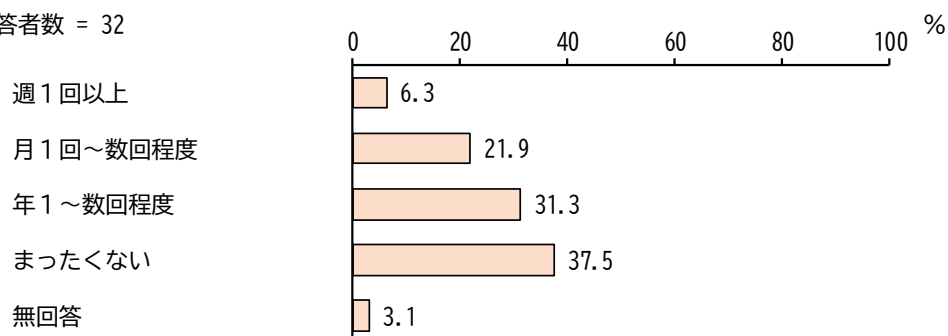
《主な意見の抜粋》

- ・ 貧困状況にある家庭がほとんどない。
- ・ 預かり児童の学校での様子（年に 1 ～ 数回程度）。
- ・ 食事付きの学習支援を実施（週に 1 回以上）。
- ・ ゆとろぎ室でのクールダウン（週に 1 回以上）。
- ・ 貧困に対しての支援は業務外です。
- ・ 授業中の学習支援（週に 1 回以上）。
- ・ 児童扶養受給中の母に対する就労支援（月に 1 ～ 数回程度）。
- ・ 相談員として相談に乗る、一緒に遊ぶ（週に 1 回以上）。
- ・ 相談できる環境づくりと信頼関係の構築。（週に 1 回以上）。
- ・ 子ども食堂&フードパントリーの運営、遊び場の提供（月に 1 ～ 数回程度）。

問 12 あなたは、普段、貧困状況にある子どもの支援をする際に他の部署・機関・団体とどのくらい連携（連絡、情報のやり取り等）をすることがありますか。（○は 1 つ）

「まったくない」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「年 1 ～ 数回程度」の割合が 31.3%、「月 1 回～数回程度」の割合が 21.9%となっています。

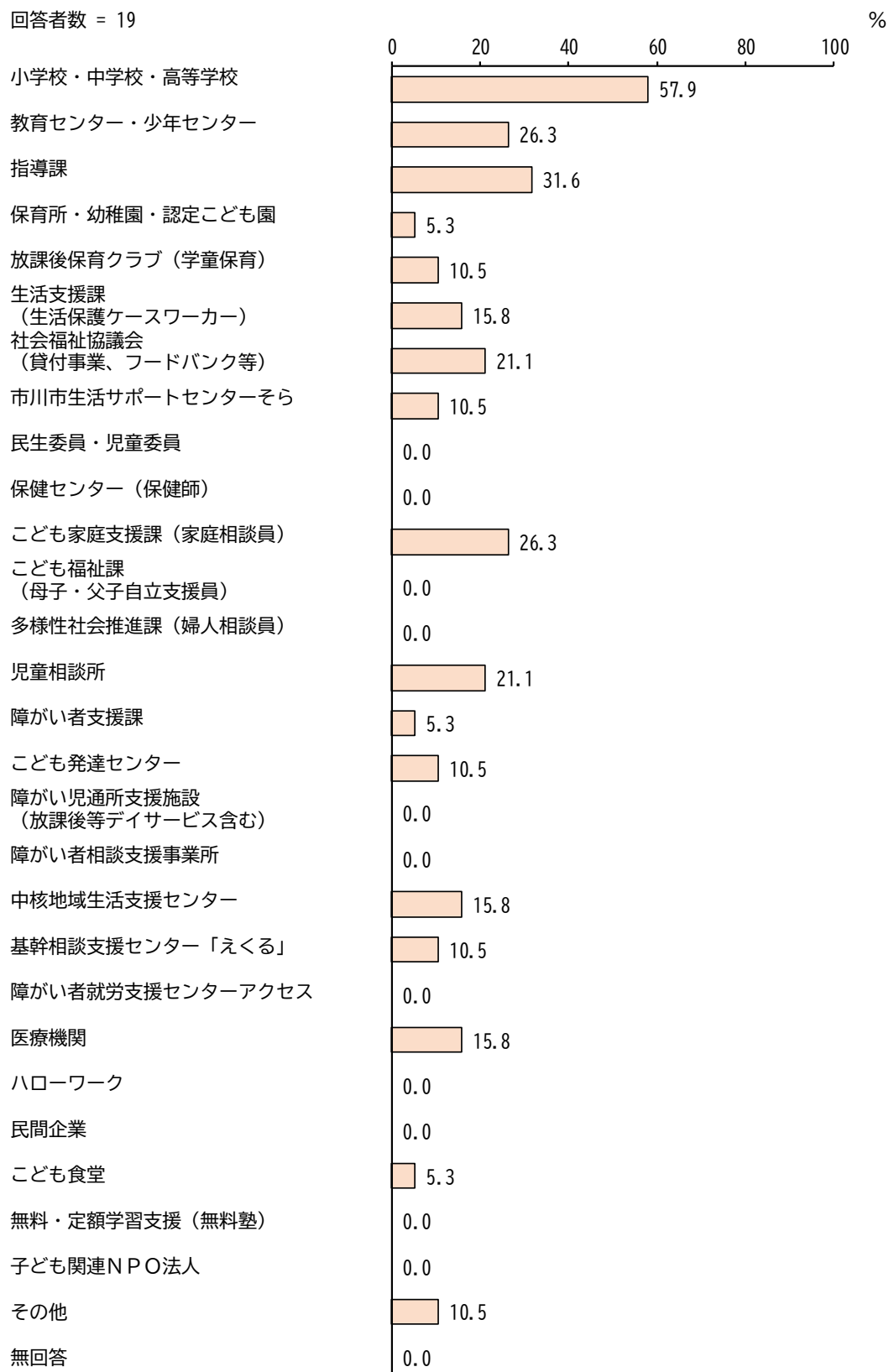
回答者数 = 32



問 13 連携することが多い部署・機関・団体をお答えください。(〇はいくつでも)

「小学校・中学校・高等学校」の割合が 57.9%と最も高く、次いで「指導課」の割合が 31.6%、「教育センター・少年センター」、「こども家庭支援課(家庭相談員)」の割合が 26.3%となっています。

回答者数 = 19



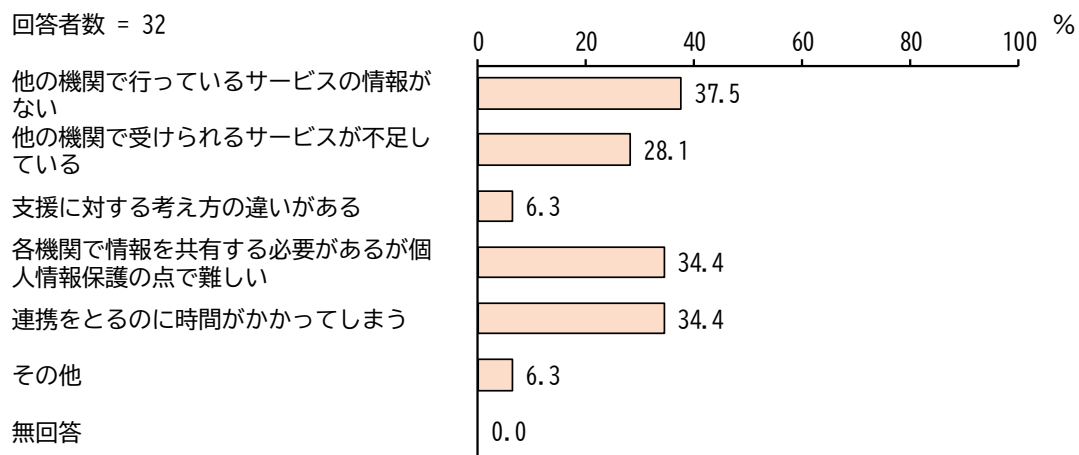
○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・職種から独自で専門機関と連携は取れないことから、来校する県カウンセラー、ブロック内心理療法士に繋ぐ
- ・学校内での情報共有、管理職への報告
- ・スクールソーシャルワーカー

問 14 連携して支援をするうえで、課題となることは何ですか。（○はいくつでも）

連携して支援をするうえでの課題について、「他の機関で行っているサービスの情報がない」の割合が外部支援機関では37.5%と最も高くなっています。

「他の機関で行っているサービスの情報がない」の割合が37.5%と最も高く、次いで「各機関で情報を共有する必要があるが個人情報保護の点で難しい」、「連携をとるのに時間がかかってしまう」の割合が34.4%となっています。



○主なその他意見（原文のまま記載）

- ・特に課題はない
- ・業務外

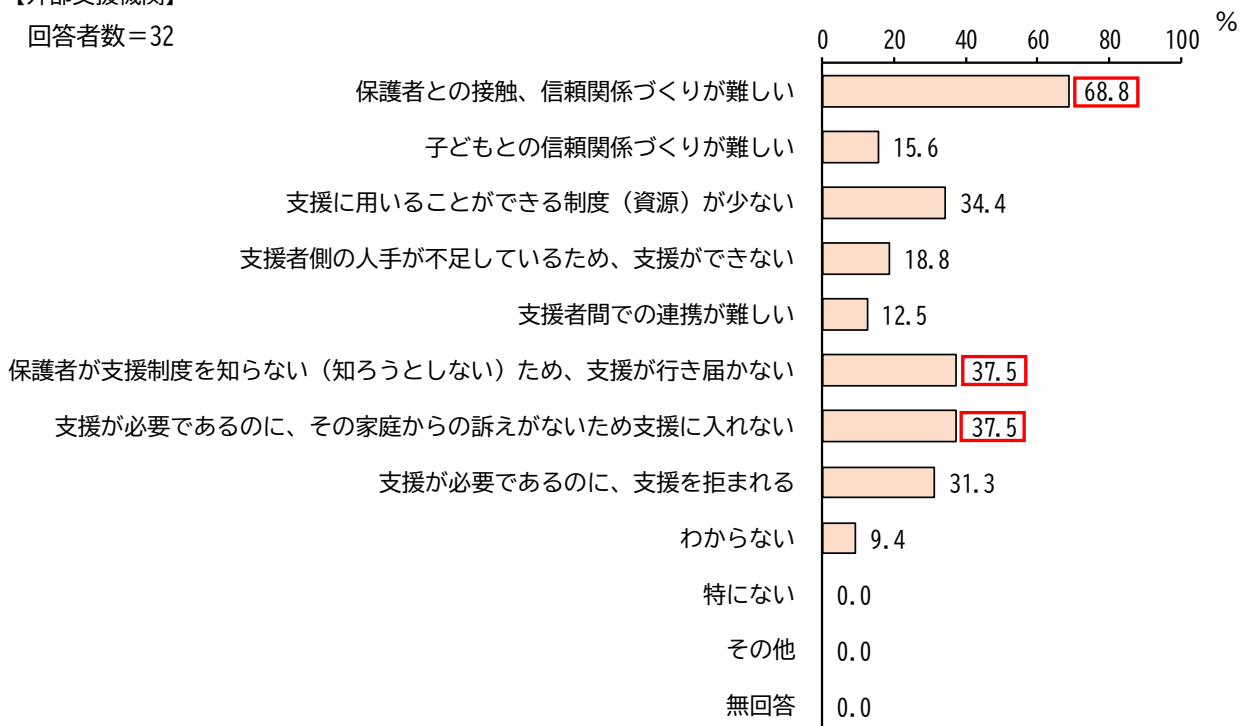
問 15 貧困状況にある家庭への支援にあたって、どのような点が困難だと感じていますか。(〇はいくつでも)

貧困状況にある家庭への支援にあたっての困難な点について、「保護者との接触、信頼関係づくりが難しい」の割合が68.8%と最も高くなっています。

「保護者との接触、信頼関係づくりが難しい」の割合が68.8%と最も高く、次いで「保護者が支援制度を知らない（知ろうとしない）ため、支援が行き届かない」、「支援が必要であるのに、その家庭からの訴えがないため支援に入れない」の割合が37.5%となっています。

【外部支援機関】

回答者数=32



問 16 貧困状況にある子どもや親を支援する際に、工夫していることや心がけていることがあれば、自由に記述してください。

《主な意見の抜粋》

- ・信頼関係を築く為には自分自身が自然体でいるよう努める。
- ・困っている事があれば、いつでも相談できる環境作り。
- ・子ども本人がスティグマを持つことなく通えるように、と考えている。
- ・学校側、先生方、スクールカウンセラーとの連携は必須。
- ・貧困と思われる親子に直接声かけを行っている。
- ・子ども達が安心して過ごせる居場所を作り、子ども、保護者も気軽に話をしてもらおう。
- ・目を見て話をする。

問 17 これまでのご経験の中で、貧困の状況にある子どもが改善に向かったケースがあれば、自由に記述してください。

《主な意見の抜粋》

- ・対応する児童に関してケース会議を実施。
- ・学校全体で取り組み進んだこと。
- ・ソーシャルワーカーより専門機関に繋ぐ、学校内での対応について説明。
- ・話し合いからソーシャルワーカーに繋ぐ。
- ・ソーシャルワーカーと会議（管理職、担当学年、養護教諭、県スクールカウンセラー、ライフカウンセラー）参加。
- ・子どもをきっかけに保護者同士のつながりが生れていった。
- ・仲が良くなかった近所の子同士が、一緒に遊ぶようになった。

問 18 コロナ以前と、現在で、貧困の状況にある子どもや親の生活状況は変化していますか。また、変化してきているのであれば、どのような変化ですか。

《主な意見の抜粋》

- ・人との関わりが少なくなったことも影響がある。
- ・要因の一つに気力の低下、不安があると感じる。
- ・親と子どもの時間は確実に増えたと思う。
- ・貧困の状況にある親の全体数が増えてきたように感じる。
- ・コロナによる経済的なダメージはどの家庭にもあり、今後の電気代引き上げなどで顕在化してくる恐れがある。それまでに行政や民間の支援体制はつくっておく必要があると思う。
- ・学校の休校により、今まで以上に学力の格差が広まったと感じる。
- ・親の仕事が影響を受けて、経済状況が悪化している子もいると思う。
- ・コミュニケーションのやり取りの中で空気を読む・表情を読み取るのが難しくなっている。

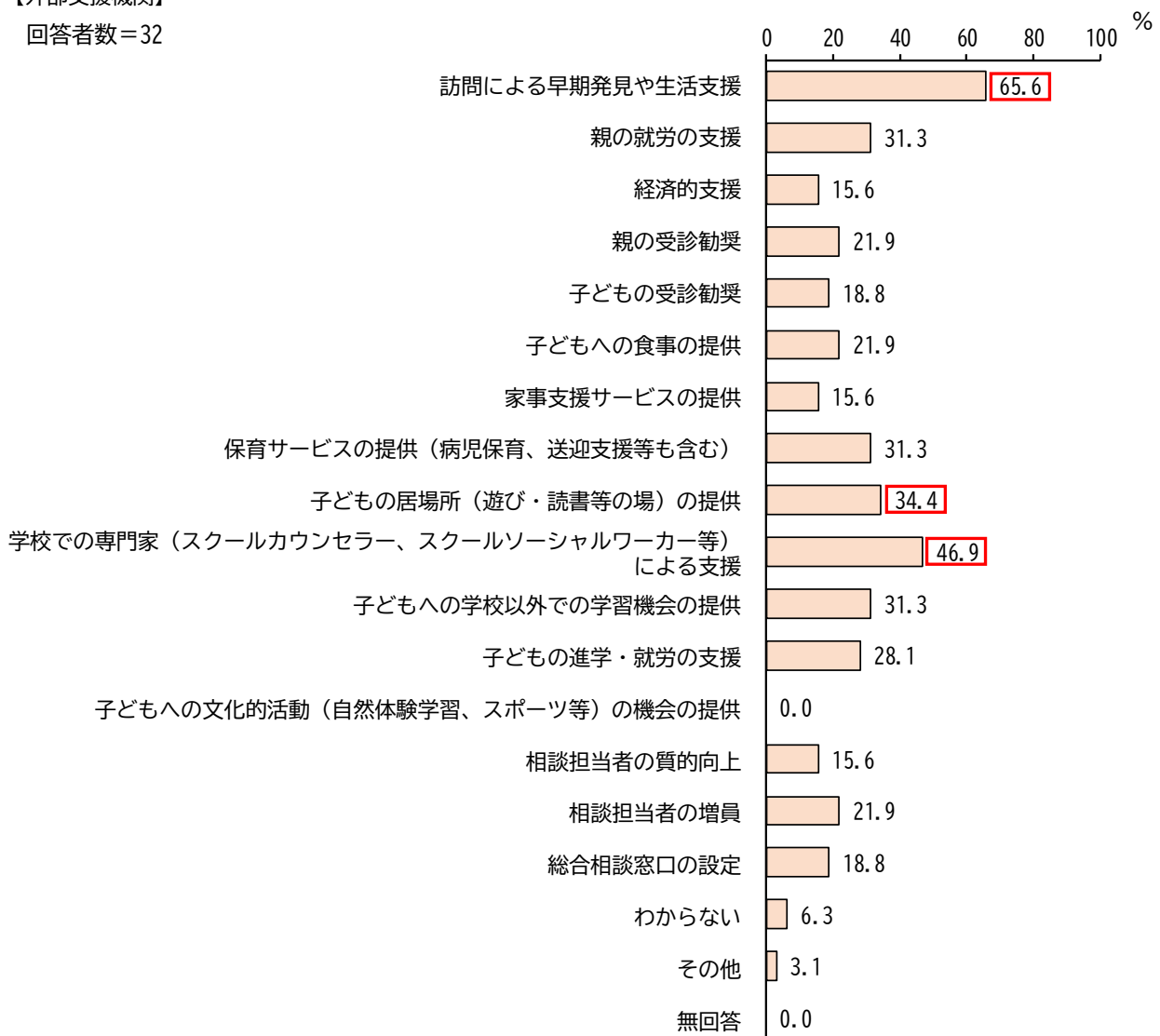
問 19 貧困状況にある子どもや親に対する支援について、今後、市川市に必要な施策は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

貧困状況にある子どもや親に対して必要な施策について、「訪問による早期発見や生活支援」の割合が65.6%と最も高くなっています。

「訪問による早期発見や生活支援」の割合が65.6%と最も高く、次いで「学校での専門家(スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等)による支援」の割合が46.9%、「子どもの居場所(遊び・読書等の場)の提供」の割合が34.4%となっています。

【外部支援機関】

回答者数=32



○主なその他意見(原文のまま記載)

- ・親の相談しやすい環境づくり

問 20 前の質問において回答した支援施策について、具体的なものがあれば、自由に記述してください。

《主な意見の抜粋》

- ・どの家庭も交通費がかからず、行ける距離に子どもの居場所や食糧支援の場所があると良い。そういった方々には、制度や仕組みだけでは解決できない、ヒューマンタッチのアプローチが必要だと思います。
- ・社会資源を案内してくれる総合相談窓口があるとありがたいと思います。
- ・誰かが自分のことを気にかけてくれている（義務ではなくて）、尊厳を認めてもらっていると感じてもらう事が必要だと思います。
- ・行政でも色々な取り組みをされているはずで、ちゃんと理解できていなくて僭越な意見になりますが、精神的な孤立が最も心配だとおもいます。
- ・必要性の高い学校優先で、ソーシャルワーカーを週に1、2回でも配置して、普段から学校と実質的な連携をとって活動してもらえるとよい。地域に1人、などではなかなか連携に結びつかない。
- ・両親そろっていても、使える家事支援、子どもの保育園や学校への送迎など、どんな家庭でも、ある程度整った環境で子ども達が生活できるように整えられる支援。
- ・こども食堂で困った事案があったとき、どこと連携すればいいのか分からなかったり、どのような支援があるのか分からないので提示できなかつたりするのがもどかしく思っています。

【まとめ】

- ・貧困状況にある家庭の子どもにおいて、学校の授業が理解できない様子や、進学を断念している様子がうかがえます。
- ・基礎的な学習支援や学習習慣の定着に向けた支援を行っている機関が多くある一方で、他の機関で行っているサービスの情報がないと感じている機関も多いことから、各機関における連携・情報共有の体制を整備し、ネットワークづくりに取り組む必要があります。
- ・支援にあたり、多くの機関が保護者との信頼関係づくりに課題を感じていることや、支援が必要であるのに家庭からの訴えがないために支援できていないことなどから、支援の希望に関わらず、困難を抱えた子どもや家庭における日常の場面を多角的に捉えることで早期に発見し、支援や見守りにつなげていく必要があります。

IV 調査票

小学生調査票

市川市子どもの生活実態調査 じつたいちようさ 小学5年生用

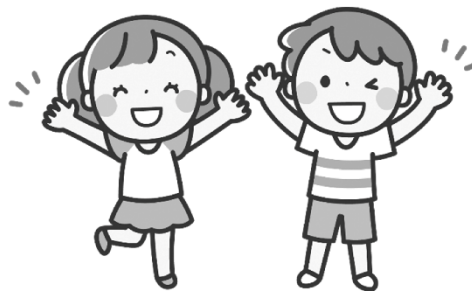
このアンケートは市川市がみなさんの生活の様子を調べるためのアンケートです。みなさんの回答をもとにみなさんのために市川市ができることを考えていきますので、ご協力をおねがいします。

ご記入にあたってのお願い

- このアンケートは、封筒が配られたお子さんが自分で書いてください。
- あなたが書いた内容をおうちの方に見せる必要はありません。
- あなたが書いた内容を学校の先生が見ることはありません。
- 名前は書かないでください。
- えんぴつかボールペンで書いてください。
- 正しい答えやまちがった答えはありませんので、あなたが思う答えを選んでください。
- 答えたくない質問に答える必要はありません。
- 「その他」に○をつけた場合は、() 内に答えを書いてください。

ご提出にあたってのお願い

- 書き終わったら、「子ども用封筒」に入れてテープでとじてください。
- とじた「子ども用封筒」は、学校に提出してください。



問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 男
- 2 女
- 3 その他・答えたくない

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 自分で勉強する
- 2 塾で勉強する
- 3 学校の補習を受ける
- 4 家庭教師に教えてもらう
- 5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
- 6 家の人に教えてもらう
- 7 友達と勉強する
- 8 その他
- 9 学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。
(a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない	30分以上、 1時間より少ない	1時間以上、 2時間より少ない	2時間以上、 3時間より少ない	3時間以上
a) 学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6	
b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6	

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 上のほう
- 2 やや上のほう
- 3 まん中あたり
- 4 やや下のほう
- 5 下のほう
- 6 わからない

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 いつもわかる
 - 2 だいたいわかる
 - 3 教科によってはわからないことがある
 - 4 わからないことが多い
 - 5 ほとんどわからない
- 問7に進んでください。

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。

いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 1・2年生のころ
- 2 3年生のころ
- 3 4年生のころ
- 4 5年生になってから

問7 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 中学
- 2 中学、高校
- 3 中学、高校、専門学校
- 4 中学、5年制の高等専門学校
- 5 中学、高校、短大
- 6 中学、高校 (または5年制の高等専門学校)、大学
- 7 中学、高校 (または5年制の高等専門学校)、大学、大学院
- 8 その他
- 9 まだわからない →問9に進んでください。

問8 前の質問で1～8と答えた場合、その理由を教えてください。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 希望する学校や職業があるから
- 2 自分の成績から考えて
- 3 親がそう言っているから
- 4 兄・姉がそうしているから
- 5 まわりの先輩や友達がそうしているから
- 6 家にお金がないと思うから
- 7 早く働く必要があるから
- 8 その他
- 9 とくに理由はない

問9 くだんからあなたがしている家庭や家族のお世話についてお聞きます。

ここで「お世話」とは、本来大人がするとされている家事や家族の世話などをすることです。

家族のお世話をすることは、とても大切なことです。

ただ、お世話の負担が大きいと、「勉強したい」「遊びたい」と思っても、できないことがあるかもしれません。
心配なことや悩みがある場合は、学校の先生など信頼できる人に相談してみましょう。

「お世話」とは、例えば・・・

(厚生労働省ホームページから引用)



しょうがいや病気の
障がいや病気の
ある家族に代わり、
かぞくか
ものりょうり
か 買い物・料理・
そうじ 掃除・洗濯などの
かじ 家事をしている。



かぞくか
家族に代わり、
おきな
幼いきょうだ
いの世話をし
ている。



しょうがいや病気の
障がいや病気の
ある家族の身
まわりの世話を
している。

A あなたは家族のお世話を日常的にしていますか。(あてはまるもの1つに○)
 「1 している」と回答した場合、お世話を必要としている人を教えてください。(あてはまるものすべてに○) 「2 していない」と回答した場合は、問10へすすんでください。

<p>1 している→</p> <p>2 していない ⇒問10へ</p>	<p>① 親</p> <p>② おじいさん・おばあさん</p> <p>③ 自分のきょうだい</p> <p>④ その他 ()</p>
---	--

B あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

<p>1 (食事の準備や掃除・洗濯などの) 家事</p> <p>2 きょうだいの世話や保育園等への送り迎えなど</p> <p>3 (入浴やトイレのお世話など) 身体的な介護</p> <p>4 (買い物、散歩など) 外出の付き添い</p> <p>5 (病院へ行くことなど) 通院の付き添い</p> <p>6 (話を聞く、話し相手になるなど) 悩み・困りごとなどを聞く</p> <p>7 (声かけや目が離せない家族の) 見守り</p> <p>8 (日本語や手話などコミュニケーションの手伝いなどの) 通訳</p> <p>9 家族のお金の管理</p> <p>10 その他 ()</p>	
--	--

C どれくらいお世話をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

<p>1 ほほ毎日</p> <p>2 週に3～5日</p> <p>3 週に1～2日</p> <p>4 1か月に数日</p> <p>5 その他 ()</p>	
--	--

D ふだん(月曜日から金曜日)に、1日のお世話ほどのくらい行っていますか。
 (あてはまるもの1つに○)

<p>1 30分未満</p> <p>2 30分以上で1時間より少ない</p> <p>3 1時間以上で3時間より少ない</p> <p>4 3時間以上で5時間より少ない</p> <p>5 5時間以上</p>	
---	--

問10 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 参加している →問12に進んでください。
 2 参加していない

問11 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きします。
 参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 入りたいクラブ・部活動がないから
 2 塾や習い事が忙しいから
 3 費用がかかるから
 4 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
 5 一緒にいる友達がいないから
 6 その他

問12 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
 (a~cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	(週7日) 毎日食べる	週5 ~ 6日	週3 ~ 4日	ほとんど 食べない 週1~2日、 ほとんど食べない
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問13 あなたはおうちの大人の人と、次のようなことをどのくらいしていますか (a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	(週7日) 毎日食べる	4 ~ 5日 1週間に 1週間	2 ~ 3日 1週間に 1週間	1日以下 1週間に 1週間	食べない
a) 一緒に朝食を食べること	1	2	3	4	5
b) 一緒に夕食を食べること	1	2	3	4	5

問14 あなたは、給食を除いて、以下の食べ物をふだんどのくらい食べますか（a～f それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	(週7日) 毎日食べる	4～5日 1週間	2～3日 1週間	1日以下 1週間	食べない
a) 野菜	1	2	3	4	5
b) くだもの	1	2	3	4	5
c) 肉か魚	1	2	3	4	5
d) カップめん・インスタントめん	1	2	3	4	5
e) コンビニのおにぎり・お弁当	1	2	3	4	5
f) お菓子	1	2	3	4	5

問15 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に寝ていますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問16 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に起きていますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問17 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間に食事をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問18 あなたに困っていることや悩みごとがあるとき、あなたが相談できると思う人はだれですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- 1 おや 親
- 2 きょうだい 兄弟
- 3 そふぼ 祖父母など
- 4 がっこうせんせい 学校の先生
- 5 がっこうともだち 学校の友達
- 6 がっこうがいともだち 学校外の友達
- 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
- 8 たのおとな(ほうかごほいくひと) 塾・習い事の先生、地域の人など
- 9 ネットで知り合った人
- 10 だれにも相談できない、相談したくない

問19 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく満足していない					10 : 十分に満足している					
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 2 0 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。
(a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3
d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、だれかが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んですすんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたい好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。	1	2	3
n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。	1	2	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問2 1 あなたの現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。
 (a~gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の授業以外で勉強する時間	1	2	3
b) 学校の授業がわからないと感じること	1	2	3
c) 地域のクラブ活動や学校の部活動で活動する回数	1	2	3
d) 食事を抜く回数	1	2	3
e) 夜遅くまで起きている回数	1	2	3
f) 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) イライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問2 2 あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- 2 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- 3 家族のだから愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- 4 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- 5 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- 6 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- 7 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- 8 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる
- 9 1～8にあてはまるものはない

※上のようなことで、つらい気持ちの場合は、千葉県子どもと親のサポートセンター(0120-415-446)、学校のスクールカウンセラーや「チャイルドライン」(フリーダイヤル：0120-99-7777)にはな話してみてください。

問23 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。(a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	利用したことがある	利用したことはない		
		あれば利用したいと思おう	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない
a) (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を過ごすことができる場所 (放課後保育クラブ、放課後子ども教室、こども館など)	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で)夕ごはんを無料が安く食べることができる場所 (子ども食堂など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (こども館や電話・ネットの相談を含む。)	1	2	3	4

問24 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 友だちが増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみなことが増えた
- 4 ほっとできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 特に変化はない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

市川市子どもの生活実態調査 **中学2年生用**

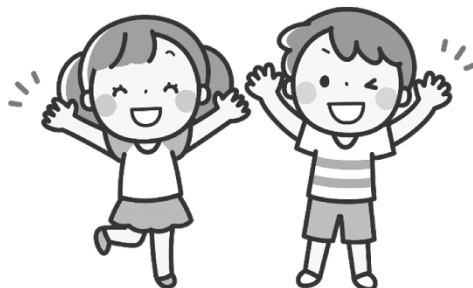
このアンケートは市川市がみなさんの生活の様子を調べるためのアンケートです。みなさんの回答をもとにみなさんのために市川市ができることを考えていきますので、ご協力をおねがいします。

ご記入にあたってのお願い

- このアンケートは、封筒が配られたお子さんが自分で書いてください。
- あなたが書いた内容をおうちの方に見せる必要はありません。
- あなたが書いた内容を学校の先生が見ることもありません。
- 名前は書かないでください。
- えんぴつかボールペンで書いてください。
- 正しい答えやまちがった答えはありませんので、あなたが思う答えを選んでください。
- 答えたくない質問に答える必要はありません。
- 「その他」に○をつけた場合は、() 内に答えを書いてください。

ご提出にあたってのお願い

- 書き終わったら、「子ども用封筒」に入れてテープでとじてください。
- とじた「子ども用封筒」は、学校へ提出してください。



問1 あなたの性別を教えてください。(あてはまるもの1つに○)

- 1 男
- 2 女
- 3 その他・答えたくない

問2 あなたは、ふだん学校の授業以外で、どのように勉強をしていますか。
 ※勉強には学校の宿題もふくみます。(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 自分で勉強する
- 2 塾で勉強する
- 3 学校の補習を受ける
- 4 家庭教師に教えてもらう
- 5 地域の人などが行う無料の勉強会に参加する
- 6 家の人に教えてもらう
- 7 友達と勉強する
- 8 その他
- 9 学校の授業以外で勉強はしない

問3 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。
 ※学校の宿題をする時間や、塾などでの勉強時間もふくみます。
 (a,bそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	まったくしない	30分より少ない	1時間より少ない	30分以上、 2時間より少ない	1時間以上、 3時間より少ない	2時間以上、 3時間以上
a) 学校がある日(月～金曜日)	1	2	3	4	5	6
b) 学校がない日(土・日曜日・祝日)	1	2	3	4	5	6

問4 あなたの成績は、クラスの中でどのくらいだと思いますか。（あてはまるもの1つに○）

<p>1 上のほう</p> <p>2 やや上のほう</p> <p>3 まん中あたり</p> <p>4 やや下のほう</p> <p>5 下のほう</p> <p>6 わからない</p>
--

問5 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。（あてはまるもの1つに○）

<p>1 いつもわかる</p> <p>2 だいたいわかる</p> <p>3 教科によってはわからないことがある</p> <p>4 わからないことが多い</p> <p>5 ほとんどわからない</p>	<p>→問7に進んでください。</p>
--	---------------------

問6 前の質問で「3 教科によってはわからないことがある」「4 わからないことが多い」「5 ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。
 いつごろから、授業がわからないことがありようになりましたか。（あてはまるもの1つに○）

<p>1 小学1・2年生のころ</p> <p>2 小学3・4年生のころ</p> <p>3 小学5・6年生のころ</p> <p>4 中学1年生のころ</p> <p>5 中学2年生になってから</p>
--

問7 あなたは、塾や習い事に通っていますか。（あてはまるもの1つに○）
 「3 行きたいと思うが通っていない」と回答した場合、その理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○）

<p>1 行きたいと思い通っている</p> <p>2 行きたいと思わないが通っている</p> <p>3 行きたいと思うが通っていない</p> <p>4 行きたいと思わないので通っていない</p>	<p>その理由</p> <p>① 家族の反対があるから</p> <p>② お金がかかるから</p> <p>③ 兄・姉もおなじだから</p> <p>④ その他</p>
---	---

問8 あなたは、将来、どの学校に進学したいですか。（あてはまるもの1つに○）

- 1 高校
- 2 高校、専門学校
- 3 5年制の高等専門学校
- 4 高校、短大
- 5 高校（または5年制の高等専門学校）、大学
- 6 高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院
- 7 その他（ ）
- 8 まだわからない →問10に進んでください。

問9 前の質問で1～7と答えた場合、その理由を教えてください。

（1～8については、あてはまるものすべてに○）

- 1 希望する学校や職業があるから
- 2 自分の成績から考えて
- 3 親がそう言っているから
- 4 兄・姉がそうしているから
- 5 まわりの先輩や友達がそうしているから
- 6 家にお金がないと思うから
- 7 早く働く必要があるから
- 8 その他（ ）
- 9 とくに理由はない

問10 普段からあなたがしている家庭や家族のお世話についてお聞きします。

ここで「お世話」とは、本来大人がするとされている家事や家族の世話などをすることです。

家族のお世話をすることは、とても大切なことです。

ただ、お世話の負担が大きいと、「勉強したい」「遊びたい」と思っても、できないことがあるかもしれません。心配なことや悩みがある場合は、学校の先生など信頼できる人に相談してみましょう。

「お世話」とは、例えば…

(厚生労働省ホームページから引用)

 <p>しょう 障がいや病気の かぞく か ある家族に代わり、 かものりょうり かい物・料理・ そうじ せんたく 掃除・洗濯などの かじ 家事をしている。</p>	 <p>かぞく か 家族に代わり、 おさな 幼いきょうだ いの世話をし ている。</p>	 <p>しょう びょうき 障がいや病 かぞく み のある家族の身 まわ せり の回りの世話を している。</p>
--	---	--

A あなたは家族のお世話を日常的にしていますか。(あてはまるもの1つに○)
「1 している」と回答した場合、お世話を必要としている人を教えてください。(あてはまるものすべてに○) 「2 していない」と回答した場合は、問11へすすんでください。

1 している	➔	① 親
2 していない ⇒問11へ		② おじいさん・おばあさん
		③ 自分のきょうだい
		④ その他 ()

B あなたが行っているお世話の内容を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1 (食事の準備や掃除・洗濯などの) 家事
2 きょうだいの世話や保育所等への送り迎えなど
3 (入浴やトイレのお世話など) 身体的な介護
4 (買い物、散歩など) 外出の付き添い
5 (病院へ行くことなど) 通院の付き添い
6 (話を聞く、話し相手になるなど) 悩み・困りごとなどを聞く
7 (声かけや目が離せない家族の) 見守り
8 (日本語や手話などコミュニケーションの手伝いなどの) 通訳
9 家族のお金の管理
10 その他 ()

C どれくらいお世話をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

1 ほぼ毎日
2 週に3～5日
3 週に1～2日
4 1か月に数日
5 その他 ()

D ふだん(月曜日から金曜日)に、1日のお世話はどのくらい行っていますか。
(あてはまるもの1つに○)

1 30分未満
2 30分以上で1時間より少ない
3 1時間以上で3時間より少ない
4 3時間以上で5時間より少ない
5 5時間以上

問 1 1 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。
(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 参加している →問 13 に進んでください。
2 参加していない

問 1 2 前の質問で「2 参加していない」と答えた人にお聞きます。
参加していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 入りたいクラブ・部活動がないから
2 塾や習い事が忙しいから
3 費用がかかるから
4 家の事情(家族の世話、家事など)があるから
5 一緒にいる友達がいないから
6 その他

問 1 3 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。
a~c それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	毎日食べる (週7日)	週5 ~ 6日	週3 ~ 4日	週1 ~ 2日、 ほとん ど食 べ ない
a) 朝食	1	2	3	4
b) 夕食	1	2	3	4
c) 夏休みや冬休みなどの期間の昼食	1	2	3	4

問 1 4 あなたはおうちの大人のひとと、次のようなことをどのくらいしていますか (a,b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	毎日食べる (週7日)	4 ~ 5日 1 週 間 に	2 ~ 3日 1 週 間 に	1 日 以 下 1 週 間 に	食 べ な い
a) 一緒に朝食を食べること	1	2	3	4	5
b) 一緒に夕食を食べること	1	2	3	4	5

問15 あなたは、給食を除いて、以下の食べ物をふだんどのくらい食べますか（a～f それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	毎日食べる (週7日)	4～5日 1週間に	2～3日 1週間に	1日以下 1週間に	食べない
a) 野菜	1	2	3	4	5
b) くだもの	1	2	3	4	5
c) 肉か魚	1	2	3	4	5
d) カップめん・インスタントめん	1	2	3	4	5
e) コンビニのおにぎり・お弁当	1	2	3	4	5
f) お菓子	1	2	3	4	5

問16 あなたは、ふだん(月曜日～金曜日)、ほぼ同じ時間^{じかん}に寝^ねていますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問17 あなたは、ふだん(月曜日^{げつようび}～金曜日^{きんようび})、ほぼ同じ時間^{おなじかん}に起^おきますか。
(あてはまるもの1つに○)

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問18 あなたは、^{げつようび} ^{きんようび} 月曜日～金曜日、^{おな} ^{じかん} ^{しょくじ} ほぼ同じ時間に食事をしていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 そうである
- 2 どちらかといえばそうである
- 3 どちらかといえばそうではない
- 4 そうではない

問19 あなたに^{こま} 困っていることや^{なや} 悩みごとがあるとき、あなたが^{そうだん} 相談できると思う人はだれですか。(1～9については、あてはまるものすべてに○)

- 1 親
- 2 きょうだい
- 3 ^{そふぼ} 祖父母など
- 4 学校の先生
- 5 学校の友達
- 6 学校外の友達
- 7 スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど
- 8 その他の大人(^{じゅく} ^{なら} 塾・習い事の先生、^{ちいき} 地域の人など)
- 9 ネットで知り合った人
- 10 だれにも^{そうだん} 相談できない、^{そうだん} 相談したくない

問20 全体として、あなたは^{さいきん} 最近の生活に、どのくらい^{まんぞく} 満足していますか。「0」(まったく^{まんぞく} 満足していない)から「10」(^{じゅうぶん} ^{まんぞく} 十分に満足している)の数字で教えてください。(あてはまるもの1つに○)

0 : まったく ^{まんぞく} 満足していない							10 : ^{じゅうぶん} ^{まんぞく} 十分に満足している			
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問21 以下のそれぞれの質問について、「1 あてはまらない」「2 まああてはまる」「3 あてはまる」のどれかから回答してください。答えに自信がなくても、あるいは、その質問がばからしいと思えたとしても、全部の質問に答えてください。あなたのここ半年くらいのことを考えて答えてください。（a～o それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	あてはまらない	まああてはまる	あてはまる
a) 私は、他人に対して親切にするようにしている。私は、他人の気持ちをよく考える。	1	2	3
b) 私は、よく頭やお腹がいたくなったり、気持ちが悪くなったりする。	1	2	3
c) 私は、他の子供たちと、よく分け合う（食べ物・ゲーム・ペンなど）。	1	2	3
d) 私は、たいてい一人である。だいたいいつも一人で遊ぶか、人と付き合うことを避ける。	1	2	3
e) 私は、心配ごとが多く、いつも不安だ。	1	2	3
f) 私は、誰かが心を痛めていたり、落ち込んでいたり、嫌な思いをしているときなど、すすんで助ける。	1	2	3
g) 私は、仲の良い友だちが少なくとも一人はいる。	1	2	3
h) 私は、落ち込んですすんでいたり、涙ぐんだりすることがよくある。	1	2	3
i) 私は、同じくらいの年齢の子供からは、だいたい好かれている。	1	2	3
j) 私は、新しい場面に直面すると不安になり、自信をなくしやすい。	1	2	3
k) 私は、年下の子供たちに対してやさしくしている。	1	2	3
l) 私は、他の子供から、いじめられたり、からかわれたりする。	1	2	3
m) 私は、自分からすすんでよくお手伝いをする（親・先生・他の子供たちなど）。	1	2	3
n) 私は、他の子供たちより、大人という方がうまくいく。	1	2	3
o) 私は、こわがりで、すぐにおびえたりする。	1	2	3

問22 あなたの^{げんざい}現在の生活は、新型コロナウイルス^{かんせんしやう}感染症の^{かくだい}拡大により学校が休校になる前（2020年2月以前）と比べて、どのように変わったと思いますか。
 (a~gそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	増えた	減った	変わらない
a) 学校の ^{じゆぎやう} 授業以外で ^{べんきやう} 勉強する時間 ^{じかん}	1	2	3
b) 学校の ^{じゆぎやう} 授業がわからないと感じること	1	2	3
c) ^{ちいき} 地域のクラブ活動や学校の ^{ぶかつどう} 部活動で活動する回数	1	2	3
d) ^{しょくじ} 食事を ^ぬ 抜く回数	1	2	3
e) ^{おそ} 夜遅くまで ^お 起きている回数	1	2	3
f) ^{いがい} 親以外の大人や友達と話をすること	1	2	3
g) イライラや不安を感じたり、気分が ^{しず} 沈むこと	1	2	3

問23 あなたは今までに、以下のようなことがありましたか。

(1～8については、あてはまるものすべてに○)

- 1 一緒に住んでいる大人から、あなたの悪口を言い立てられる、けなされる、恥をかかされる、または、身体を傷つけられる危険を感じるようなふるまいをされることがよくある
- 2 一緒に住んでいる大人から、押される、つかまれる、たたかれる、物を投げつけられるといったことがよくある。または、けがをするほど強くなぐられたことが一度でもある
- 3 家族のだから愛されていない、大切にされていない、支えてもらえていないと感じることがある
- 4 必要な食事や衣服を与えられなかったり、自分を守ってくれる人はだれもいないと感じることがある
- 5 両親が、別居または離婚をしたことが一度でもある
- 6 一緒に住んでいる家族が、だれかに押されたり、つかまれたり、けられたりしたことがよくある、または、くり返しなぐられたり、刃物などでおどされたことが一度でもある
- 7 一緒に住んでいる人に、お酒を飲んだり麻薬などで自身の生活や人間関係を損なうようなふるまいをした人がいる
- 8 一緒に住んでいる人に、うつ病やその他の心の病気の人、または自殺しようとした人がいる
- 9 1～8にあてはまるものはない

※上のようなことで、つらい気持ちの場合は、千葉県子どもと親のサポートセンター(0120-415-446)、学校のスクールカウンセラーや「チャイルドライン」(フリーダイヤル：0120-99-7777)にはな話してみてください。

問24 あなたは、次の a～d のような場所を利用したことがありますか。また、利用したことはない場合、今後利用したいと思いますか。（a～d それぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	利用したことがある	利用したことはない		
		あれば利用したいと思う	今後も利用したいと思わない	今後利用したいかどうか分からない
a) (自分や友人の家以外で)平日の夜や休日を通ずることができる場所 (図書館・こども館など)	1	2	3	4
b) (自分や友人の家以外で) タごはんを無料が安く食べることができる場所 (こども食堂など)	1	2	3	4
c) 勉強を無料でみてくれる場所	1	2	3	4
d) (家や学校以外で)何でも相談できる場所 (こども館や電話・ネットの相談を含む。)	1	2	3	4

問25 前の質問で、1つでも「1 利用したことがある」と答えた方にお聞きます。そこを利用したことで、以下のような変化がありましたか。（1～8については、あてはまるものすべてに○）

- 1 友だちが増えた
- 2 気軽に話せる大人が増えた
- 3 生活の中で楽しみなことが増えた
- 4 ほっとできる時間が増えた
- 5 栄養のある食事をとれることが増えた
- 6 勉強がわかるようになった
- 7 勉強する時間が増えた
- 8 その他
- 9 特に変化はない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

市川市子どもの生活実態調査 **保護者用**

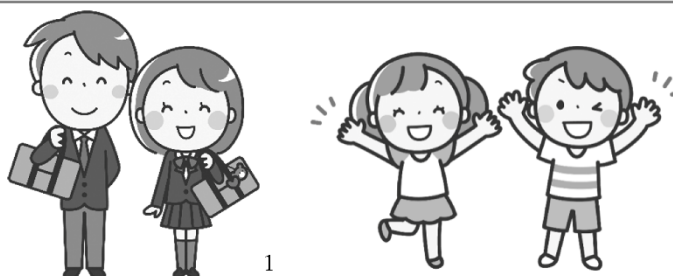
このアンケートは、小学5年生、中学2年生のお子さんがある保護者の方に、生活の状況やお子さんのことなどについて伺うものです。アンケートの結果は、子育て世帯等への施策に役立てることを目的としていますので、ご協力をお願いします。

ご記入にあたってのお願い

- このアンケートの中の「お子さん」は封筒が配布されたお子さんのことを指します。
- 封筒が配布されたお子さんの**保護者の方**が教えてください。
(保護者以外の方が代わりに回答することは決してしないでください)
- この調査は無記名です。お名前をお書きいただく必要はありません。
- 鉛筆、またはボールペンで記入してください。
- 質問を読み、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- お答えになりたくない質問は、無回答のまま、次の質問にお進みください。
- 「その他」に○をつけた場合は、() 内にその内容を具体的にご記入ください。
- 答えにくい質問があるかもしれませんが、できるだけすべての質問にお答えいただければ幸いです。

ご提出にあたってのお願い

- 今回の調査では、小学5年生、中学2年生、その保護者の方へアンケートを行います。保護者用アンケートは「保護者用封筒」に入れて、テープでとじてください。
- とじた「保護者用封筒」は、お子さん経由で学校へ提出してください。



この調査で「お子さん」とは、調査対象となる小学5年生又は中学2年生のお子さんのことをいいます。「親」「母親」「父親」とは、^{けいぼ}継母や^{けいふ}継父、母親や父親に代わる保護者の方を含みます。

問1 お子さんとあなたとの関係は、次のどれにあたりますか。お子さんから^{つづきから}みた続柄でお答えください。
(あてはまるもの1つに○)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 母親 | 2 父親 |
| 3 祖父母 | 4 その他 |

問2 お子さんと同じく、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。^{ふじん}単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいる場合には、ご家族の人数に含めて教えてください。(a~hそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

a) 祖母	b) 祖父	c) 母親	d) 父親	h) 合計 (あなたや対象のお子さんを含む)
0 いない	0 いない	0 いない	0 いない	2 2人
1 1人	1 1人	1 1人	1 1人	3 3人
2 2人	2 2人			4 4人
e) 姉・兄	対象のお子さん (本人)	f) 妹・弟	g) その他	5 5人
0 いない		0 いない	0 いない	6 6人
1 1人		1 1人	1 1人	7 7人
2 2人	1 人	2 2人	2 2人	8 8人
3 3人		3 3人	3 3人	9 9人
4 4人以上		4 4人以上	4 4人以上	10 10人以上

問3 お子さんのお父さんの現在の年齢についてお答えください。(令和4年4月1日時点)
(母親・父親それぞれについて数字で回答、いない場合やわからない場合は「-」と記入)

母親

歳

父親

歳

問4 お子さんのお家族のうち、現在単身赴任中の方はいらっしゃいますか。
(1～3については、あてはまるものすべてに○)

1 お子さんの母親が単身赴任中
3 その他

2 お子さんの父親が単身赴任中
4 単身赴任中の者はいない

問5 お子さんと同じく、生計を同一にしている親の婚姻状況を教えてください。
(あてはまるもの1つに○)

1 結婚している(再婚や事実婚を含む。)
2 離婚
3 死別
4 未婚
5 わからない
6 いない

2に○をつけた場合のみ

問6 前問で「2 離婚」を選んだ場合、離婚相手と子供の養育費の取り決めをしていますか。
また養育費を現在受け取っていますか。(あてはまるもの1つに○)

1 取り決めをしており、受け取っている
2 特に取り決めはしていないが、受け取っている
3 取り決めをしているが、受け取っていない
4 取り決めをしておらず、受け取っていない

問7 ご家庭ではどれくらい、日本語以外の言語を使用していますか。(あてはまるもの1つに○)

1 日本語のみを使用している
2 日本語以外の言語も使用しているが、日本語の方が多い
3 日本語以外の言語を使うことが多い

問8 お子さんの親が卒業・修了した学校をお答えください。

(a,b それぞれについて、あてはまるものひとつに○)

	a) 母親	b) 父親
中学	1	1
中学、高校	2	2
中学、高校、専門学校	3	3
中学、5年制の高等専門学校	4	4
中学、高校、短大	5	5
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学	6	6
中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院	7	7
その他	8	8
わからない	9	9
いない	10	10

問9 お子さんの親の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 母親	b) 父親
正社員・正規職員・会社役員	1	1
<small>しよくだく</small> 嘱託・契約社員・派遣職員	2	2
パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員	3	3
自営業(家族従業者、内職、自由業、フリーランスを含む。)	4	4
働いていない(専業主婦/主夫を含む。)	5	5
わからない	6	6
いない	7	7

5に○をつけた場合のみ
↓

問10 前の質問で「5 働いていない」と答えた場合、働いていない最も主な理由を教えてください。←…
 ください。(a,b それぞれについて、あてはまるもの1つに○)

	a) 母親	b) 父親
働きたいが、希望する条件の仕事がないため	1	1
子育てを優先したいため	2	2
家族の介護・介助のため	3	3
自分の病気や障害のため	4	4
通学しているため	5	5
その他の理由	6	6

問11 お子さんが0～2歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

- 1 認可保育所・認定こども園
- 2 その他の教育・保育等の施設
- 3 親・親族以外の個人
- 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
- 5 その他

問12 お子さんが3～5歳の間に通っていた教育・保育施設等で最も主なもの（期間が長いもの）をお答えください。（あてはまるもの1つに○）

- 1 幼稚園・認可保育所・認定こども園
- 2 その他の教育・保育等の施設
- 3 親・親族以外の個人
- 4 もっぱら親・親族が面倒を見ていた
- 5 その他

問 1 3 あなたとお子さんの関わり方について、次のようなことにどれくらい当てはまりますか。

(a~d それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	あてはまる	あてはまる どちらかといえば、	あてはまらない どちらかといえば、	あてはまらない
a) テレビ・ゲーム・インターネット等の視聴時間等のルールを決めている	1	2	3	4
b) お子さんに本や新聞を読むように勧めている	1	2	3	4
c) お子さんが小さいころ、絵本の読み聞かせをしていた	1	2	3	4
d) お子さんから、勉強や成績のことについて話をしてくれる	1	2	3	4

問 1 4 あなたは、次のようなことをどの程度していますか。

(a,b それぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

※新型コロナウイルス感染症拡大後（2020年2月以降）、学校行事などが休止している場合は、それ以前の状況をお答えください。

	よく参加している	ときどき参加している	あまり参加していない	まったく参加していない
a) 授業参観や運動会などの学校行事への参加	1	2	3	4
b) P T A 活動や保護者会、放課後学習支援等のボランティアなどへの参加	1	2	3	4

問 1 5 お子さんは将来、現実的に見てどの学校に進学すると思いますか。

(あてはまるものひとつに○)

- 1 中学
- 2 中学、高校
- 3 中学、高校、専門学校
- 4 中学、5年制の高等専門学校
- 5 中学、高校、短大
- 6 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学
- 7 中学、高校（または5年制の高等専門学校）、大学、大学院
- 8 その他
- 9 まだわからない →問17に進んでください。

問 1 6 前問で1～8と答えた場合、その理由は何ですか。

(1～5については、あてはまるものすべてに○)

- 1 お子さんがそう希望しているから
- 2 一般的な進路だと思うから
- 3 お子さんの学力から考えて
- 4 家庭の経済的な状況から考えて
- 5 その他
- 6 特に理由はない

問17 あなたは次に挙げる事柄^{ことがら}で頼れる人はいますか。

(a～cそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「1 頼れる人がいる」場合、それはだれですか。(①～⑦のあてはまるものすべてに○)

	a) 子育てに関する相談	b) 重要な事柄 ^{ことがら} の相談	c) いざという時のお金の援助
頼れる人がいる	1	1	1
家族・親族	①	①	①
友人・知人	②	②	②
近所の人	③	③	③
職場の人	④	④	④
民生委員・児童委員	⑤	⑤	⑤
相談・支援機関や福祉の人	⑥	⑥	⑥
その他	⑦	⑦	⑦
いない	2	2	2
そのことでは人に頼らない	3	3	3

①～⑦のあてはまるものすべてに○

問18 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。(あてはまるもの1つに○)

- 1 大変ゆとりがある
- 2 ゆとりがある
- 3 ふつう
- 4 苦しい
- 5 大変苦しい

問19 世帯全体のおおよその年間収入(税込)はいくらですか。(あてはまるもの1つに○)

※2021年の年間収入についてお答えください。

※収入には、同居し、生計を同一にしている家族全員の以下の収入が含まれます。

- ・勤め先収入（定期収入、賞与等）
- ・事業収入（原材料費、人件費、営業上の諸経費等を除く）、内職収入（材料費等を除く）
- ・公的年金・恩給、その他の社会保障給付金（生活保護、児童手当、児童扶養手当等）
- ・農林漁業収入（農機具等の材料費、営業上の諸経費等を除く）
- ・資産収入（預貯金利子、家賃収入等。家・土地などの資産売却代金や生命保険・損害保険からの受取金等は除く。）
- ・その他の収入（仕送り、養育費、個人年金、各種祝い金等）

- 1 50万円未満
- 2 50~100万円未満
- 3 100~150万円未満
- 4 150~200万円未満
- 5 200~250万円未満
- 6 250~300万円未満
- 7 300~350万円未満
- 8 350~400万円未満
- 9 400~450万円未満
- 10 450~500万円未満
- 11 500~600万円未満
- 12 600~700万円未満
- 13 700~800万円未満
- 14 800~900万円未満
- 15 900~1000万円未満
- 16 1000万円以上

問20 あなたの世帯では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料が買えないことがありましたか。ただし、嗜好品は含みません。(あてはまるもの1つに○)

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 まれにあった
- 4 まったくなかった

問 2 1 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣服が買えないことがありましたか。ただし、高価な衣服や貴金属・宝飾品は含みません。

(あてはまるもの 1 つに○)

- 1 よくあった
- 2 ときどきあった
- 3 まれにあった
- 4 まったくなかった

問 2 2 あなたの世帯では、過去 1 年の間に、以下の料金について、経済的な理由で未払いになったことがありましたか。(1～3については、あてはまるものすべてに○)

- 1 電気料金
- 2 ガス料金
- 3 水道料金
- 4 あてはまるものはない

問 2 3 次の a)～f)の質問について、この 1 か月間のあなたの気持ちについてお伺いします。

(a～fそれぞれについて、あてはまるもの 1 つに○)

	いつも	たいてい	ときどき	少しだけ	まったくない
a) 神経過敏 <small>かびん</small> に感じた	1	2	3	4	5
b) 絶望的だと感じた	1	2	3	4	5
c) そわそわ、落ち着かなく感じた	1	2	3	4	5
d) 気分が沈み込んで、何が起ころとも気が晴れないように感じた	1	2	3	4	5
e) 何をするのも面倒だと感じた	1	2	3	4	5
f) 自分は価値のない人間だと感じた	1	2	3	4	5

問 2 4 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「0」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（あてはまるもの1つに○）

0：まったく満足していない						10：十分に満足している				
0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10

問 2 5 あなたのご家庭の現在の生活は、新型コロナウイルス感染症の拡大により学校が休校する前（2020年2月以前）から比べて、どのように変わりましたか。
（a～fそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	増えた	減った	変わらない
a) 世帯全体の収入の変化	1	2	3
b) 生活に必要な支出の変化	1	2	3
c) お金が足りなくて、必要な食料や衣服を買えないこと	1	2	3
d) お子さんと話をする事	1	2	3
e) 家庭内で言い争ったり、めめごとが起こること	1	2	3
f) あなた自身がイライラや不安を感じたり、気分が沈むこと	1	2	3

問 2 6 以下の、子育て支援に関する事業について知っていますか。

（a～cそれぞれについて、あてはまるもの1つに○）

	a とが 利用 した こと がある	b 知 っ て い て 利 用 し た こ と は な い	c 知 ら な い と は な い こ と は な い	d 知 ら な い が 今 後 利 用 し たい
こども家庭支援センター （0歳～18歳までの保護者の 子育て相談窓口）	1	2	3	4
こども館	1	2	3	4
こども食堂	1	2	3	4

問 2 7 あなたのご家庭では、以下の支援制度をこれまでに利用したことがありますか。

(a～eそれぞれについて、1～3のあてはまるもの1つに○)

また、「3 利用したことがない」場合、その理由は何ですか。(①～⑤のあてはまるもの1つに○)

	a 就学援助 ※1	b 生活保護 ※2	c ※3 生活困窮者の 自立支援相談窓口	d 児童扶養手当 ※4	e ※5 母子家庭等就業・ 自立支援センター
現在利用している	1	1	1	1	1
現在利用していないが、以前利用したことがある	2	2	2	2	2
利用したことがない	3	3	3	3	3
制度の対象外（収入等の条件を満たさない）と思うから	①	①	①	①	①
利用はできるが、特に利用したいと思わなかったから	②	②	②	②	②
利用したいが、今までこの支援制度を知らなかったから	③	③	③	③	③
利用したいが、手続きがわからなかったり、利用しにくいから	④	④	④	④	④
それ以外の理由	⑤	⑤	⑤	⑤	⑤

↓
③に○をつけた場合、
①～⑤のあてはまるもの1つに○

(参考)

- ※ 1 就学援助：経済的理由により子供の就学が困難な場合に、学用品費等を補助する制度。
- ※ 2 生活保護：病気や失業などにより生活費等に困り、他に方法がないときに一定の援助が受けられる制度。
- ※ 3 生活困窮者の自立支援相談窓口：お金、仕事、住宅など、様々な課題を抱えた生活に困窮する方のための相談窓口。専門の支援員が具体的な支援プランを作成し、課題の解決に向けた支援を行う。
- ※ 4 児童扶養手当：所得が一定水準以下のひとり親世帯の生活支援のための手当。（児童手当とは異なります。）
- ※ 5 母子家庭等就業・自立支援センター：ひとり親の方が、仕事探しに関する相談や講習を受けられる支援センター。養育費の取り決めなどに関する相談も受けられる。

子ども・若者の貧困に関するヒアリング調査票

市川市では、市の現状と課題を分析・整理し、令和6年度を初年度とする子どもの貧困対策計画の策定を予定しております。

この調査シートは、計画策定にあたって、支援者から見た子ども・若者の実情と課題などをお聞きすることで、計画策定の参考とさせていただくものです。大変お忙しい中誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

<回答方法>

下記 QR コードまたは URL より LGWAN 回線（庁内回線）を利用して回答



<https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/cGft/185644>

担当

市川市こども政策部こども家庭支援課 難波
電話 047-711-0677 内線 15114

問1 あなたの所属先を教えてください。

() 課

問2 あなたの職種を教えてください。

問3 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況は何だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 家族が子どもに虐待をしている(ネグレクトを含む)
2. 家族がDVを受けた経験がある
3. 保護者が子どもに必要以上に干渉している
4. 保護者が子どもに過度の期待をかけている
5. 保護者が子どもへの関心が薄い
6. 子どもが食事を十分にとれていない
7. 子どもが身体の成長や季節に応じた服装をしていない
8. 子どもが不衛生・入浴していない
9. 住環境が劣悪である
10. 子どもが病院にかかるのを控えている
11. わからない
12. その他()

問4 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況の要因や背景は何だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 家庭が社会から孤立している
2. 両親が離婚(再婚)している
3. 両親や家族が不仲である
4. 保護者自身の生活能力が低い
5. 保護者に障害や疾病がある
6. 親が若年出産をしている
7. 外国人世帯である
8. 多子世帯である
9. 保護者が不安定な就労状態にある
10. 保護者がアルコールやギャンブル等に依存している
11. わからない
12. その他()

問5 貧困状況にある子どもが多く陥る困難な状況として、考えられるものは何ですか。(〇は3つまで)

1. 学校の授業が理解できていない
2. 進学を断念している
3. 非行や非行につながる問題行動がある
4. 不登校を経験している
5. 学校や職場に友人がいない
6. 学校や職場でいじめを受けている
7. 自傷行為をしたことがある
8. 学校を中退している
9. わからない
10. その他 ()

問6 貧困状況にある子どもはどのような項目において問題を抱えていることが多いと思いますか。
(〇は3つまで)

1. 読み書き・計算等の基礎的な学力
2. 心の状態の安定性・心身の健康
3. 健全な生活習慣・食習慣
4. コミュニケーション能力
5. 他者への共感性・他者への信頼感
6. 自己表現力
7. 自己肯定感
8. 生活自立能力
9. 意欲・チャレンジ精神
10. わからない
11. 特に問題は見られない
12. その他 ()

問7 貧困状況にある子どもに対する学習支援として、どのような仕組みや支援が必要だと思いますか。
(〇は3つまで)

1. 学校での補習
2. 近隣の公共施設等における学習習慣の定着及び基礎的な学習支援
3. 学習塾等における進学対策としての学習支援(費用助成)
4. こども食堂やNPO法人などにおける学習支援
5. 無料で自由に使用できる学習スペースの確保
6. その他 ()

問8 支援の対象は子どもですか、保護者ですか。(〇は1つ)

- | | | |
|--------|--------|---------------|
| 1. 子ども | 2. 保護者 | 3. 子ども・保護者の両方 |
|--------|--------|---------------|

問9 あなた(あなたの所属機関)が行っている支援内容を教えてください。

--

問10 日頃、支援を行っているなかで、足りていないと思うところを教えてください。
(代表的なもの1つに〇をつけてください)

- | |
|----------------------|
| 1. 支援者自身の知識や経験 |
| 2. 上司あるいは同僚と相談する機会 |
| 3. 他の機関(公共機関を除く)との連携 |
| 4. 公的な協力・支援の仕組みや制度 |
| 5. マンパワー |
| 6. その他() |

問11 あなたは、普段、貧困状況にある子どもの支援をする際に他の部署・機関・団体とどのくらい連携することがありますか。(〇は1つ)

- | | | | |
|----------|-------------|------------|-----------|
| 1. 週1回以上 | 2. 月1回~数回程度 | 3. 年1~数回程度 | 4. まったくない |
|----------|-------------|------------|-----------|

問 15 これまでのご経験の中で、貧困の状況にある子どもが改善に向かったケースがあれば、自由に記述してください。

問 16 コロナ以前と、現在で、貧困の状況にある子どもや親の生活状況は変化していますか。また、変化しているのであれば、どのような変化ですか。

問 17 今後必要な支援施策について、具体的なものがあれば、自由に記述してください。

調査は以上です。お忙しいところご協力ありがとうございました。

庁内関係機関ヒアリング調査票（支援者向け）

庁内支援機関 12月23日

子ども・若者の貧困に関するヒアリング調査票

市川市では、市の現状と課題を分析・整理し、令和6年度を初年度とする子どもの貧困対策計画の策定を予定しております。

この調査シートは、計画策定にあたって、支援者から見た子ども・若者の実情と課題などをお聞きすることで、計画策定の参考とさせていただくものです。大変お忙しい中誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

<回答方法>

下記QRコードまたはURLよりLGWAN回線（庁内回線）を利用して回答



<https://tb.logoform.st-japan.asp.lgwan.jp/form/cGft/185644>

担当

市川市こども政策部こども家庭支援課 難波
電話 047-711-0677 内線 15114

■はじめにあなたについてご記入ください

担当課	
お名前	

問1 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況は何だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 家族が子どもに虐待をしている(ネグレクトを含む)
2. 家族がDVを受けた経験がある
3. 保護者が子どもに必要以上に干渉している
4. 保護者が子どもに過度の期待をかけている
5. 保護者が子どもへの関心が薄い
6. 子どもが食事を十分にとれていない
7. 子どもが身体の成長や季節に応じた服装をしていない
8. 住環境が劣悪である
9. 子どもが病院にかかるのを控えている
10. わからない
11. その他()

問2 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況の要因や背景は何だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 家庭が社会から孤立している
2. 両親が離婚(再婚)している
3. 保護者自身の生活能力が低い
4. 保護者に障害や疾病がある
5. 親が若年出産をしている
6. 外国人世帯である
7. 多子世帯である
8. 保護者が不安定な就労状態にある
9. 保護者がアルコールやギャンブル等に依存している
10. わからない
11. その他()

問3 貧困状況にある子どもが多く陥る困難な状況として、考えられるものは何ですか。(〇は3つまで)

1. 学校の授業が理解できていない
2. 進学を断念している
3. 非行や非行につながる問題行動がある
4. 不登校を経験している
5. 学校や職場に友人がいない
6. 学校や職場でいじめを受けている
7. 自傷行為をしたことがある
8. 学校を中退している
9. わからない
10. その他()

問4 貧困状況にある子どもはどのような項目において問題を抱えていることが多いと思いますか。

(〇は3つまで)

1. 読み書き・計算等の基礎的な学力
2. 心の状態の安定性・心身の健康
3. 健全な生活習慣・食習慣
4. コミュニケーション能力
5. 他者への共感性・他者への信頼感
6. 自己表現力
7. 自己肯定感
8. 生活自立能力
9. 意欲・チャレンジ精神
10. わからない
11. 特に問題は見られない
12. その他 ()

問5 貧困状況にある子どもに対する学校外での学習支援として、どのような仕組みや支援が必要だと思いますか。

(〇は3つまで)

1. 近隣の公共施設等における学習習慣の定着及び基礎的な学習支援
2. 学習塾等における進学対策としての学習支援
3. こども食堂やNPO 法人などにおける学習支援
4. 無料で自由に使用できる学習スペースの確保
5. その他 ()

問6 あなた(あなたの所属機関)が行っている支援の対象は子どもですか、保護者ですか。(〇は1つ)

1. 子ども
2. 保護者
3. 子ども・保護者の両方

問7 あなた(あなたの所属機関)が行っている支援内容を教えてください。

問 11 連携して支援をするうえで、課題となることは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 他の機関で行っているサービスの情報がない
2. 他の機関で受けられるサービスが不足している
3. 支援に対する考え方の違いがある
4. 各機関で情報を共有する必要があるが個人情報保護の点で難しい
5. 連携をとるのに時間がかかってしまう
6. その他()

問 12 貧困状況にある子どもや親を支援する際に、工夫していることや心がけていることがあれば、自由に記述してください。

問 13 これまでのご経験の中で、貧困の状況にある子どもが改善に向かったケースがあれば、自由に記述してください。

問 14 コロナ以前と、現在で、貧困の状況にある子どもや親の生活状況は変化していますか。また、変化しているのであれば、どのような変化ですか。

問 15 今後必要な支援施策について、具体的なものがあれば、自由に記述してください。

調査は以上です。お忙しいところご協力ありがとうございました。

子ども・若者の貧困に関するヒアリング調査票

各種団体の皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

市川市では、市の現状と課題を分析・整理し、令和6年度を初年度とする子どもの貧困対策計画の策定を予定しております。

この調査は、計画策定にあたって、支援者から見た子ども・若者の実情と課題などをお聞きすることで、計画策定の参考とさせていただくものです。大変お忙しい中誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年12月

市川市

<回答方法>

- ①下記QRコードまたはURLよりインターネットを利用して回答



<https://logoform.jp/form/cGft/185742>

※通信費は利用者負担となります、予めご了承ください。

- ②メールに調査票を添付し回答

宛先 kosodate@city.ichikawa.lg.jp

お問い合わせ先

市川市子ども政策部子ども家庭支援課 政策事業グループ
〒272-8501 市川市八幡1丁目1番1号
電話 047-711-0677 FAX 047-711-3074

問1 所属している機関・団体・施設名を教えてください。

問2 回答者の職種を教えてください。

問3 支援している子どもの人数を教えてください。(こどもが貧困状況にあるかどうかは問いません)

未就学児	約()名
小学生	約()名
中学生	約()名
高校生	約()名

問4 主な活動地域をお聞かせください。(〇はいくつでも)

1. 市内全域	2. 大柏	3. 宮久保
4. 曾谷	5. 国分・国府台	6. 市川
7. 八幡	8. 中山	9. 市川駅前
10. 本八幡駅前	11. 信篤	12. 妙典
13. 行徳	14. 南行徳	

問5 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況は何だと思いますか。(〇は3つまで)

1. 家族が子どもに虐待をしている(ネグレクトを含む)
2. 家族がDVを受けた経験がある
3. 保護者が子どもに必要以上に干渉している
4. 保護者が子どもに過度の期待をかけている
5. 保護者が子どもへの関心が薄い
6. 子どもが食事を十分にとれていない
7. 子どもが身体の成長や季節に応じた服装をしていない
8. 子どもが不衛生・入浴していない
9. 住環境が劣悪である
10. 子どもが病院にかかるのを控えている
11. わからない
12. その他()

問6 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況の要因や背景は何だと思えますか。(〇は3つまで)

1. 家庭が社会から孤立している
2. 両親が離婚(再婚)している
3. 両親や家族が不仲である
4. 保護者自身の生活能力が低い
5. 保護者に障害や疾病がある
6. 親が若年出産をしている
7. 外国人世帯である
8. 多子世帯である
9. 保護者が不安定な就労状態にある
10. 保護者がアルコールやギャンブル等に依存している
11. わからない
12. その他()

問7 貧困状況にある子どもが多く陥る困難な状況として、考えられるものは何ですか。(〇は3つまで)

1. 学校の授業が理解できていない
2. 部活動や学校行事に参加できない
3. 進学を断念している
4. 非行や非行につながる問題行動がある
5. 不登校を経験している
6. 学校や職場に友人がいない
7. 学校や職場でいじめを受けている
8. 自傷行為をしたことがある
9. 学校を中退している
10. わからない
11. その他()

問8 貧困状況にある子どもはどのような項目において問題を抱えていることが多いと思いますか。

(〇は3つまで)

1. 読み書き・計算等の基礎的な学力 2. 心の状態の安定性・心身の健康 3. 健全な生活習慣・食習慣 4. コミュニケーション能力 5. 他者への共感性・他者への信頼感 6. 自己表現力 7. 自己肯定感 8. 生活自立能力 9. 意欲・チャレンジ精神 10. わからない 11. 特に問題は見られない 12. その他 ()

問9 貧困状況にある子どもに対する学校外での学習支援として、どのような仕組みや支援が必要だと思いますか。

(〇は3つまで)

1. 学校での補習 2. 近隣の公共施設等における学習習慣の定着及び基礎的な学習支援 3. 学習塾等における進学対策としての学習支援 (費用助成) 4. こども食堂やNPO 法人などにおける学習支援 5. 無料で自由に使用できる学習スペースの確保 6. その他 ()

問10 あなたは、貧困状況にある子どもや親に対し、どれくらいの頻度でどのような支援を行っていますか。

((1)～(13)のそれぞれについて、〇は1つ)

	週に1回以上	月に1～数回程度	年に1～数回程度	全く行っていない	該当せず
(1)家庭訪問	1	2	3	4	5
(2)保育サービスの提供(病児保育、送迎支援等も含む)	1	2	3	4	5
(3)子どもの居場所(遊びや読書等の場)の提供	1	2	3	4	5
(4)子どもの食事の提供	1	2	3	4	5
(5)子ども自身の相談	1	2	3	4	5
(6)親の相談(育児、発達、教育、生活相談など)	1	2	3	4	5

	週に1回以上	月に1～数回程度	年に1～数回程度	全く行っていない	該当せず
(7)乳幼児健康診査、予防接種等の勧め・受付	1	2	3	4	5
(8)親子イベントの開催	1	2	3	4	5
(9)経済支援（就学援助費、児童扶養手当など）の勧め・受付	1	2	3	4	5
(10)子どもの学習支援	1	2	3	4	5
(11)子どもの進学指導	1	2	3	4	5
(12)子どもへの文化的活動（自然体験学習、スポーツ等）の機会の提供	1	2	3	4	5
(13)親の就労支援	1	2	3	4	5

問 11 問 10 の他、貧困状況にある子どもや親に対し行っている支援の内容・頻度をお聞かせください。

支援の内容

頻度

問 12 あなたは、普段、貧困状況にある子どもの支援をする際に他の部署・機関・団体とどのくらい連携（連絡、情報のやり取り等）をすることがありますか。（○は1つ）

1. 週1回以上 2. 月1回～数回程度 3. 年1～数回程度 4. まったくない

問 13 連携することが多い部署・機関・団体をお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1. 小学校・中学校・高等学校 | 2. 教育センター・少年センター |
| 3. 指導課 | 4. 保育所・幼稚園・認定こども園 |
| 5. 放課後保育クラブ(学童保育) | 6. 生活支援課(生活保護ケースワーカー) |
| 7. 社会福祉協議会(貸付事業、フードバンク等) | 8. 市川市生活サポートセンターそら |
| 9. 民生委員・児童委員 | 10. 保健センター(保健師) |
| 11. こども家庭支援課(家庭相談員) | 12. こども福祉課(母子・父子自立支援員) |
| 13. 多様性社会推進課(夫人相談員) | 14. 児童相談所 |
| 15. 障がい者支援課 | 16. こども発達センター |
| 17. 障がい児通所支援施設(放課後等デイサービス含む) | 18. 障害者相談支援事業所 |
| 19. 中核地域生活支援センター | 20. 基幹相談支援センター「えくる」 |
| 21. 障がい者就労支援センターアクセス | 22. 医療機関 |
| 23. ハローワーク | 24. 民間企業 |
| 25. 子ども食堂 | 26. 無料・定額学習支援(無料塾) |
| 26. 子ども関連NPO法人 | 27. その他() |

問 14 連携して支援をするうえで、課題となることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 他の機関で行っているサービスの情報がない |
| 2. 他の機関で受けられるサービスが不足している |
| 3. 支援に対する考え方の違いがある |
| 4. 各機関で情報を共有する必要があるが個人情報保護の点で難しい |
| 5. 連携をとるのに時間がかかってしまう |
| 6. その他() |

問 15 貧困状況にある家庭への支援にあたって、どのような点が困難だと感じていますか。(〇はいくつでも)

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 保護者との接触、信頼関係づくりが難しい |
| 2. 子どもとの信頼関係づくりが難しい |
| 3. 支援に用いることができる制度(資源)が少ない |
| 4. 支援者側の人手が不足しているため、支援ができない |
| 5. 支援者間での連携が難しい |
| 6. 保護者が支援制度を知らない(知ろうとしない)ため、支援が行き届かない |
| 7. 支援が必要であるのに、その家庭からの訴えがないため支援に入れない |
| 8. 支援が必要であるのに、支援を拒まれる |
| 9. わからない |
| 10. 特にない |
| 11. その他() |

問 16 貧困状況にある子どもや親を支援する際に、工夫していることや心がけていることがあれば、自由に記述してください。

問 17 これまでのご経験の中で、貧困の状況にある子どもが改善に向かったケースがあれば、自由に記述してください。

問 18 コロナ以前と、現在で、貧困の状況にある子どもや親の生活状況は変化していますか。また、変化しているのであれば、どのような変化ですか。

外部支援機関ヒアリング調査票（支援者向け）

外部支援機関 12月23日締め切り

子ども・若者の貧困に関するヒアリング調査票

各種団体の皆さまには、日ごろから市政にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

市川市では、市の現状と課題を分析・整理し、令和6年度を初年度とする子どもの貧困対策計画の策定を予定しております。

この調査は、計画策定にあたって、支援者から見た子ども・若者の実情と課題などをお聞きすることで、計画策定の参考とさせていただくものです。大変お忙しい中誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようよろしくお願い申し上げます。

令和4年12月

市川市

<回答方法>

①下記QRコードまたはURLよりインターネットを利用して回答



<https://logofarm.jp/form/cGft/185742>

※通信費は利用者負担となります、予めご了承ください。

②メールに調査票を添付し回答

宛先 kosodate@city.ichikawa.lg.jp

お問い合わせ先

市川市子ども政策部子ども家庭支援課 政策事業グループ
〒272-8501 市川市八幡1丁目1番1号
電話 047-711-0677 FAX 047-711-3074

■はじめにあなたについてご記入ください

団体名		
ご回答者の 役職 お名前 経験年数	役職	
	お名前	
	経験年数	
団体が支援している子ども の人数（子どもが貧困状 況にあるかどうかは問い ません。）	未就学児	約（ ）名
	小学生	約（ ）名
	中学生	約（ ）名
	高校生	約（ ）名
主な活動地域	1.（ ）地区	2. 市内全域

問1 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況は何だと思えますか。（〇は3つまで）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 家族が子どもに虐待をしている（ネグレクトを含む） 2. 家族がDVを受けた経験がある 3. 保護者が子どもに必要以上に干渉している 4. 保護者が子どもに過度の期待をかけている 5. 保護者が子どもへの関心が薄い 6. 子どもが食事を十分にとれていない 7. 子どもが身体の成長や季節に応じた服装をしていない 8. 子どもが不衛生・入浴していない 9. 住環境が劣悪である 10. 子どもが病院にかかるのを控えている 11. わからない 12. その他（ ）

問2 貧困状況にある子どもの家庭に多くある困難な状況の要因や背景は何だと思えますか。（〇は3つまで）

<ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭が社会から孤立している 2. 両親が離婚（再婚）している 3. 両親や家族が不仲である 4. 保護者自身の生活能力が低い 5. 保護者に障害や疾病がある 6. 親が若年出産をしている 7. 外国人世帯である 8. 多子世帯である 9. 保護者が不安定な就労状態にある 10. 保護者がアルコールやギャンブル等に依存している 11. わからない 12. その他（ ）
--

問3 貧困状況にある子どもが多く陥る困難な状況として、考えられるものは何ですか。(〇は3つまで)

1. 学校の授業が理解できていない
2. 部活動や学校行事にさんかできない
3. 進学を断念している
4. 非行や非行につながる問題行動がある
5. 不登校を経験している
6. 学校や職場に友人がいない
7. 学校や職場でいじめを受けている
8. 自傷行為をしたことがある
9. 学校を中退している
10. わからない
11. その他 ()

問4 貧困状況にある子どもはどのような項目において問題を抱えていることが多いと思いますか。
(〇は3つまで)

1. 読み書き・計算等の基礎的な学力
2. 心の状態の安定性・心身の健康
3. 健全な生活習慣・食習慣
4. コミュニケーション能力
5. 他者への共感性・他者への信頼感
6. 自己表現力
7. 自己肯定感
8. 生活自立能力
9. 意欲・チャレンジ精神
10. わからない
11. 特に問題は見られない
12. その他 ()

問5 貧困状況にある子どもは、どのような仕組みや支援があれば学習の機会を得られると思いますか。
(〇は3つまで)

- | |
|-----------------------------------|
| 1. 学校での補修 |
| 2. 近隣の公共施設等における学習習慣の定着及び基礎的な学習の指導 |
| 3. 学習塾等における進学対策としての学習支援 (費用助成) |
| 4. こども食堂やNPO 法人などにおける学習支援 |
| 5. 無料で自由に使用できる学習スペースの確保 |
| 6. その他 () |

問6 あなたの所属する団体は、貧困状況にある子どもや親に対し、どれくらいの頻度でどのような支援を行っていますか。

((1)～(14)のそれぞれについて、〇は1つ)

	週に1回以上	月に1～数回程度	年に1～数回程度	まったく行っていない(できるけどやっていない)	該当しない(実施できない)
(1)家庭訪問	1	2	3	4	5
(2)保育サービスの提供(病児保育、送迎支援等も含む)	1	2	3	4	5
(3)子どもの居場所(遊びや読書等の場)の提供	1	2	3	4	5
(4)子どもの食事の提供	1	2	3	4	5
(5)子ども自身の相談	1	2	3	4	5
(6)親の相談(育児、発達、教育、生活相談など)	1	2	3	4	5
(7)乳幼児健康診査、予防接種等の勧め・受付	1	2	3	4	5
(8)親子イベントの開催	1	2	3	4	5
(9)経済支援(就学援助費、児童扶養手当など)の勧め・受付	1	2	3	4	5
(10)子どもの学習支援	1	2	3	4	5
(11)子どもの進学指導	1	2	3	4	5
(12)子どもへの文化的活動(自然体験学習、スポーツ等)の機会の提供	1	2	3	4	5
(13)親の就労支援	1	2	3	4	5
(14)その他 ()	1	2	3	4	5

問7 あなたの所属する団体は、普段、貧困状況にある子どもの支援をする際に他の部署・機関・団体とどのくらい連携することがありますか。(〇は1つ)

1. 週1回以上 2. 月1回～数回程度 3. 年1～数回程度 4. まったくない

※連携の意味追記

問7で「1」「2」「3」と答えた方にお聞きします。

問8 10 連携することが多い部署・機関・団体をお答えください。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------------------|----------------------------------|
| 1. 小学校・中学校・高等学校 | 16. こども発達センター |
| 2. 教育センター・少年センター | 17. 障がい児通所支援施設
(放課後等デイサービス含む) |
| 3. 指導課 | 18. 障害者相談支援事業所 |
| 4. 保育所・幼稚園・認定こども園 | 19. 基幹相談支援センター |
| 5. 放課後保育クラブ(学童保育) | 20. 障害者就労支援センター(アクセス) |
| 6. 生活支援課(生活保護ケースワーカー) | 21. 医療機関 |
| 7. 社会福祉協議会
(貸付事業、フードバンク等) | 22. ハローワーク |
| 8. 生活サポートセンターそら | 23. 民間企業 |
| 9. 民生委員・児童委員 | 24. こども食堂 |
| 10. 保健センター(保健師) | 25. 無料・定額学習支援(無料塾) |
| 11. こども家庭支援課(家庭相談員) | 26. 子ども関連NPO法人
() |
| 12. こども福祉課(母子・父子自立支援員) | 27. その他
() |
| 13. 多様性社会推進課(婦人相談員) | |
| 14. 児童相談所 | |
| 15. 障がい者支援課 | |

問9 連携して支援をするうえで、課題となることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 他の機関で行っているサービスの情報がない |
| 2. 他の機関で受けられるサービスが不足している |
| 3. 支援に対する考え方の違いがある |
| 4. 各機関で情報を共有する必要があるが個人情報保護の点で難しい |
| 5. 連携をとるのに時間がかかってしまう |
| 6. その他 () |

問 10 貧困状況にある家庭への支援にあたって、どのような点が困難だと感じていますか。(〇はいくつでも)

1. 保護者との接触、信頼関係づくりが難しい
2. 子どもとの信頼関係づくりが難しい
3. 支援に用いることができる制度(資源)が少ない
4. 支援者側の人手が不足しているため、支援ができない
5. 支援者間での連携が難しい
6. 保護者が支援制度を知らない(知ろうとしない)ため、支援が行き届かない
7. 支援が必要であるのに、その家庭からの訴えがないため支援に入れない
8. 支援が必要であるのに、支援を拒まれる
9. わからない
10. 特にない
11. その他()

問 11 貧困状況にある子どもや親を支援する際に、工夫していることや心がけていることがあれば、自由に記述してください。

問 12 これまでのご経験の中で、貧困の状況にある子どもが改善に向かったケースがあれば、自由に記述してください。

問 13 コロナ以前と、現在で、貧困の状況にある子どもや親の生活状況は変化していますか。また、変化してきているのであれば、どのような変化ですか。

市川市
子どもの生活状況に関する実態調査報告書
令和5年3月

発行：市川市 こども政策部 こども家庭支援課